上田市文化財調査報告書第73集

西之手遺跡

㈱やおふく新店舗建設に係る西之手遺跡第1次発掘調査報告書

1999. 3

株式会社やおふく

上田市教育委員会

上田市文化財調査報告書第73集

西之手遺跡

㈱やおふく新店舗建設に係る西之手遺跡第1次発掘調査報告書

1999．3

株式会社やおふく
上田市教育委員会

序

ここ数年、上田市街地は空洞化の傾向にあり、その活性化策が様々な角度から検討・実施され、徐々にではありますが、その効果をあげております。これと相反するように、上田市街地の東方に広がる染屋台(神科台)は、上信越自動車道上田菅平ＩＣを中核に、これまでの穀倉地帯から大規模な郊外店をともなったベッドタウンとして、その姿を大きく変貌させております。

染屋台のほぼ中心部に位置する「西之手遺跡」は、昭和 57 年度から５ヵ年にわたって実施された「創置の信濃国府跡推定地確認調査」でその一部が調査され、平成８年度から第１次調査と第２次調査が実施されました。今回報告の第１次調査では、掘立柱建物群と大規模な溝で構成された古墳時代中・後期の特異な集落遺跡であることが明らかとなりました。これまで染屋台の開発は、比較的新しいと思われてきましたが、この調査の結果、少なくとも古墳時代中・後期には大規模な開発が行われていたことが実証されました。

近年、全国的に発掘調査が増加し、その結果から得られる個々の事実は、膨大な量にのぼっております。これらの事実を有機的に結びつけ、地域の皆様にわかりやすくお伝えし、活用していただくことは、行政の責務であると痛感しております。平成 11 年度から発刊が始まる「上田市誌」は、この意味において、素晴らしいものになると確信しております。

最後になりましたが、発掘調査から報告書刊行に至るまでの間、多大なる御理解と御協力を賜りました株式会社やおふくの皆様と作業員の皆様に衷心より御礼を申し上げ序といたします。

平成１１年３月３１日

上田市教育委員会教育長　我妻忠夫

例　言

1　本書は、長野県上田市大字古里字西之手における、㈱やおふく新店舗建設に係る西之手遺跡第１次発掘調査報告書である。

2　調査は、㈱やおふくから委託を受けた上田市が直営で行い、調査に要した費用の一切は、㈱やおふくが負担した。なお、調査及び調査に係る事務は、上田市教育委員会事務局文化課(平成８年度まで社会教育課)が担当した。

3　現地調査は、１９９６年１０月７日から同年１２月１８日・１９９７年３月３日から同年６月６日・１９９７年１０月２１日から同年１０月２７日の３回に分けて実施し、引き続き１９９９年３月３１日まで整理･報告書作成作業を行った。

4　遺構の実測は、西沢和浩・清水彰・池田市郎・饗場奈那江・石合好江・斎藤かな枝・田村まり子が行った。

5　整理作業及び報告書作成作業は、清水の指示により、饗場・石合・田村・井沢光子・市村みつ子・大井敬子・西沢志保・丸田由紀子・山本万里・池田・井部定雄・小柳治雄・林正治が行った。

6　遺構写真の撮影は、西沢・清水が行った。

7　遺物写真の撮影は、清水が行った。

8　現地調査の基準点測量・メッシュ杭打・全体空中写真測量・図化を㈱こうそくに委託して実施した。

9　本調査に係る資料は、上田市立信濃国分寺資料館に保管してある。

10　本書の編集・刊行は上田市教育委員会事務局文化課が行った。

11　本調査の体制は次のとおりである。

（平成９年度から、機構改革により社会教育課が文化課に改称）

教育長	内藤　尚	（平成９年３月31日退任）
	我妻　忠夫	（平成９年４月１日着任）
教育次長	荒井　鉄雄	（平成９年３月31日退任）
	宮下　明彦	（平成９年４月１日着任）
社会教育課長	松沢征太郎	（平成９年３月31日退任）
文化課長	川上　元	（平成９年４月１日着任）
文化財係長	岡田　洋一	（平成10年４月30日退任）
	細川　修	（平成10年５月１日着任）
主査	中沢　徳士	
	尾見　智志	
	塩崎　幸夫	
主任	久保田敦子	
技術員	久保田　浩	
主事	西沢　和浩	（担当者）
	山嵜　敦子	（平成10年４月１日着任）
	清水　彰	（担当者）
	小笠原　正	
嘱託	望月　貴弘	（平成９年４月１日着任）
	古野　明子	（平成９年４月１日着任）
	松野ひろみ	（平成９年４月１日着任）
	須齋千恵子	（平成10年４月１日着任）

12　調査に参加・協力していただいた方々（順不同・敬称略）

池田　市郎	井部　定雄	内山　重利	小柳　治雄	佐野　和男
田中　正美	中島　昭吾	林　正治	東山　唯夫	東山　恒子
村田　宣子	横沢　生枝	横沢　昇	竹内　和好	竹内　勇
児玉　和衛	饗場奈那江	井沢　光子	石合　好江	市村みつ子
大井　敬子	斎藤かな枝	西沢　志保	丸田由紀子	山本　万里

凡　例

遺　構

1　遺構は、（　）内に示す略号で表し、続く番号は任意である。
掘立柱建物跡（ＳＴ－）・竪穴住居跡、竪穴状遺構（ＳＢ－）・溝跡（ＳＤ－）・
土壙（ＳＫ－）・ピット（Ｐ－）・掘立柱建物跡のピット（Ｐ）

2　遺構実測図は原図１：２０・縮尺１：３を原則としたが、溝跡については縮尺１：６としたところもある。なお、水準値は、海抜高を示す。

3　遺構実測図の方位は、掘立柱建物跡・竪穴住居跡・竪穴状遺構・溝跡・土壙については図中に示し、ピットについては頁の上を国家座標による真北とした。

4　土層断面の観察は、主体となる土を『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修 1988 及び 1990）を用いて判別した。

5　ＳＫ－・Ｐ－・Ｐの規模は、（長軸×短軸×検出面からの深さ）で示した。

6　海抜高の単位は、全て「m」である。

7　掘立柱建物跡の桁行・梁行は、長辺を桁行・短辺を梁行とした。

8　掘立柱建物跡の主軸方向は、国家座標の真北と桁方向とのなす角度で示した。

9　掘立柱建物跡の面積は、桁行×梁行で示した。

10　竪穴住居跡の主軸方位は、国家座標の真北と住居跡の中軸線とのなす角度で示した。

11　遺構写真の縮小は任意である。

遺　物

1　遺物実測図は、土器・土製品については、原図１：１・縮尺１：３とした。なお、石製品については、原図１：１・縮尺１：１を原則としたが、縮尺２：１としたところもある。

2　土器の実測方法は、右１／２に断面・内面、左１／２に外面を記録する４分割法を原則とし、必要に応じてその率を変えた。

3　遺物実測図中の▨は赤色塗彩を示し、■は黒色処理を示す。

4　遺物観察表中の遺構は、掘立柱建物跡を「建物跡」・竪穴住居跡を「住居跡」と省略した。

5　遺物観察表中の法量は、上から口径・残高・底径あるいは裾径を示す。同表中の器質は、胎土を「胎」、焼成を「焼」、色調を「色」とした。なお、色調は、遺物の内面及び外面の基本的な色調を『新版標準土色帖』（前出）を用いて判別した。

6　遺物写真の縮小は任意である。

7　遺物写真の番号は、遺物実測図の図版番号と一致する。

目　次

序
例　言
凡　例
目　次

第一章　序　説 …… 1
　第１節　調査の経過 …… 1
　第２節　調査の方法 …… 2
　第３節　調査日誌（抄） …… 2

第二章　環　境 …… 4
　第１節　自然的環境 …… 4
　第２節　歴史的環境 …… 4
　第３節　創置の信濃国府跡推定地第５次確認調査 …… 5
　第４節　遺跡の基本層序 …… 8

第三章　調査の結果 …… 11
　第１節　概　要 …… 11
　第２節　検出した遺構と出土遺物…… 11
　第３節　遺構実測図 …… 19
　　遺構観察表 …… 88
　第４節　遺物実測図 ……111
　　遺物観察表 ……155
　第５節　小　結 ……188

写真図版
報告書抄録

第一章　序説

第1節　調査の経過

平成７年１０月、株式会社やおふくより、上田市教育委員会事務局社会教育課（以下、「社会教育課」という。なお、平成９年度から機構改革により文化課に改称）に、国道１４４号線拡幅に伴い、取り壊される㈱やおふく神科店の移転先である上田市大字古里字西之手地区の埋蔵文化財の有無について、問い合わせがあった。

社会教育課では、遺跡分布図・埋蔵文化財分布調査報告書を確認すると、事業地は「染屋台条里水田跡遺跡」の範囲内であった。また、昭和６１年度に実施された「創置の信濃国府跡推定地第５次確認調査」で調査されたＤ・Ｅ地点をも含んでいた。特に、Ｅ地点では２×２間廂付掘立柱建物跡等が確認されている（『創置の信濃国府跡推定地確認調査概報Ⅴ』1987 上田市教育委員会）ので、事業地内に遺跡が存在することは明白であった。このため、㈱やおふくと社会教育課で遺跡の保護について協議し、事業地内の遺跡の範囲を確定するために試掘調査を実施し、その結果により、保護措置を講ずることとなった。

これにより、社会教育課では、平成８年５月８・１０日に試掘調査を実施した。この際、㈱やおふくを通して地権者から試掘調査の承諾を得た。試掘調査の結果、古墳時代の遺構・遺物が出土し、遺跡が事業地内約 13,000 ㎡にわたって広がっていることが確認された。（『市内遺跡Ⅴ』1997 上田市教育委員会）

この結果、㈱やおふくと社会教育課で再協議が行われ、移転工事着手前にこの遺跡の発掘調査を実施し、記録保存を図ることが決定された。なお、この際の調査に要する費用の一切は、㈱やおふくに負担していただいた。

これをうけて、社会教育課では、平成８年１０月７日から平成９年６月６日（冬期中断を含む）にかけて現地調査を実施した。さらに、施行区域内の住居の移転が終了したため、その地点についても試掘調査を平成９年１０月２０日に実施したところ遺跡が確認された。（『平成９年度市内遺跡』1998 上田市教育委員会）

この部分についても、平成９年１０月２１日から２７日にかけて現地調査を実施した。その後、整理作業を行い、平成１１年３月３１日までに本報告書を刊行し、全ての調査を終了した。

第２節　調査の方法

本遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地である「染屋台条里水田跡遺跡」の範囲内に存在するが、「創置の信濃国府跡推定地第５次確認調査」において、「西之手遺跡」として取り扱われているため、今回もそれによった。これに伴い、Ｎｉ－Ｓｈｉ－Ｎｏ－Ｔｅの「ＮＴ」を本遺跡の略記号として用いた。

調査区域の設定は、事業地内の試掘調査によって判明した遺跡の範囲とした。調査にあたっては、バックホーにより表土を除去した後、遺構検出・掘上作業を人力により行った。また、３ｍ×３ｍのメッシュを設定し、遺構の測量・遺物の取り上げ等に利用した。メッシュの設定方法は、基準点０を設定し、その点から国家座標にのるように設定した。その際、東西南北にそれぞれ記号（ＥＷＳＮ）をあたえ、基準点からの距離を組み合わせて使用した。ここで使用した基準点０の座標値は、Ｘ＝＋42,480.000、Ｙ＝－20,145.000（第Ⅷ量系）である。また、調査地区が２ヵ所に分割されたので、西からＡ・Ｂ区とした。

遺構測量は、このメッシュを利用した簡易遣り方法で行ったほか、全体遺構写真撮影及び図化を㈱こうそくに委託して実施した。

第３節　調査日誌（抄）

平成８年

１０月　７日(月)　バックホーによる表土剥作業（Ａ区）開始

１０月１８日(月)　遺構検出作業（Ａ区）開始

１０月３０日(水)　バックホーによる表土剥作業（Ａ区）終了

１１月　７日(木)　遺構掘上げ作業（Ａ区）開始

１１月１５日(金)　基準点測量及びメッシュ杭打（Ａ区）開始

１２月　２日(月)　前日からの降雪により現場に約20㎝の積雪

１２月１７日(火)　航空写真撮影（Ａ区）・第２号溝跡遺物取り上げ

１２月１８日(水)　機材搬出　本年の現地調査終了

平成９年

３月　３日(月)　バックホーによる表土剥作業（Ｂ区）開始

３月　６日(木)　遺構検出作業（Ｂ区）開始

３月１０日(月)　包含層（Ａ区）掘り上げ開始

３月１８日(火)　Ａ区調査終了　基準点測量及びメッシュ杭打（Ｂ区）開始
遺構掘上げ作業（Ｂ区）開始

３月３１日(月)　バックホーによる表土剥作業（Ｂ区）終了

４月１０日(木)　第27号掘立柱建物跡から臼玉出土

４月２８日(月)　第５号溝跡掘上げ終了

５月　６日(火)　上田33.5℃を記録

６月　５日(木)　航空写真撮影（Ｂ区）

６月　６日(金)　機材搬出　現地調査終了

１０月２１日(火)　バックホーによる表土剥作業開始

１０月２２日(水)　バックホーによる表土剥作業終了　遺構検出及び堀上作業開始

１０月２７日(月)　機材搬出　現地調査終了

以後、埋蔵文化財整理室において整理作業を実施し、平成１１年３月３１日までに調査報告書の刊行を行い、すべての調査事業を終了した。

第二章　環　境

第１節　自然的環境

染屋台条里水田跡遺跡は、千曲川の第一段丘面にあたる染屋台地に所在する。染屋台地は、上田市域の東方部に位置する。北に虚空蔵山と横山丘陵をのぞみ、その麓では東西の長さ約３．５ｋｍ、東は、神川に望む段丘崖が東北方からやや西南方向に約３．８ｋｍ、西は、染屋段丘崖が西方から東南方向に約３ｋｍの三側線に囲まれた三角形状の地域であり、面積は約５．７６ｋ㎡をはかる。東辺は神川河床から２５～３０ｍ、西辺は上田市街面から１５～２０ｍの高さを持っている台地である。土質は下部が段丘礫層、上部は２～３ｍのローム層で第四紀洪積世に形成されたものであり、地質学的には染屋層と呼ばれている。

染屋台地は北辺部が海抜高５８０ｍ、南端部は海抜高５００ｍ、比高差８０ｍをはかり、模式的な隆起扇状地と呼ばれている。この扇状地は、神川本流及び支流の浸食を受けていない。その反面、自然流の乏水地域である。また、この台地は地下水位が低く井戸水をえられにくく、田用水は飲料水に適していないといわれている。土質は有効燐酸、マンガンに乏しく酸性の強い強粘土地帯である。

扇状地の微地形的考察では、同心円状に等高線があり、そこに凹凸のあることがわかる。その大半は平行しており、東西方向の流路となっている地点が凹地となっている。そのうち、もっとも大規模なものが新屋堰であり、扇状地の最高地を貫く大幹線となっている。また染屋堰・岩門堰も等高線を切っている。その他にも小さな凹地がいくつかあり、それらが扇状地面上に変化を与えている。しかし、染屋台のこのような変化は人工による堰の開設後に、その浸食によって生じたものと考えられている。

第２節　歴史的環境

染屋台地は、自然流がなかったことからその開発が比較的遅く、当地域からは縄文・弥生時代の遺跡および遺物の知見は比較的少ない。主として弥生時代以降のものが、台地周縁部に知られている。弥生期については発掘調査がされたことがなく、表面採集調査によっている。西方の第２段丘面には信州大学繊維学部を中心とする常入遺跡群(57)が存在し、平成８年の調査により弥生時代の集落が確認されている。

古墳時代には、北縁の虚空蔵山麓に新屋古墳群(45)がある。当初は、大字上野字鴻呂館

及び矢花地籍にかけて２０数基あったと伝えられている。現在は鴻呂館地籍に３基、矢花地籍に「矢花の七つ塚」と呼ばれているもののうち３基が残存している。塚田地籍の上田市立第五中学校の敷地内にある塚田塚古墳(46)は小規模ながら横穴式石室を残している。また、岩門地籍に社宮寺古墳(51)、向田地籍の向田古墳(53)が存在するが、墳丘のあることのほか、詳しいことはわかっていない。発掘調査例としては、昭和５８年から５次にわたって行われた「創置の信濃国府跡推定地確認調査」・平成２年の柳町遺跡(445)が挙げられるが、いずれも遺跡の密度は薄い。

奈良・平安時代になると、土師器・須恵器等の遺物が各所で表面採集されているが、発掘調査例がないため、遺跡の範囲などは明確ではない。また、この台上に信濃国府がおかれたとの説があるが、これを裏付ける調査事例はない。北方の第３段丘面には、信濃国分寺跡(55)がある。昭和３７～４６年にかけての発掘調査により、僧寺と尼寺が並置して確認された。現在、史跡公園として整備され、市民の憩いの場となっている。

中世以降、当地域は主として水田地帯として発展していった。平成７年に調査された大畑遺跡(A)では、青磁蓮弁文碗の破片と宋銭が出土している。

近年では、上信越自動車道と北陸新幹線の開通とともに、周辺地域の開発が進み、住宅地域としても活用されつつある。

なお、染屋台全域にわたって「条里遺構」が展開しているが、この形成年代等については明確にされていない。

今回、発掘調査を実施した西之手遺跡は、染屋台の中央部やや北寄りに位置している。平成９年度には、今回の発掘調査範囲の東側隣接地を第２次調査として発掘し、西之手遺跡の東側縁辺部と思われる遺構を検出している。(『西之手遺跡Ⅱ』1998 上田市教育委員会)

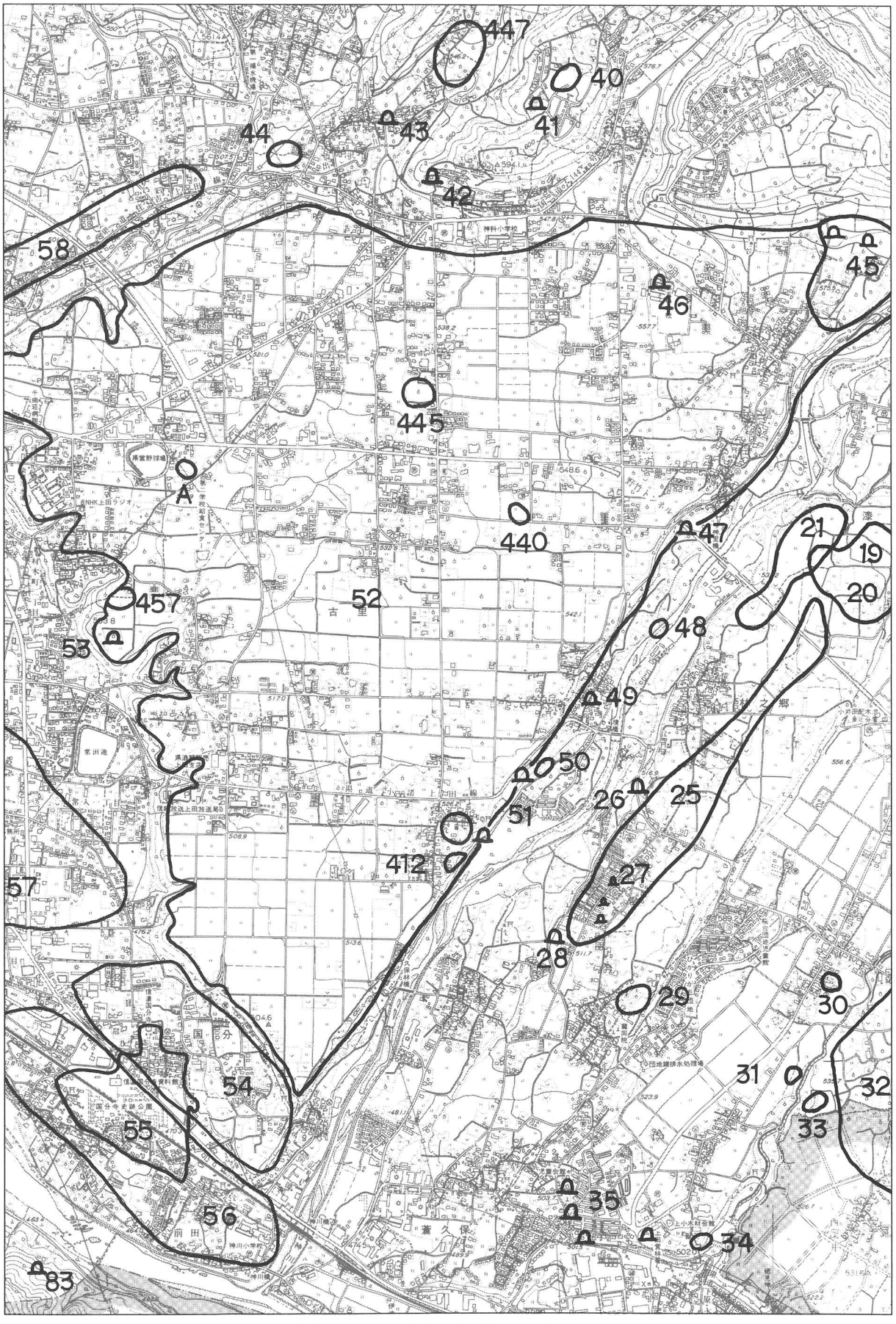
第３節　創置の信濃国府跡推定地第５次確認調査

上田市教育委員会では、昭和５７～６１年度まで「創置の信濃国府跡推定地確認調査」と称して、古里地区の各所において発掘調査を行った。今回の発掘調査範囲が、昭和６１年度に実施した第５次調査のＤ・Ｅ地点と重複するため、簡単に触れてみたい。詳細については、「『創置の信濃国府跡推定地確認調査概報Ⅴ』1987 上田市教育委員会」を参照していただきたい。

Ｄ地点では、明確な遺構の検出はなく、若干の土師器と鉄製の鋤先が出土した。

Ｅ地点では、２棟の掘立柱建物跡（ＳＢ－０１・０２）と４基のピットを確認した。

ＳＢ－０１では、７基のピットが検出され、桁行４間梁行１間以上の建物であることが



第１図　周辺遺跡図(1／20,000)

番号	遺跡名	時代	備考	番号	遺跡名	時代	備考
19	八千原遺跡	縄弥平	89年調査	46	塚田塚古墳	古	
20	堂下遺跡	縄～平		47	野竹塚古墳	古	
21	太田・法楽寺遺跡	古～平	95年より調査	48	篠井久保遺跡	弥・平	
25	林之郷遺跡	縄～平	88・89年調査	49	笹井塚古墳	古	
26	日ノ井古墳	古		50	掛の宮遺跡	縄・古	
27	高寺古墳群	古		51	掛の宮塚古墳	古	
28	生地場古墳	古		52	染屋台条里水田跡遺跡	弥～平	断続的に調査
29	中村Ⅱ遺跡	縄		53	向田古墳	古	
30	荒神田遺跡	平		54	国分遺跡群	弥～平	97年より調査
31	訳口上遺跡	平	87年調査	55	信濃国分寺跡	奈	国指定史跡
32	中吉田遺跡	縄弥平		56	国分寺周辺遺跡群	縄～平	94・95年調査
33	今井遺跡	平		57	常入遺跡群	縄～平	96年調査
34	いなご坂遺跡	縄		58	金井裏遺跡	縄～平	85・96年調査
35	吉田原古墳群	古		83	坂下古墳	古	
40	上野東遺跡	縄		412	岩門城跡	近	
41	陣馬塚古墳	古		440	東之手・西之手遺跡	古～平	82～86年調査
42	玄蕃塚古墳	古		445	柳町遺跡	古	90年調査
43	熱泰寺古墳	古		447	宮平遺跡	古～平	94年調査
44	熱泰寺遺跡	縄		457	染屋城跡	近	
45	七ツ塚古墳	古	市指定史跡	A	大畑遺跡	中	95年調査

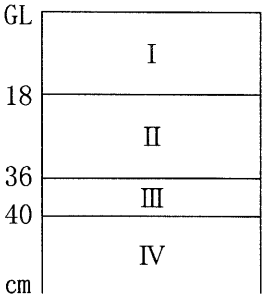
第1表 周辺遺跡名表

推定された。この建物のＰｉｔ６からは、古墳時代後期の土師器の甕・坏が出土した。ＳＢ－０２は、桁行２間梁行２間廂付建物である。この建物のＰｉｔ１０からは、土師器の甕・壺・坏のほかに土製模造鏡が出土した。この土製鏡は、柱穴内部からの出土のため、建物の構築に際しての地鎮のための鎮壇具である可能性が指摘されている。両遺構とも古墳時代後期のものと想定されるが、今後の検討が必要とされている。

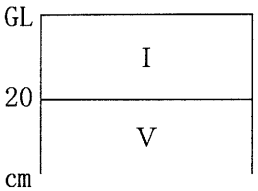
なお、下記に今回の調査と前回の調査（創置の信濃国府跡推定地第５次確認調査）との遺構の対応を示した。

前回の調査	ＳＢ－01							ＳＢ－02														
	Pit 1	Pit 2	Pit 3	Pit 4	Pit 5	Pit 6	Pit 7	Pit 8	Pit 9	Pit 10	Pit 11	Pit 12	Pit 13	Pit 14	Pit 15	Pit 16	Pit 17	Pit 18	Pit 19	Pit 20	Pit 21	Pit 22
今回の調査	ＳＴ－12							ＳＴ－20											ＳＴ－21		不明	不明
	P 5	P 4	P 3	P 2	P 1	P 6	P 18	P 9	P 8	P 7	P 6	P 10	P 11	P 5	P 1	P 2	P 3	P 4	P 1	P 2		

第４節　遺跡の基本層序



Ａ区基本層序



Ｂ区基本層序

土層凡例　Ⅰ　耕作土

Ⅱ　2.5Y6/2 灰黄色粘土

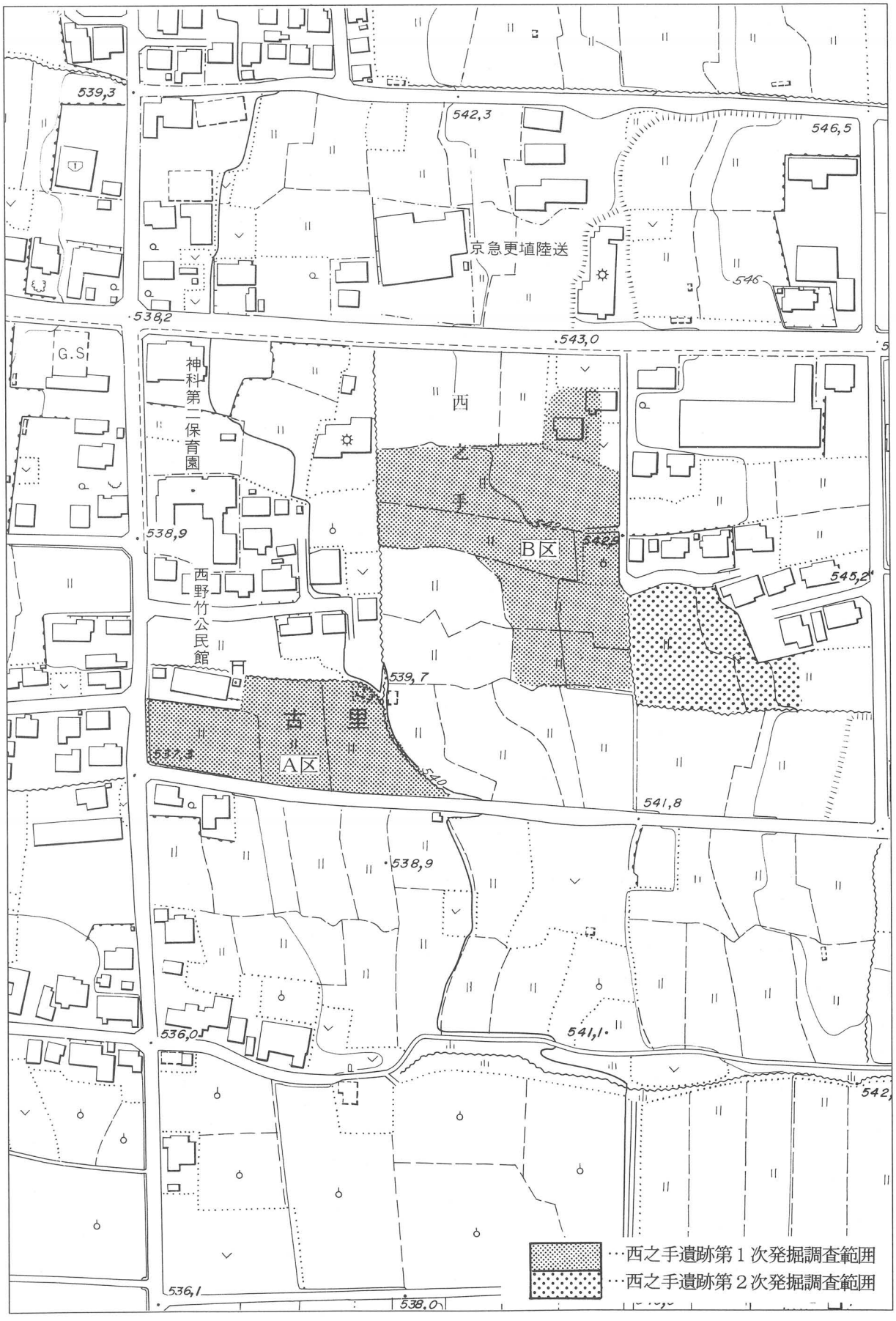
Ⅲ　2.5Y7/8 黄色粘土

Ⅳ　5Y5/1 灰色粘土

Ⅴ　2.5Y3/2 黒褐色粘質土

西之手遺跡の基本層序は、土層図に示すとおりである。

Ｂ区からＡ区にかけてなだらかに傾斜しているが、いずれの地区も土砂の堆積は少ない。表土を除去すると強粘土が現われ、その中に遺構が存在する。これは、染屋台がローム層の風化した強粘土で形成されているためである。遺構検出面は、Ａ区でＧＬ－４０cm前後、Ｂ区でＧＬ－３０cm前後である。



第２図　西之手遺跡位置図(1／2,500)

第 三 章　調査の結果

第1節　概　　要

西之手遺跡は、染屋台の中央部やや北寄りに位置しており、昭和５７～６１年度に実施された「創置の信濃国府跡推定地確認調査」においてその一部が調査された。特に、昭和６１年度の調査で確認された２棟の掘立柱建物跡は、今回の発掘調査区域内にある。この内容については、第一章第３節において簡単に触れた。

また、今回の報告の発掘調査区域の東側隣接地を平成９年度に「西之手遺跡第２次発掘調査」として実施した結果、古墳時代後期の所産と推定される掘立柱建物跡･溝跡等の遺構が検出されている。(『西之手遺跡Ⅱ』1998　上田市教育委員会)

西之手遺跡第１次発掘調査区域は、Ａ区からＢ区に向かって標高が徐々にあがっていく。方位でいうと南東から北西に向かっており、その比高差は海抜高５３７．３～５４２．０m間の４．７mをはかる。

検出された遺構は、竪穴住居跡１軒・掘立柱建物跡３８棟・溝跡９条・土壙８基・ピット２２９基である。うち、Ａ区の遺構は、竪穴住居跡１軒・溝跡３条・土壙２基・ピット３４基であり、Ｂ区の遺構は、掘立柱建物跡３８棟・溝跡６条・土壙６基・ピット１９５基である。

遺物は、溝跡を中心に古墳時代中・後期の土師器・須恵器が出土している。

第2節　検出された遺構と出土遺物

1　掘立柱建物跡

今回の調査の結果、３８棟の掘立柱建物跡が検出され、調査区域内の主要な部分を占めている。出土遺物量は微少で、図示できたものは古墳時代後期と推定される坏･甕･坩の７個体（第79図）であった。詳細なデータは、実測図･観察表を参照していただくこととし、ここでは、特徴的な建物跡･遺物について述べた後、概観してみたい。

特徴的な建物跡として、第１２･２０･２５･２７･３４号をあげる。

第１２号（第 17 図）は、桁行４間×梁行４間の大型の建物跡である。この建物跡内部には、４基のピットが確認された。このピットを束柱として考えると、全体あるいは部分的に床が存在した可能性が大きい。

第２０号（第 25 図）は、前回調査時点では、調査範囲の制約上規模の確定ができなか

遺構名	規模	桁行(m)	桁間	桁間(m)	梁行(m)	梁間	梁間(m)	面積(㎡)	主軸方向	*
第1号	5×4	1.40	5	7.00	1.60	4	6.40	44.80	N－39°－W	N－51°－E
第2号	2×1	1.82	2	3.64	2.64	1	2.64	9.61	N－50°－W	N－40°－E
第3号	2×1	1.68	2	3.35	3.40	1	3.40	11.39	N－54°－W	N－36°－E
第4号	2×1	1.80	2	3.60	3.10	1	3.10	11.16	N－37°－W	N－53°－E
第5号	2×2	2.54	2	5.07	1.63	2	3.26	16.53	N－13°－E	N－13°－E
第6号	3×3	1.74	3	5.24	1.45	3	4.36	22.85	N－84°－W	N－6°－E
第7号	3×1	1.83	3	5.48	4.00	1	4.00	21.92	N－3°－E	N－3°－E
第8号	3×1	1.70	3	5.11	3.90	1	3.90	19.93	N－3°－E	N－3°－E
第9号	3×1	1.47	3	4.40	3.75	1	3.75	16.50	N－3°－E	N－3°－E
第10号	2×2	1.64	2	3.28	1.62	2	3.23	10.59	N－58°－E	N－58°－E
第11号	2×1	1.60	2	3.20	3.15	1	3.15	10.08	N－83°－W	N－7°－E
第12号	4×4	1.88	4	7.50	1.75	4	7.00	52.50	N－3°－W	N－87°－E
第13号	4×3	1.60	4	6.40	1.90	3	5.70	36.48	N－3°－W	N－87°－E
第14号	2×1	2.05	2	4.10	3.40	1	3.40	13.94	N－56°－W	N－34°－E
第15号	2×1	2.03	2	4.06	3.68	1	3.68	14.94	N－21°－E	N－21°－E
第16号	1×1	3.14	1	3.14	2.60	1	2.60	8.16	N－68°－W	N－22°－E
第17号	2×1	1.87	2	3.73	3.10	1	3.10	11.56	N－23°－E	N－23°－E
第18号	4×4	1.60	4	6.40	1.50	4	6.00	38.40	N－8°－W	N－82°－E
第19号	3×2	1.58	3	4.75	1.95	2	3.90	18.53	N－20°－E	N－20°－E
第20号	3×2	1.64	3	4.93	1.94	2	3.87	19.08	N－84°－E	N－84°－E
第21号	1×1	3.05	1	3.05	1.80	1	1.80	5.49	N－10°－E	N－10°－E
第22号	2×1	1.80	2	3.60	3.10	1	3.10	11.16	N－82°－E	N－82°－E
第23号	2×2	1.14	2	2.27	1.80	2	3.60	8.17	N－75°－W	N－15°－E
第24号	2×1	1.57	2	3.15	3.04	1	3.04	9.58	N－16°－W	N－74°－E
第25号	4×3	1.25	4	4.98	1.48	3	4.44	22.11	N－25°－W	N－65°－E
第26号	2×3	1.95	2	3.90	1.30	3	3.90	15.21	N－76°－W	N－14°－E
第27号		1.65	5	8.24	2.00				N－30°－E	N－30°－E
第28号	3×3	1.66	3	5.00	1.53	3	4.60	23.00	N－10°－W	N－80°－E
第29号	3×3	1.87	3	5.60	1.37	3	4.10	22.96	N－85°－W	N－5°－E
第30号	2×1	1.45	2	2.89	2.66	1	2.66	7.69	N－82°－E	N－82°－E
第31号	3×1	1.23	3	3.70	3.00	1	3.00	11.10	N－30°－W	N－60°－E
第32号		1.60			1.50	2	3.00		N－82°－E	N－82°－E
第33号		1.67			1.45				N－64°－E	N－64°－E
第34号	2×2	1.79	2	3.57	1.72	2	3.44	12.28	N－23°－W	N－67°－E
第35号	2×1	2.66	2	5.32	4.05	1	4.05	21.55	N－63°－E	N－63°－E
第36号	2×1	1.85	2	3.70	3.09	1	3.09	11.43	N－45°－E	N－45°－E
第37号		1.50			3.80	1	3.80		N－42°－E	N－42°－E
第38号	1×1	2.86	1	2.86	2.80	1	2.80	8.01	N－72°－E	N－72°－E

第２表 掘立柱建物跡の値

ったが、今回の調査により３間×２間の入側柱式の建物であることが判明した。入側柱式の建物跡は第２０号のみであり、第１２号と同様に部分的に床が存在した可能性が大きい。遺物としては、前回調査時にＰ７から土製模造鏡（第127図-6）が出土している。この模造鏡が、地鎮のための鎮壇具である可能性が指摘されていることについては、前述のとおりである。

第２５号（第 30 図）は、桁行４間×梁行３間の側柱式の建物跡である。この建物跡の南辺では、柱穴が一直線上に並ばず、Ｐ１３・１４が外側に張り出している。これは、北辺と南辺の比高差が１２cmをはかるという地形の制約のためとも考えられる。しかし、第１８号においては、比高差が２４cm をはかっているにもかかわらず、柱穴が一直線上にならんでいるので、地形上の制約を受けている可能性は薄く、何らかの特定の機能があったと考えられる。また、Ｐ７・８は、Ｐ５・１に対応する控柱のような印象を受ける。だが、他の建物跡には、控柱の痕跡が確認できなかったため、この建物跡は、入側柱式的な要素を持つ可能性が強い。

第２７号（第 32 図）は、西側が調査区域外になってしまうため、規模の確定はできないが、５間×３間以上の大型の建物跡である。確認できた一辺も８．２４ｍをはかり、今回の区域内で最長である。柱穴の平面形態は、他の建物跡はほとんどが円形であるのに対して、Ｐ７を除いて楕円形を呈し、柱自体の掘り方も明確である。Ｐ６からは、臼玉（第128図-1･2）が２個出土した。

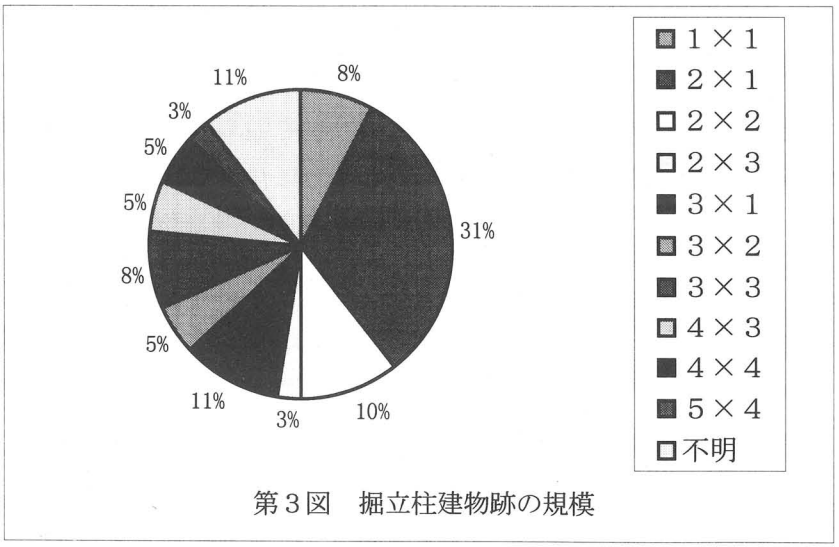
第３４号（第 39 図）は、桁行２間×梁行２間の側柱式の建物跡である。遺物としてＰ３・７からそれぞれ完形の小型甕・坩（第 79 図-6･7）が出土した。いずれも古墳時代後期の所産と推定される。遺物が完形で出土しているということは、この建物の廃絶時に埋められた可能性が非常に高い。この建物跡において、Ｐ３は北隅・Ｐ７は南隅に位置し、２基の柱穴が対角線上に存在することを考え合わせると興味深い。

さて、建物跡の概観であるが、規模･柱間の寸法･切り合い関係・主軸方向の４点について分析してみたい。

規 模	遺 構 名	計
１×１	第16･21･38号	3
２×１	第2･3･4･11･14･15･17･22･24･30･35･36号	12
２×２	第5･10･23･34号	5
２×３	第26号	1
３×１	第7･8･9･31号	4
３×２	第19･20号	1
３×３	第6･28･29号	3
４×３	第13･25号	2
４×４	第12･18号	2
５×４	第1号	1
不明	第27･32･33･37号	4

第３表　掘立柱建物跡の規模

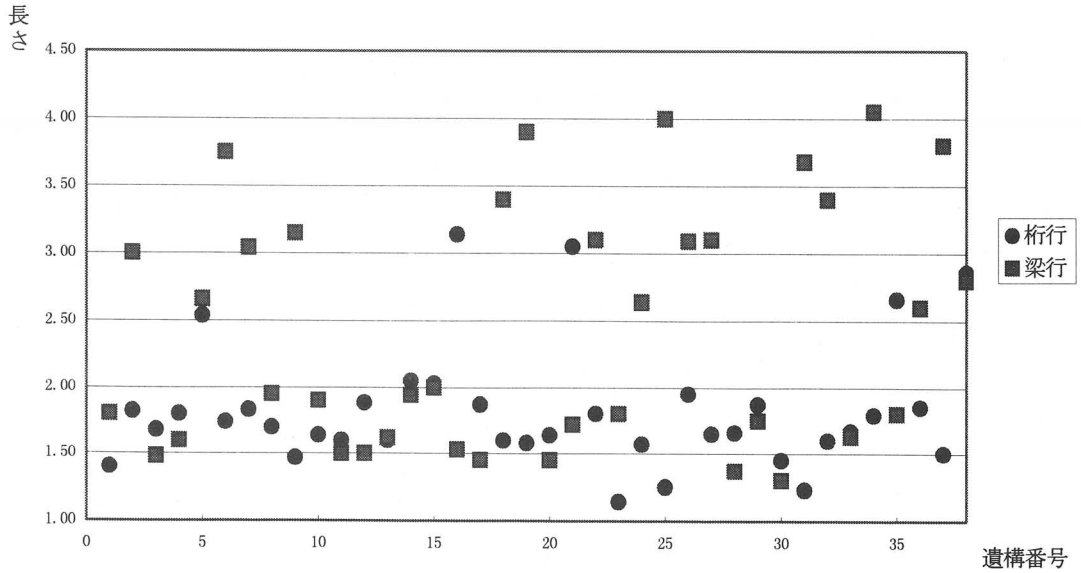
まず、規模については、第３表･第３図に示すとおりである。これらからわかることは、２間×２間以下の小規模の建物跡が全体の半分を占めるということである。特に、２間×１間の建物跡は全体の１／３を占める。また、２間×３間以上の建物跡の割合は、それぞれ１０%内外



第３図　掘立柱建物跡の規模

である。これは、２間×２間以下の小規模の建物跡が今回の発掘調査区域内で最も使用されていたことになる。一般的に掘立柱建物跡は、遺物等が少ないため、その用途を特定することは難しい。今回についても同様であるが、一般の竪穴住居跡とは、違いがあるということだけは確かである。

柱間の寸法は、桁行・梁行それぞれ１間の長さの散らばりを第４図に示した。



第６図　桁行・梁行の長さ

桁行は、ほぼ１．５０～２．００ｍに集中していることがわかる。さらに、この範囲の中でいうと１．６０ｍ付近と１．８０ｍ付近に集中するといえないこともない。梁行になると、そのばらつきは、さらに顕著になり１．５０～２．００ｍ、３．００～４．００ｍの範囲にピークがきている。また、１１・１３～１５・３３・３８号は、桁行・梁行の長さはほぼ一致している。これらから、１間の長さの基準が１．５０～２．００ｍの範囲にあるのではないかと推定される。

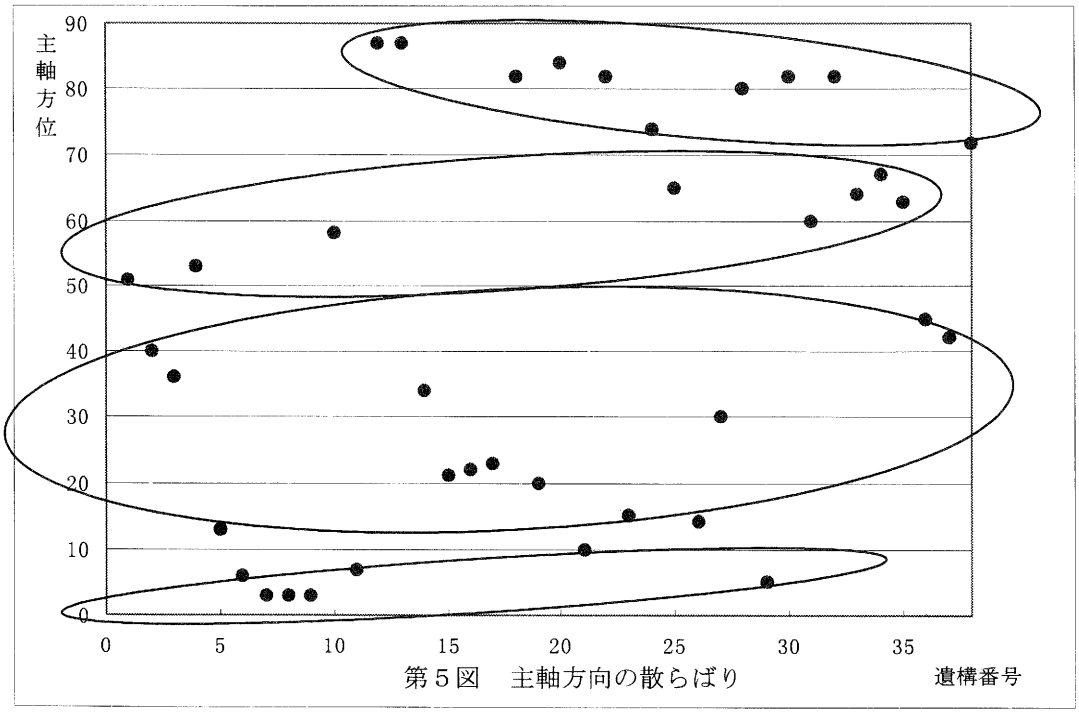
切り合い関係は、建物跡同士では第１号と第２号、第１３号と第１５号、第２１号と第

	新	旧
遺構名	ＳＴ－22	ＳＴ－21
	ＳＴ－23	ＳＴ－24
	ＳＴ－18	ＳＤ－08
	ＳＤ－04	ＳＴ－27
	ＳＤ－04	ＳＴ－37

第４表　切り合いの新旧関係

２２号、第２３号と第２４号の４ヵ所、建物跡と溝跡では第１８号と第８号溝跡、第２５号と第８号溝跡、第２７号と第４号溝跡、第３７号と第４号溝跡の５ヵ所認められた。この新旧関係について明確なものは、第４表に示すとおりである。これ以外の切り合い関係について新旧を明確にすることは、遺物等が少なく妥当性を欠く可能性が大きいので取り扱わない。

主軸方向は、国家座標の北と桁行方向のなす角度であらわしているので比較しにくいた



第５図　主軸方向の散らばり

め、ここでは北から東に傾いているものはそのまま使用し、西に傾いているものは９０°加算したものを使用した。これらをまとめたものを第２表の＊欄及び第５図に示した。第５図によると主軸方向は、まんべんなく分散している。そのなかで主軸方向が集中する箇所を中心に４群に分類してみたい。４群の内訳は、Ｎ－３～１０°－ＥをⅠ群(第６～９・１１・２１・２９号)、Ｎ－１３～４５°－ＥをⅡ群(第２・３・５・１４～１７・１９・２３・２６・２７・３６・３７号)、Ｎ－５１～６７°－ＥをⅢ群(第１・４・１０・２５・３１・３３～３５号)、Ｎ－７２～８７°－ＥをⅣ群(第１２・１３・１８・２０・２２・２４・２８・３０・３２・３８号)とした。各群の特徴は次に示すとおりである。

Ⅰ群は、第６～９号が主要な構成要素である。第７～９号については、同規模の建物跡が同一の主軸方向で北から南に並び、その北側に第６号が配置されている。このため、関連した遺構と考えられ、注目される。Ⅱ群は、主に第５号溝跡の南側にそって配置されて

いる。Ⅲ群は、第１２・１３・１８号が主要な構成要素である。いずれも４間×３間以上の建物跡であり、その機能は、注目される。Ⅳ群は、調査区全体に散在しているため、その規格性は薄い。

さて、各群の時期であるが、遺物が非常に少ないため、遺構の切り合い関係に限定して検討してみたい。第４表の第２１号と第２２号、第２３号と第２４号からそれぞれⅠ群よりⅡ群が新しく、Ⅱ群よりⅢ群が新しい。このため、Ⅰ群が最も古くⅡ群、Ⅲ群と新しくなると考えられる。Ⅳ群の時期については、不明である。

なお、各群の角度の範囲は、７°～３２°とばらつきがあるため、今後の調査の進展により更に精密な分類が期待される。

以上、掘立柱建物跡について簡単に概観した。

２　竪穴住居跡

第１号竪穴住居跡（第 44 図）は、南側１／４が撹乱を受けているため平面形態は不明であるが、北側部分と考え合わせると隅丸長方形と思われる。火処は確認できなかった。

遺物（第 81 図）は、床付近と遺構検出面付近の２ヵ所から主に出土し、前者より弥生時代後期から古墳時代初頭の所産と思われる甕・台付甕・甑・高坏等が、後者より古墳時代後期の所産と思われる甕・坏・高坏等が出土した。

本住居跡の所産期は、床付近からの遺物からみて弥生時代後期から古墳時代初頭と考えられ、他の時代の遺物は他所からの流れ込みと推定される。

第２号竪穴状遺構（第 45 図）は、調査開始当初は竪穴住居跡として考えていた。しかし、遺構を掘り上げた結果、床面が確認できず、平面プランも一定しないため、竪穴住居跡としての可能性は薄いと判断し、竪穴状遺構として報告した。

遺物は、土師器の小破片が十数点出土している。

３　溝跡

今回の調査により、溝跡は９条確認された。このうち、第７～９号については遺構全体を調査できたが、その他については一部の確認にとどまった。

第１・３・４号（第 46･47･52 図）は、遺構の一部のみの調査であるため、その性格付けは難しい。遺物としては、第１・４号（第 82･102 図）についてのみ図示できた。いずれも古墳時代後期の所産と推定される。なお、第１号から管玉２点、石製模造品１点（第 128 図 3･4･6）が出土した。

第７～９号（第 58･53･77 図）は、いずれも自然遺構と思われる。第７・８号の存在する場所は、小規模な段丘の裾にあたり、降水があったときに機能したと考えられる。遺物（第 121･122 図）は、いずれも古墳時代後期の所産と推定される。

第２号（第 48～51 図）は、Ａ区西部を北東から南西へ横切っており、約２７ｍの長さにわたって検出された。最大幅４．８０ｍ、溝底の比高差は海抜高５３７．００～５３６．４７ｍ間の０．５３ｍ、その深さは北半で６４㎝、南半で４４㎝ をはかる。そのプランは一定せず、南東にいくにしたがって幅は狭くなる。溝底には大小の円礫が存在し、覆土の観察所見とあわせると、本遺構の機能時には水流があったことが推定される。遺物（第 83～101 図）は、坏・甕を中心として他に高坏・坩・鉢等が出土した。その所産期は、古墳時代中期が中心と考えられる。なお、第 48 図中に示した三十数点の一括土器は、覆土の４層下部より出土し、それと同じ高さで大小の円礫を多数確認した。また大部分の土器が４層を中心に出土した。

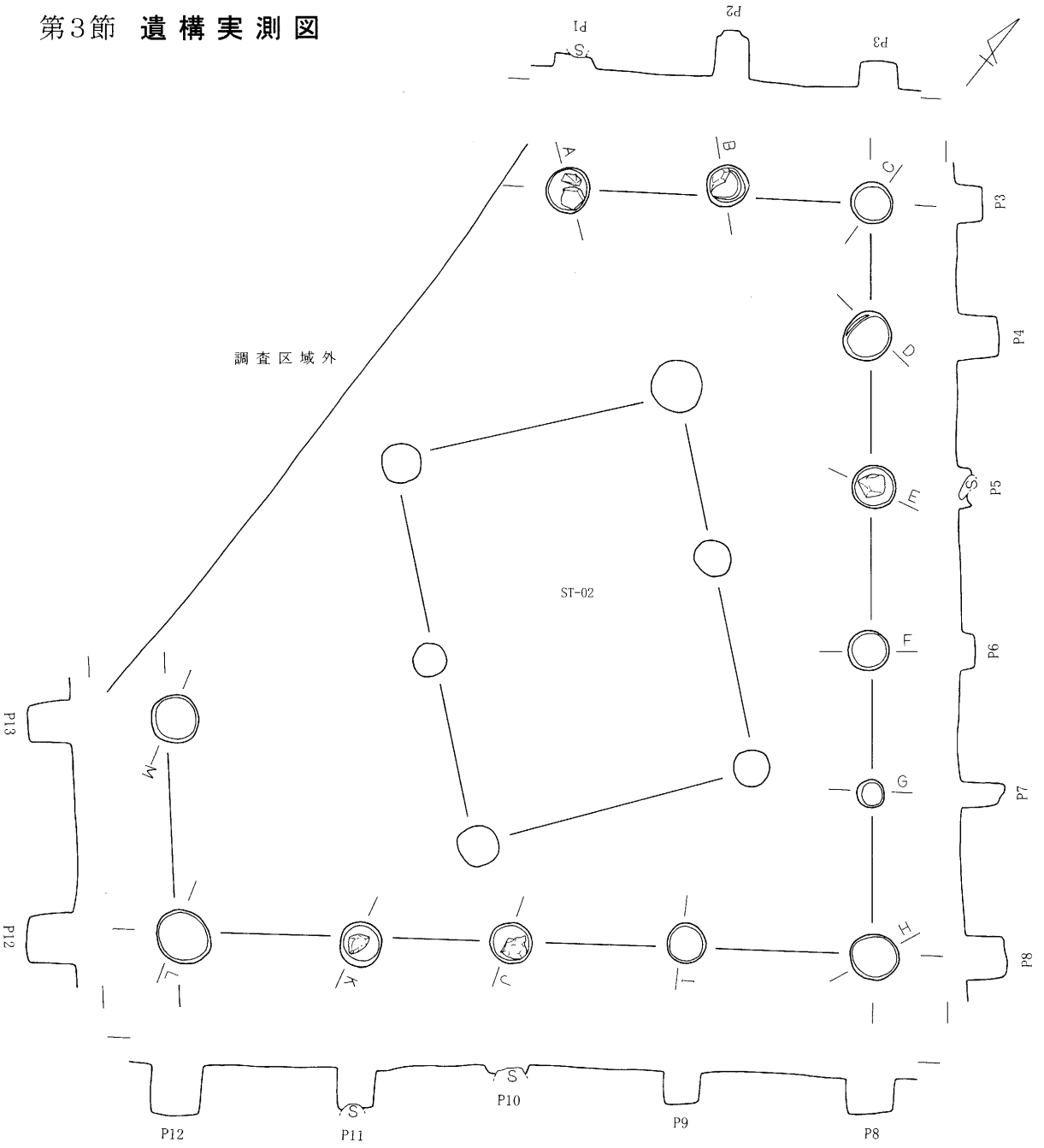
第５号（第 54～56 図）は、Ｂ区北部を東から西へ横切っており、約７０ｍの長さにわたって検出された。最大幅７．２０ｍ、溝底の比高差は海抜高５４１．２５～５４０．６７ｍ間の０．５８ｍ、その深さは西半で５２㎝、東半で４４㎝ をはかる。覆土の観察所見から考えると、本遺構の機能時には水流があり、その流れも何度か変更している。この変更の要因は、プランが一定しないため、自然的要因である可能性が高い。溝底には、東から約２５ｍにわたって大小の円礫が多数確認されたが、そこから西側については、ほとんど礫は確認されなかった。遺物（第 103～117 図）は、坏・甕を中心に高坏・坩等が多数出土した。その所産期は古墳時代後期前半が中心と考えられる。また、匙形土製品２点（第 127 図-1･2）・管玉１点（第 128 図-5）が出土した。遺物の大部分は、溝底に礫のないところからの出土であり、そのほとんどが破片としての出土であった。出土した坏の中に、体部に稜を持つもの（第 105 図-46～57）があるため、本遺構の機能は第２号に比べると新しい時期まで残ると推定される。なお、西之手遺跡第２次調査で検出した第１号溝跡と本遺構が接続する可能性が想定される。

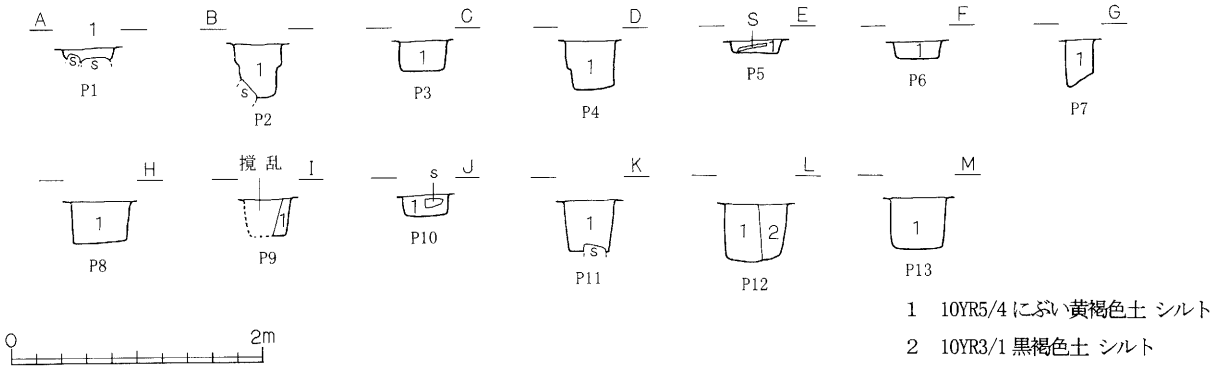
第６号（第 57 図）は、Ｂ区西部を北から南へ横切っており、約３６ｍの長さにわたって検出された。最大幅１．９６ｍ、溝底の比高差は海抜高５４０．８０～５４０．１４ｍ間の０．６６ｍ、その深さは北半で９㎝、南半で２９㎝ をはかる。そのプランは、北半部でクランク状を呈する場所が１ヵ所存在し、中央部で南西方向と南方向の２又に別れる。南方向へ向かうものは南端で消滅してしまうため、南西方向へ向かうものが本流と推定される。溝底には、円礫が数ヵ所に確認された。水流は、北端に水源となるものが皆無のため、降水のあったときにのみ存在したと考えられる。本遺構は、自然的要因ではできにくいクランク状を呈する箇所があるため、人為的に作られた可能性が強い。位置的関係から考えると２号と接続する可能性も考えられる。遺物（第 118～120 図）は、古墳時代中･後期の所産と思われる坏・甕等が出土した。

4　土壙

第１～８号（第 59 図）は、規模・配置とも規格性が薄く、遺構の性格は不明である。遺物は、土師器・須恵器の小破片が大部分であり、第７号から出土した坏(第 123 図)のみ図示した。

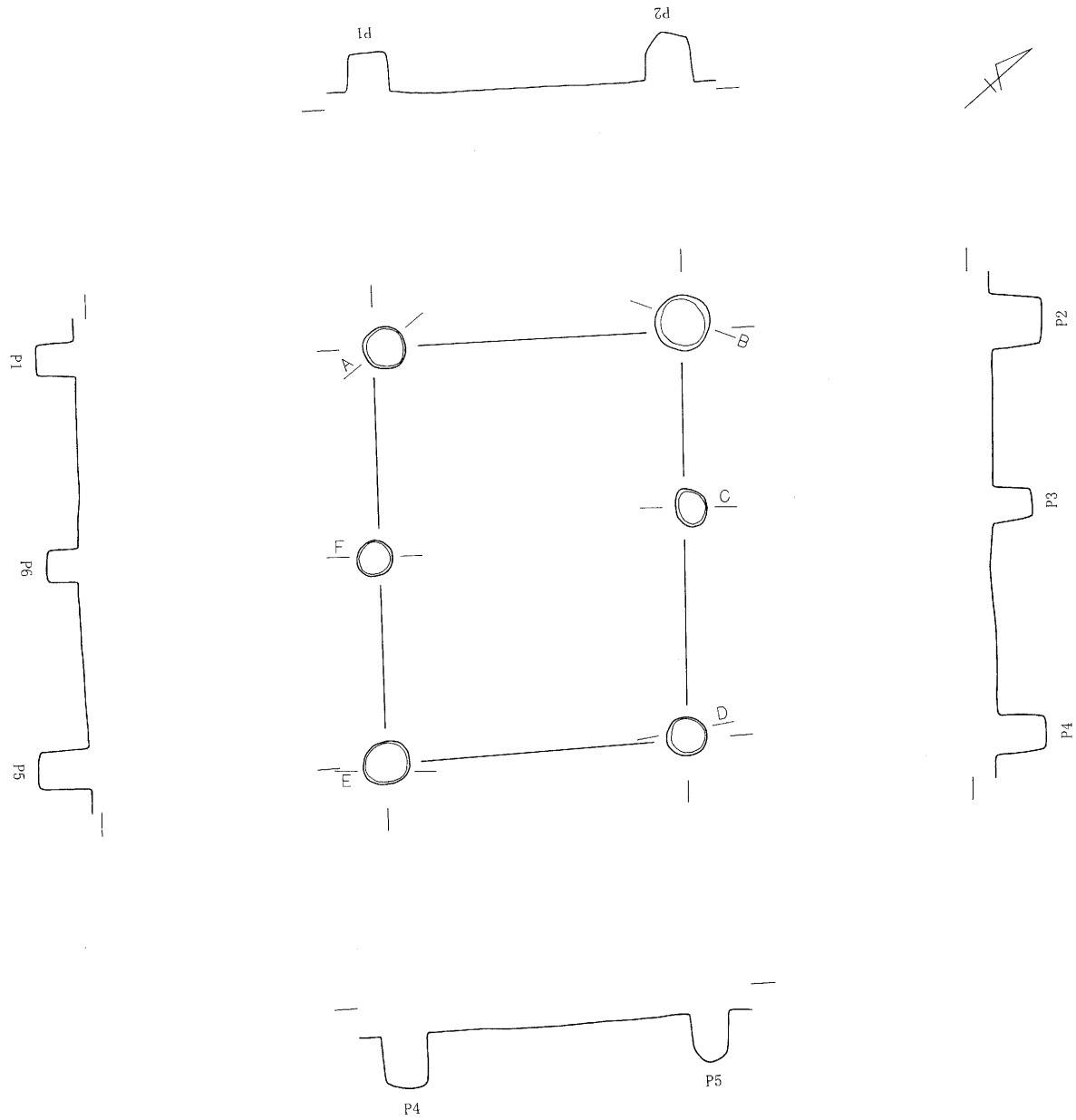
第3節　遺構実測図

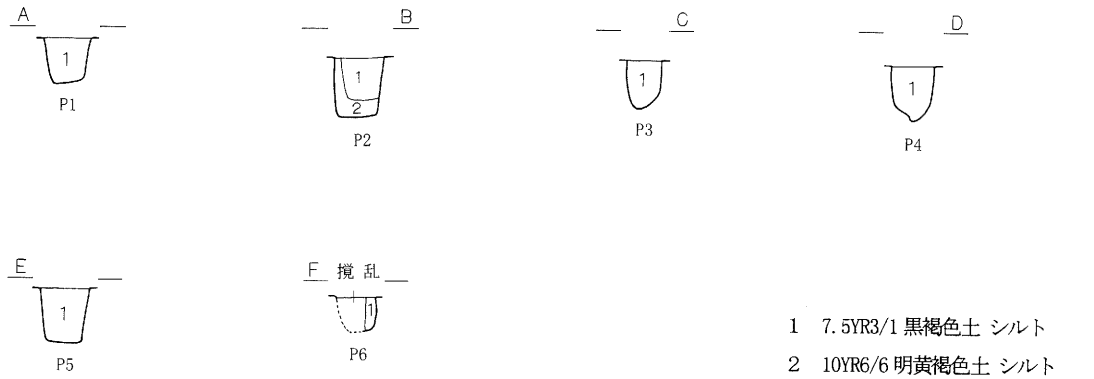




1　10YR5/4 にぶい黄褐色土 シルト
2　10YR3/1 黒褐色土 シルト

第６図 第１号掘立柱建物跡実測図



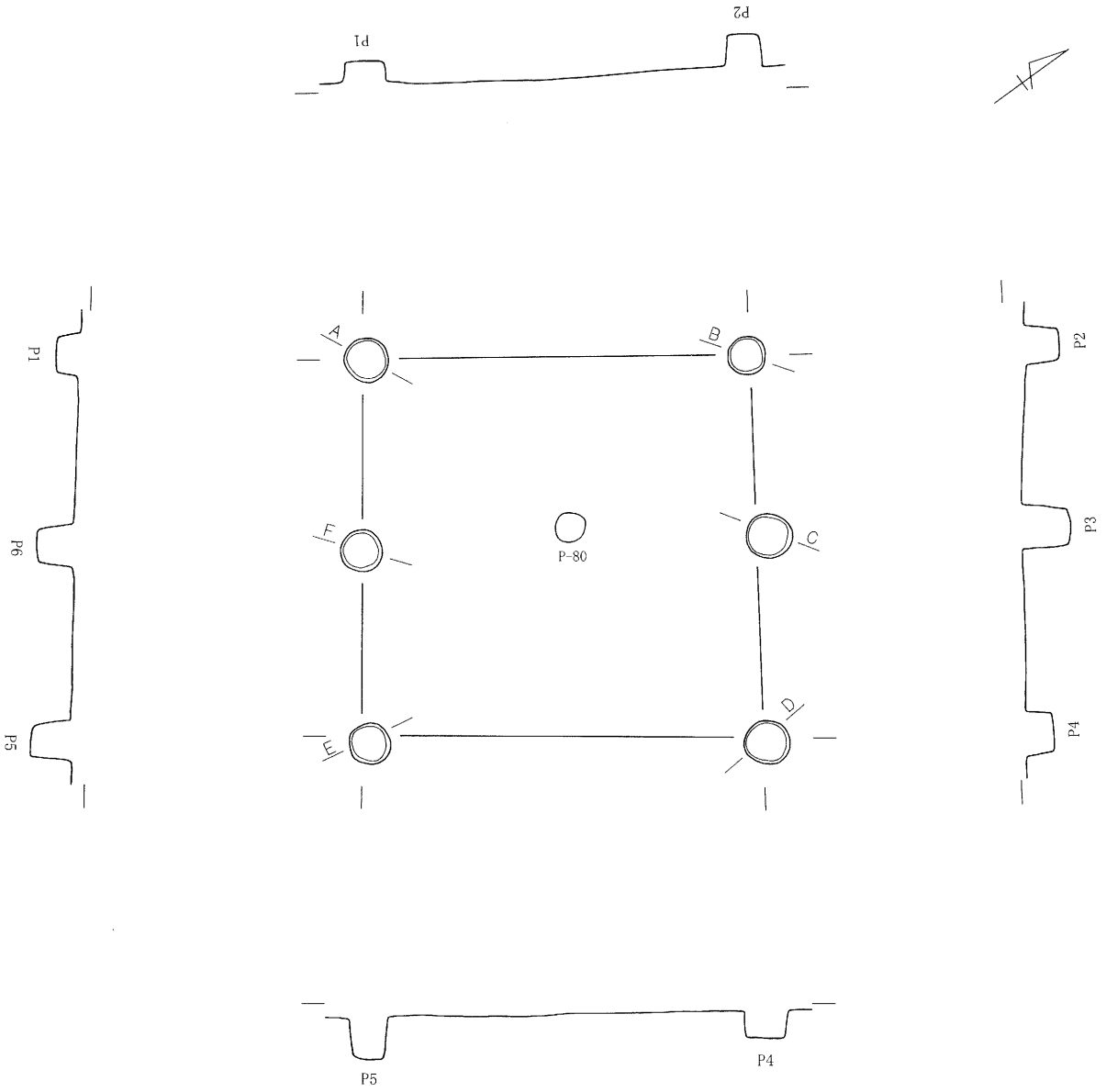


1　7.5YR3/1 黒褐色土 シルト

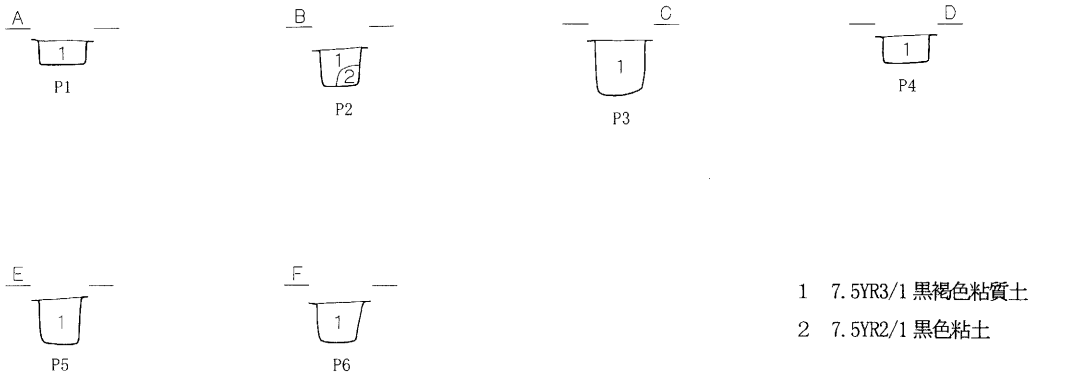
2　10YR6/6 明黄褐色土 シルト

0　2m

第７図 第２号掘立柱建物跡実測図



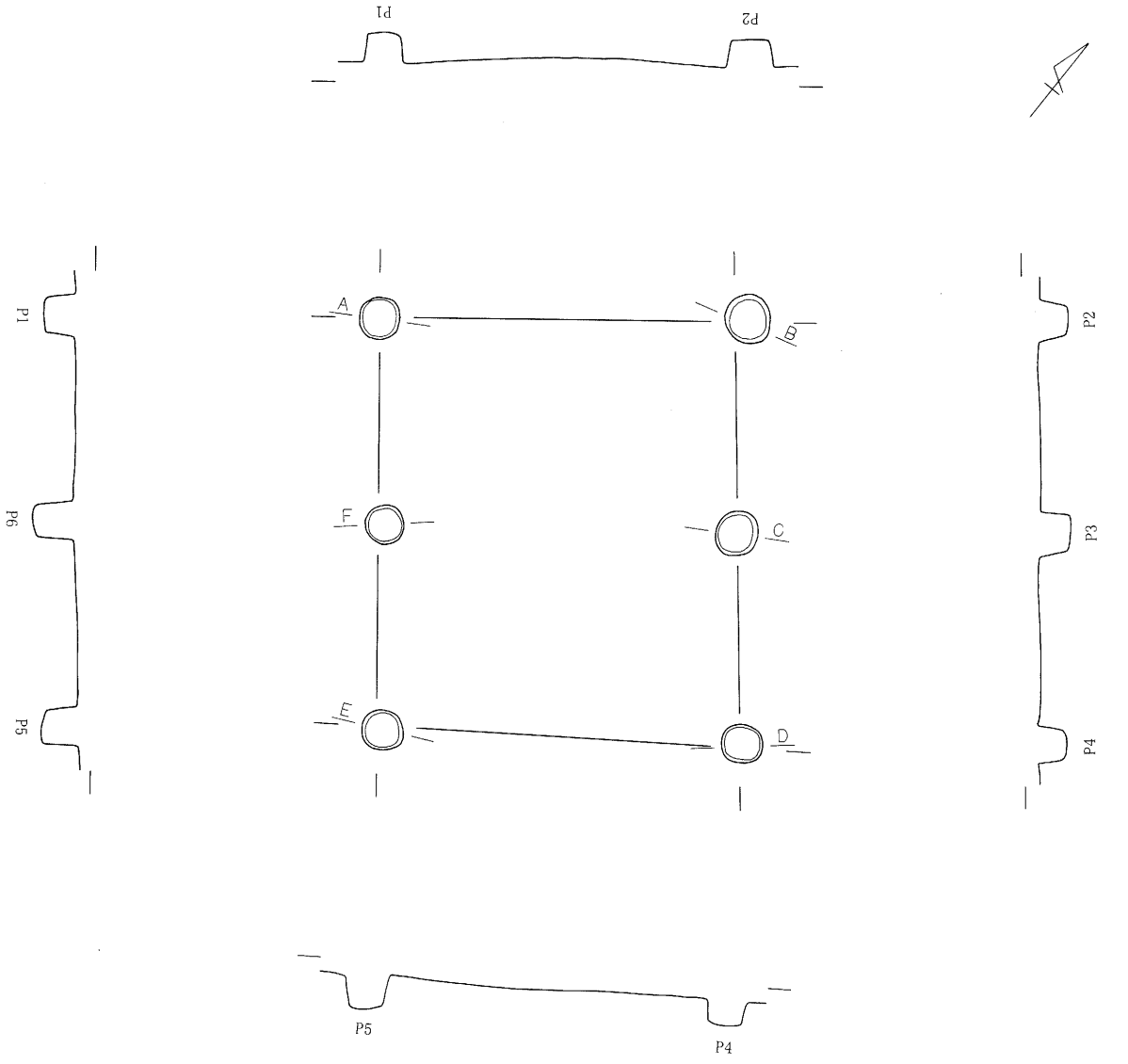
水準値：541.00



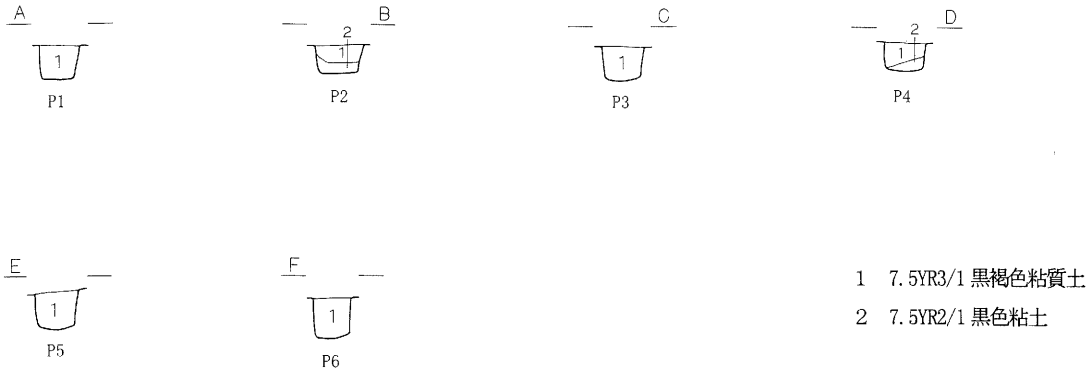
1　7.5YR3/1 黒褐色粘質土
2　7.5YR2/1 黒色粘土

0　2m

第８図　第３号掘立柱建物跡実測図



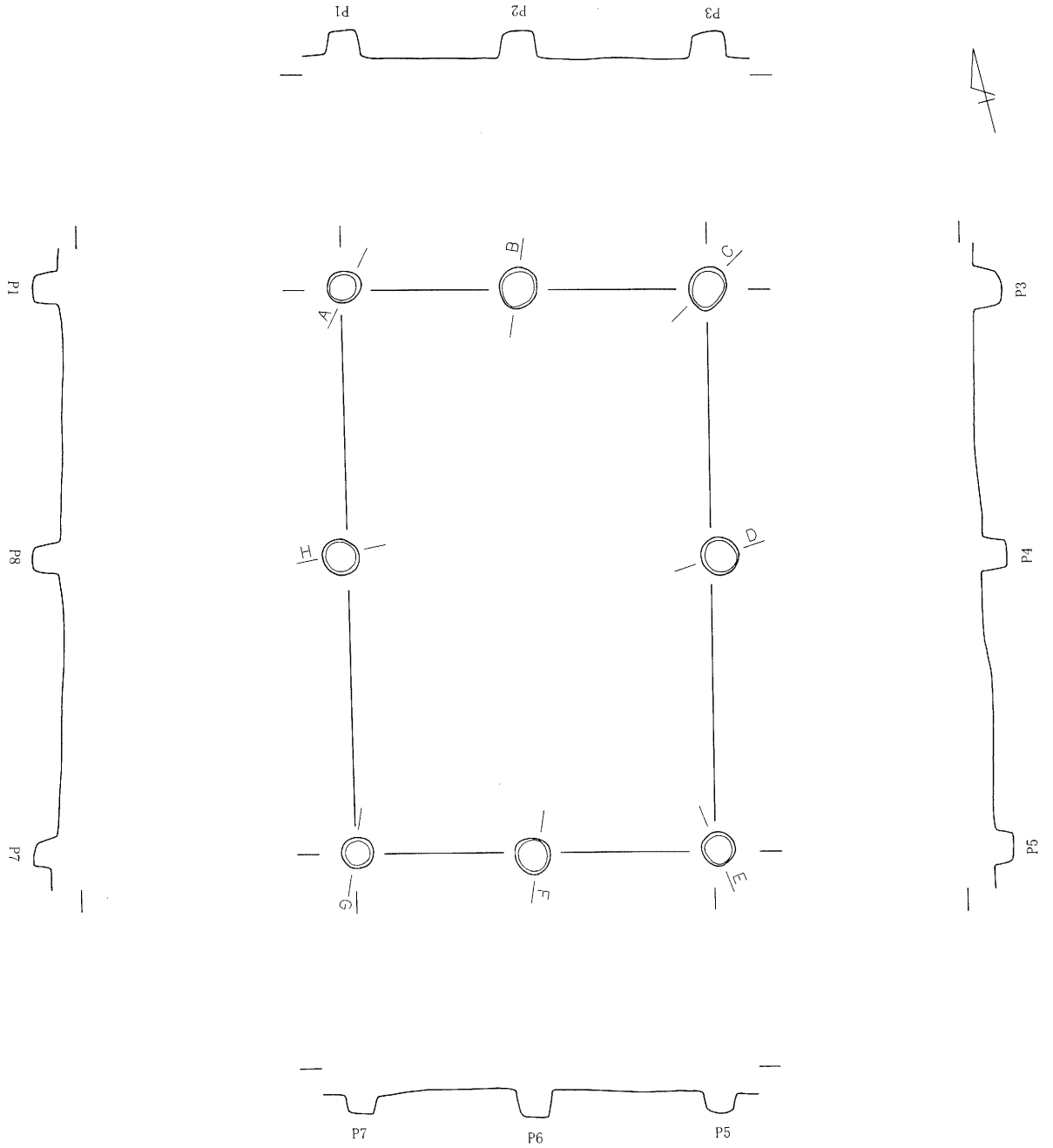
水準値：541.00



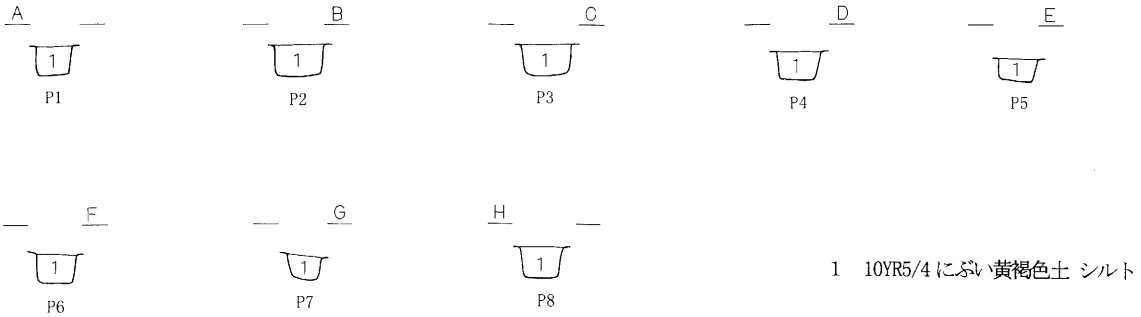
1　7.5YR3/1 黒褐色粘質土
2　7.5YR2/1 黒色粘土

0　2m

第９図 第４号掘立柱建物跡実測図



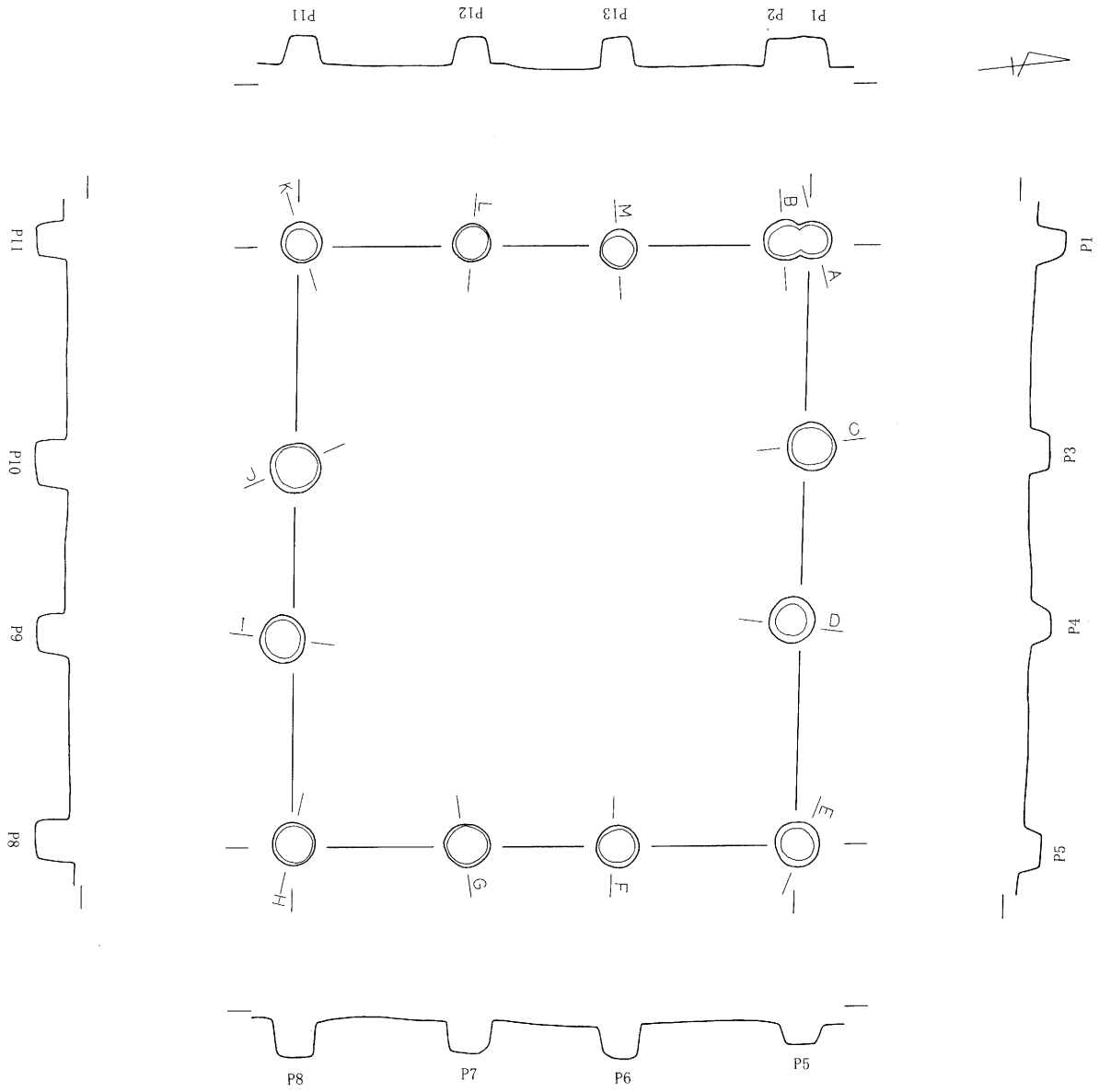
水準値：540.90



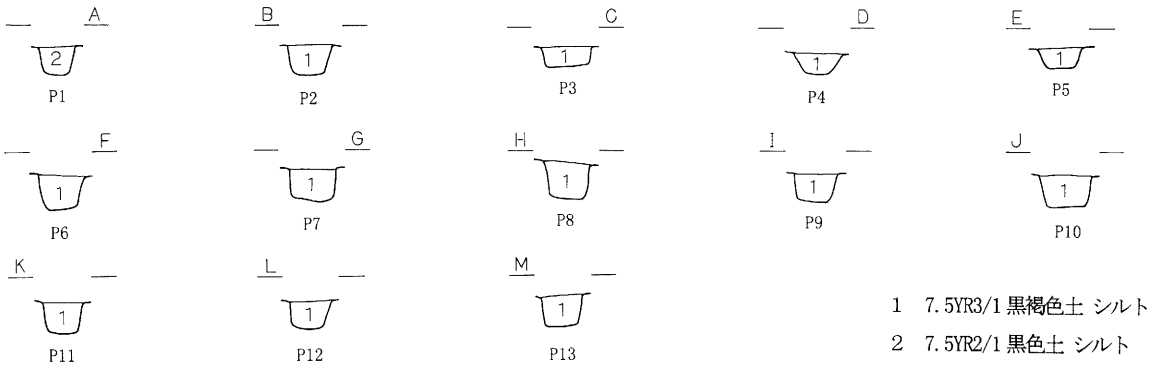
1　10YR5/4 にぶい黄褐色土 シルト

0　2m

第10図 第５号掘立柱建物跡実測図



水準値：541.10

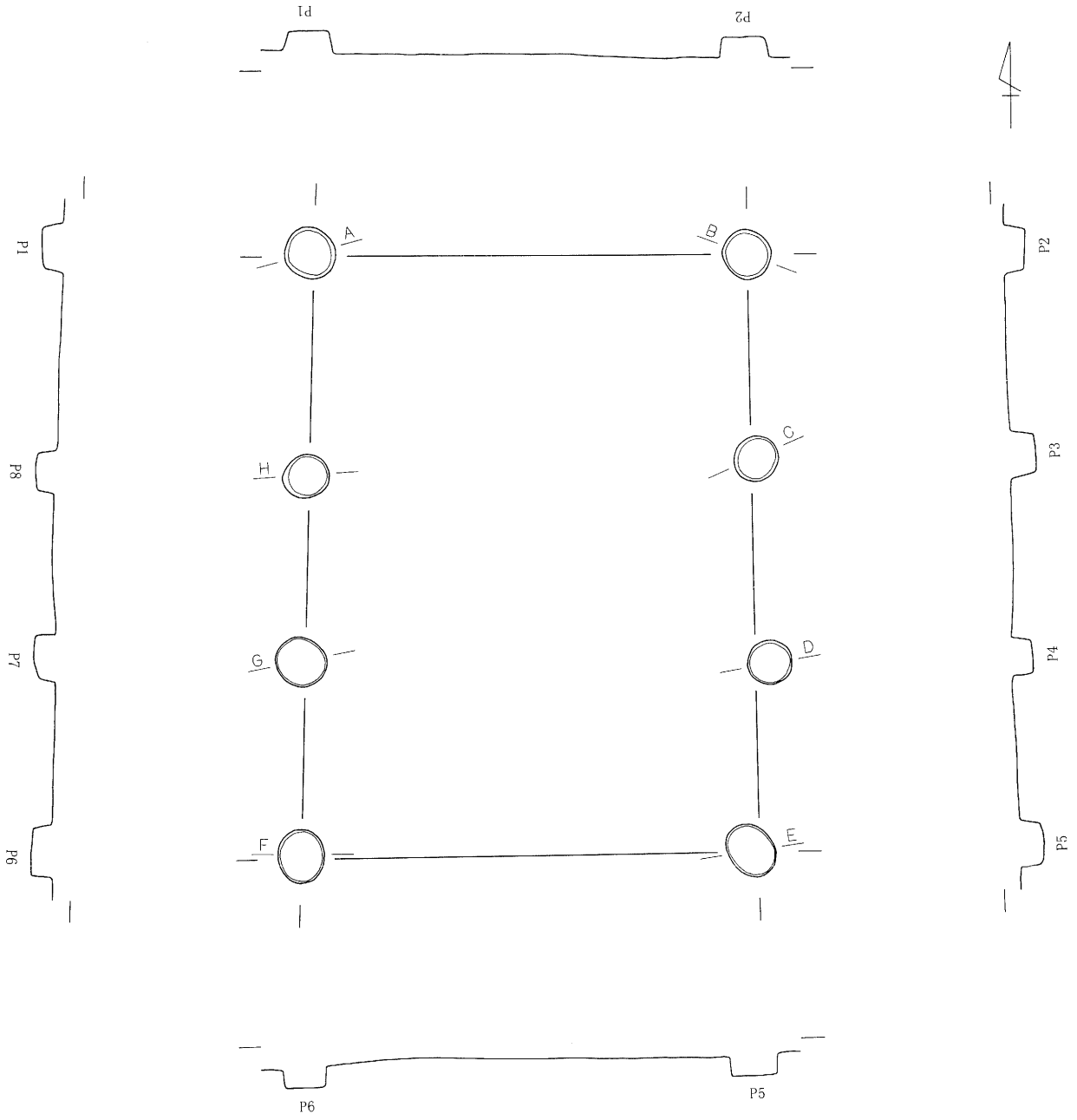


1　7.5YR3/1 黒褐色土 シルト

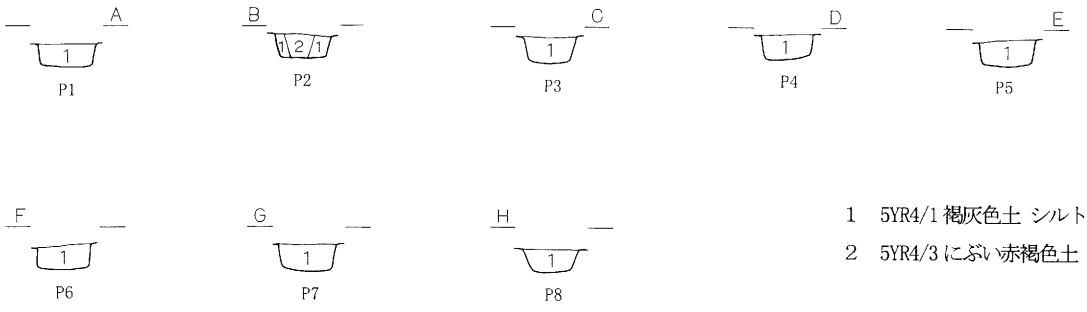
2　7.5YR2/1 黒色土 シルト

0　2m

第11図 第６号掘立柱建物跡実測図



水準値：541.00

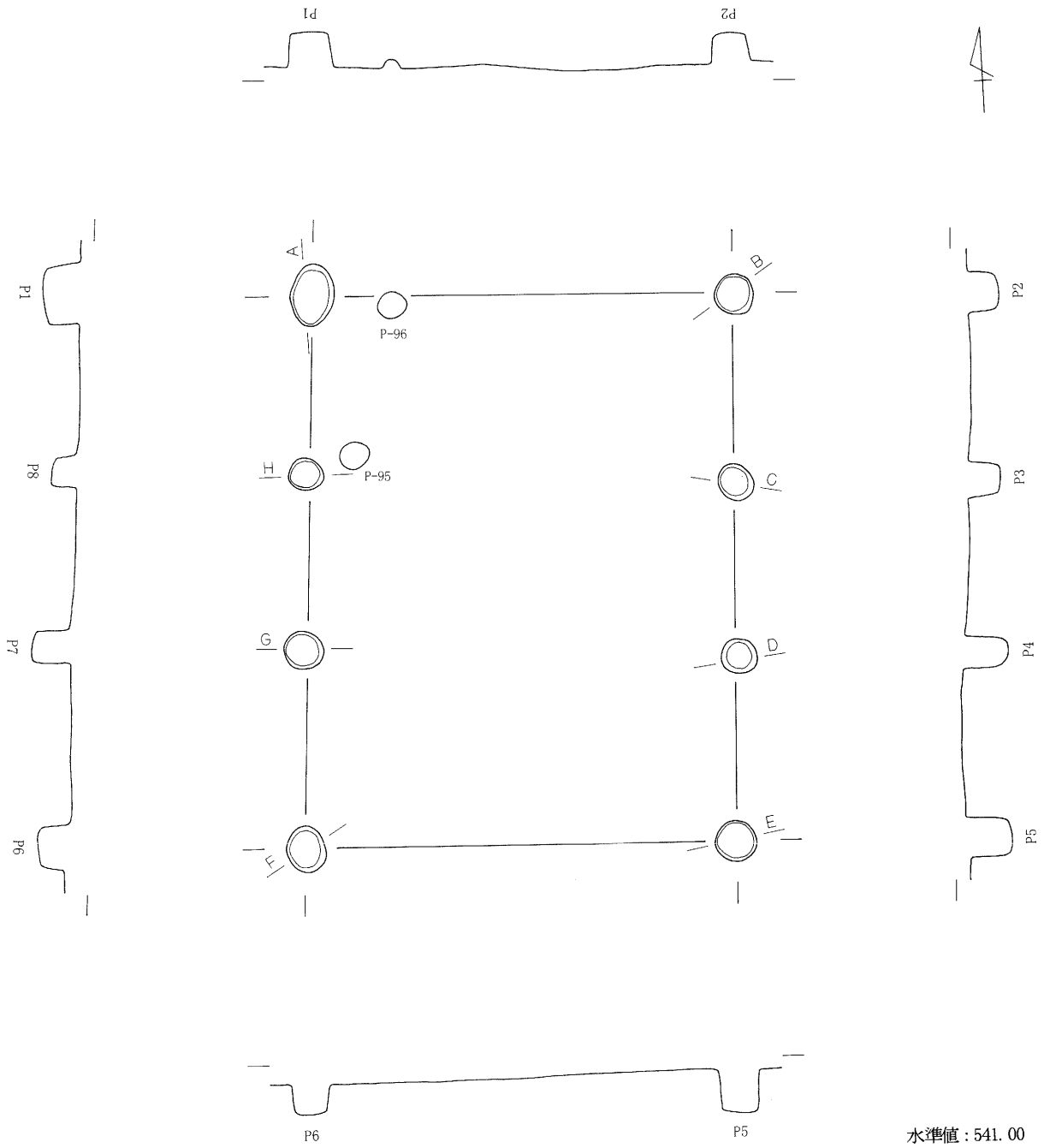


1　5YR4/1 褐灰色土 シルト

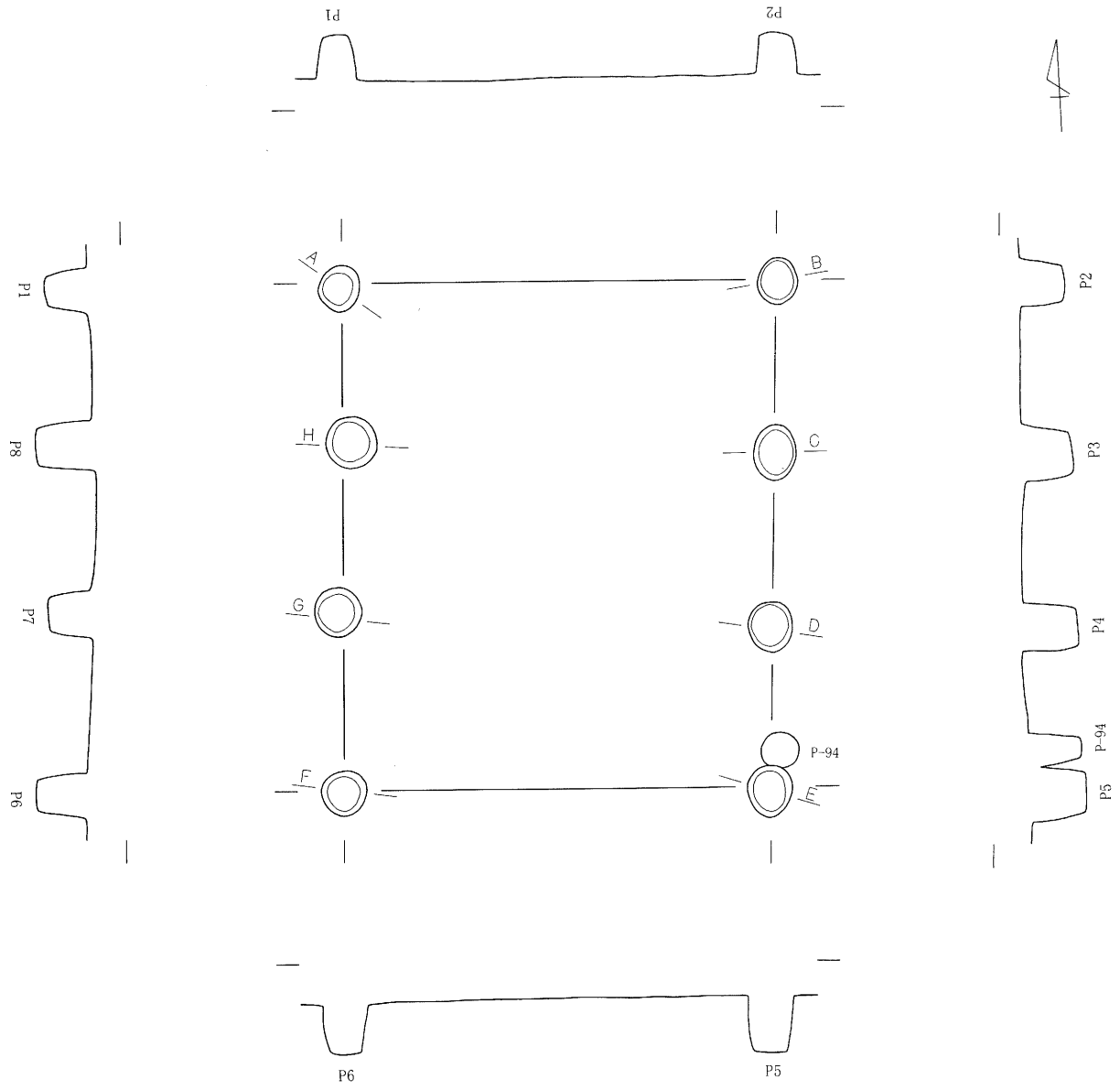
2　5YR4/3 にぶい赤褐色土 シルト

0　2m

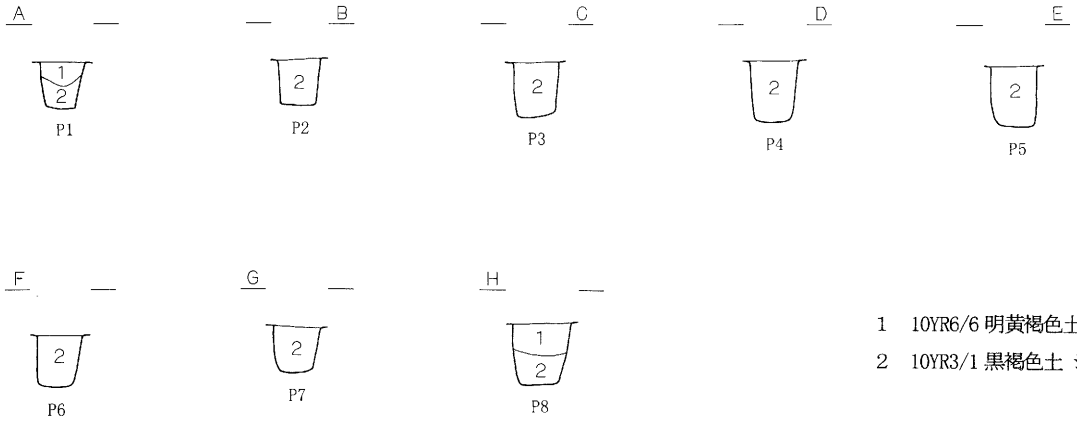
第12図 第７号掘立柱建物跡実測図



第13図 第８号掘立柱建物跡実測図



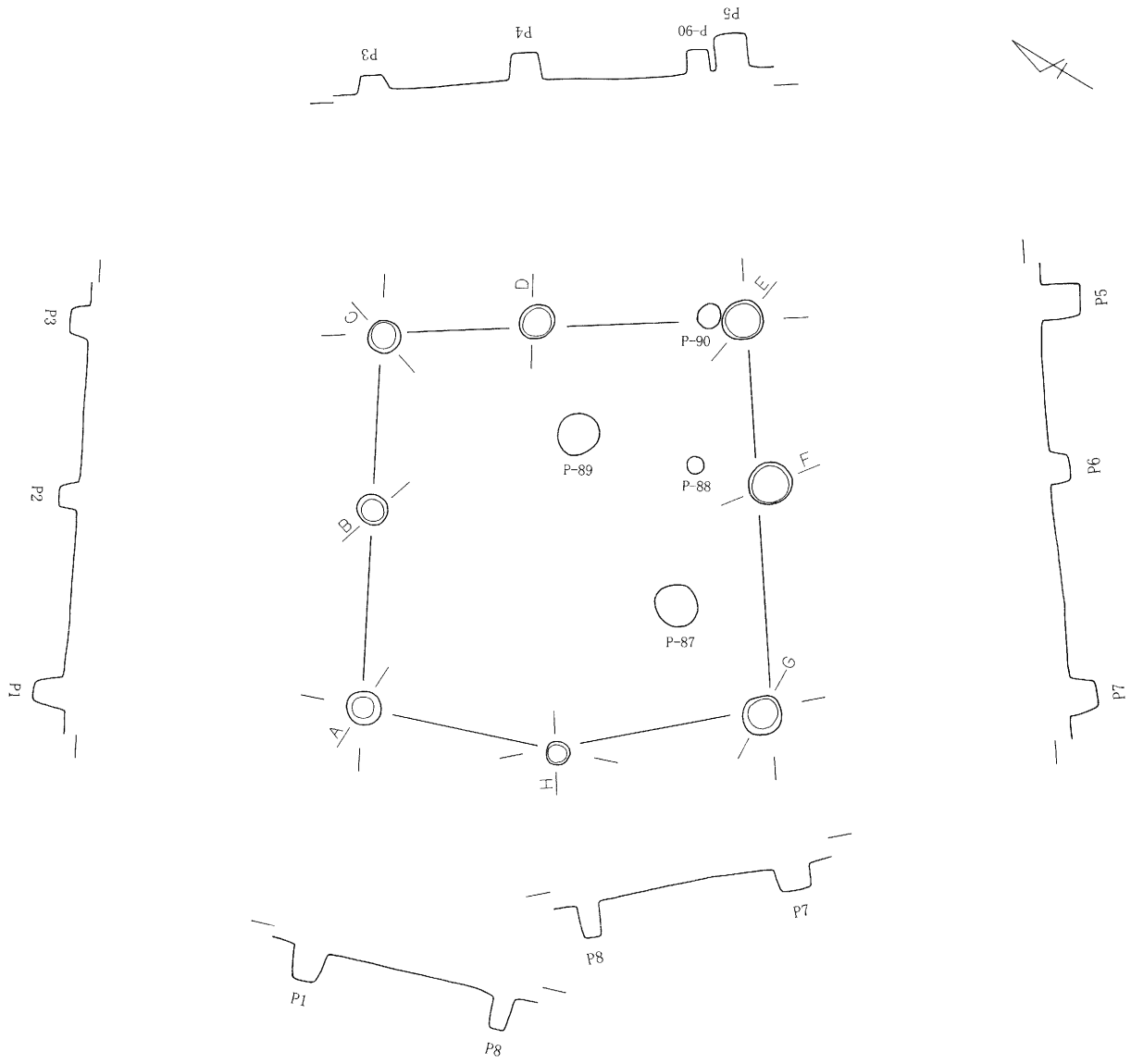
水準値：541.00



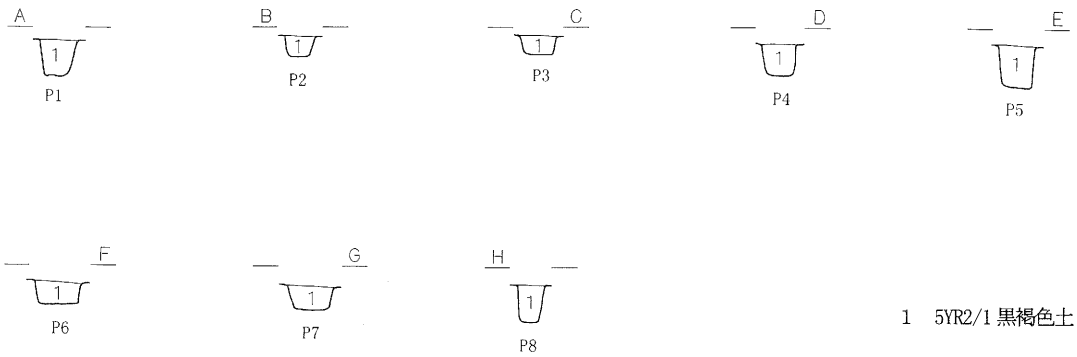
1　10YR6/6 明黄褐色土 シルト
2　10YR3/1 黒褐色土 シルト

0　2m

第14図 第９号掘立柱建物跡実測図



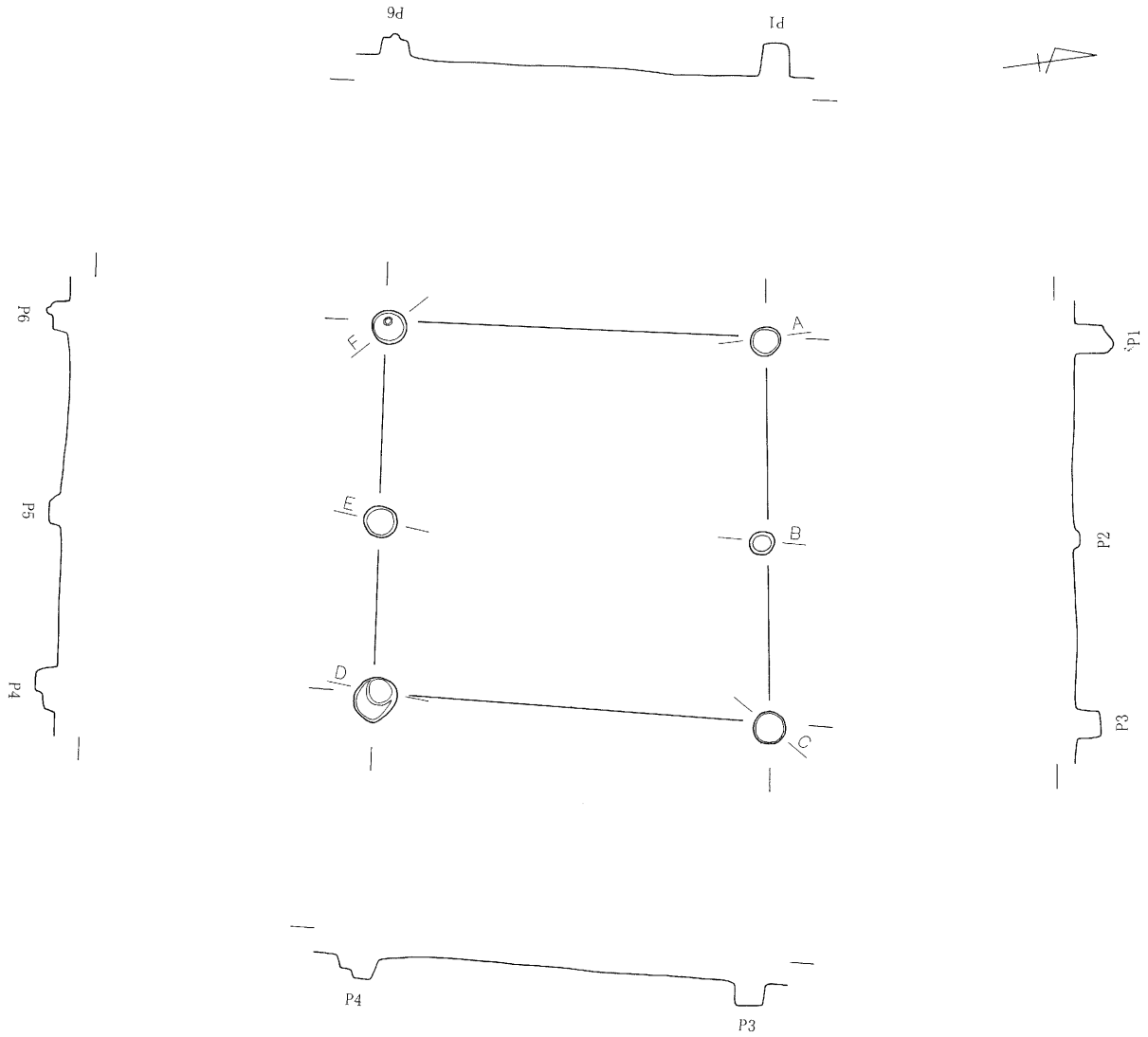
水準値：540.70



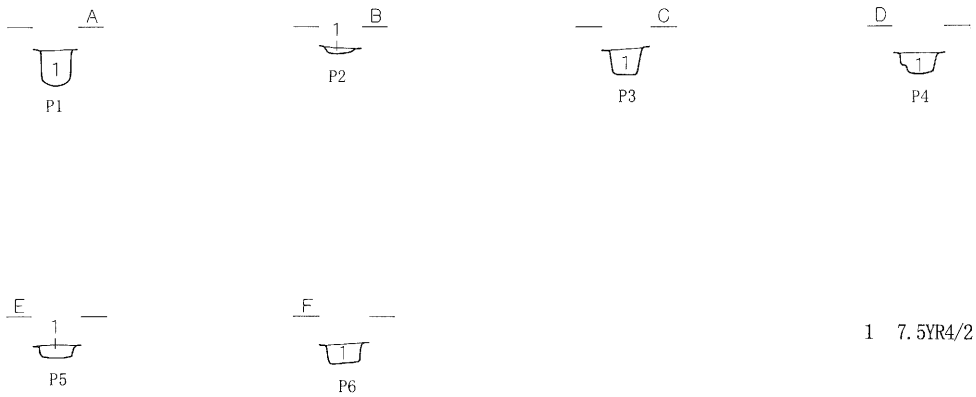
1　5YR2/1 黒褐色土 シルト

0　2m

第15図 第10号掘立柱建物跡実測図



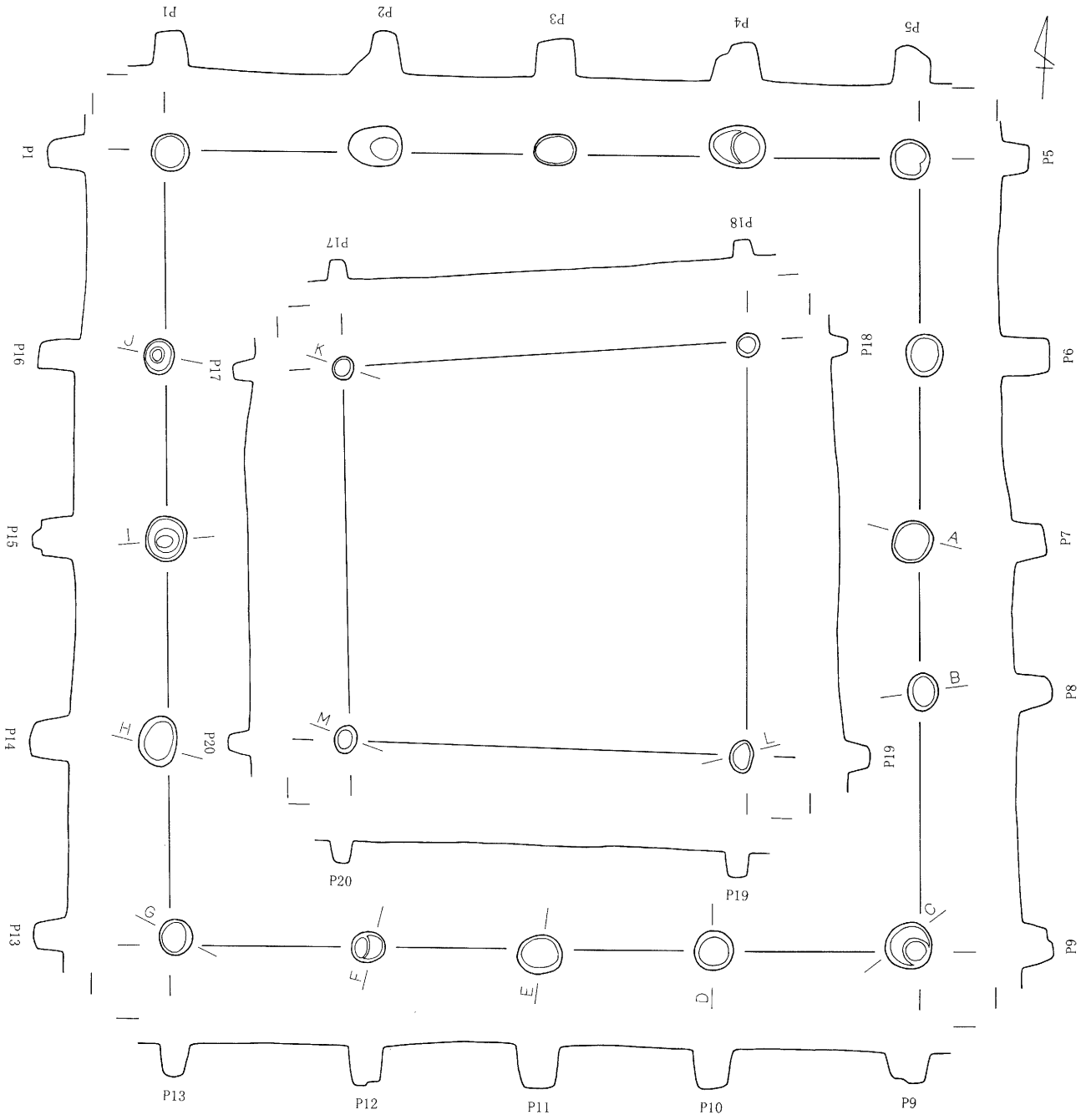
水準値：540.80



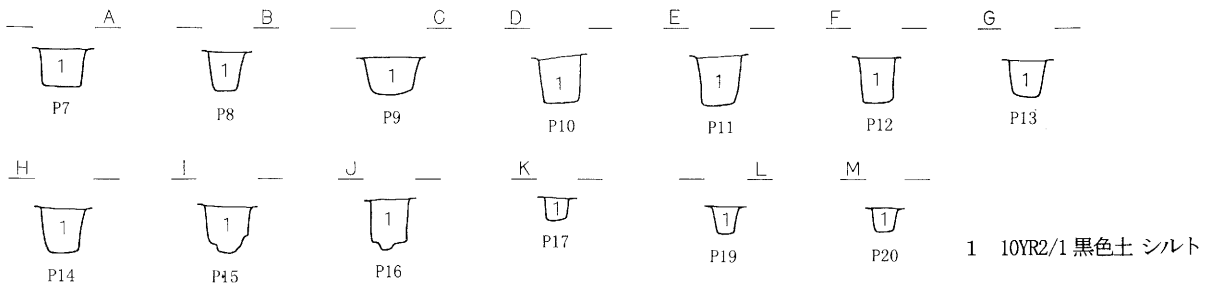
1　7.5YR4/2 灰褐色粘質土

0　2m

第16図　第11号掘立柱建物跡実測図



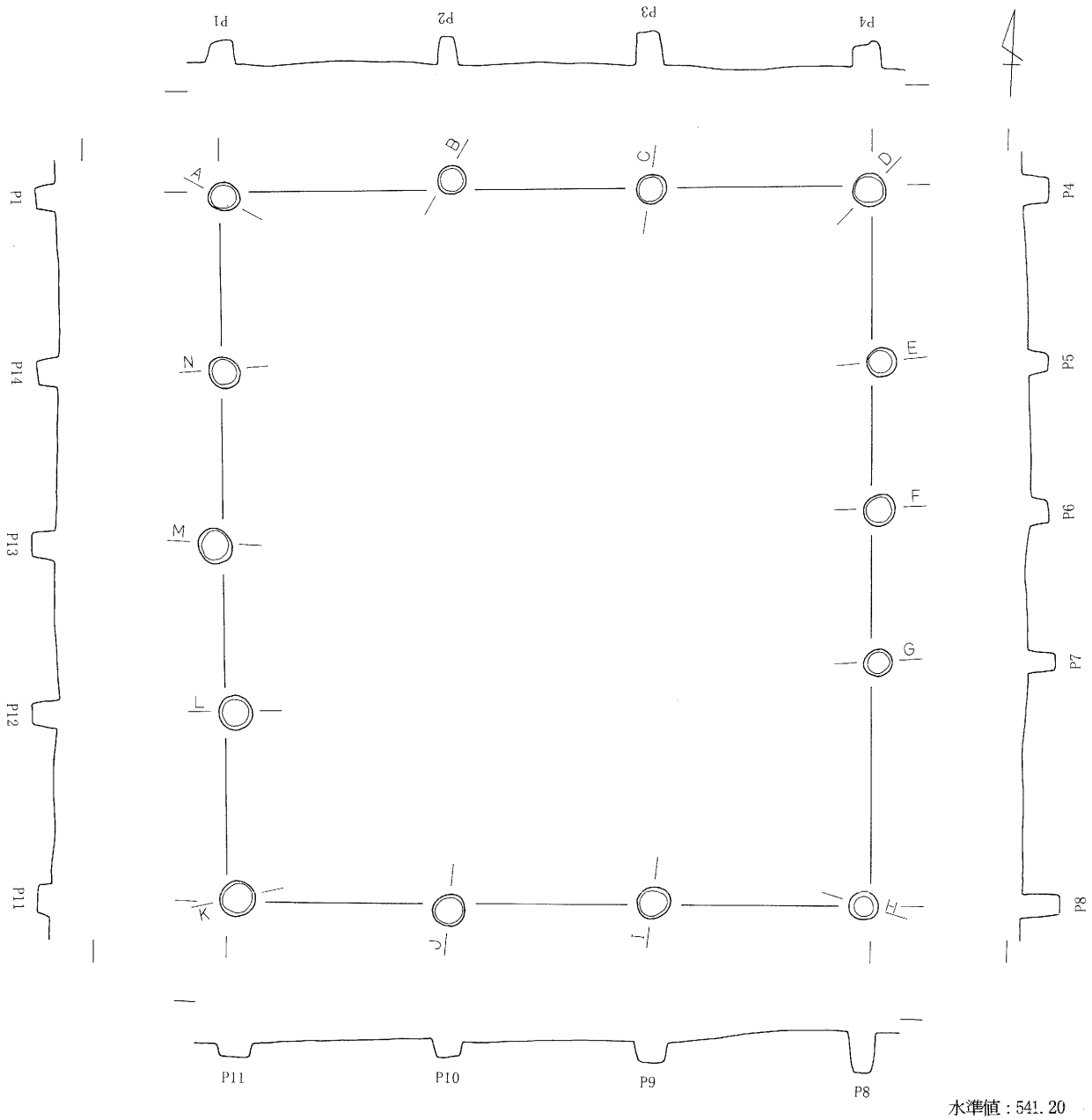
水準値：541.00



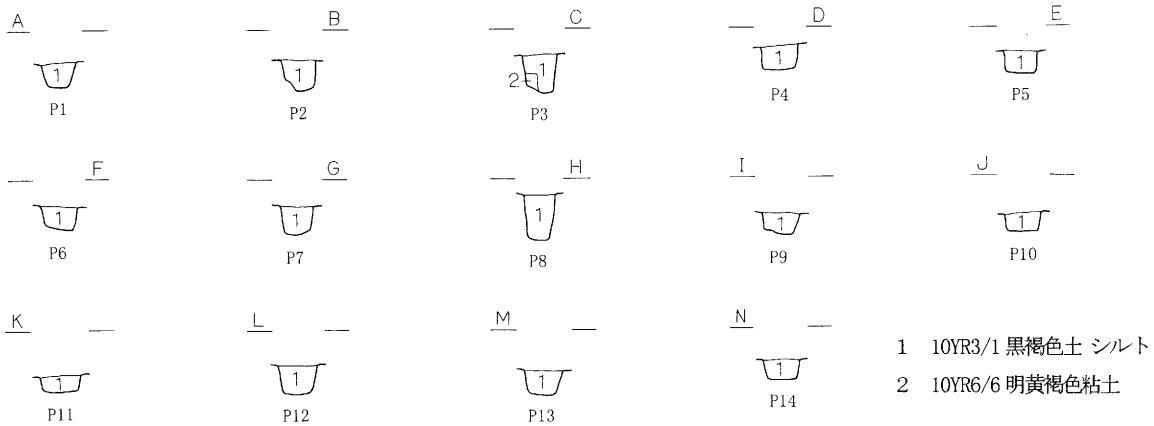
1　10YR2/1 黒色土 シルト

0　2m

第17図　第12号掘立柱建物跡実測図



水準値：541.20

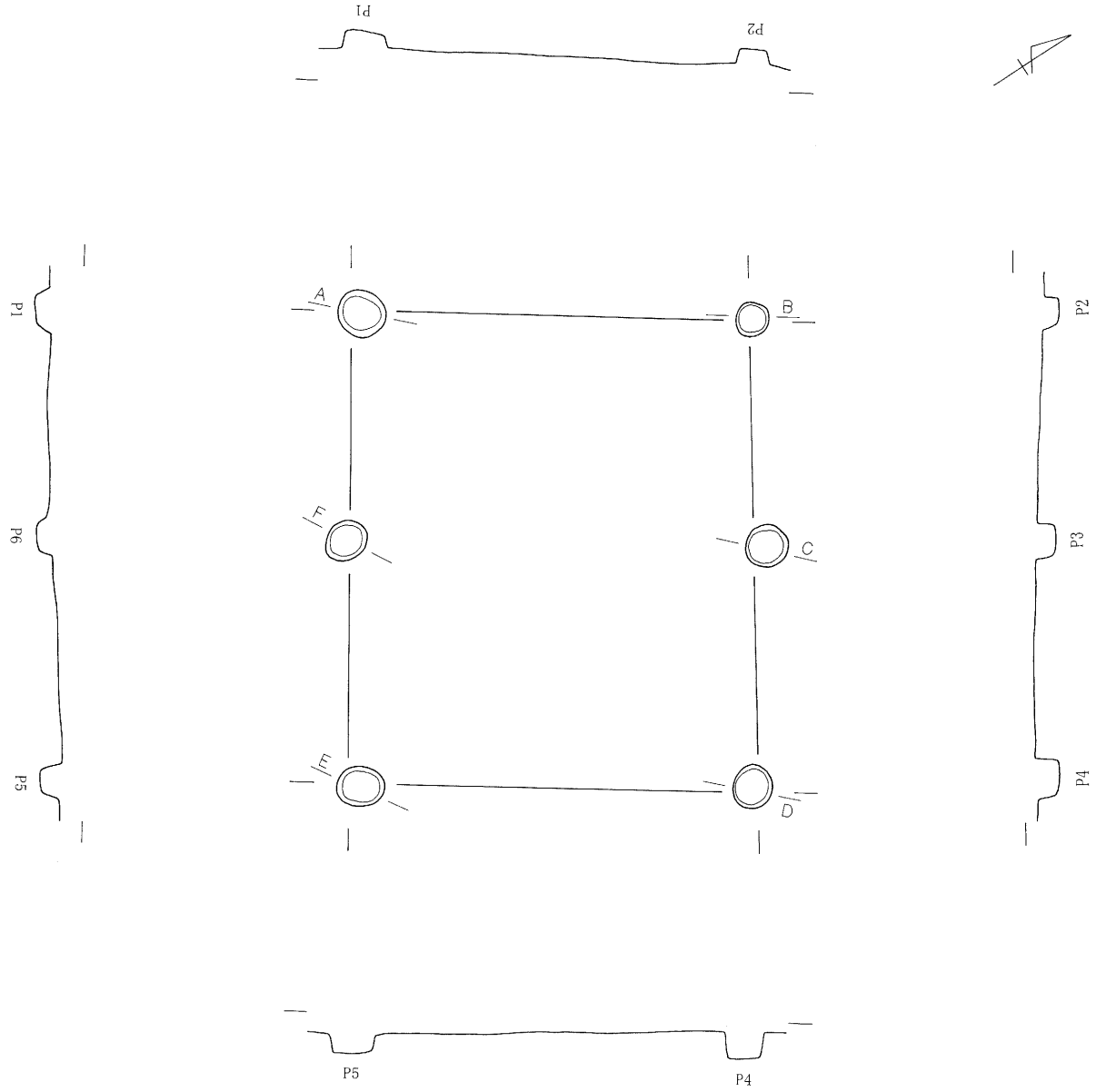


1　10YR3/1 黒褐色土 シルト

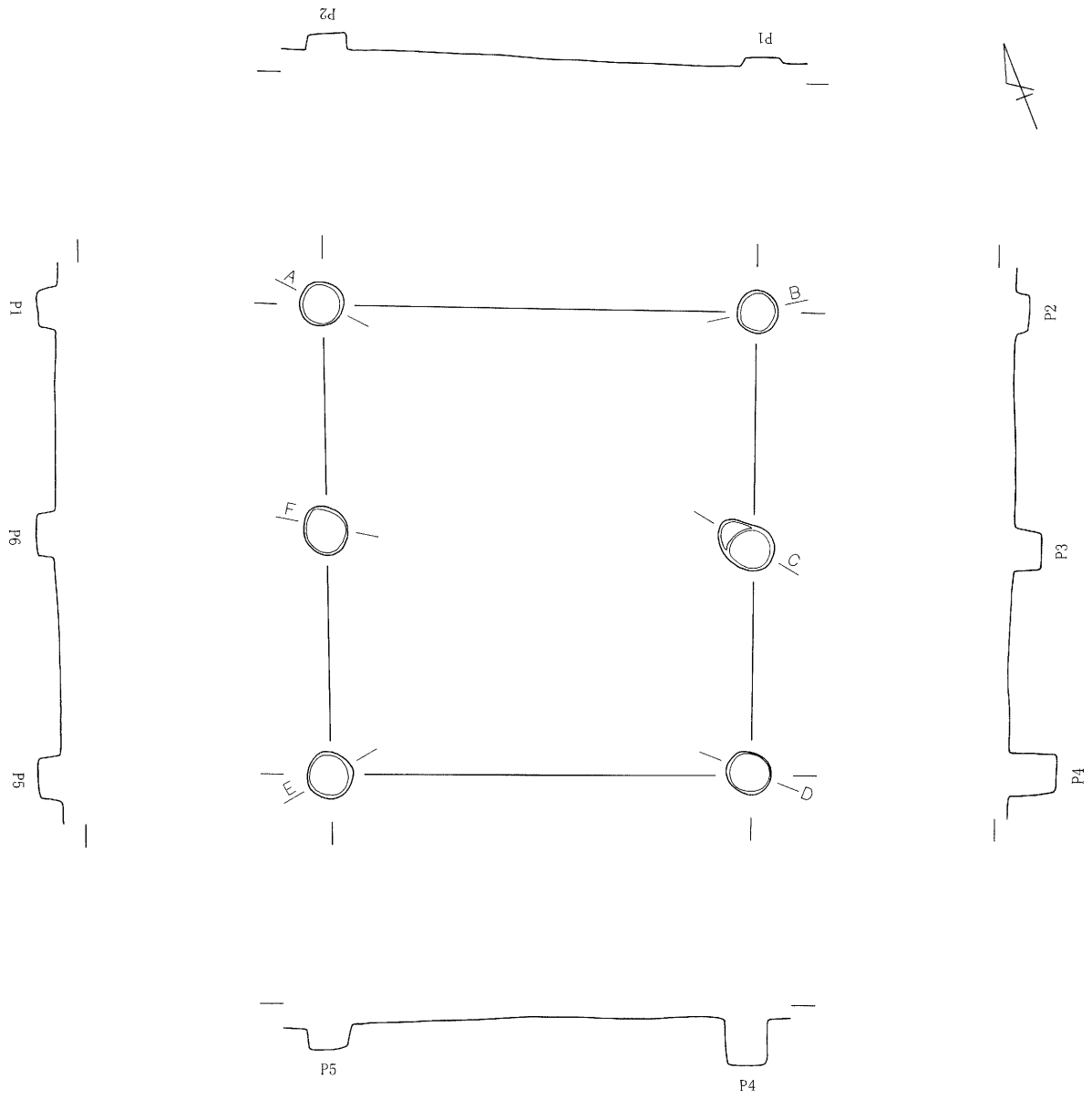
2　10YR6/6 明黄褐色粘土

0　2m

第18図　第13号掘立柱建物跡実測図



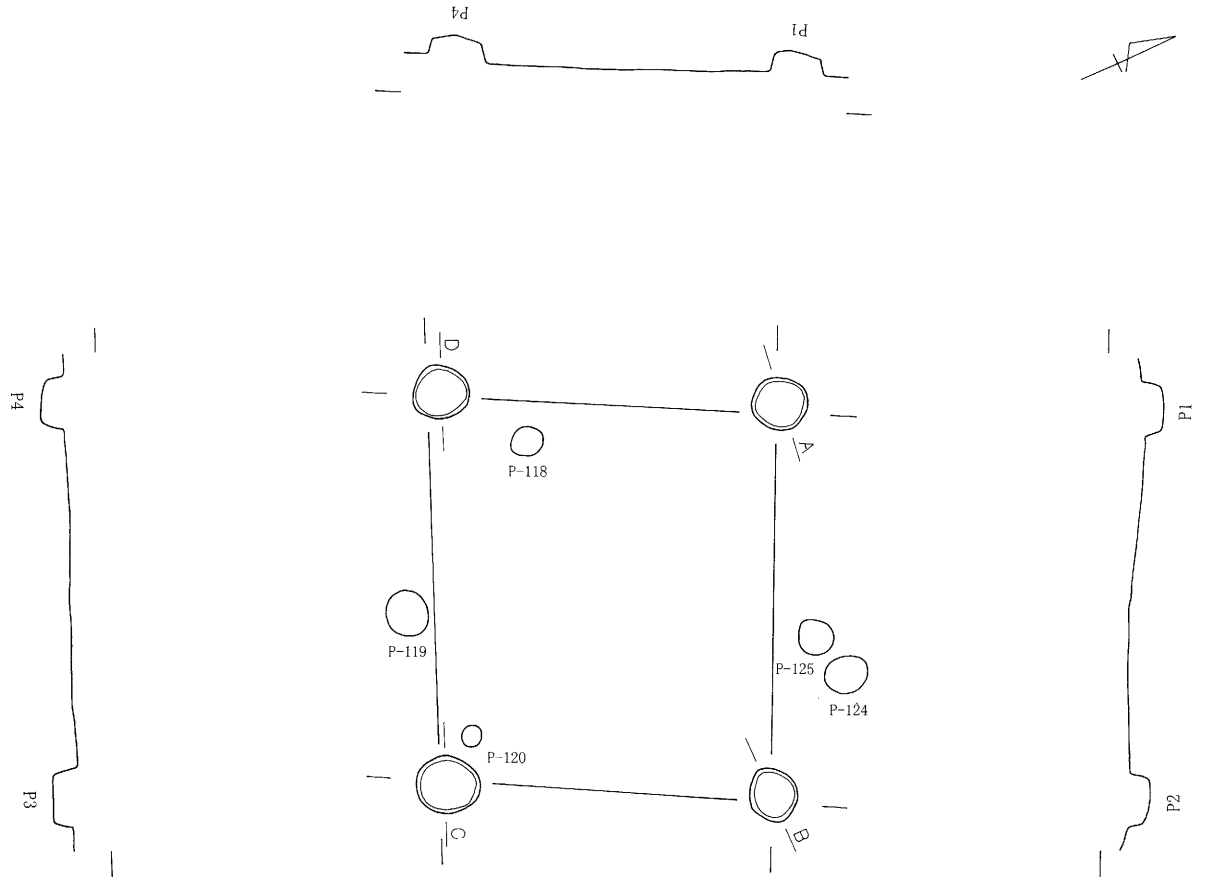
第19図 第14号掘立柱建物跡実測図



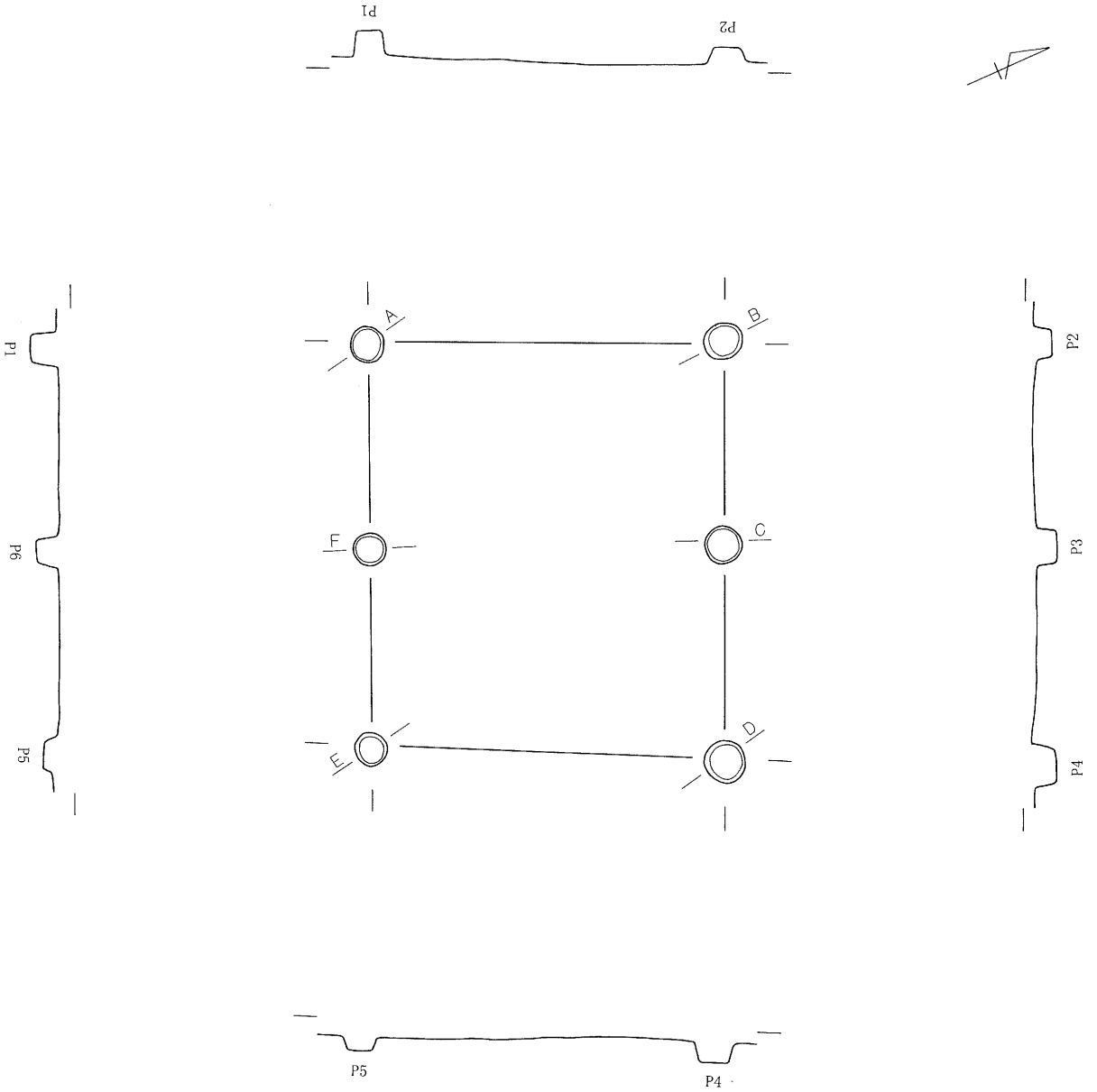
水準値：541.20

1　10YR3/1 黒褐色土 シルト

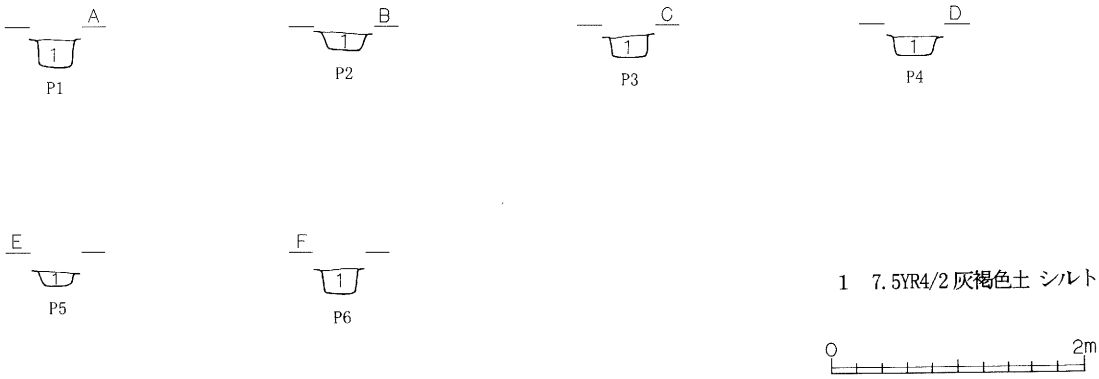
第20図　第15号掘立柱建物跡実測図



第21図 第16号掘立柱建物跡実測図



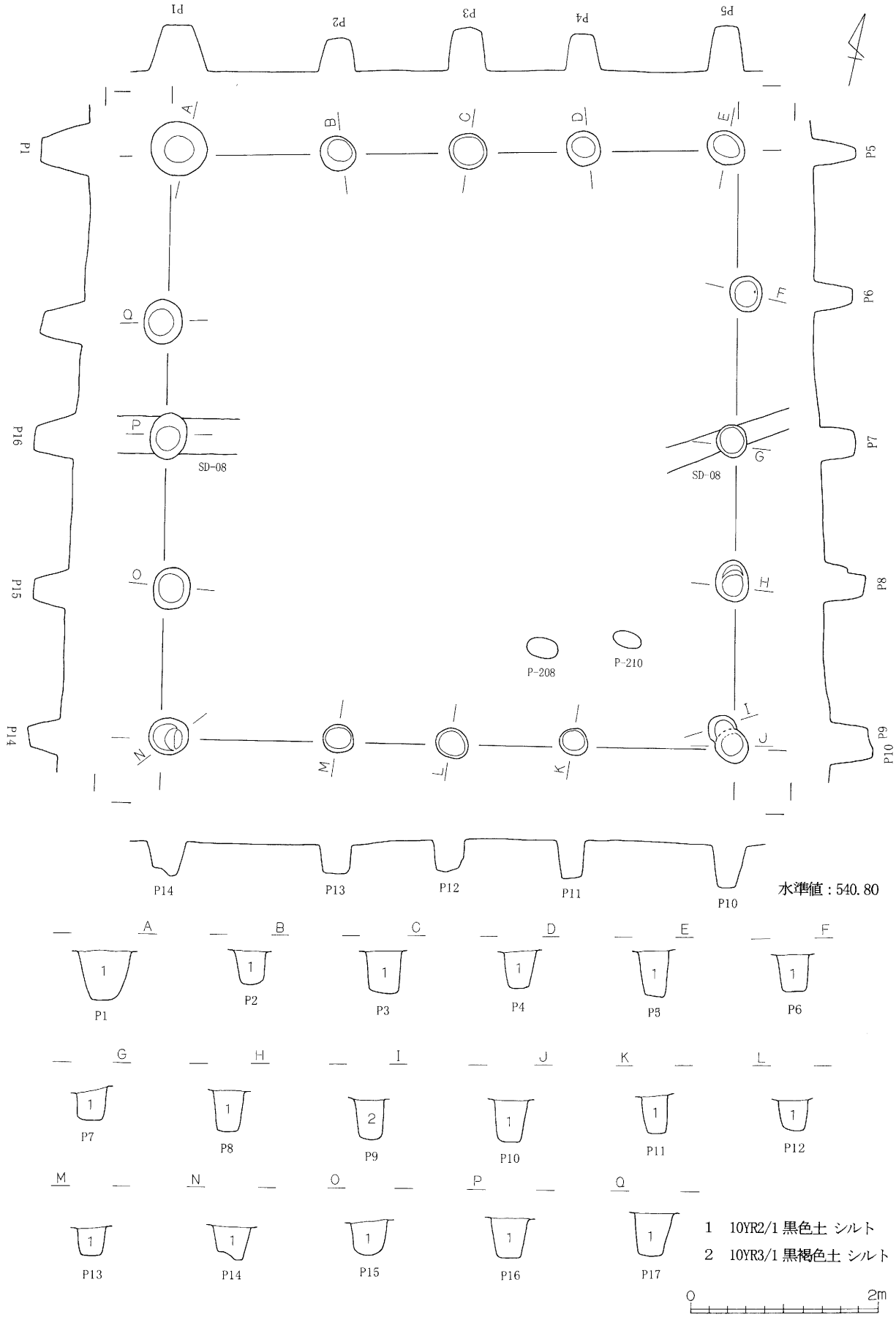
水準値：541.20



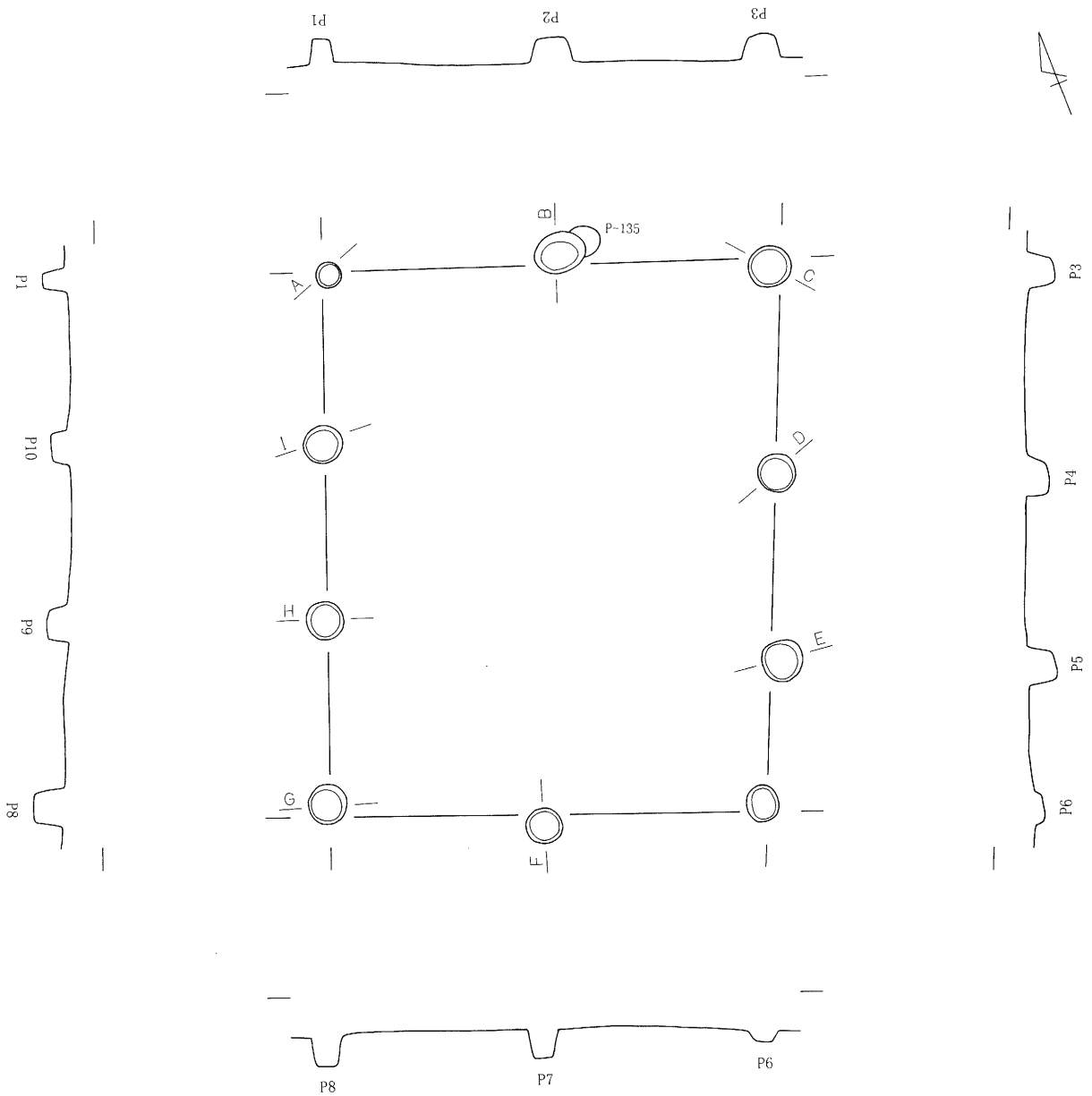
1　7.5YR4/2 灰褐色土 シルト

0　2m

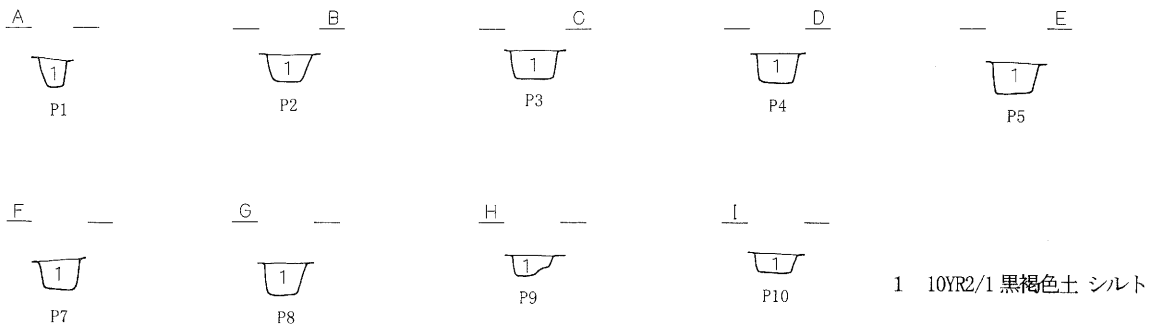
第22図　第17号掘立柱建物跡実測図



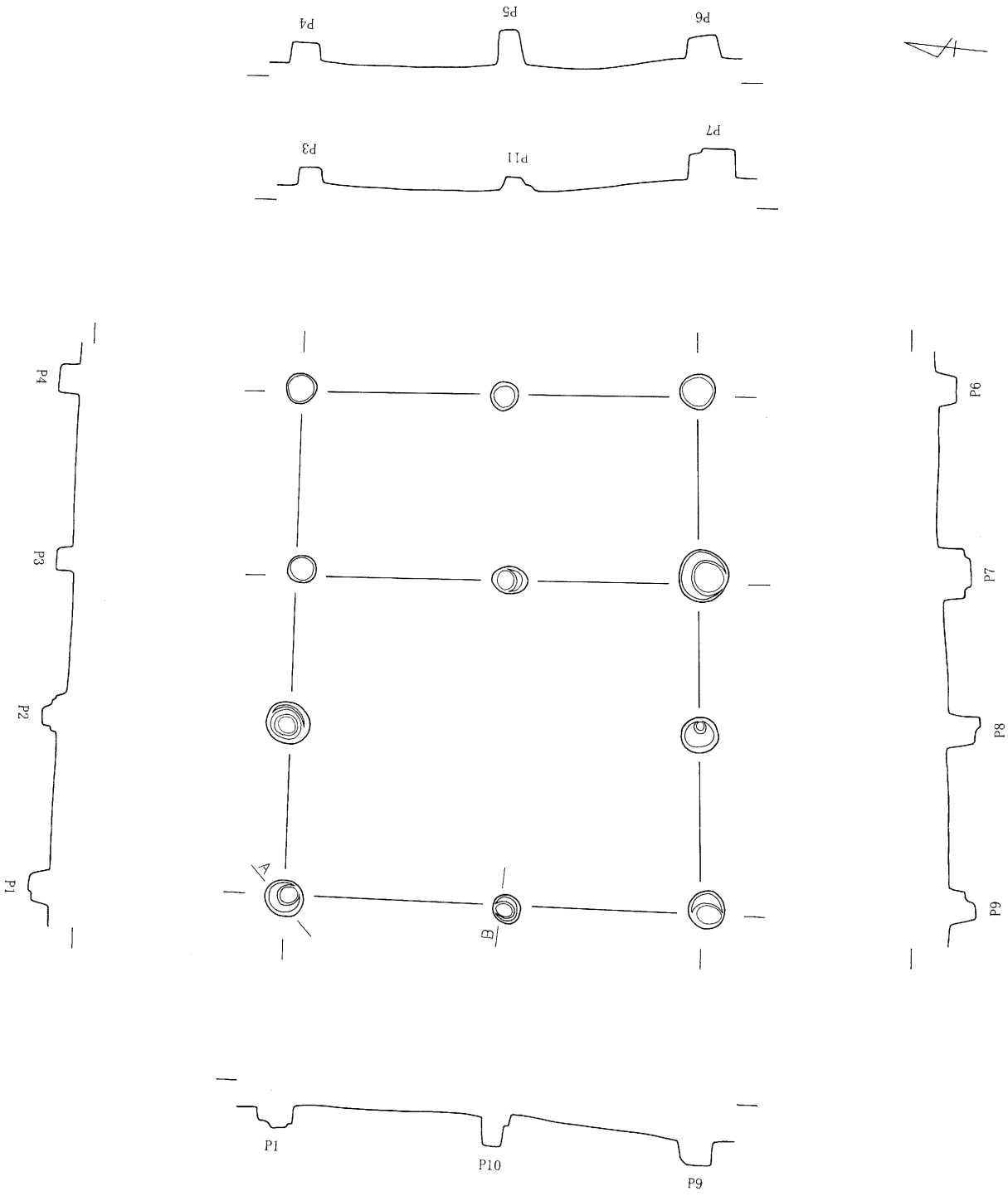
第23図 第18号掘立柱建物跡実測図



水準値：541.60

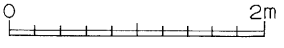


第24図 第19号掘立柱建物跡実測図

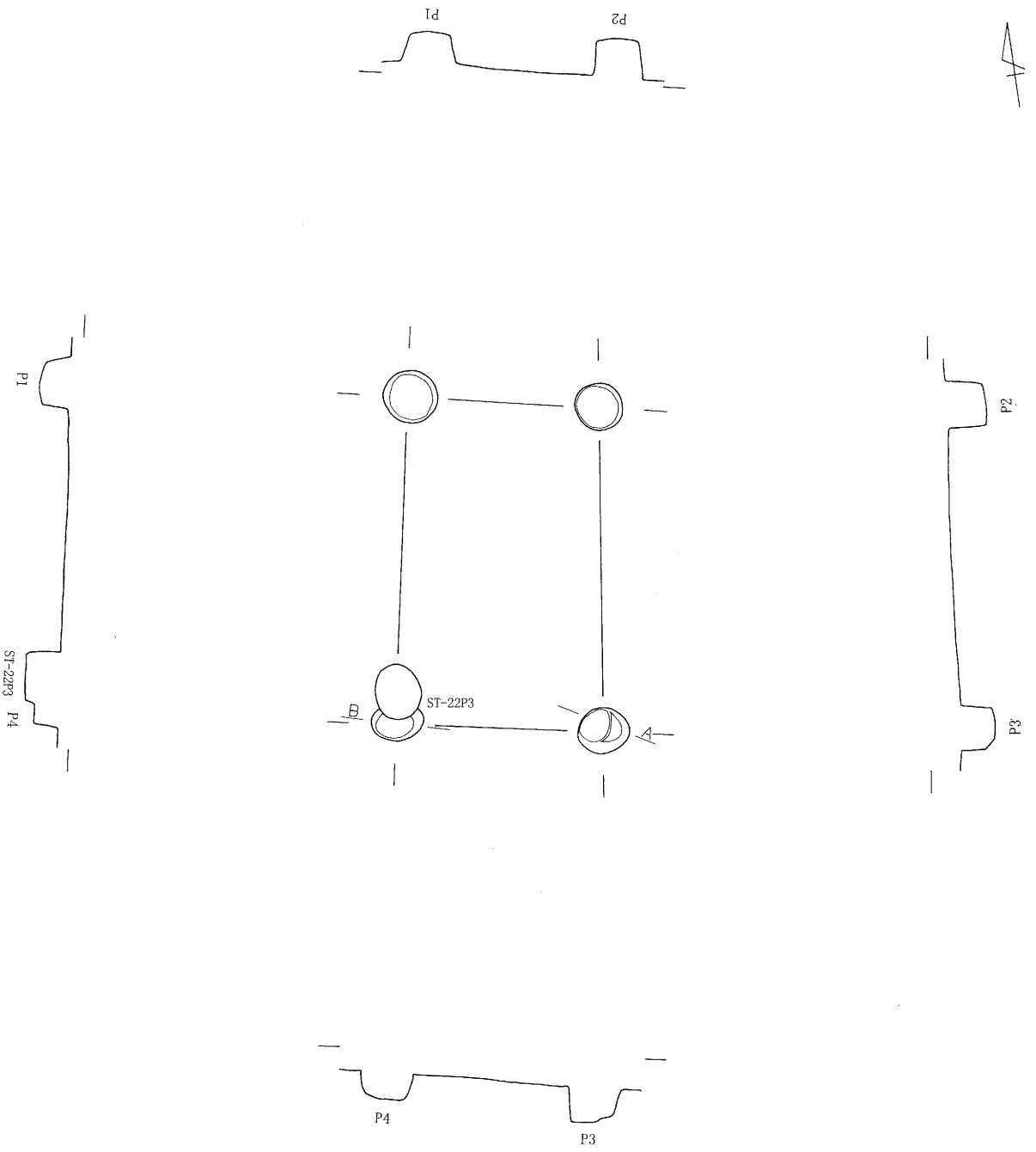


水準値：541.20

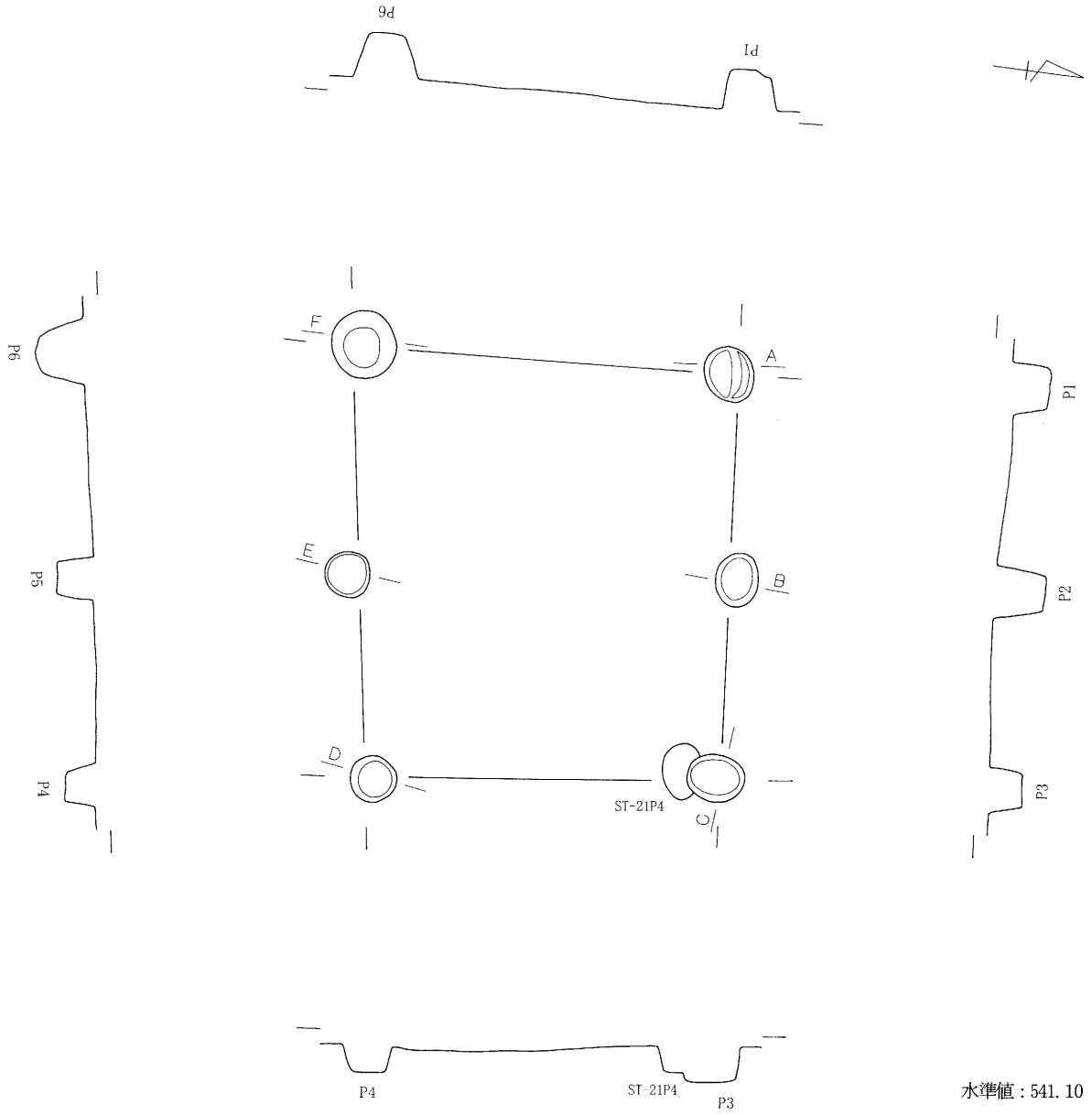
1　7.5YR2/1 黒色土 シルト
2　7.5YR4/4 褐色土 シルト



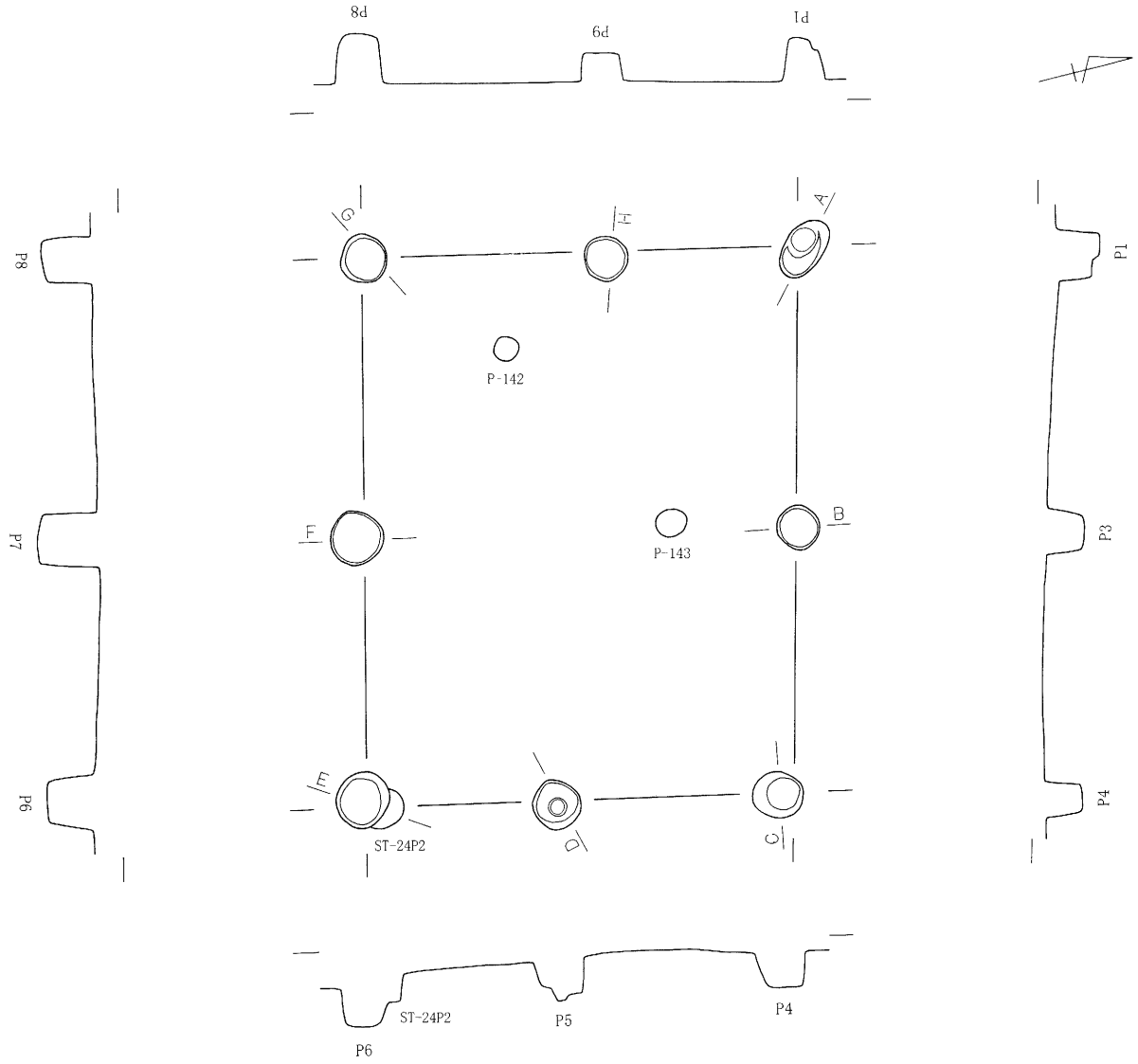
第25図　第20号掘立柱建物跡実測図



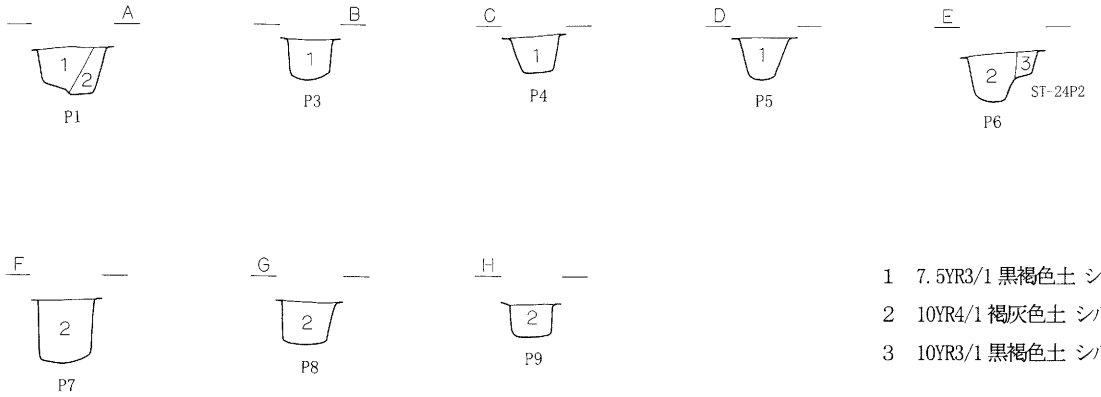
第26図　第21号掘立柱建物跡実測図



第27図 第22号掘立柱建物跡実測図



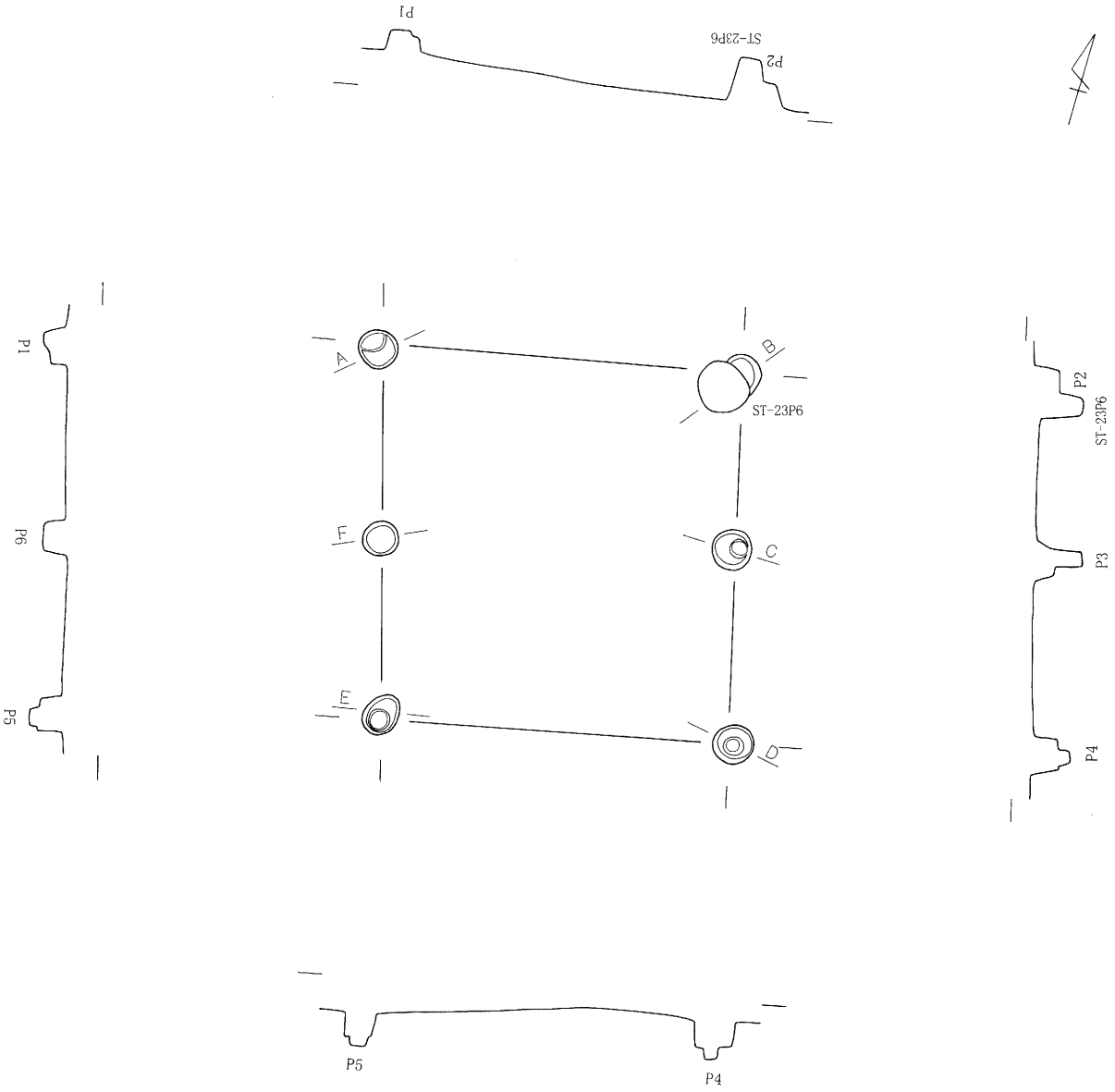
水準値：541.50



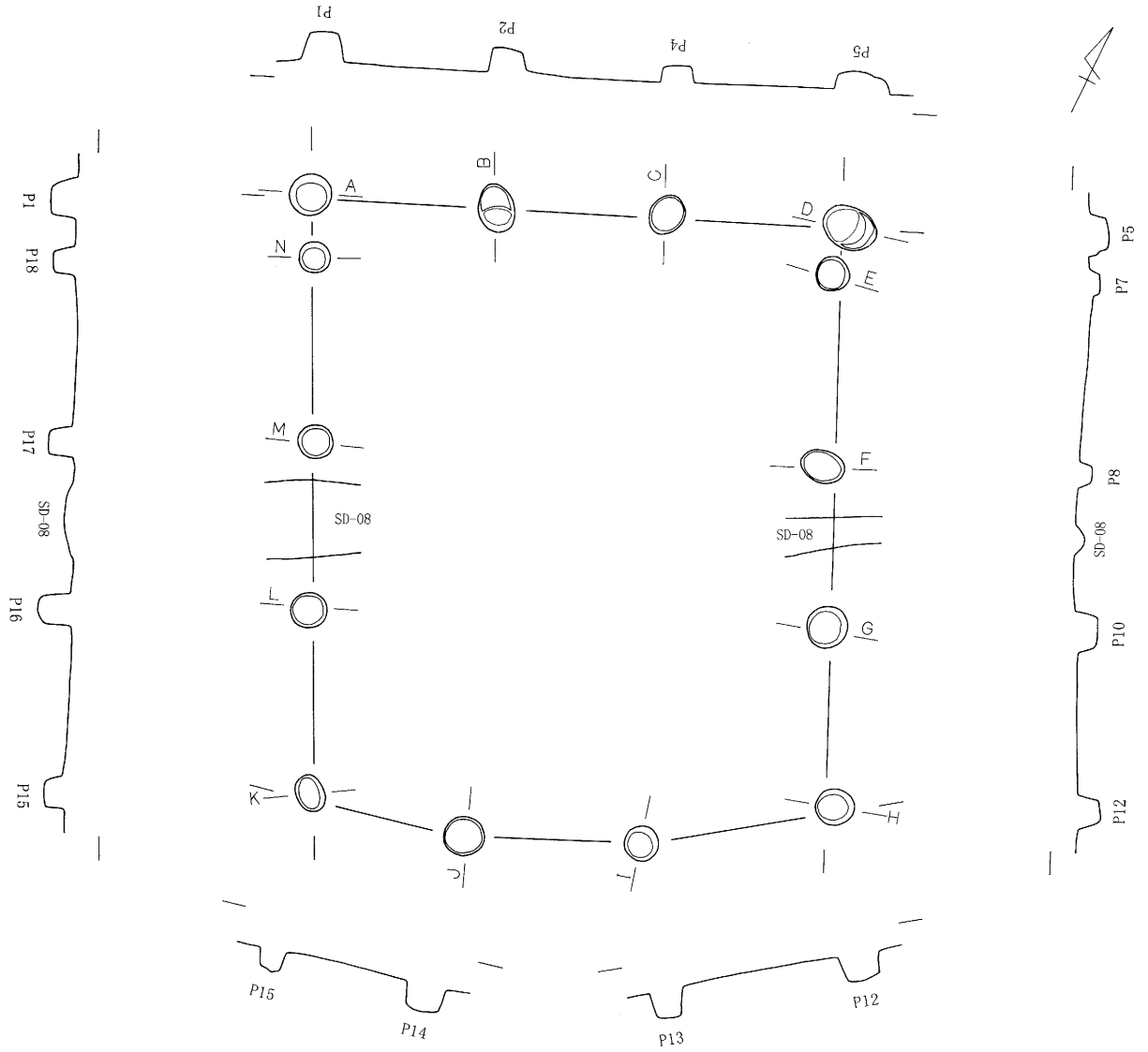
1　7.5YR3/1 黒褐色土 シルト
2　10YR4/1 褐灰色土 シルト
3　10YR3/1 黒褐色土 シルト

0　2m

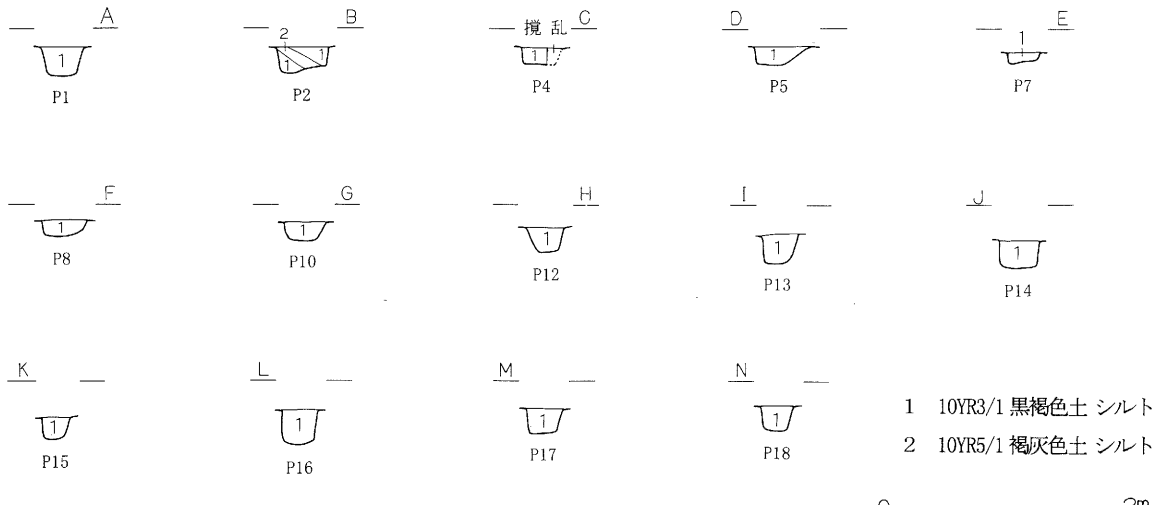
第28図　第23号掘立柱建物跡実測図



第29図 第24号掘立柱建物跡実測図



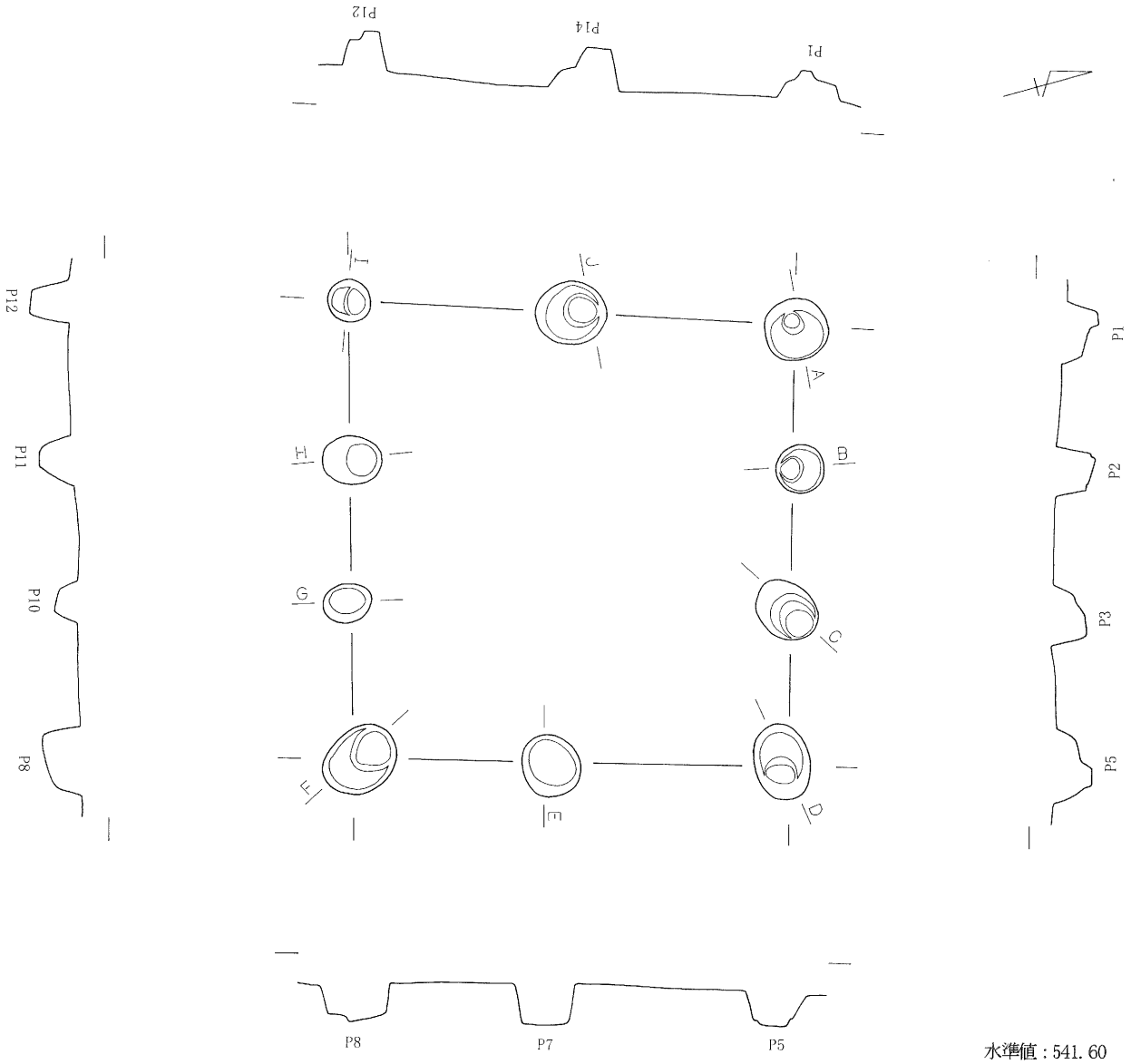
水準値：541.00

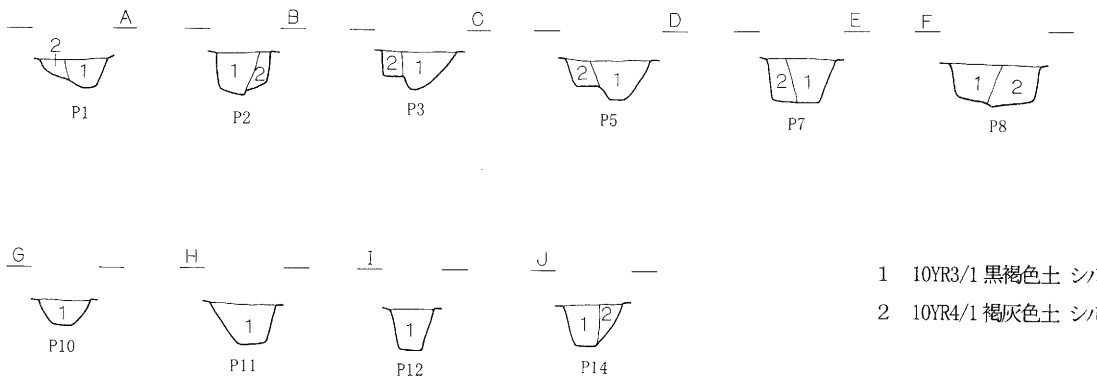


1　10YR3/1 黒褐色土 シルト
2　10YR5/1 褐灰色土 シルト

0　2m

第30図　第25号掘立柱建物跡実測図

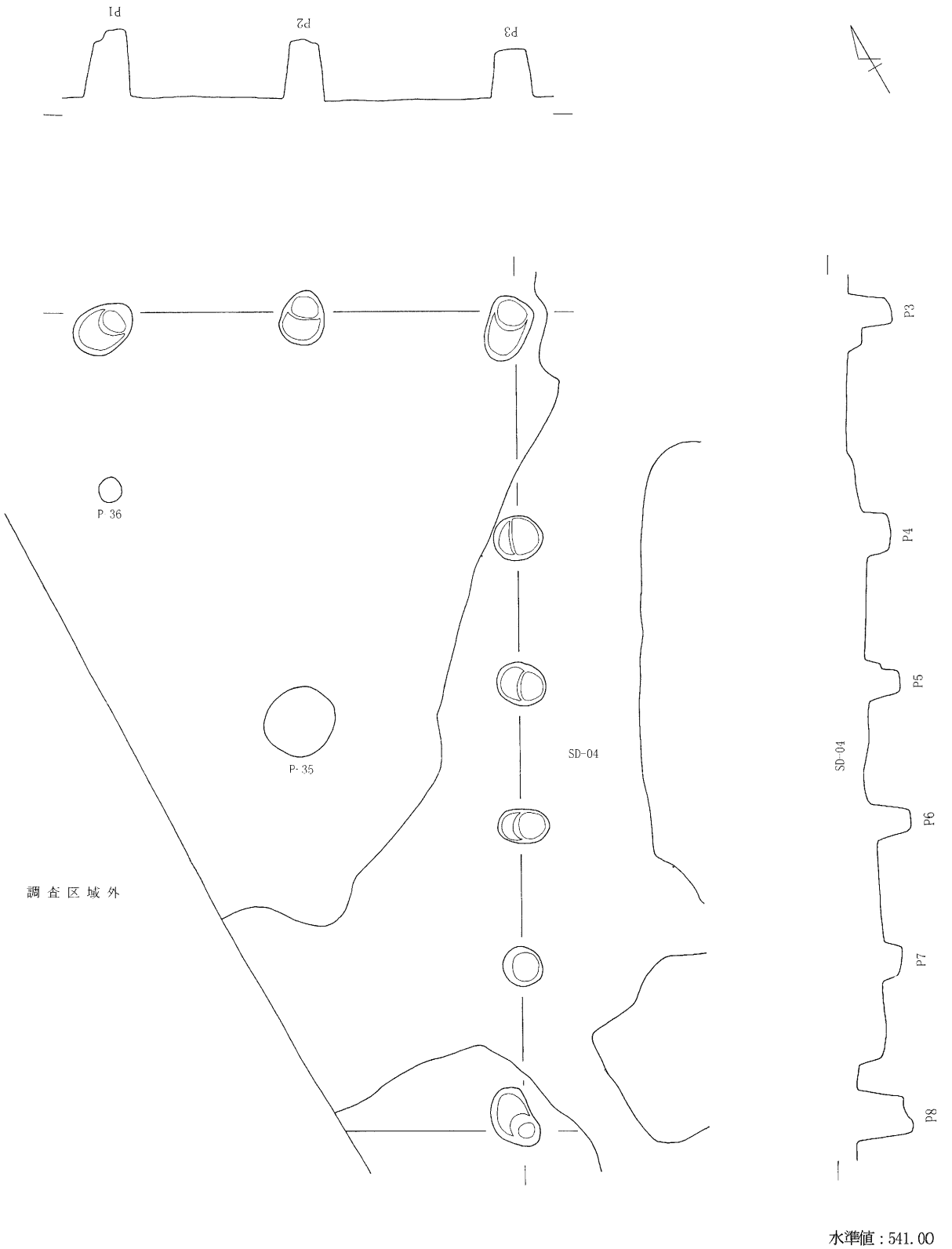




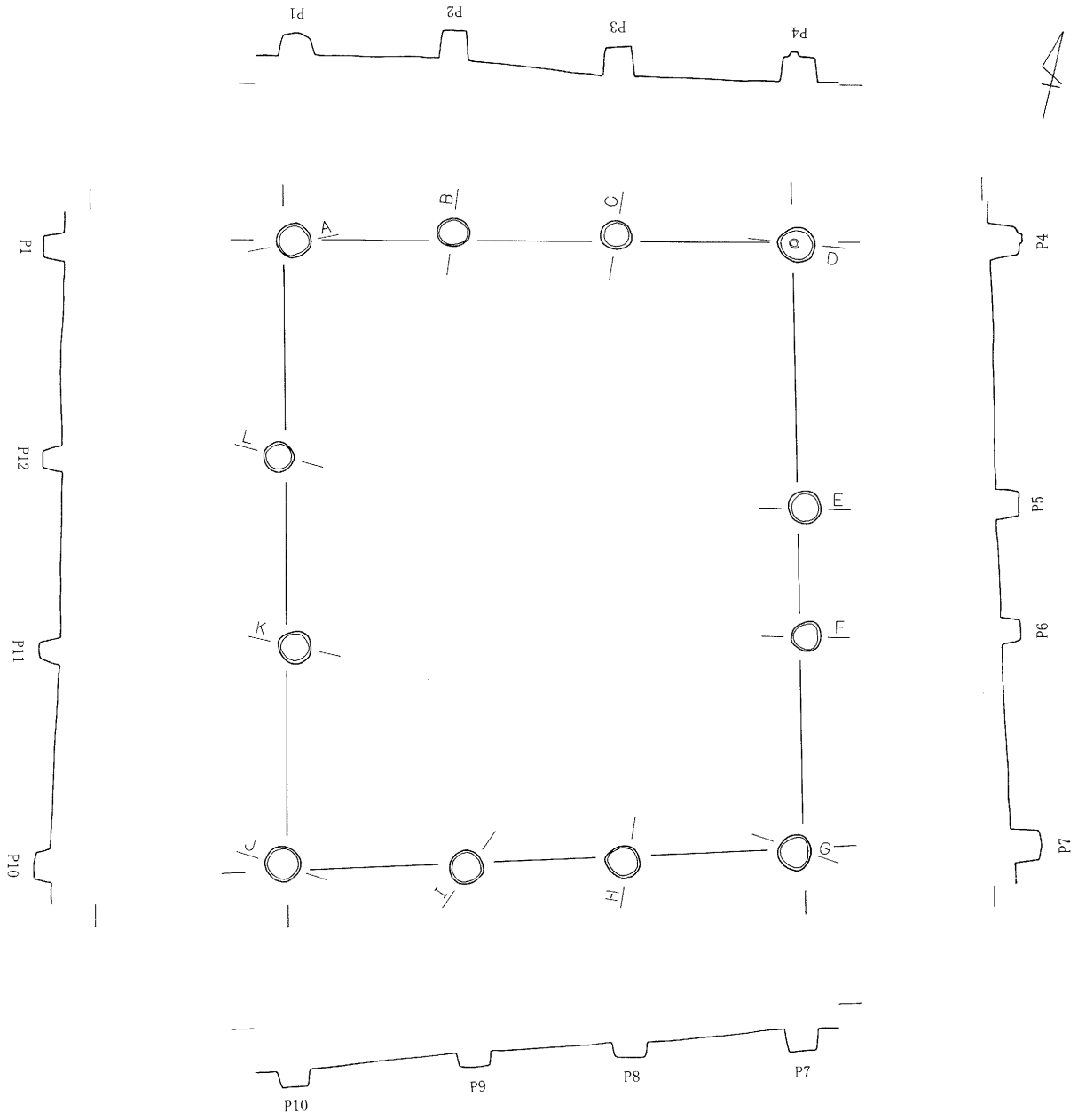
1　10YR3/1 黒褐色土 シルト
2　10YR4/1 褐灰色土 シルト

0　2m

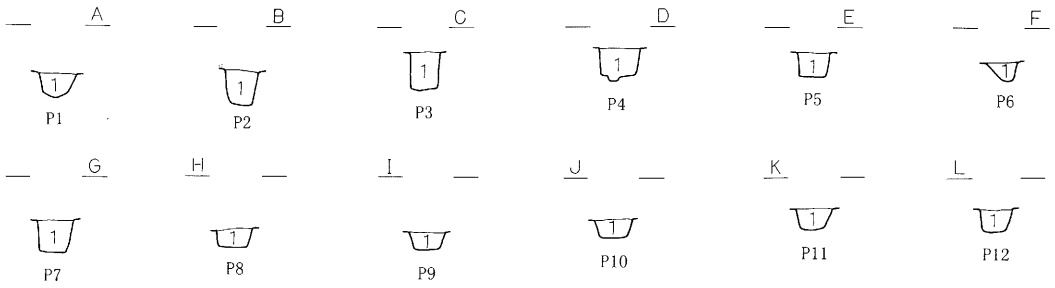
第31図 第26号掘立柱建物跡実測図



第32図 第27号掘立柱建物跡実測図



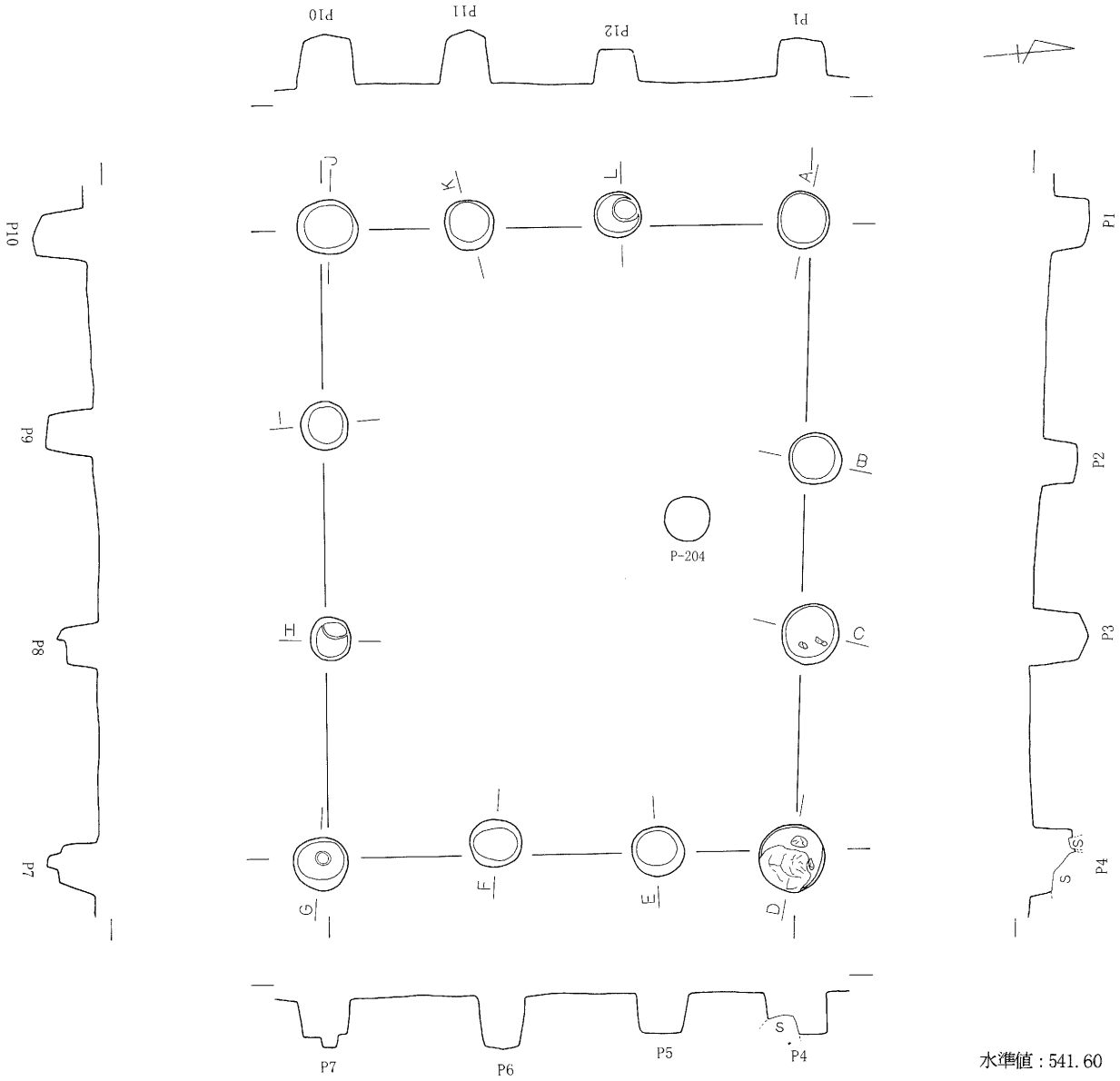
水準値：542.50

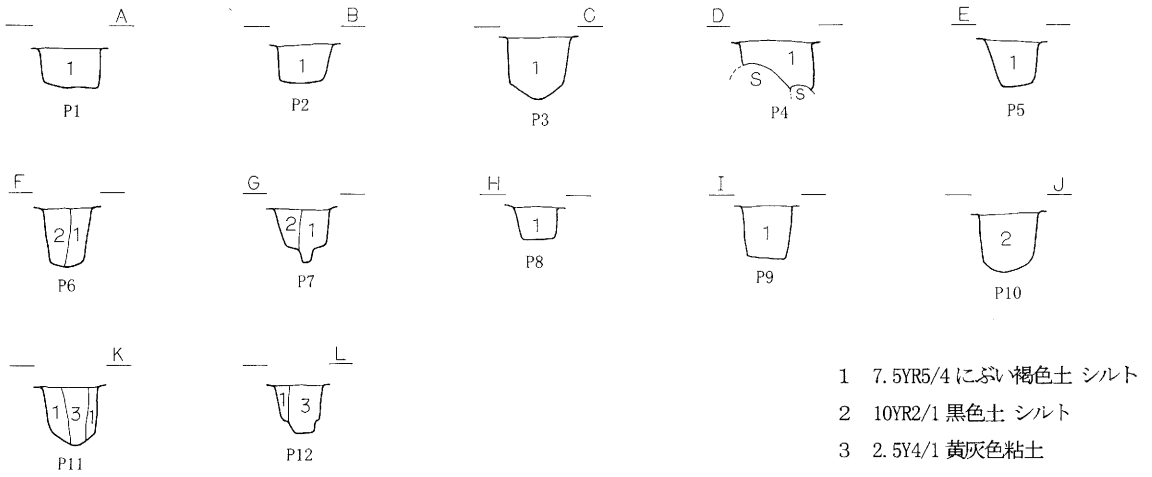


1　10YR3/1 黒褐色土 シルト

0　2m

第33図　第28号掘立柱建物跡実測図

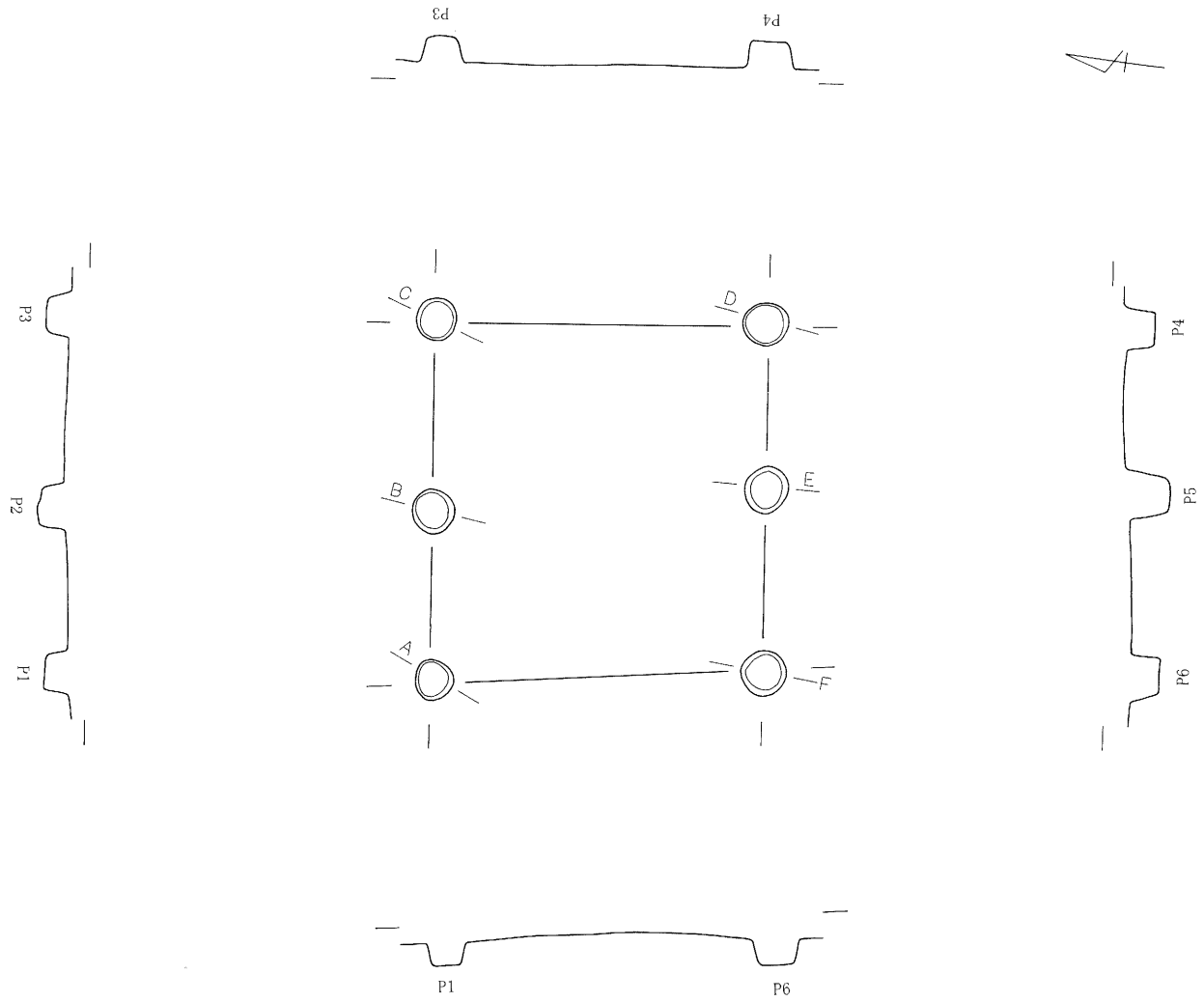




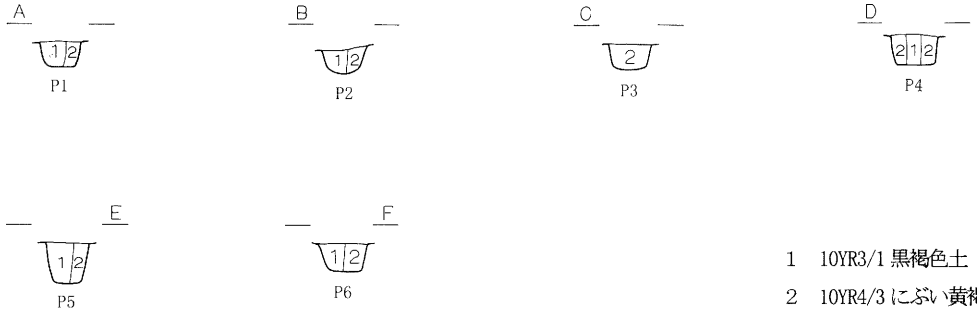
1　7.5YR5/4 にぶい褐色土 シルト
2　10YR2/1 黒色土 シルト
3　2.5Y4/1 黄灰色粘土

0　2m

第34図　第29号掘立柱建物跡実測図



水準値：541.60

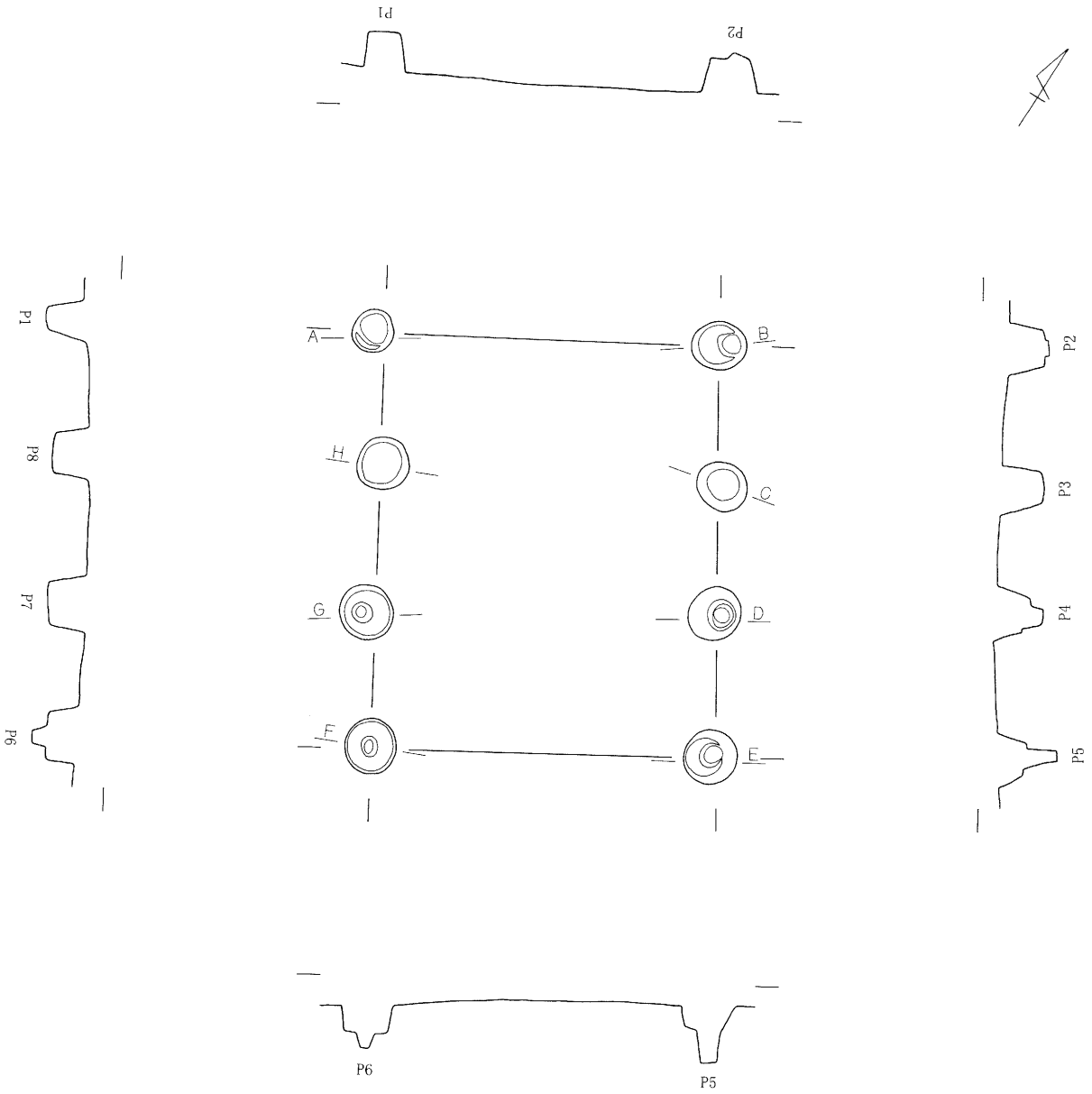


1　10YR3/1 黒褐色土 シルト

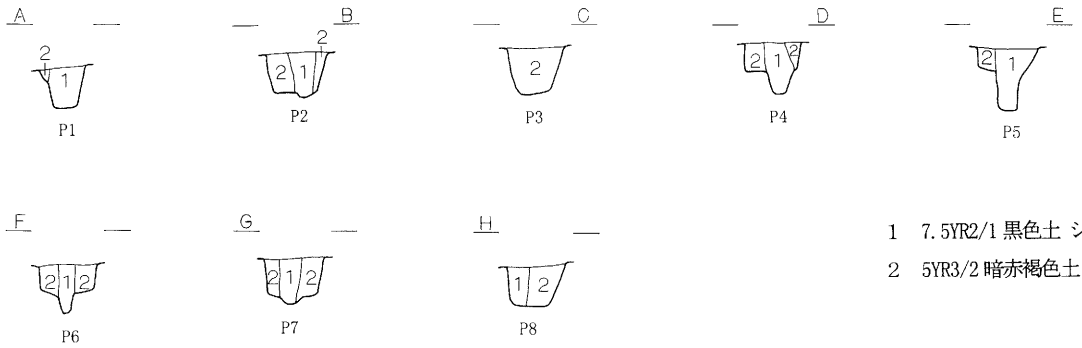
2　10YR4/3 にぶい黄褐色土 シルト

0　2m

第35図　第30号掘立柱建物跡実測図



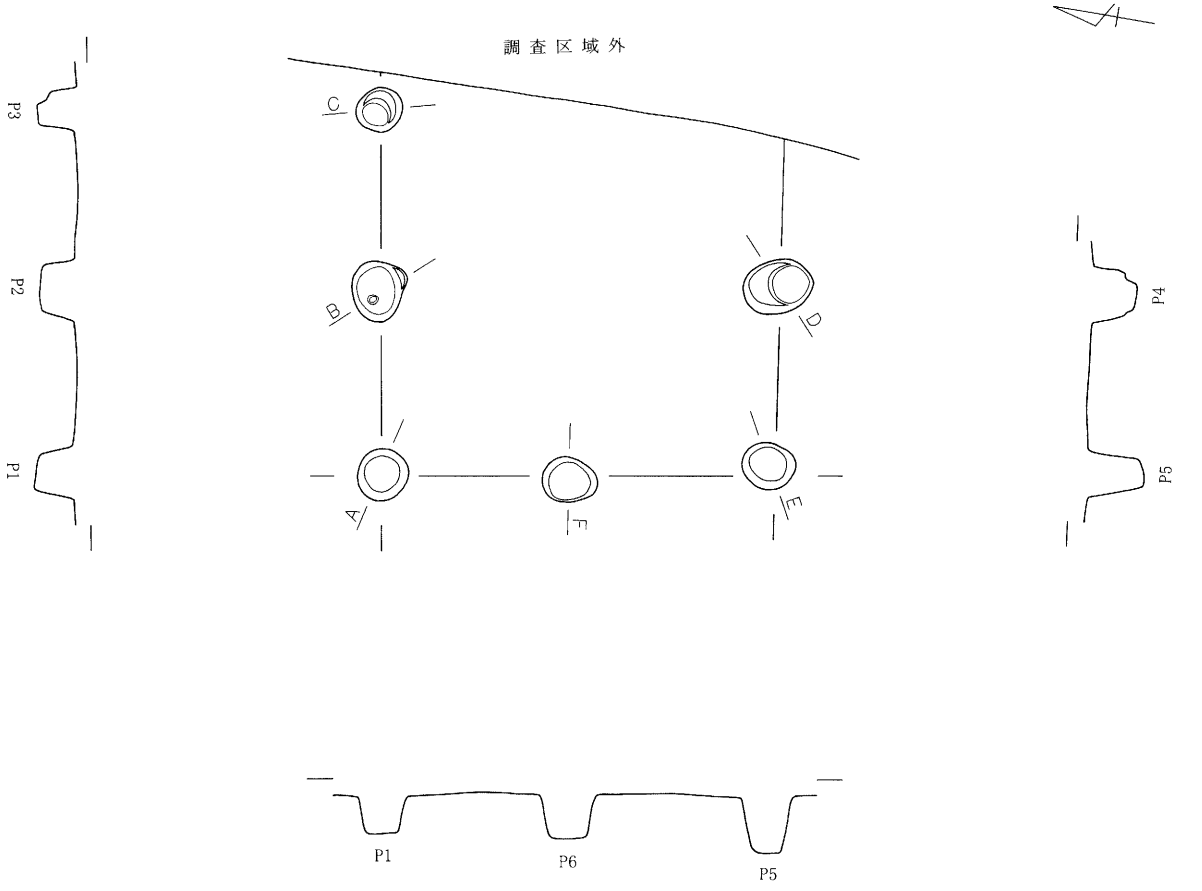
水準値：541.80



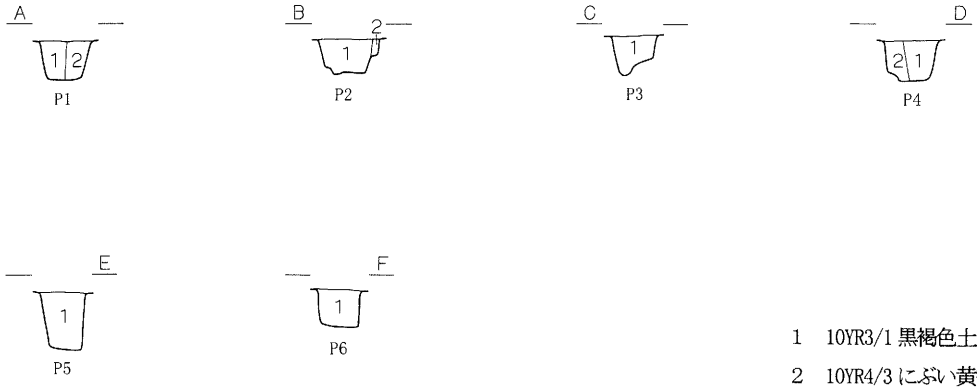
1　7.5YR2/1 黒色土 シルト
2　5YR3/2 暗赤褐色土 シルト

0　2m

第36図 第31号掘立柱建物跡実測図

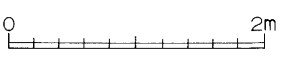


水準値：541.30

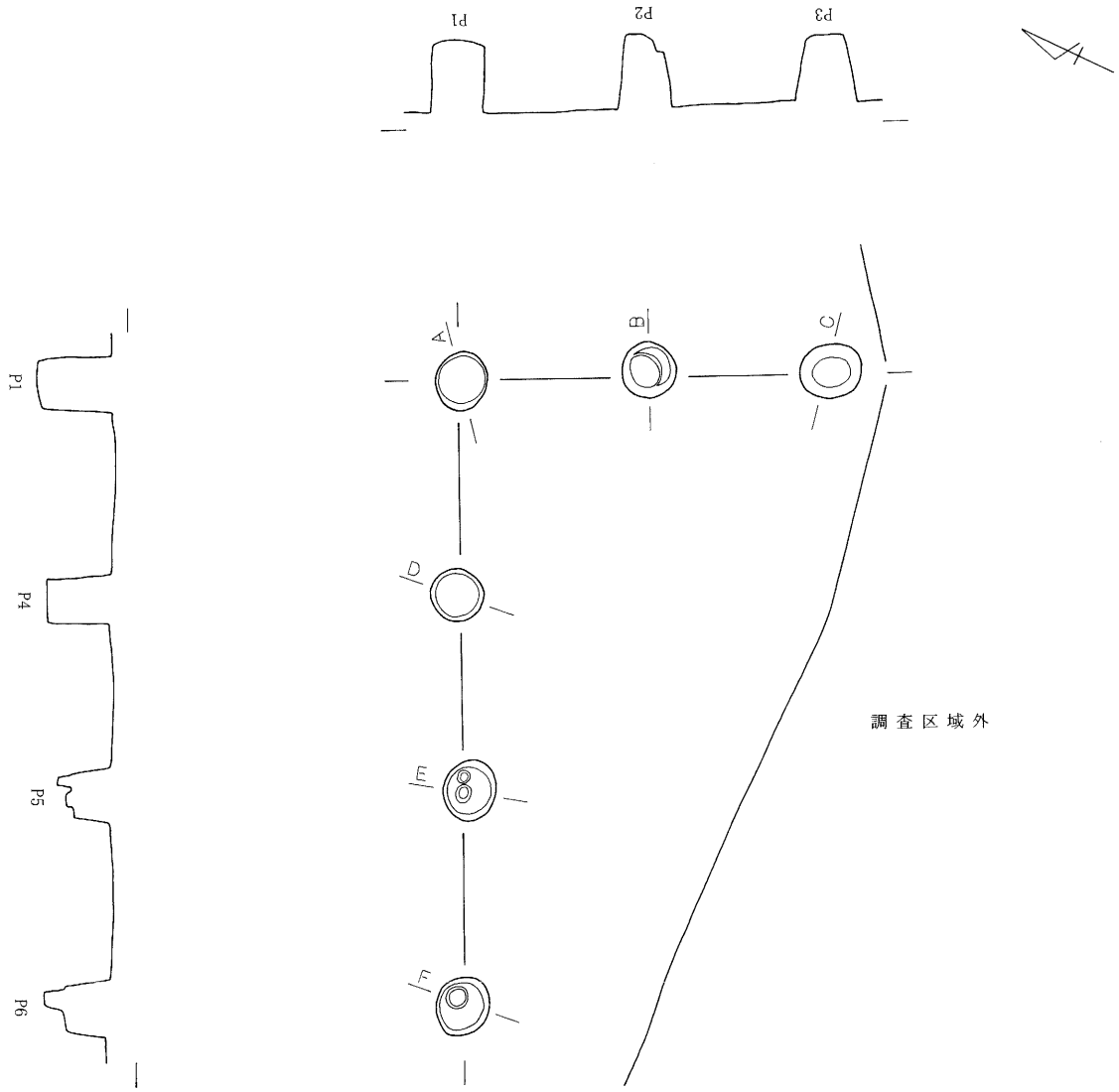


1　10YR3/1 黒褐色土 シルト

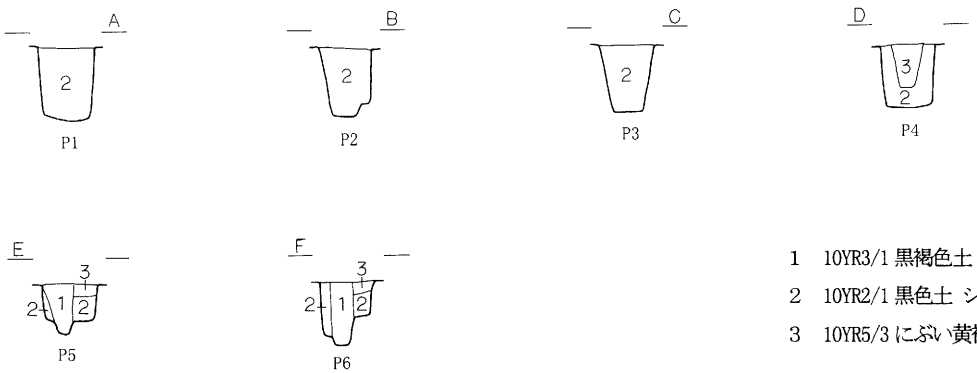
2　10YR4/3 にぶい黄褐色土 シルト



第37図 第32号掘立柱建物跡実測図



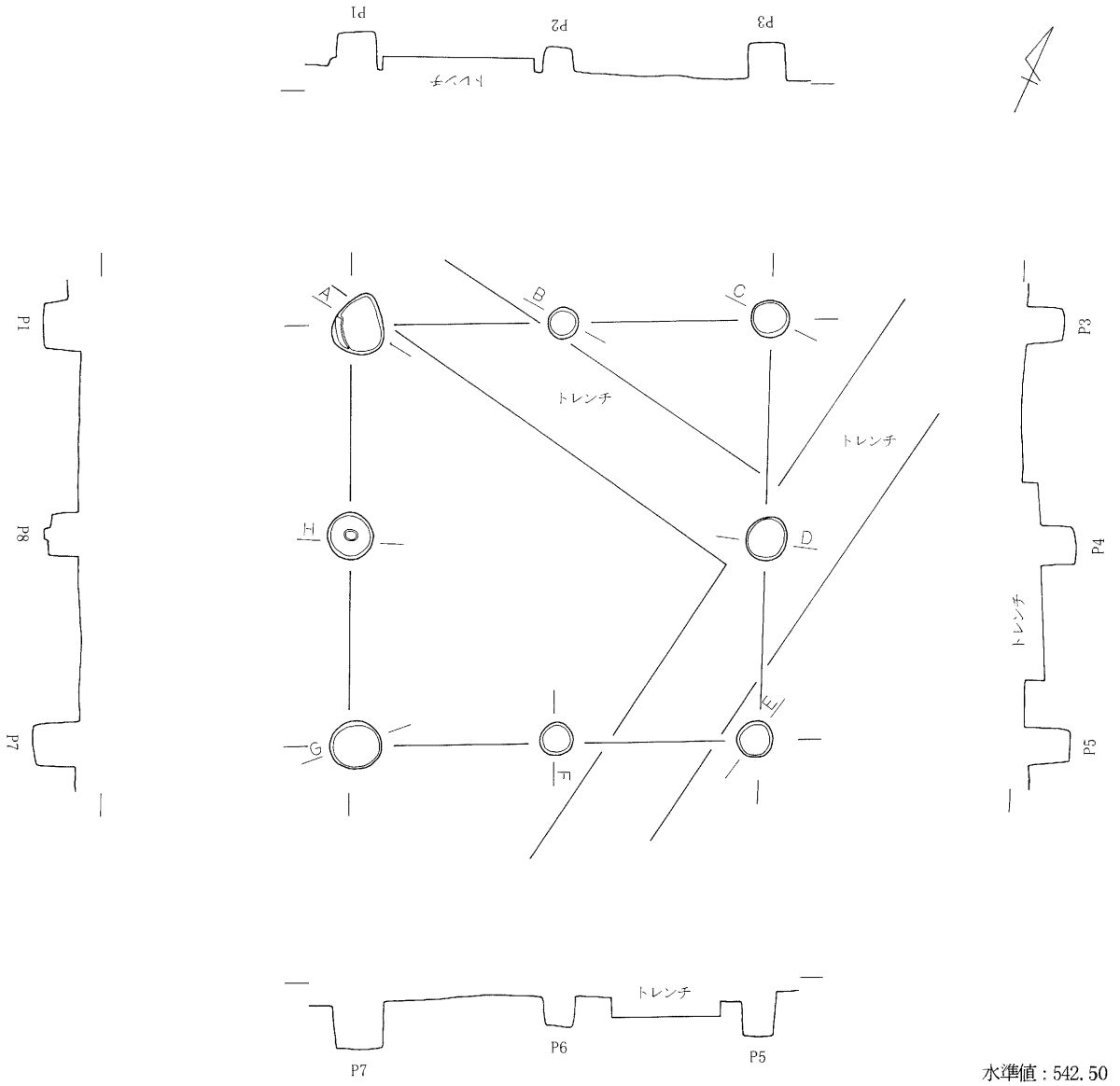
水準値：541.10

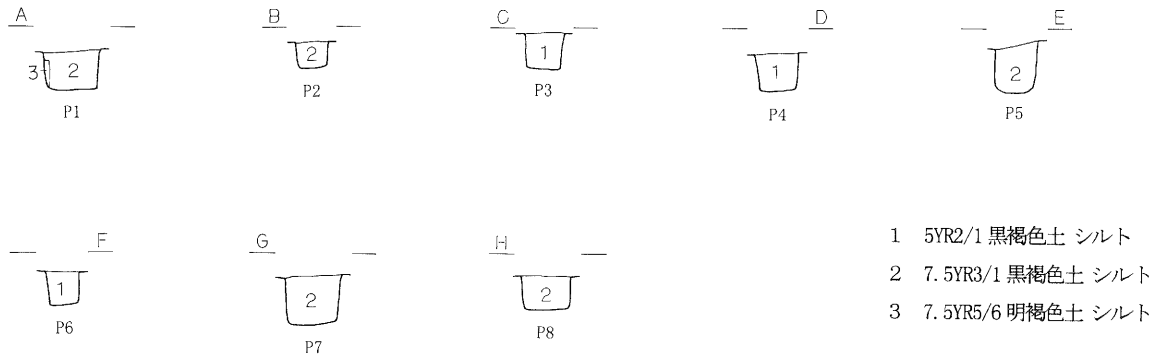


1　10YR3/1 黒褐色土 シルト
2　10YR2/1 黒色土 シルト
3　10YR5/3 にぶい黄褐色土 シルト

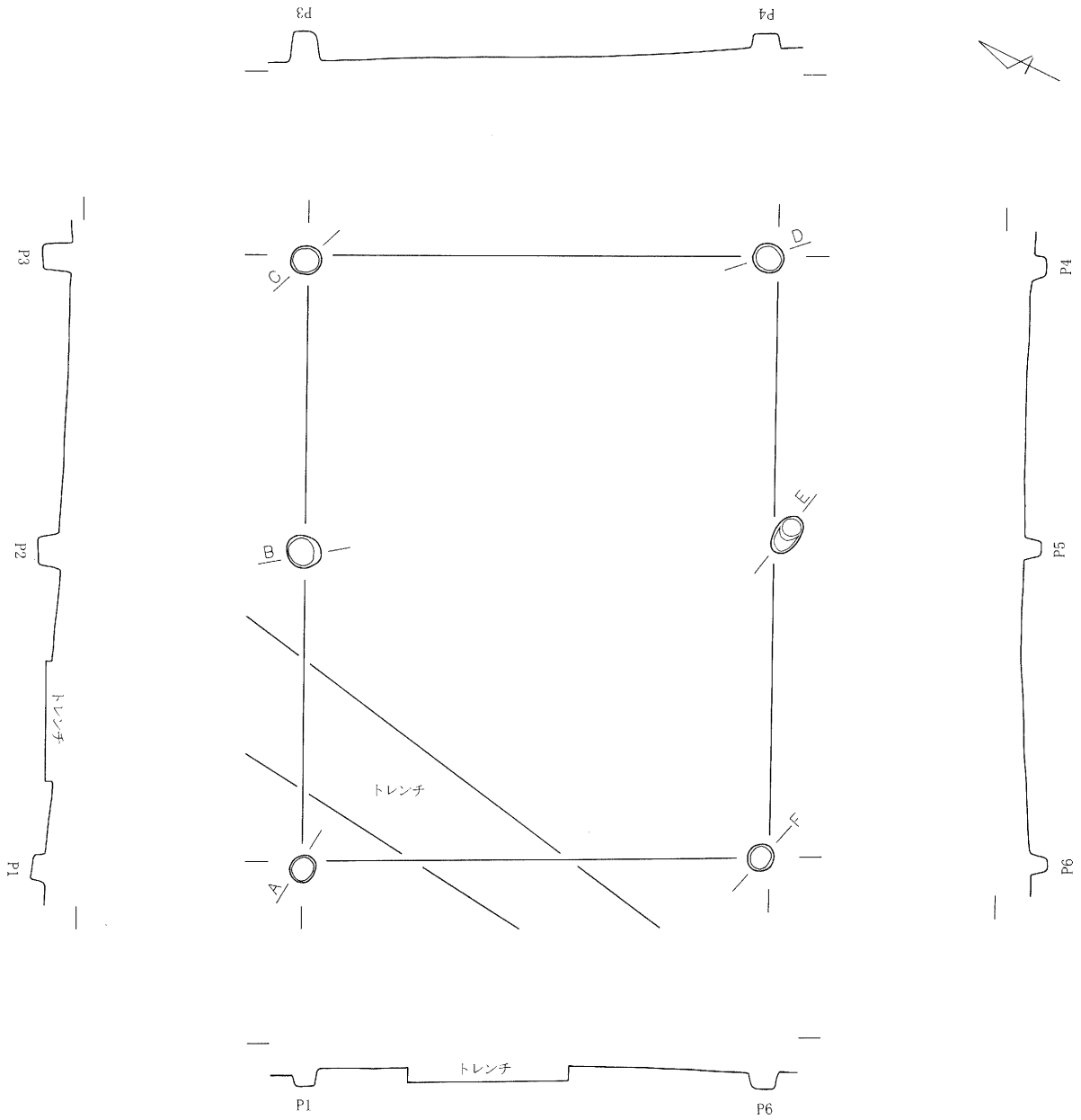
0　2m

第38図 第33号掘立柱建物跡実測図





第39図 第34号掘立柱建物跡実測図



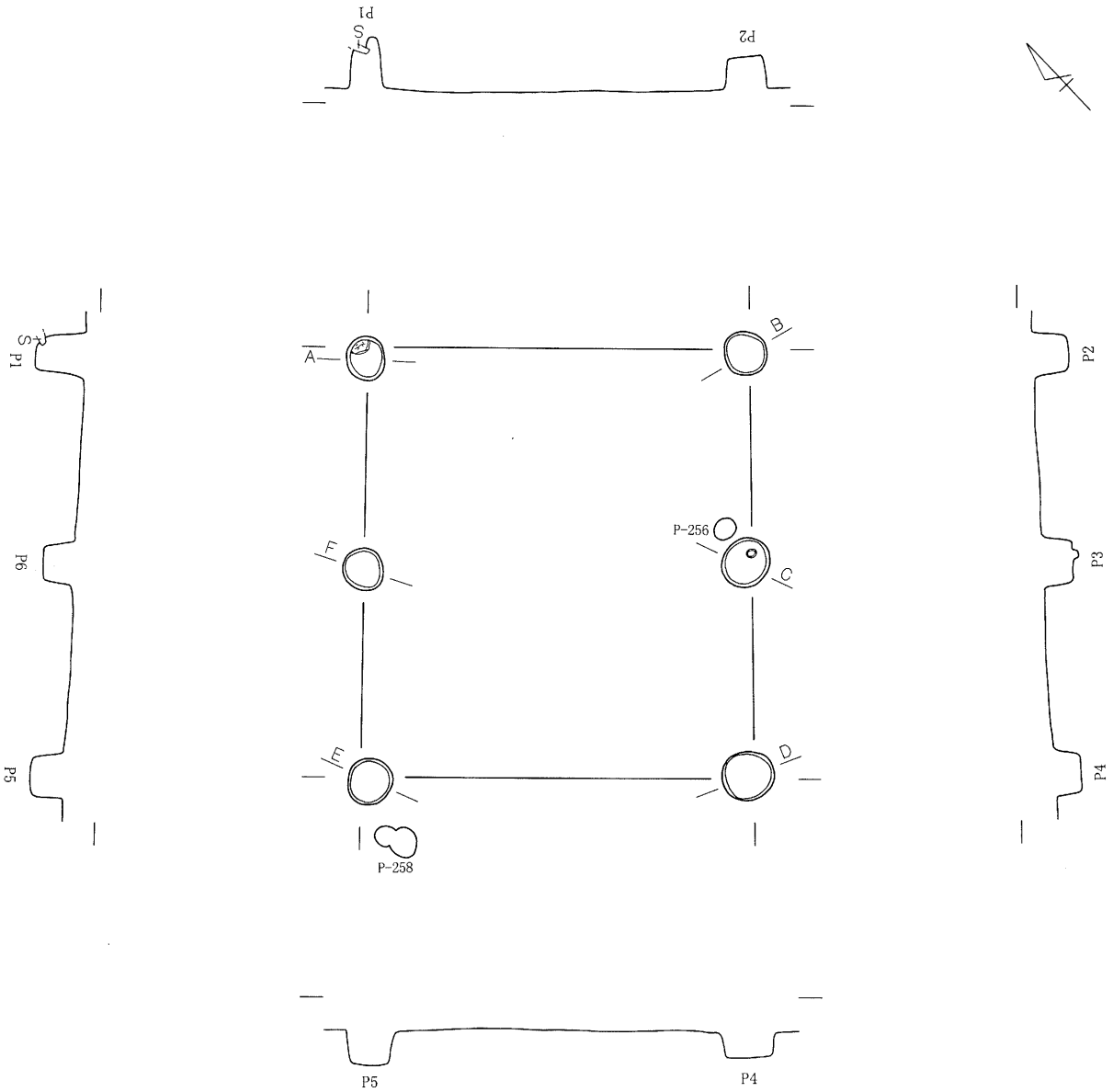
水準値：542.70

1　5YR2/1 黒褐色土 シルト

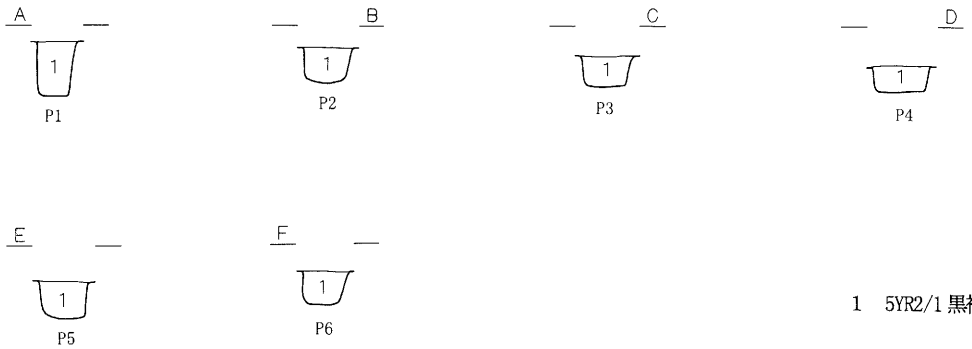
2　7.5YR4/2 灰褐色土 シルト

0　2m

第40図 第35号掘立柱建物跡実測図



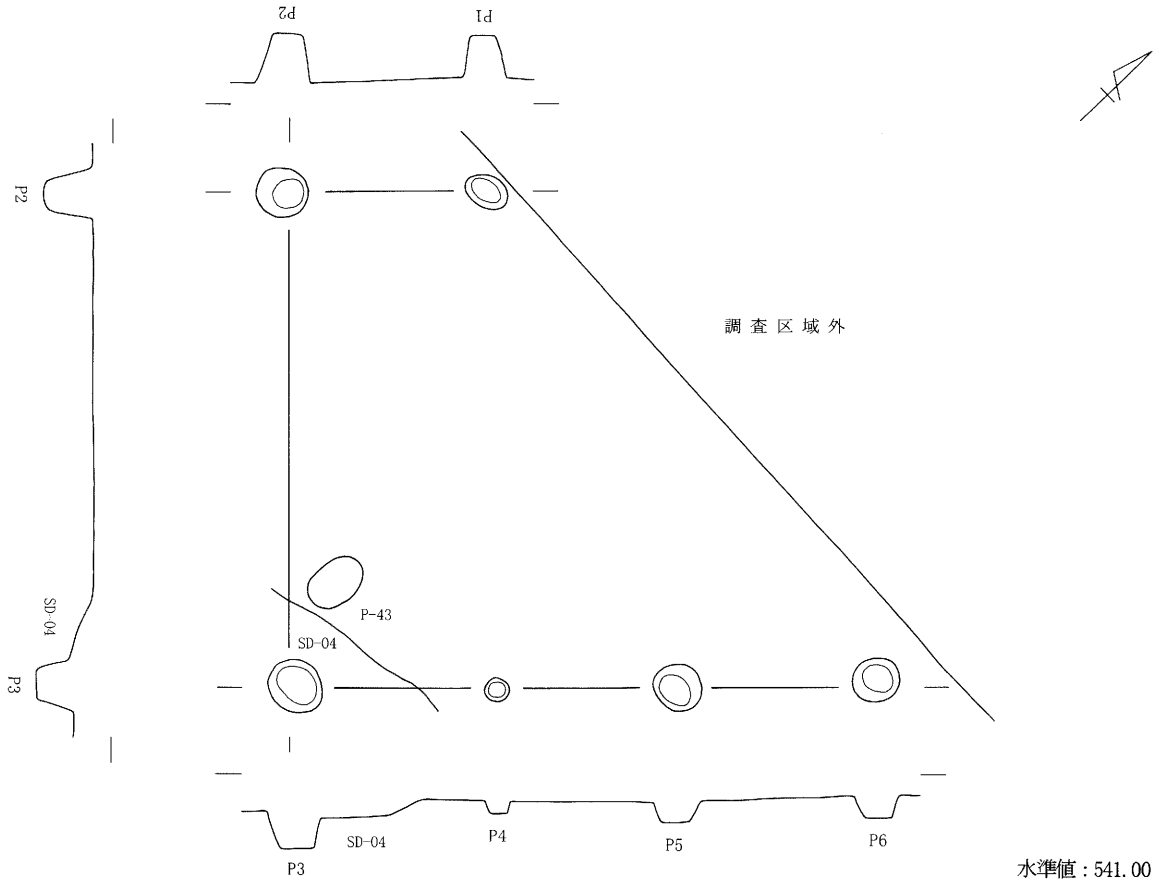
水準値：542.50



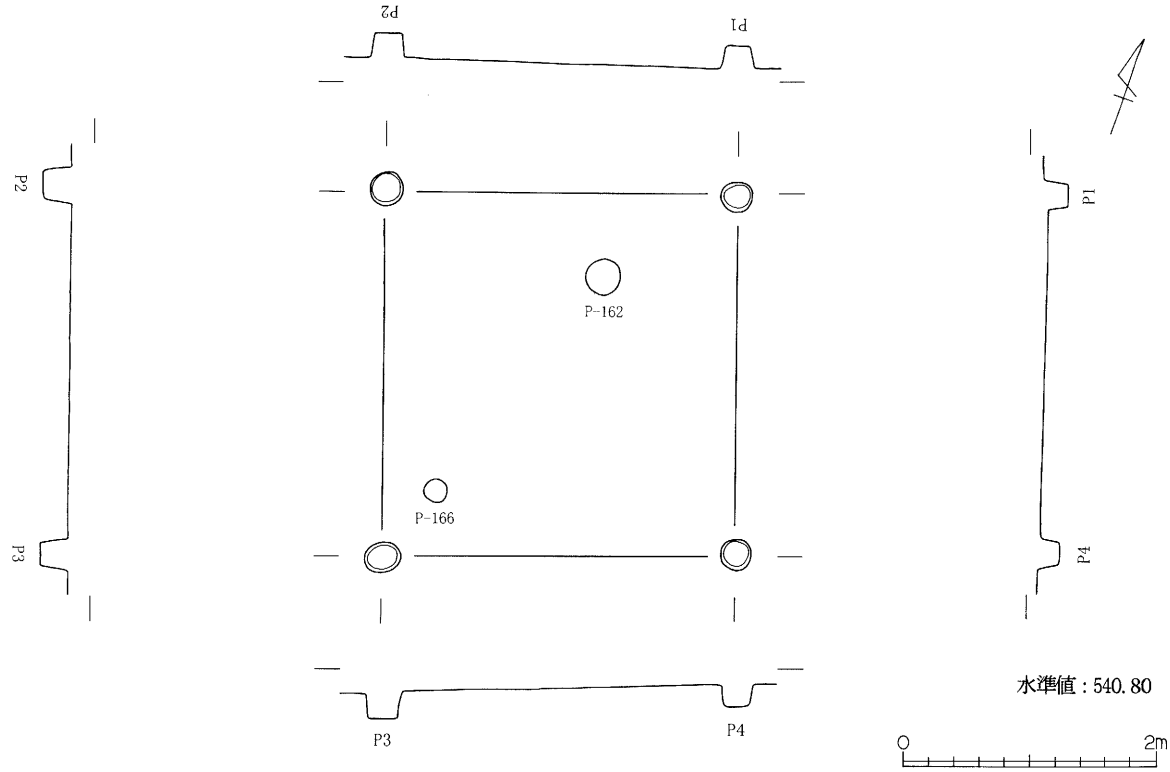
1　5YR2/1 黒褐色土 シルト

0　2m

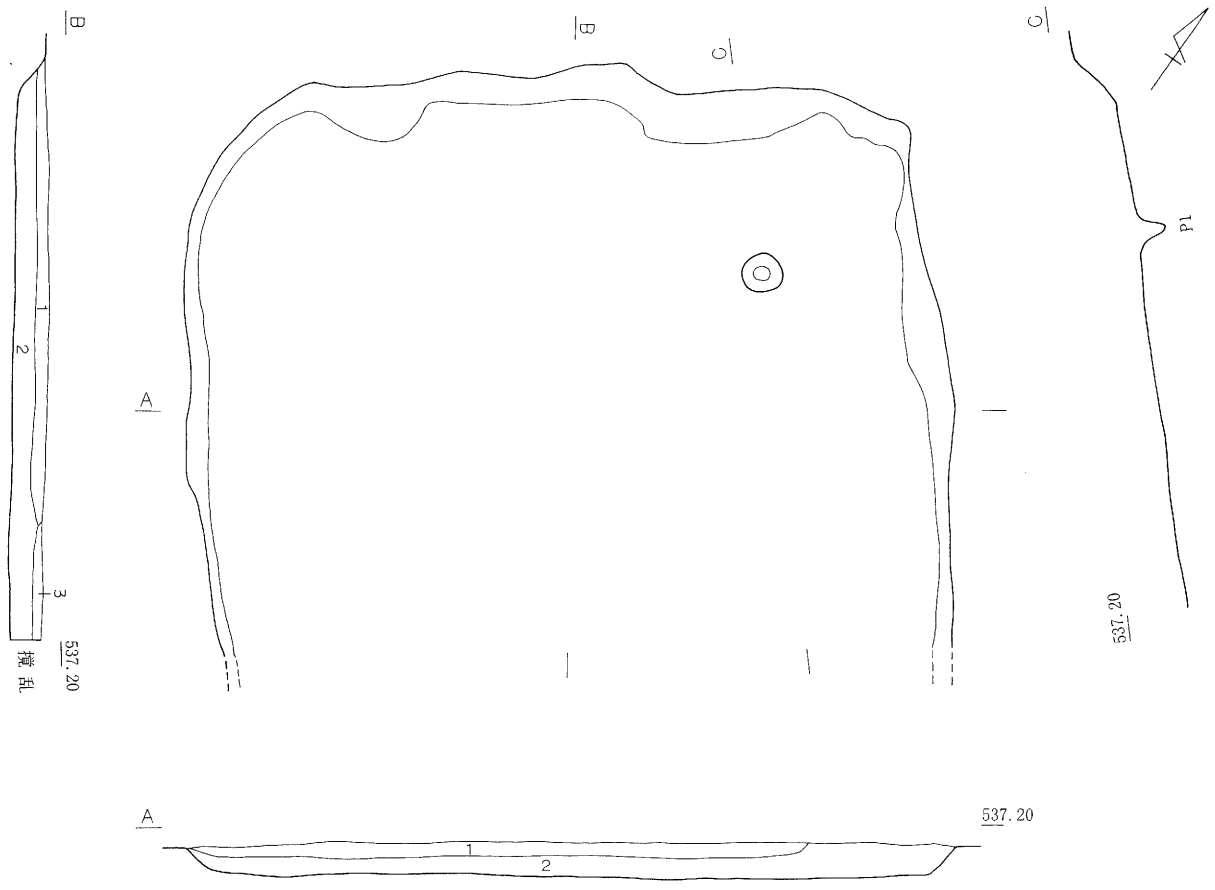
第41図 第36号掘立柱建物跡実測図



第42図　第37号掘立柱建物跡実測図

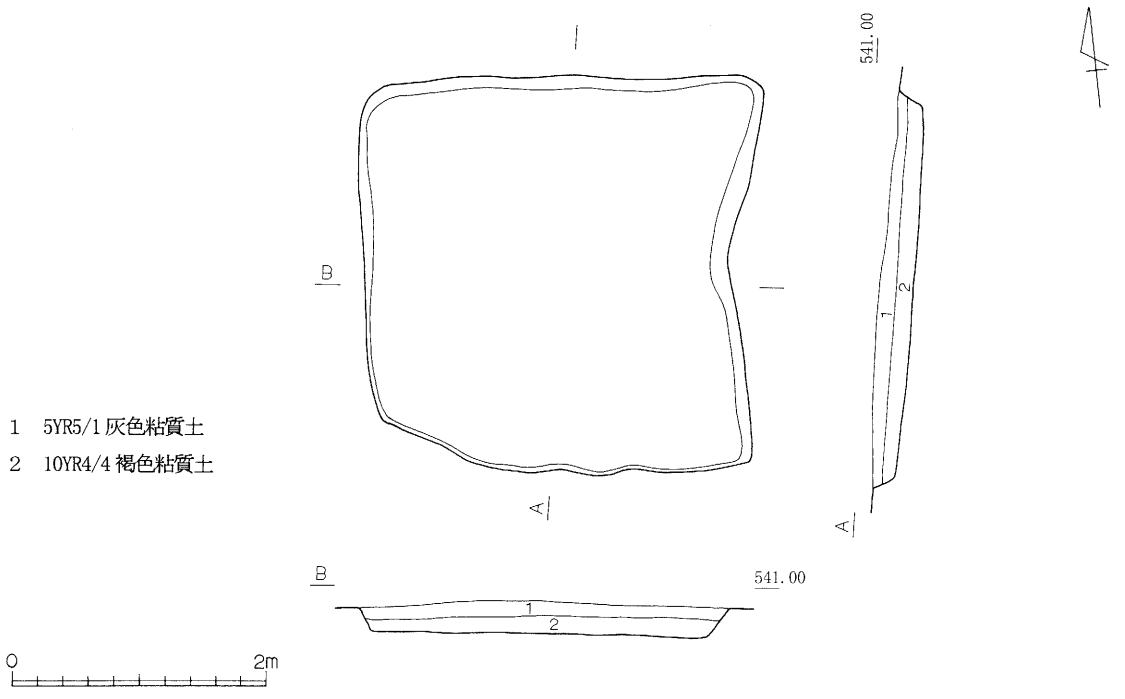


第43図　第38号掘立柱建物跡実測図



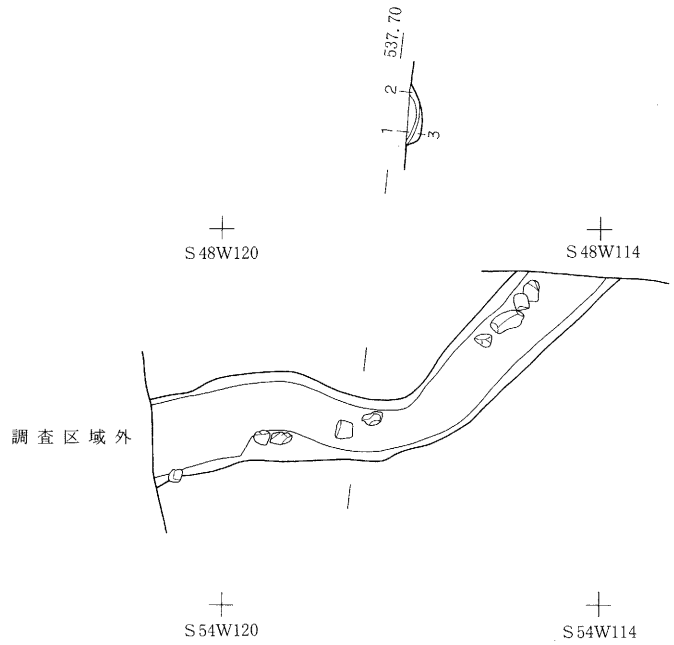
1　7.5YR6/4 にぶい橙色粘質土
2　7.5YR3/1 黒褐色粘質土
3　2.5YR6/3 にぶい黄色粘質土

第44図　第１号竪穴住居跡実測図



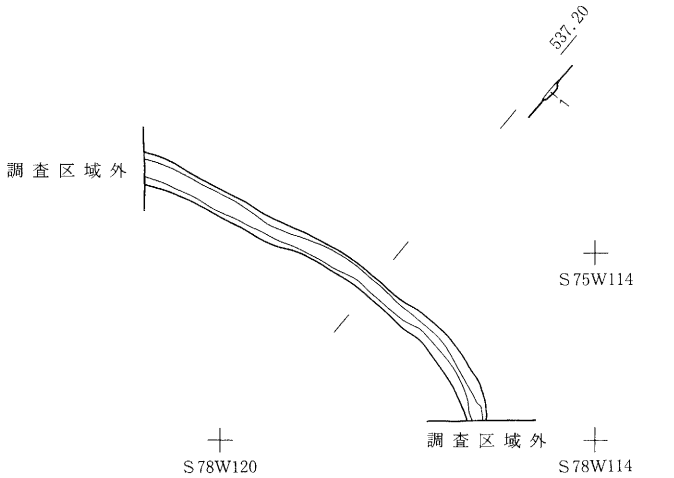
1　5YR5/1 灰色粘質土
2　10YR4/4 褐色粘質土

第45図　第２号竪穴状遺構実測図

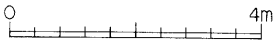


1　5YR5/8 明赤褐色砂質土
2　7.5YR5/1 灰色粘質土 シルト
3　5YR6/1 褐灰色粘土

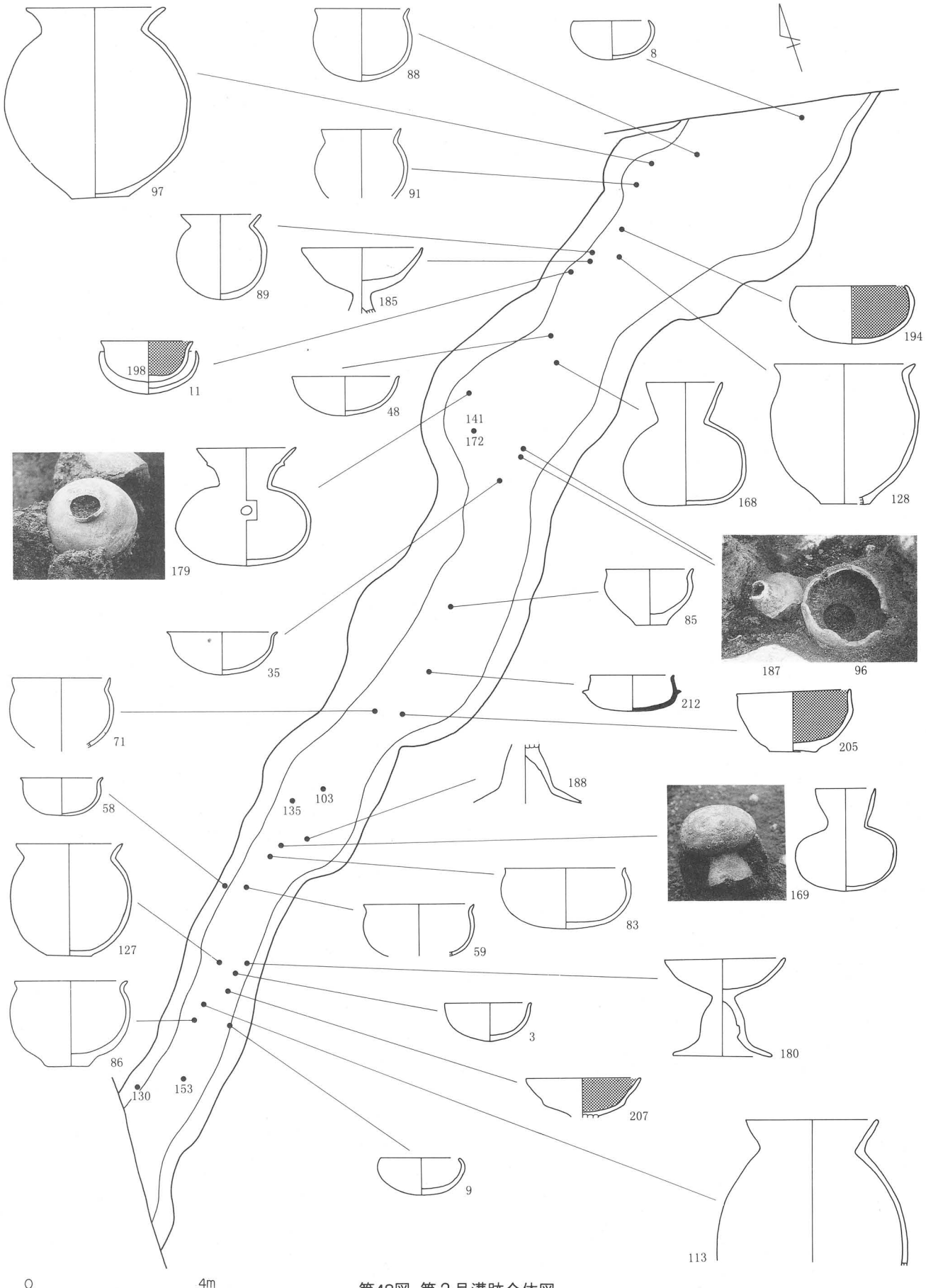
第46図 第１号溝跡実測図



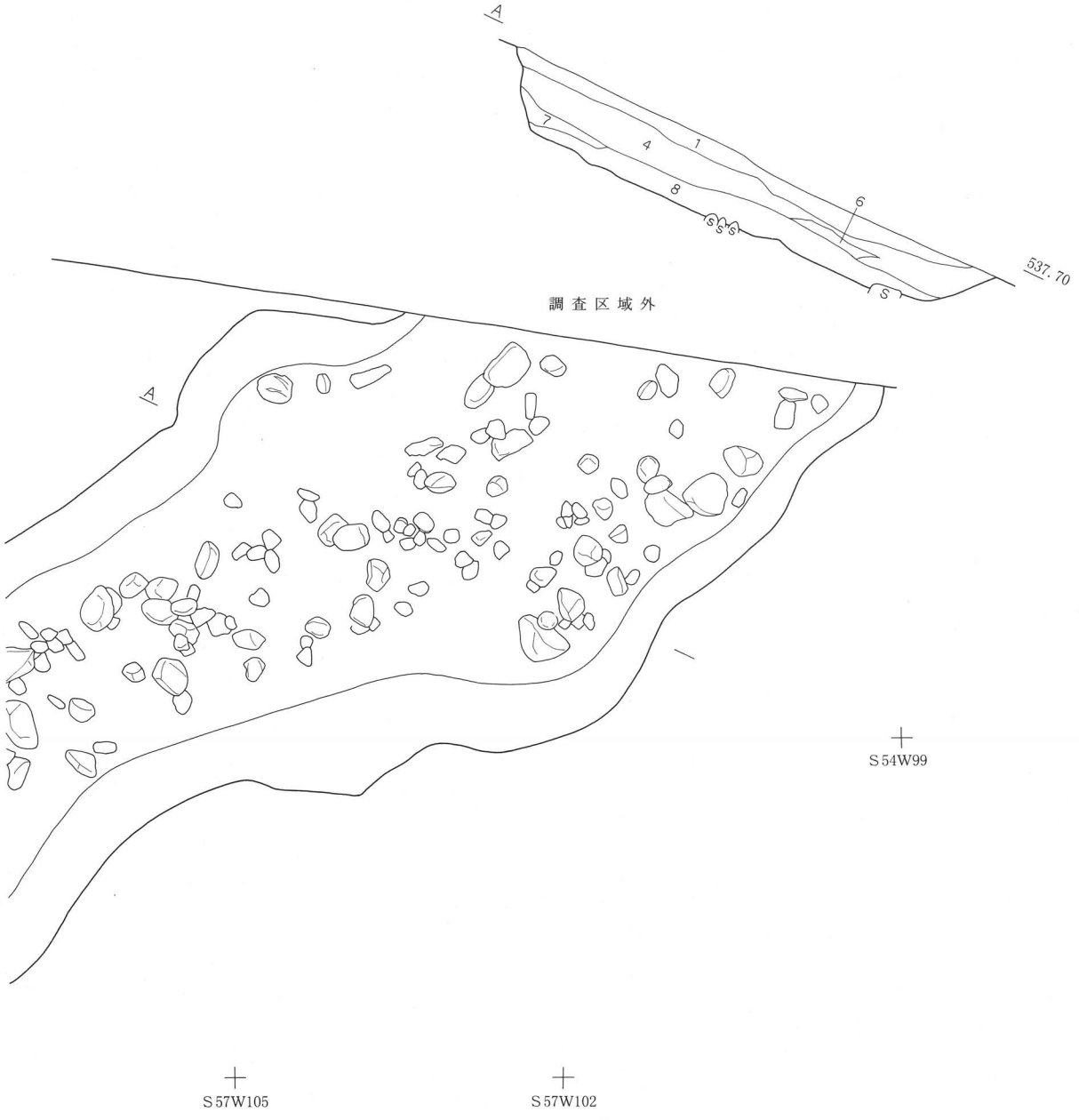
1　10YR4/1 褐灰色砂質土



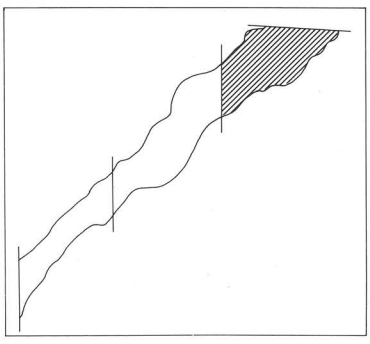
第47図 第３号溝跡実測図



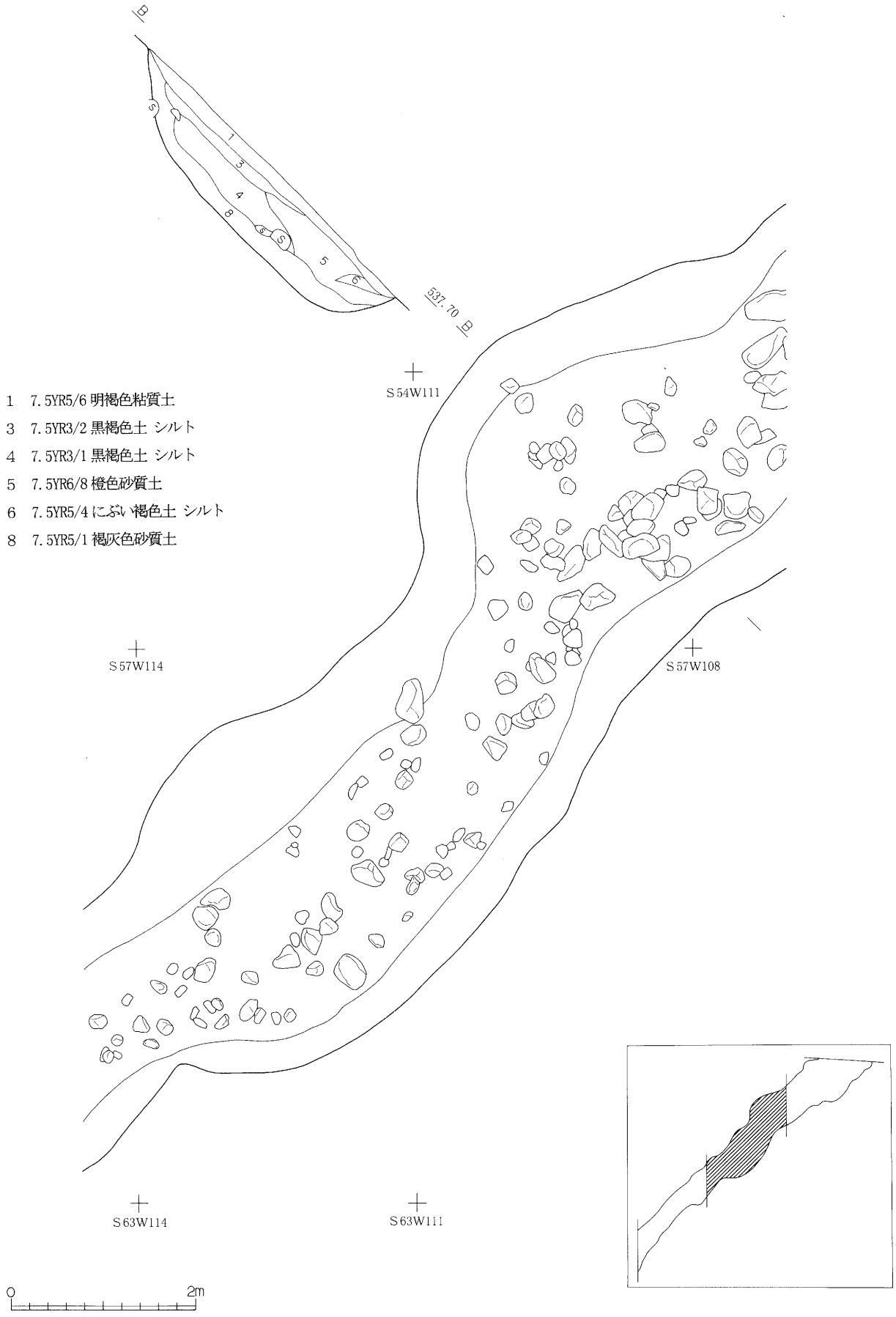
第48図　第２号溝跡全体図



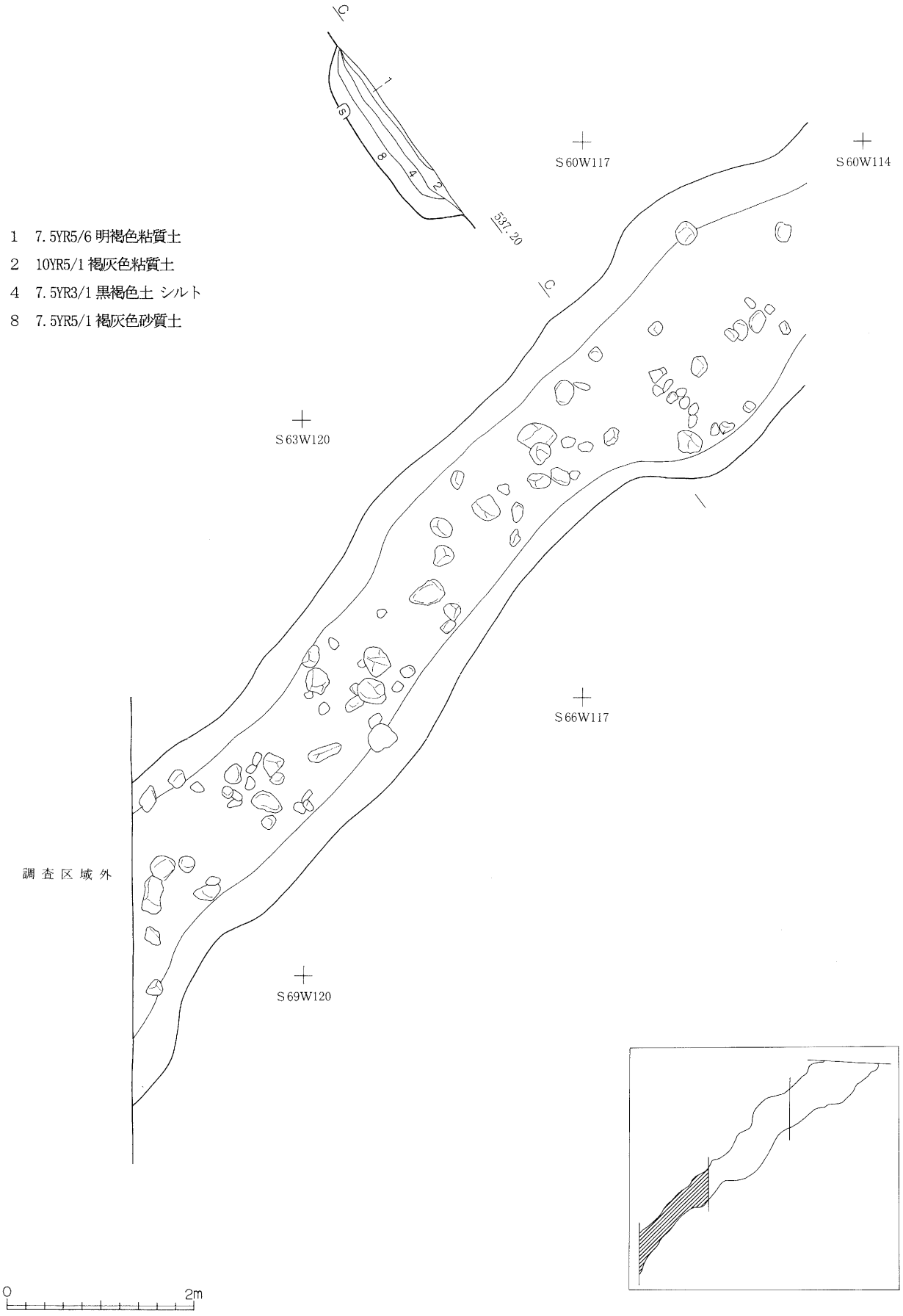
1　7.5YR5/6 明褐色粘質土
4　7.5YR3/1 黒褐色土 シルト
6　7.5YR5/4 にぶい褐色土 シルト
7　5YR4/1 褐灰色砂質土
8　7.5YR5/1 褐灰色砂質土



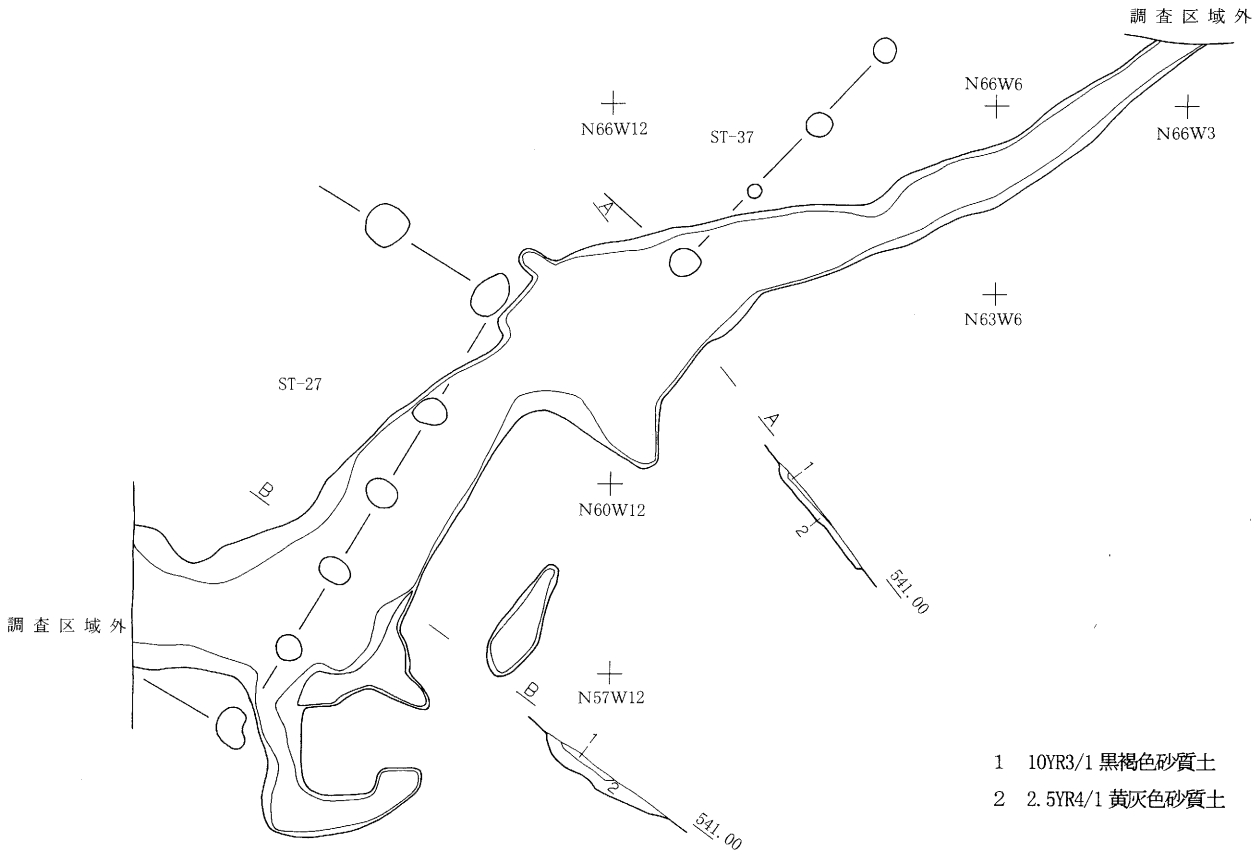
第49図 第２号溝跡実測図（１）



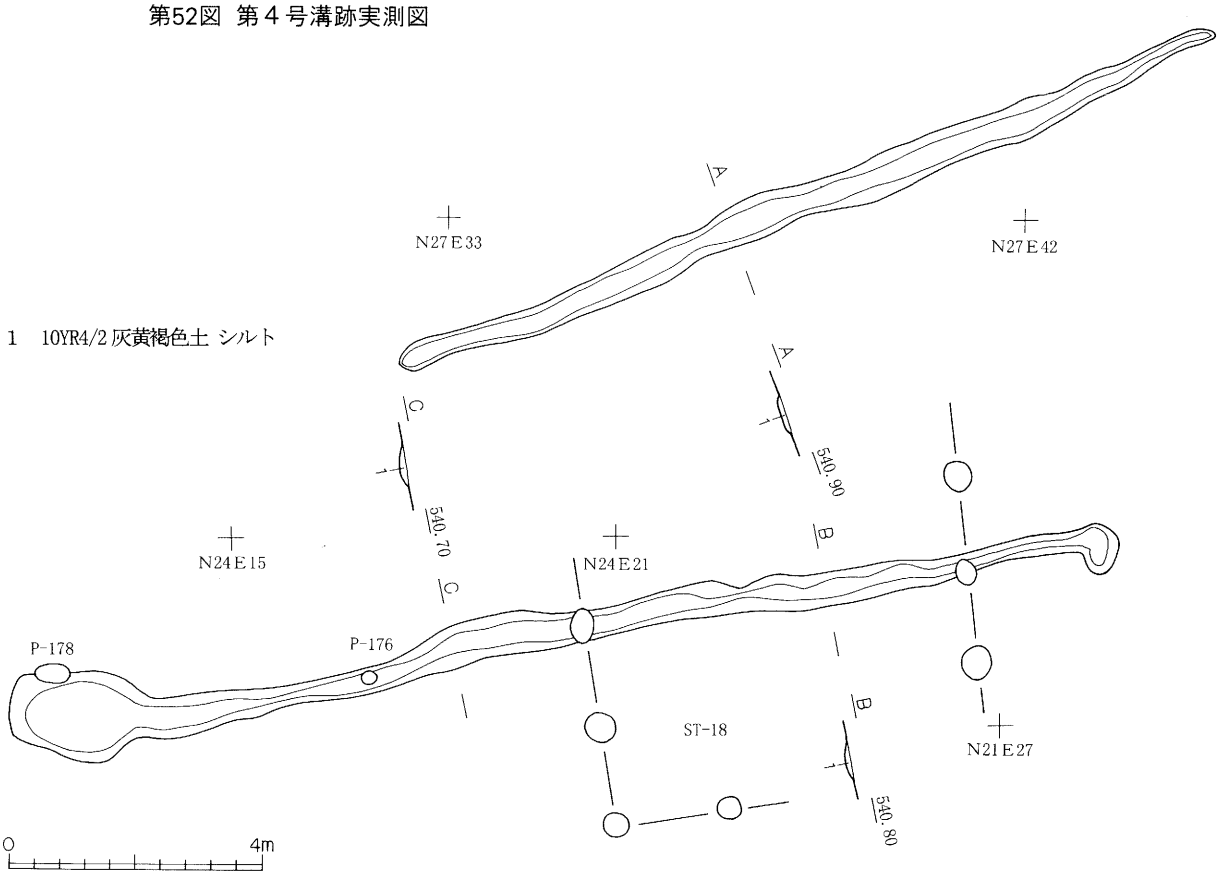
第50図 第２号溝跡実測図（２）



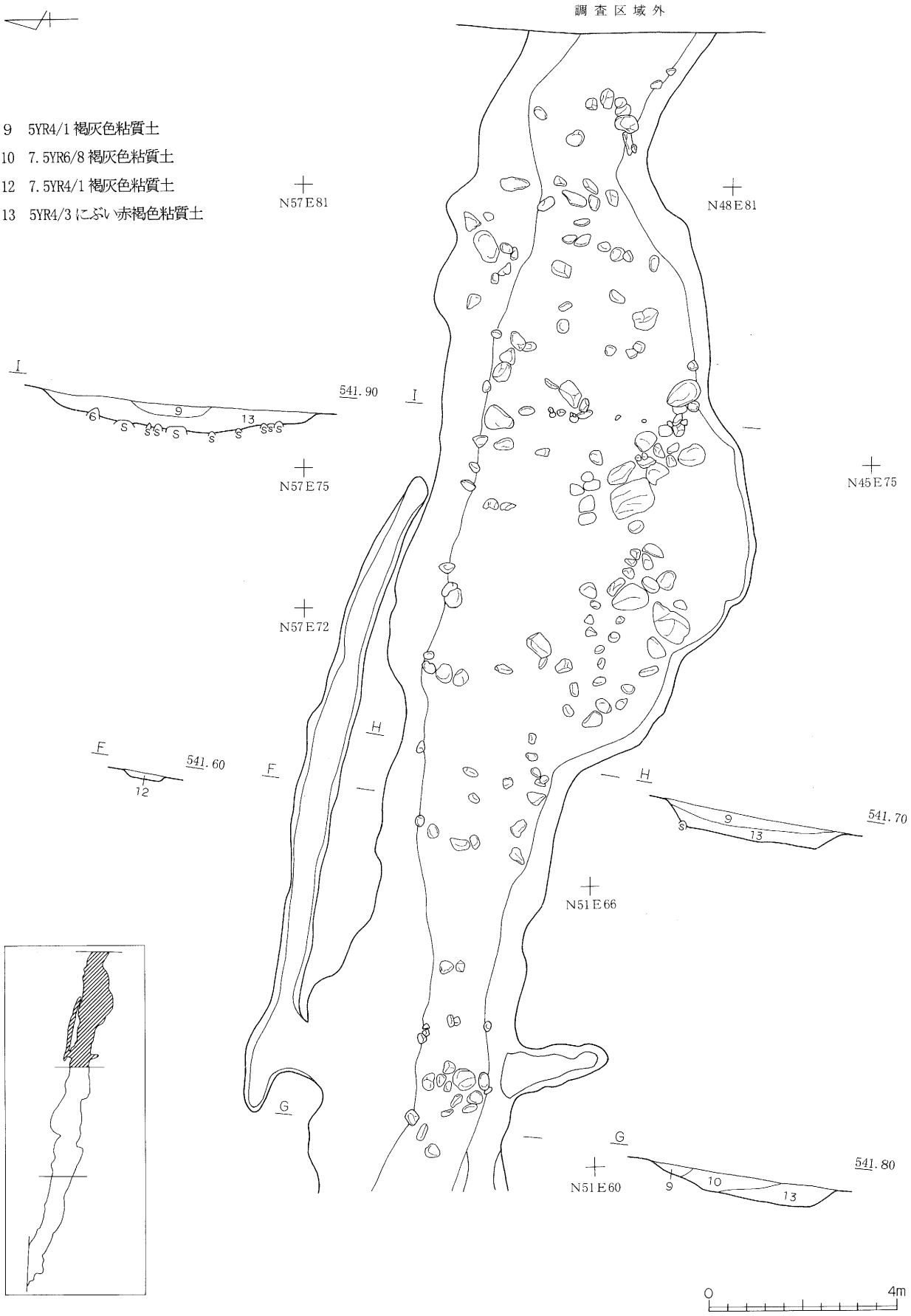
第51図 第２号溝跡実測図（３）



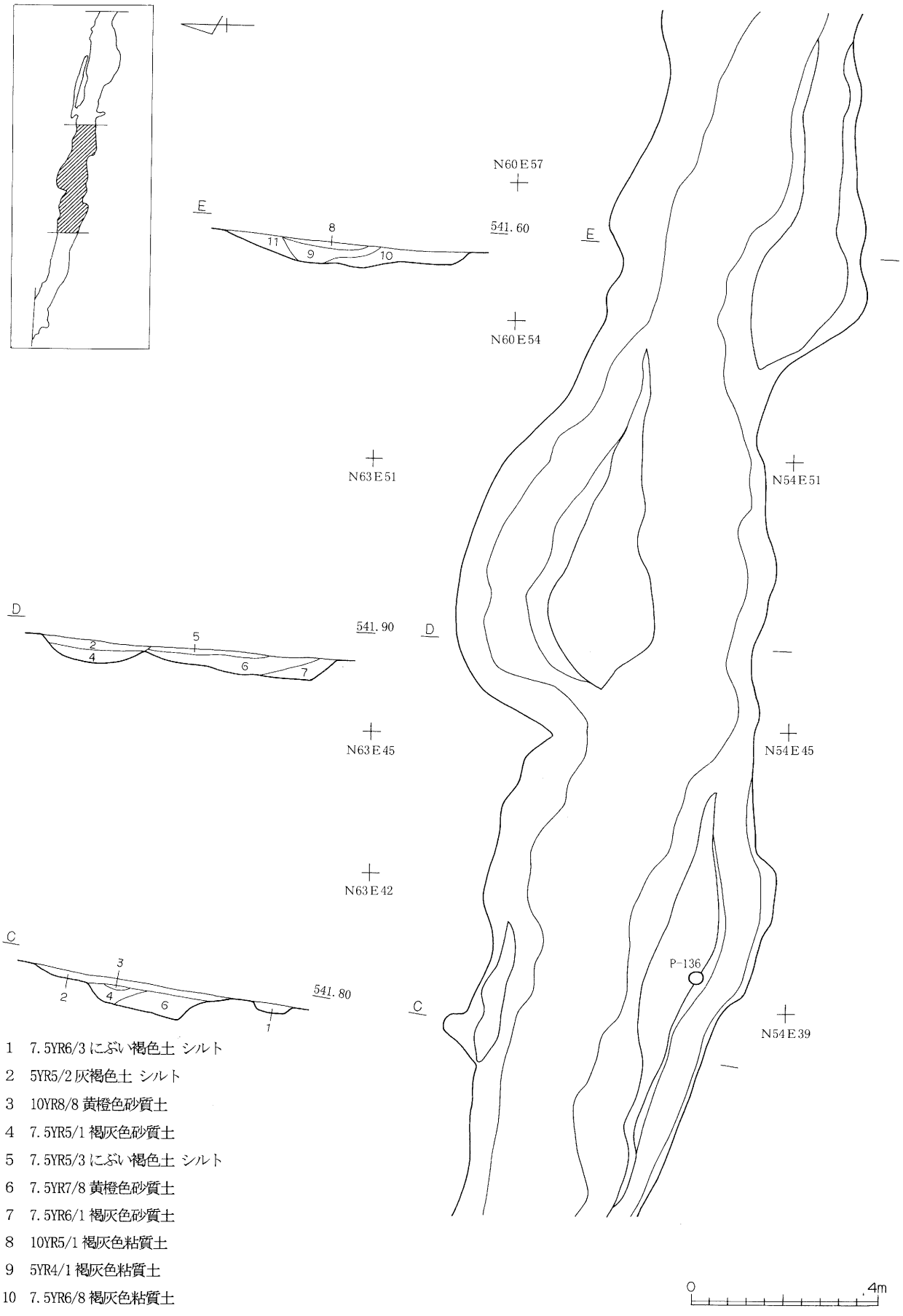
第52図 第４号溝跡実測図



第53図 第８号溝跡実測図

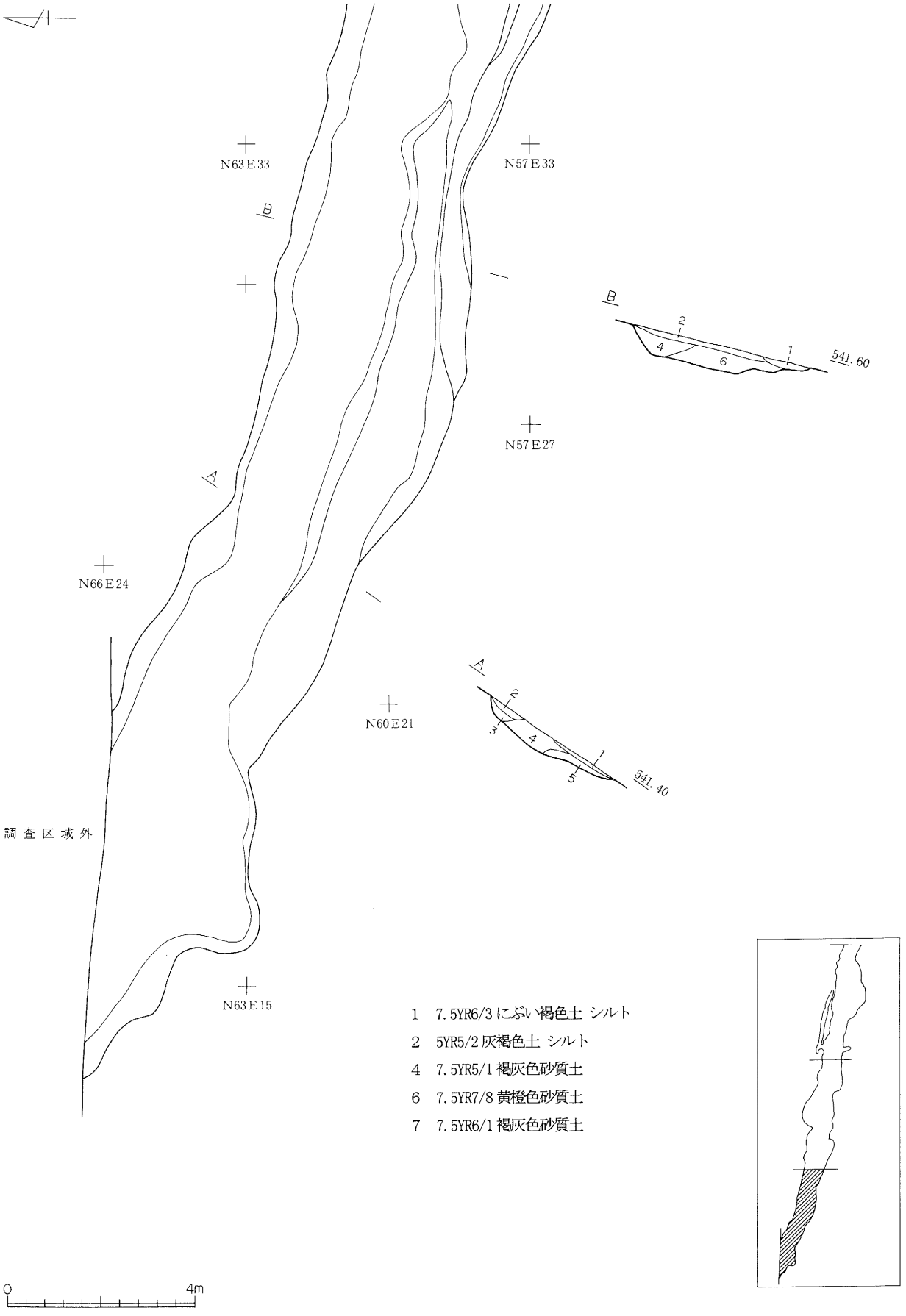


第54図　第５号溝跡実測図（１）

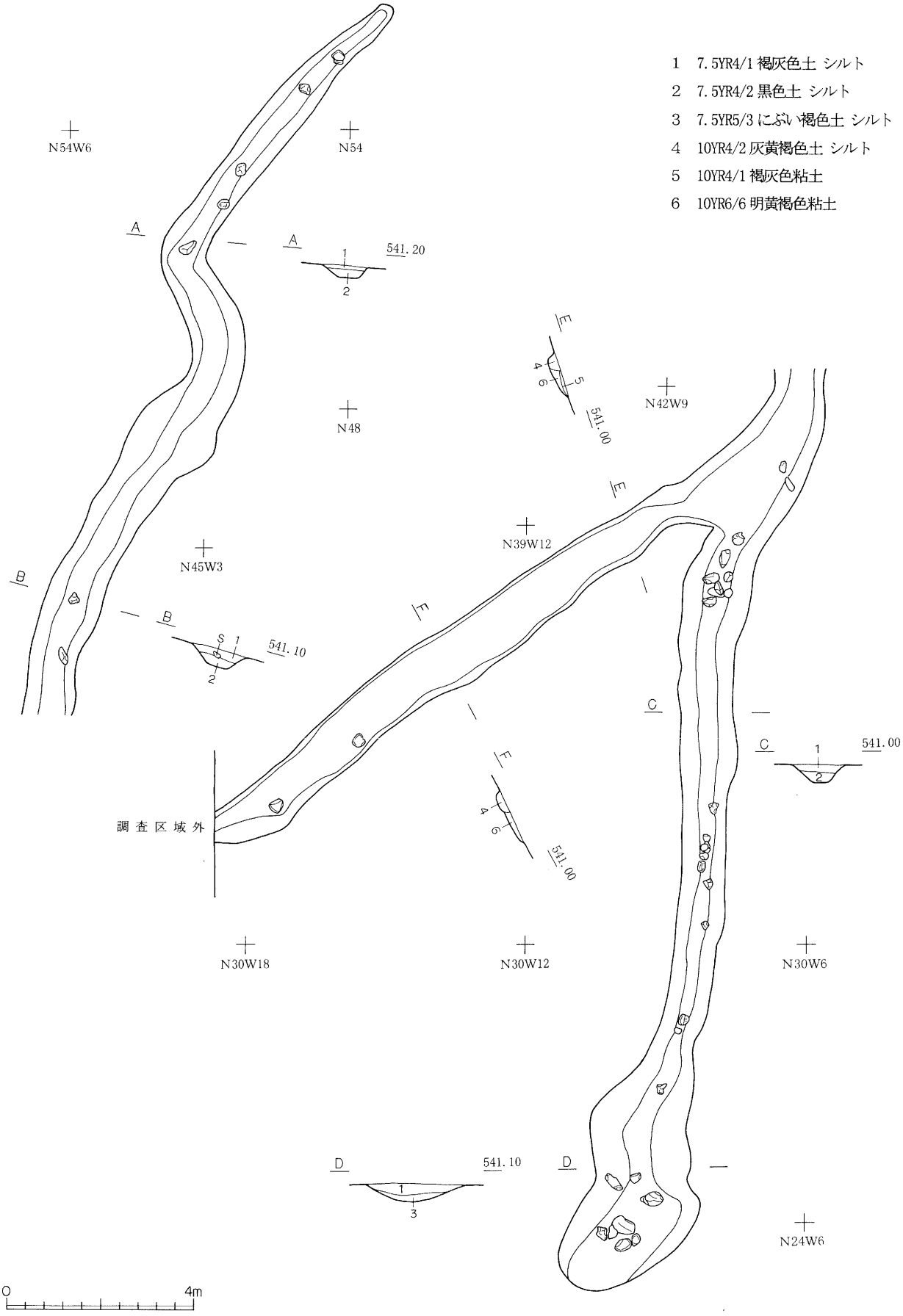


1　7.5YR6/3 にぶい褐色土 シルト
2　5YR5/2 灰褐色土 シルト
3　10YR8/8 黄橙色砂質土
4　7.5YR5/1 褐灰色砂質土
5　7.5YR5/3 にぶい褐色土 シルト
6　7.5YR7/8 黄橙色砂質土
7　7.5YR6/1 褐灰色砂質土
8　10YR5/1 褐灰色粘質土
9　5YR4/1 褐灰色粘質土
10　7.5YR6/8 褐灰色粘質土
11　10YR4/2 灰黄褐色粘質土

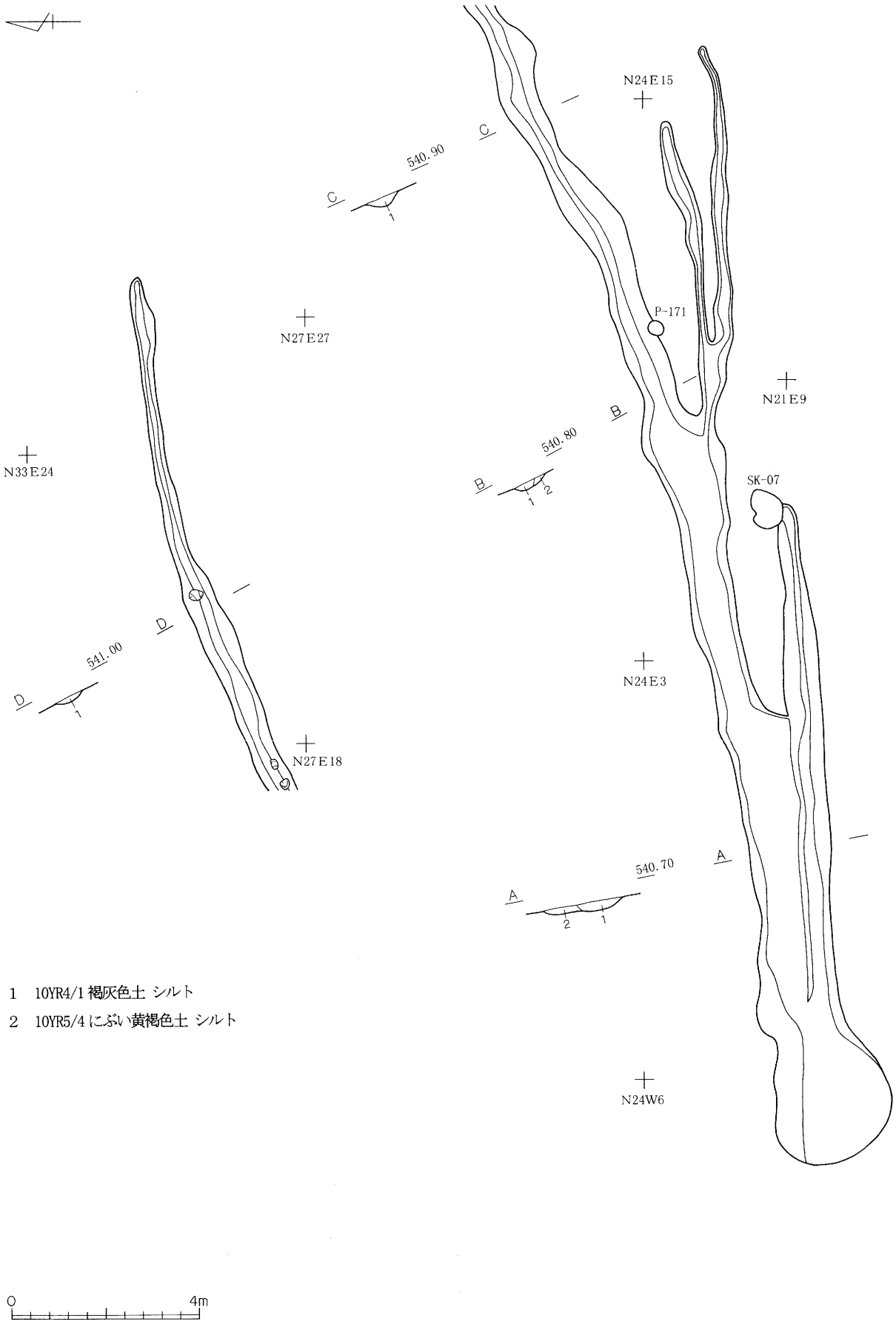
第55図　第５号溝跡実測図（２）



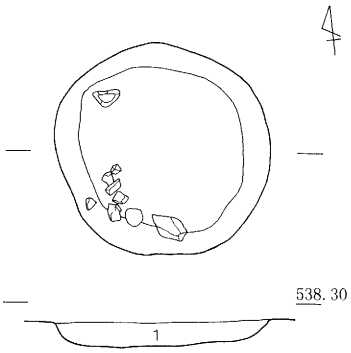
第56図 第５号溝跡実測図（３）



第57図 第６号溝跡実測図

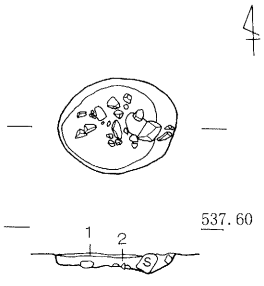


第58図 第７号溝跡実測図



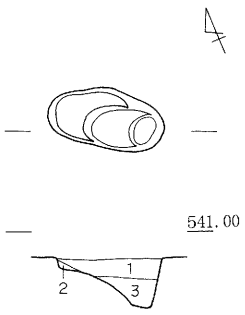
1　10YR4/1 褐灰色粘質土

第1号



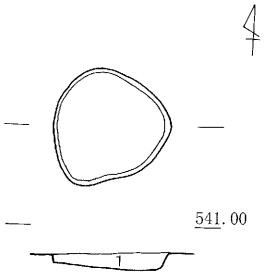
1　7.5YR2/1 黒色粘質土
2　10YR4/1 褐灰色粘質土

第2号



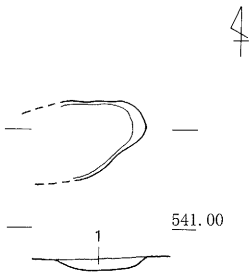
1　10YR4/1 褐灰色土 シルト
2　10YR6/6 明黄褐色粘質土
3　10YR2/1 黒色土 シルト

第3号



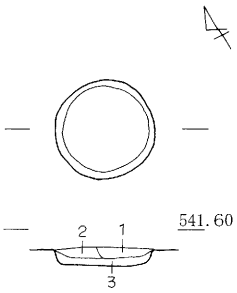
1　10YR5/3 にぶい黄褐色土 シルト

第4号



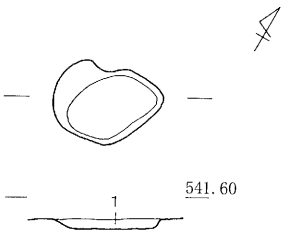
1　10YR5/3 にぶい黄褐色土 シルト

第5号



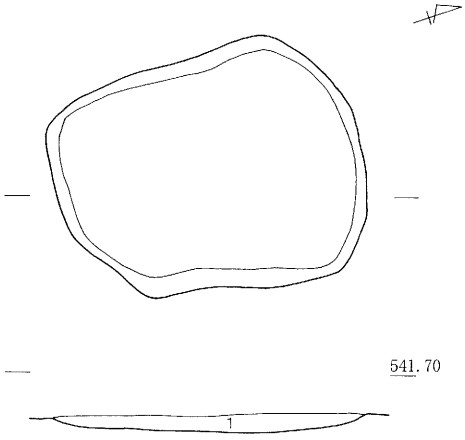
1　焼 土
2　10YR4/1 褐灰色粘質土
3　10YR6/6 明黄褐色粘質土

第6号



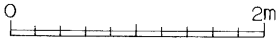
1　10YR4/1 褐灰色土 シルト

第7号

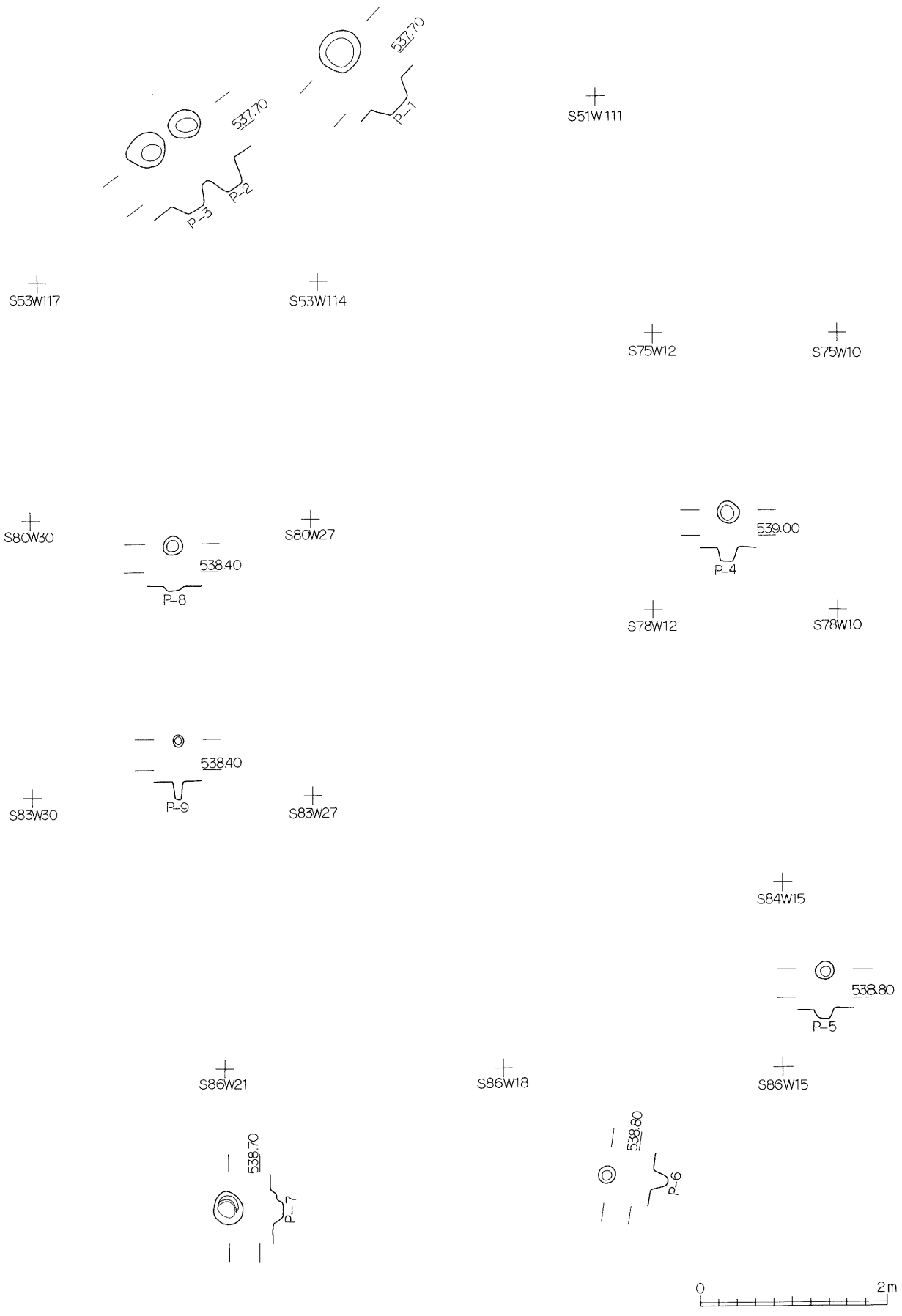


1　10YR2/1 黒色粘質土

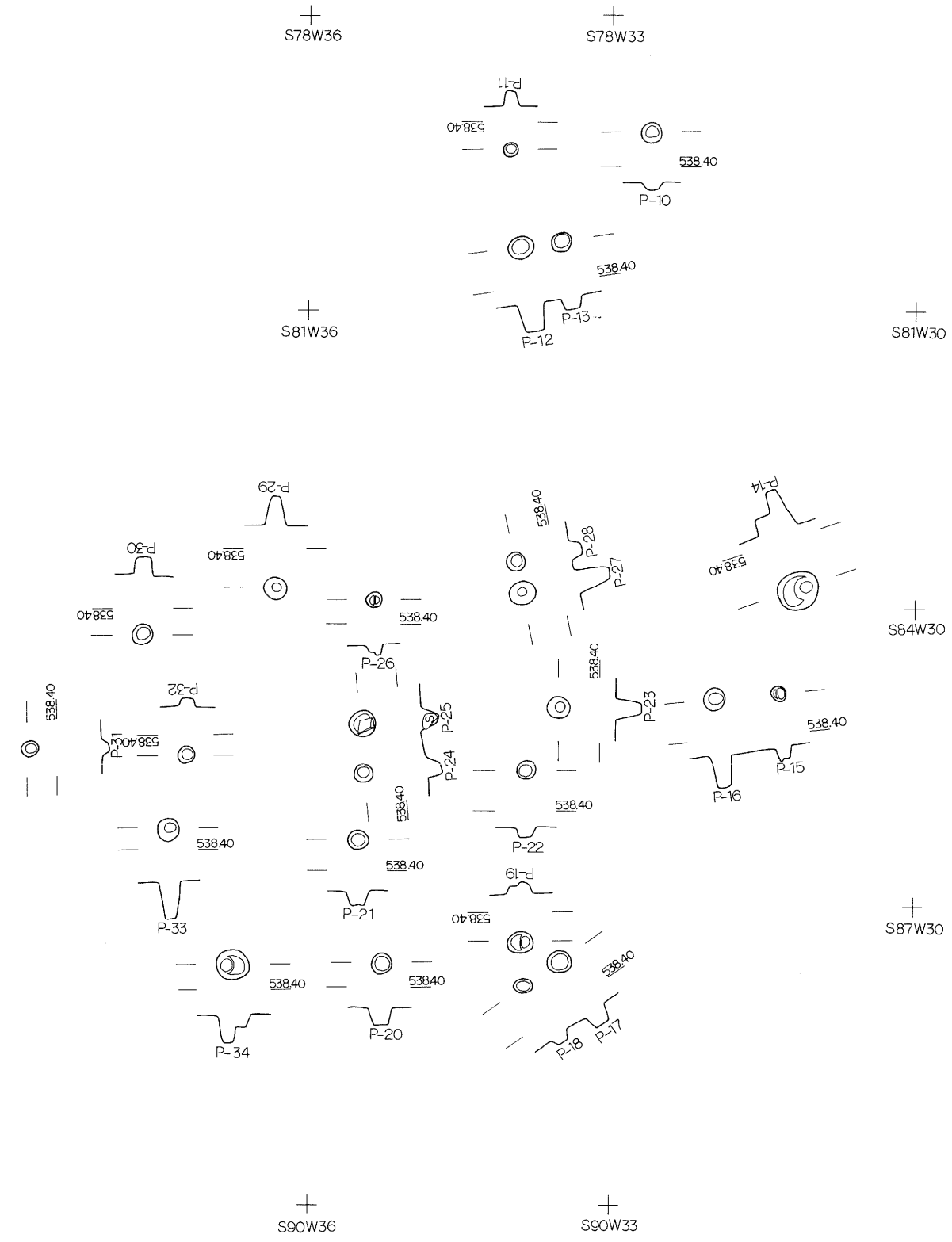
第8号



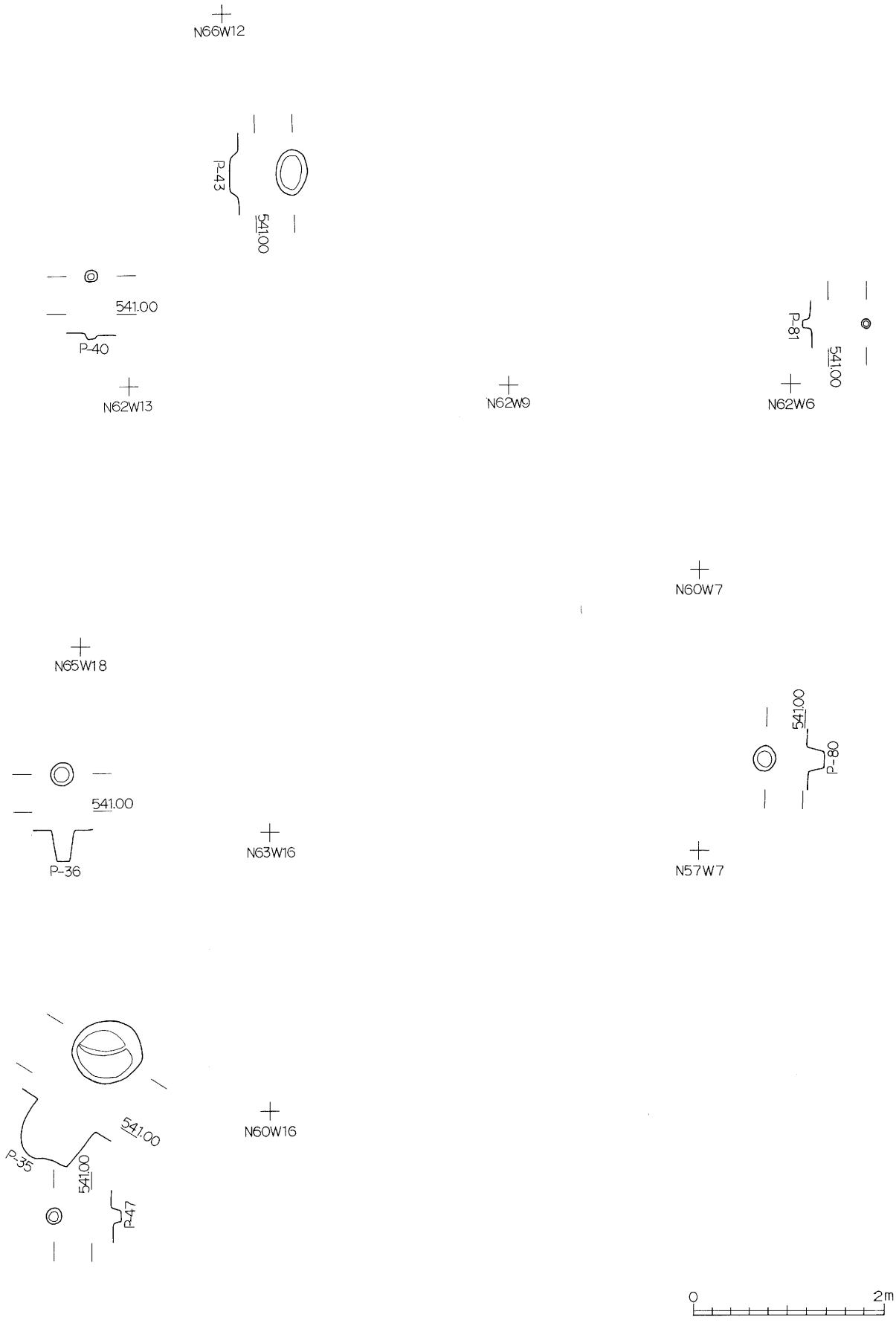
第59図　土壙実測図



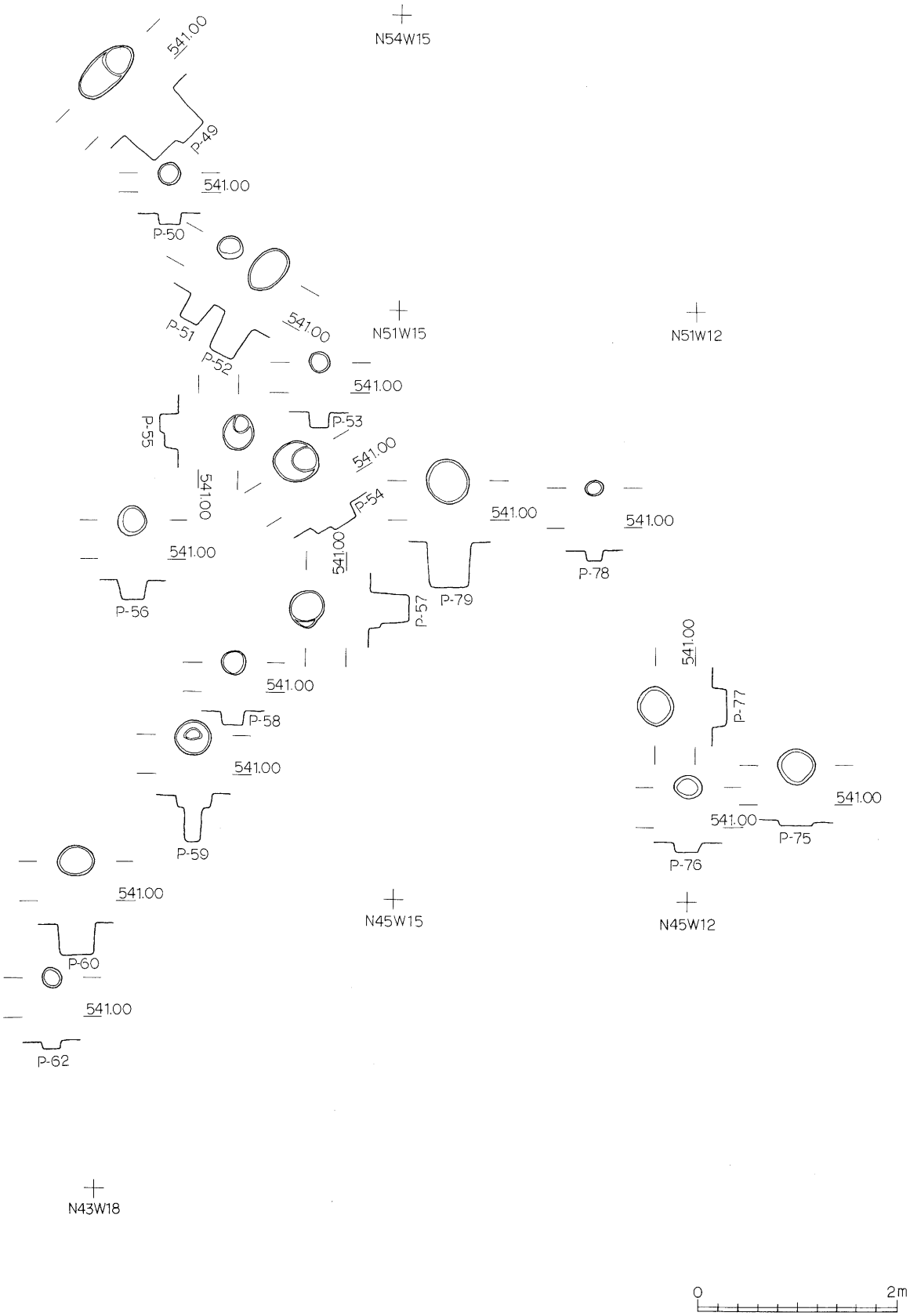
第60図　ピット実測図(１)



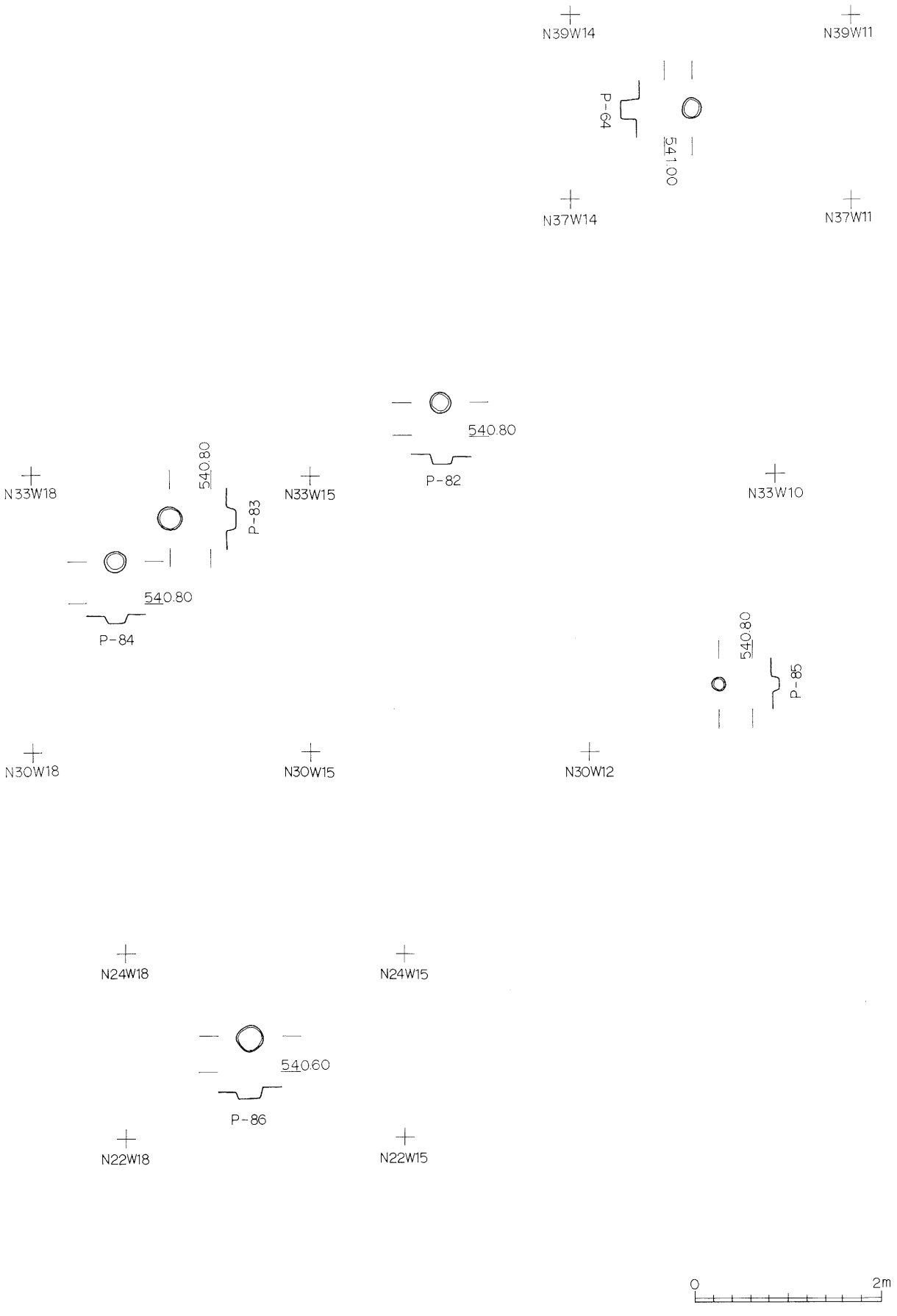
第61図 ピット実測図(２)



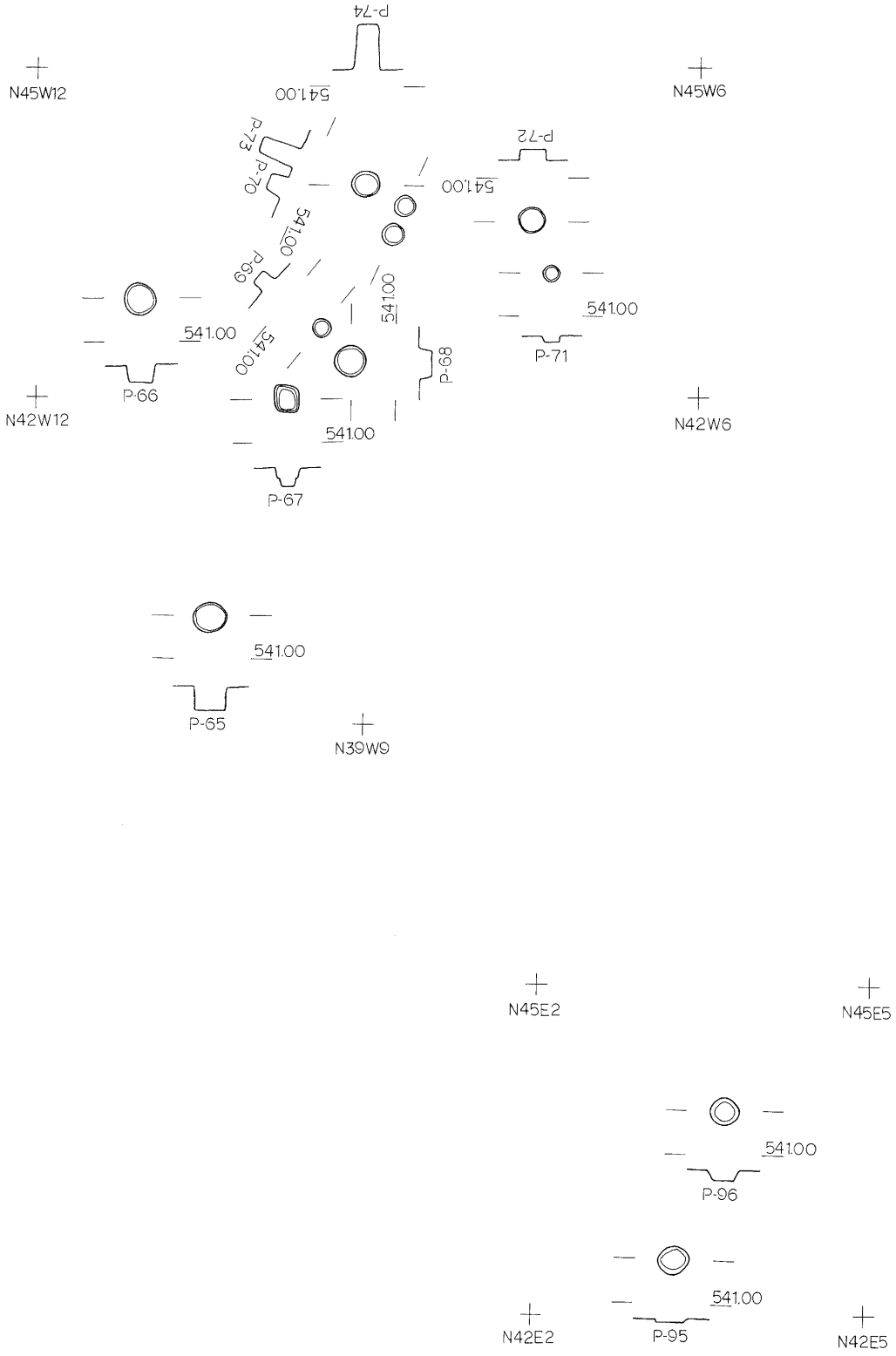
第62図　ピット実測図（３）



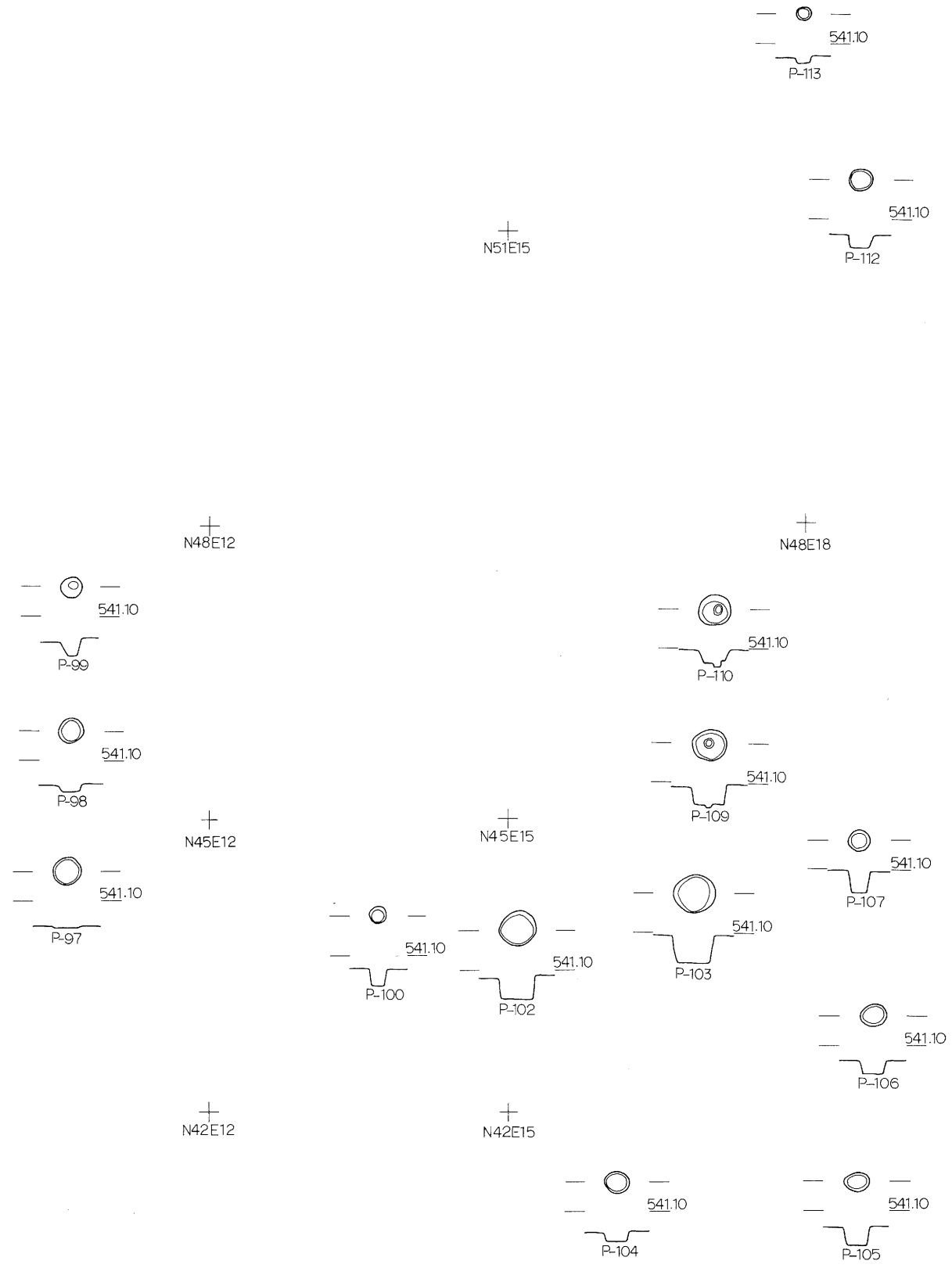
第63図 ピット実測図(４)



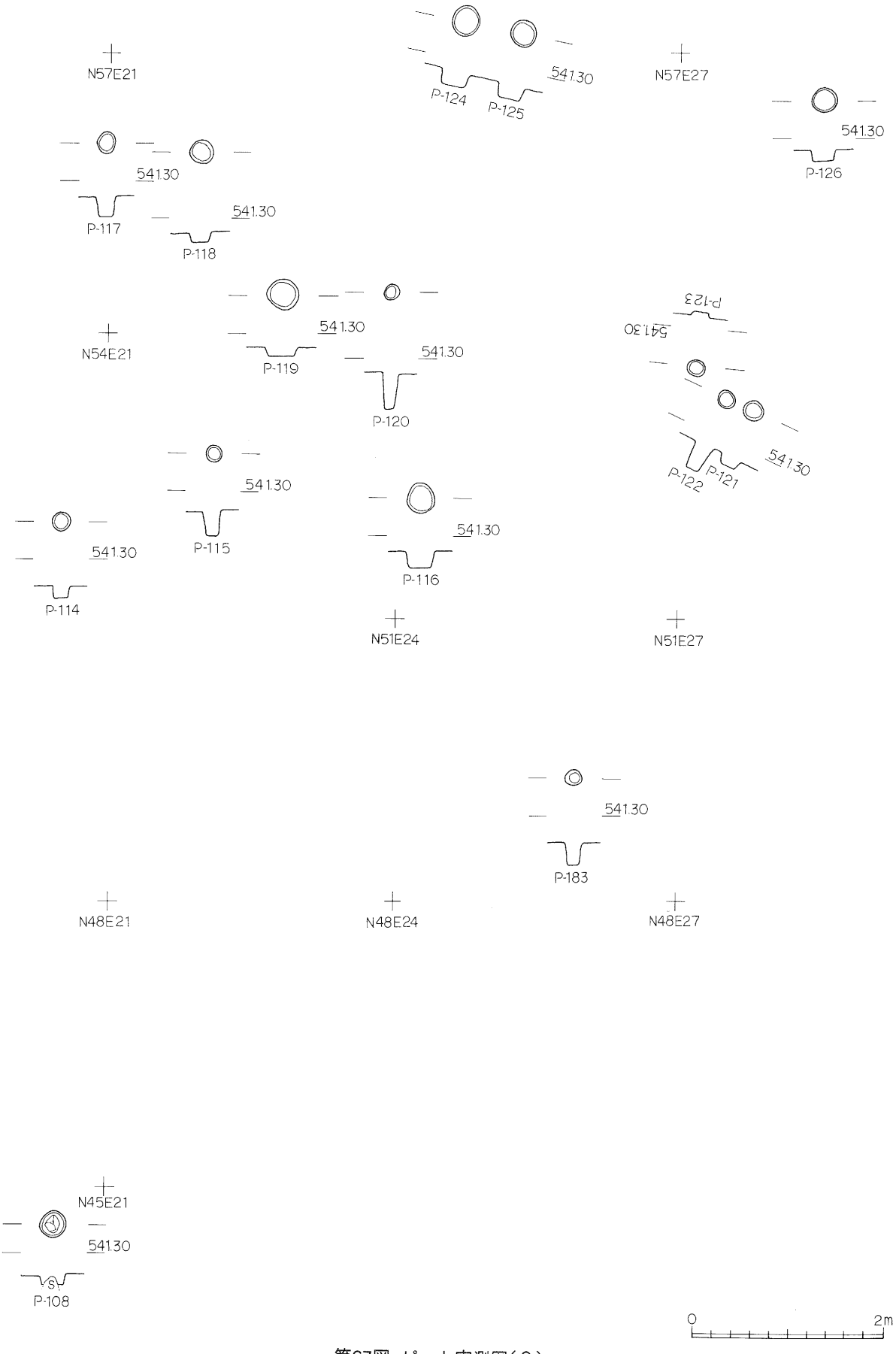
第64図　ピット実測図(５)



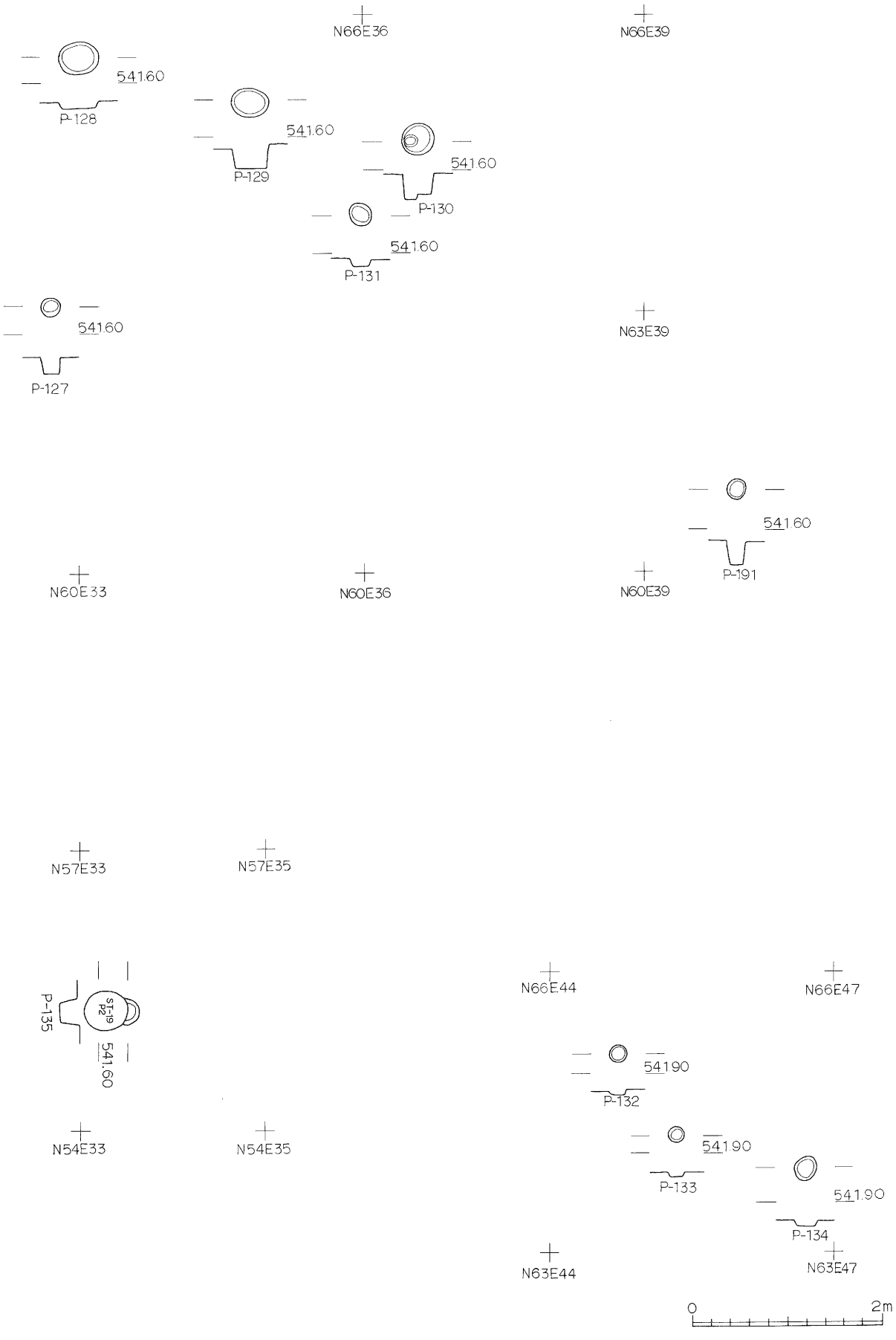
第65図　ピット実測図(６)



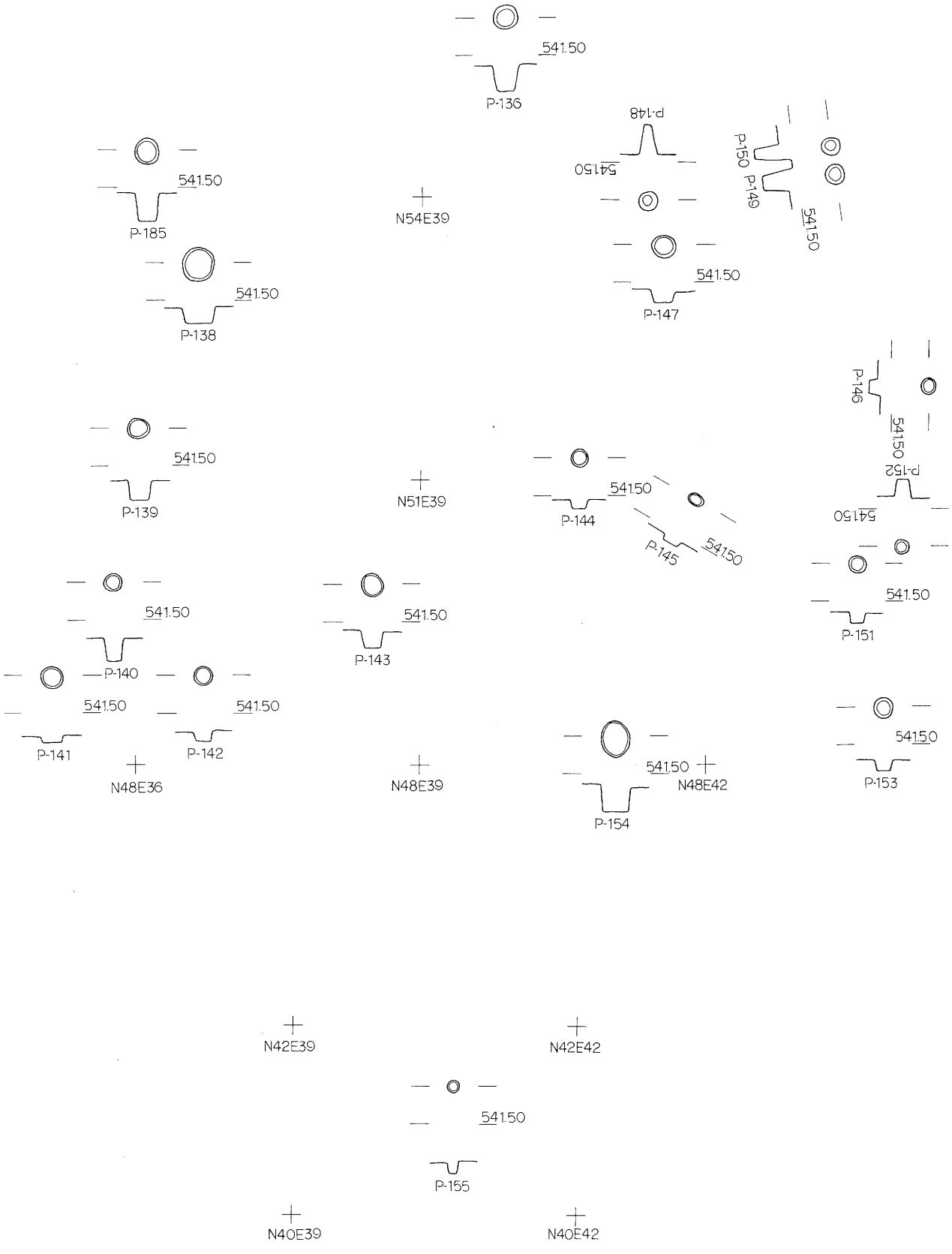
第66図 ピット実測図(7)



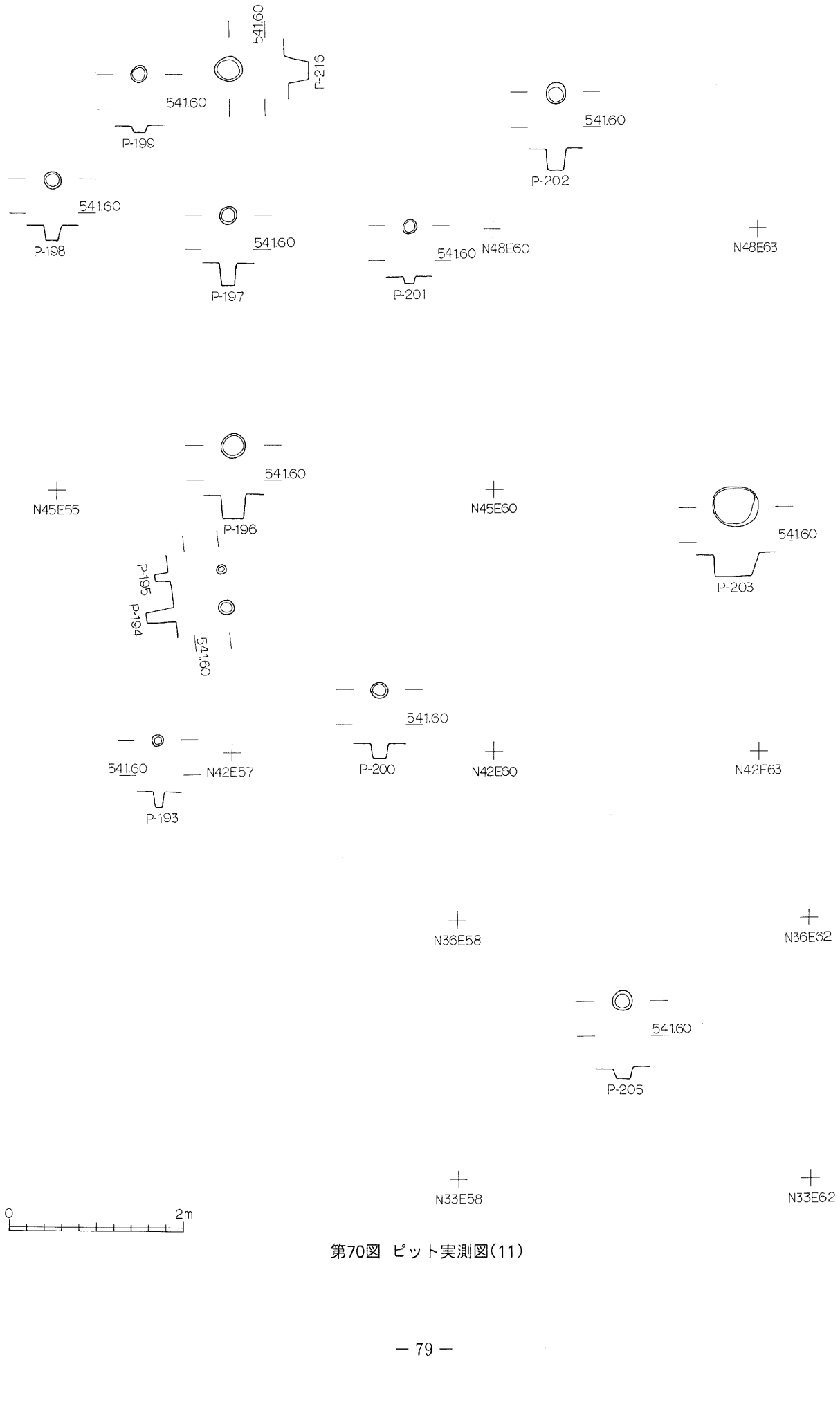
第67図　ピット実測図(８)



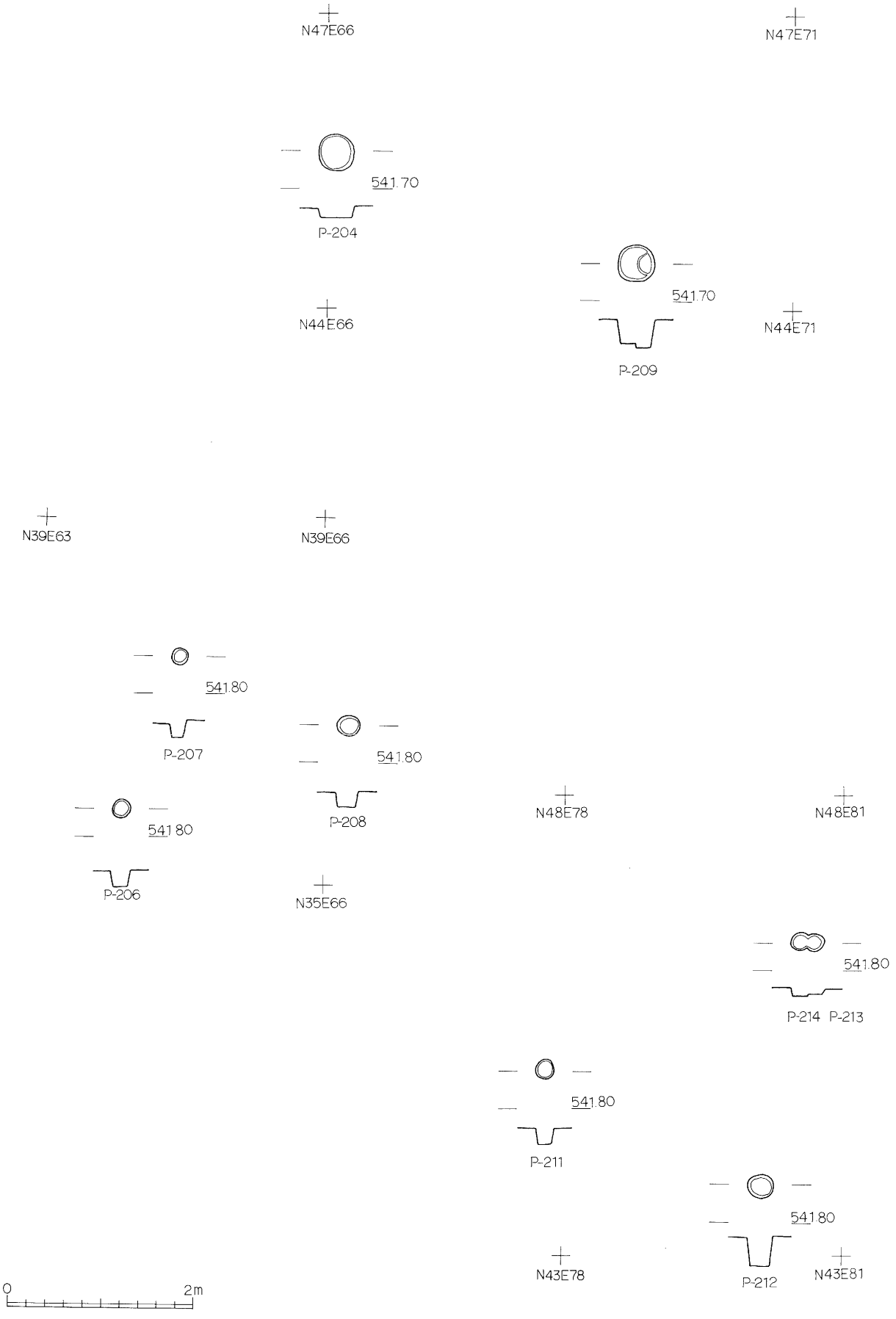
第68図　ピット実測図(９)



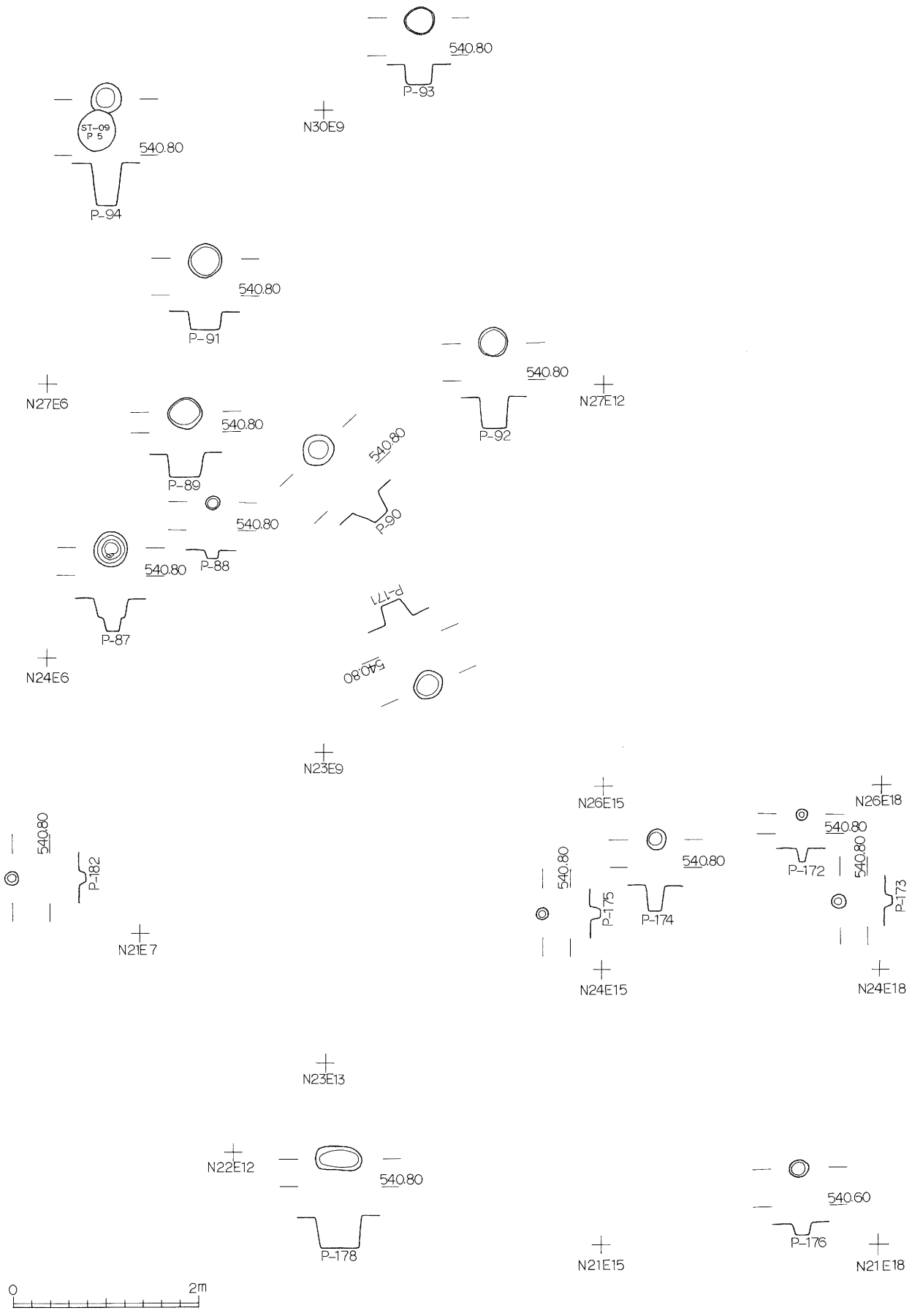
第69図 ピット実測図(10)



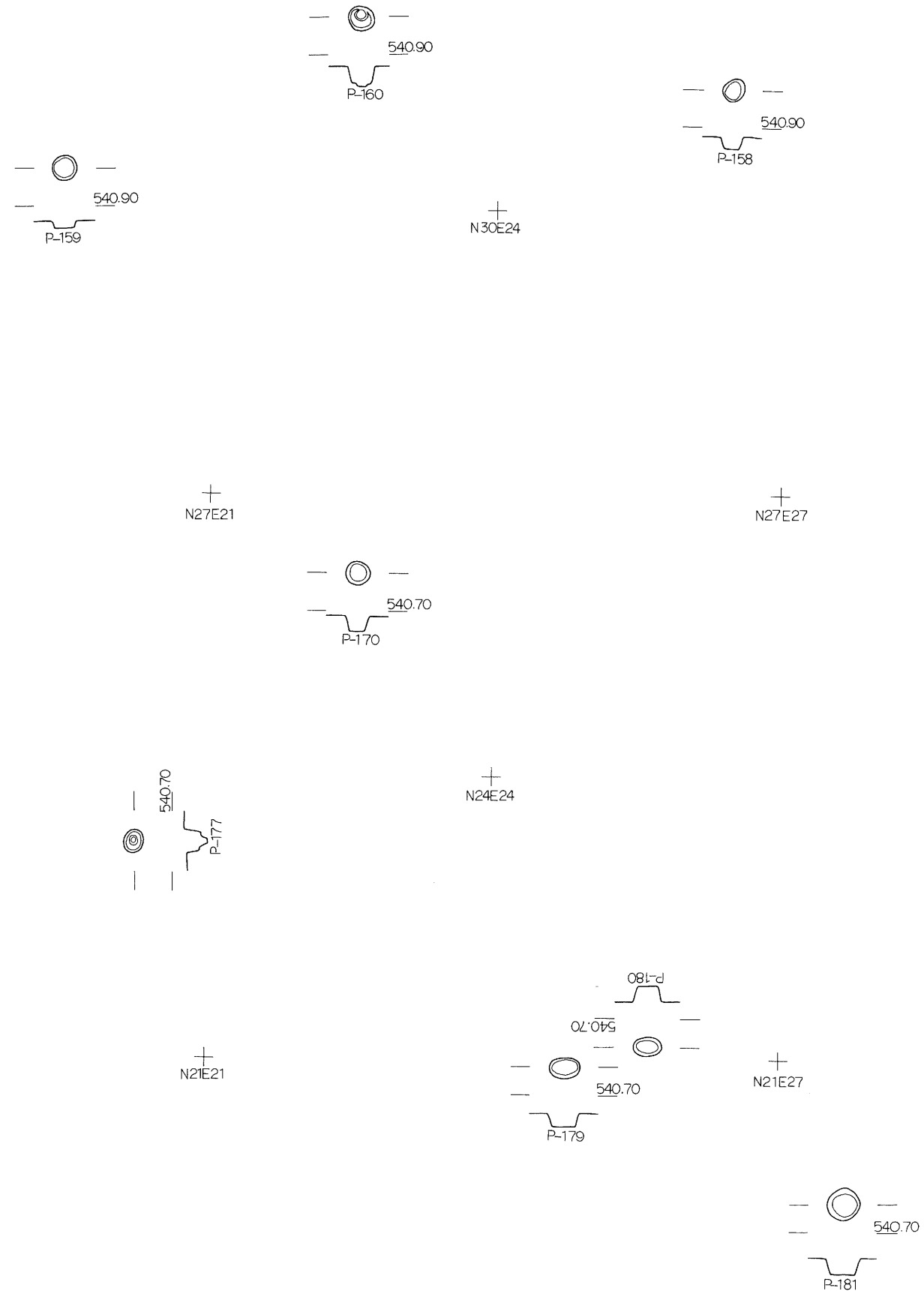
第70図 ピット実測図(11)



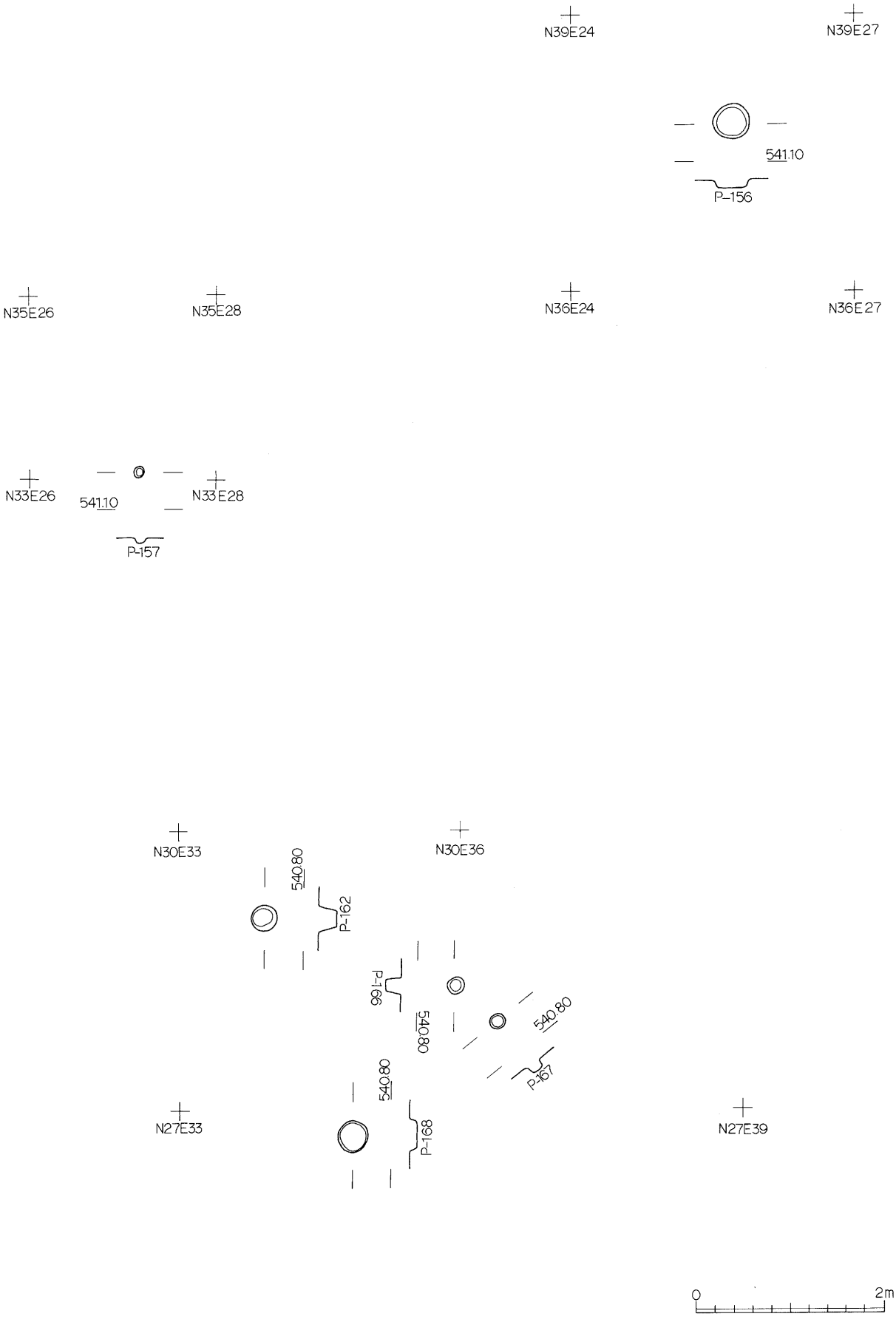
第71図 ピット実測図(12)



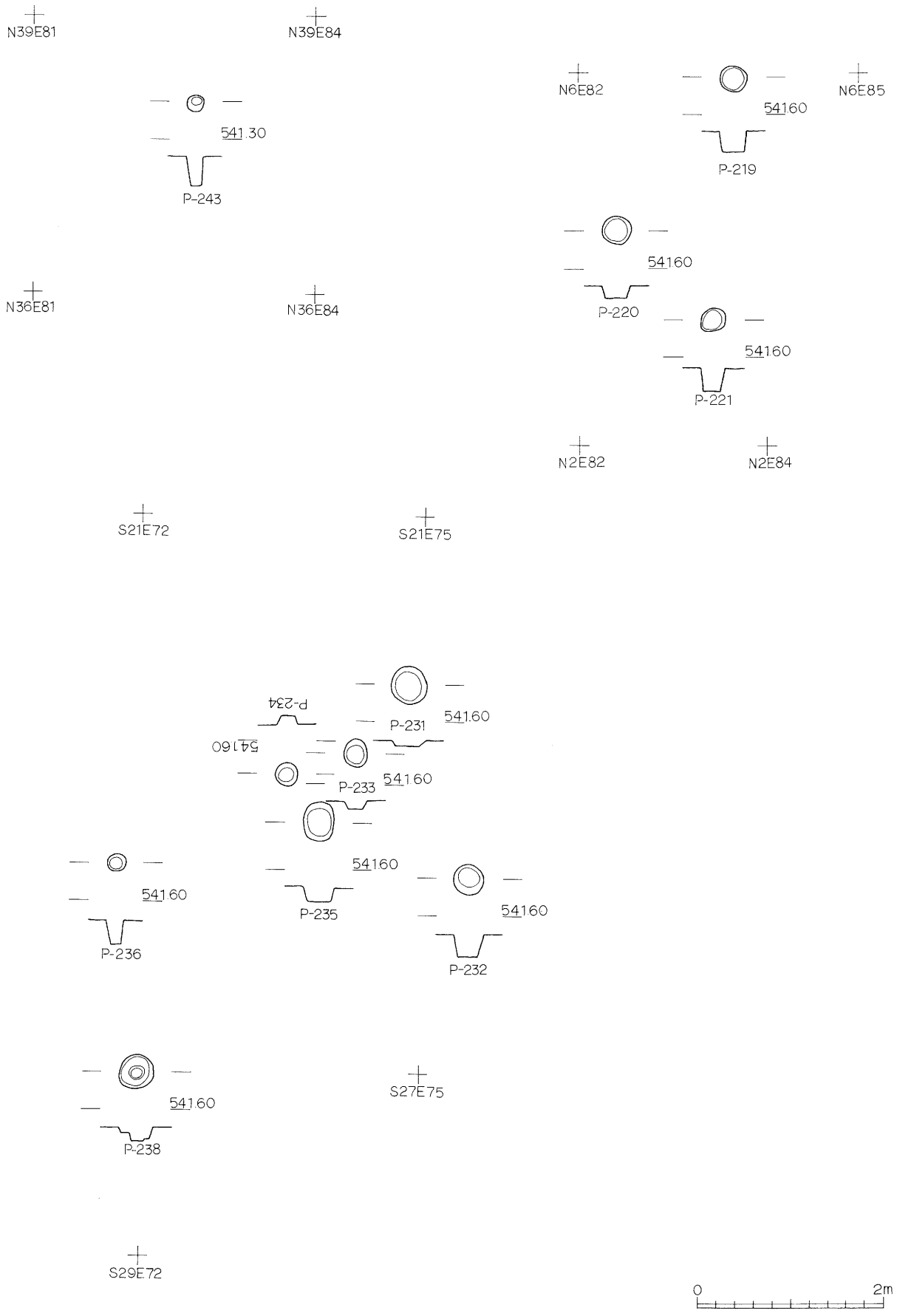
第72図 ピット実測図(13)



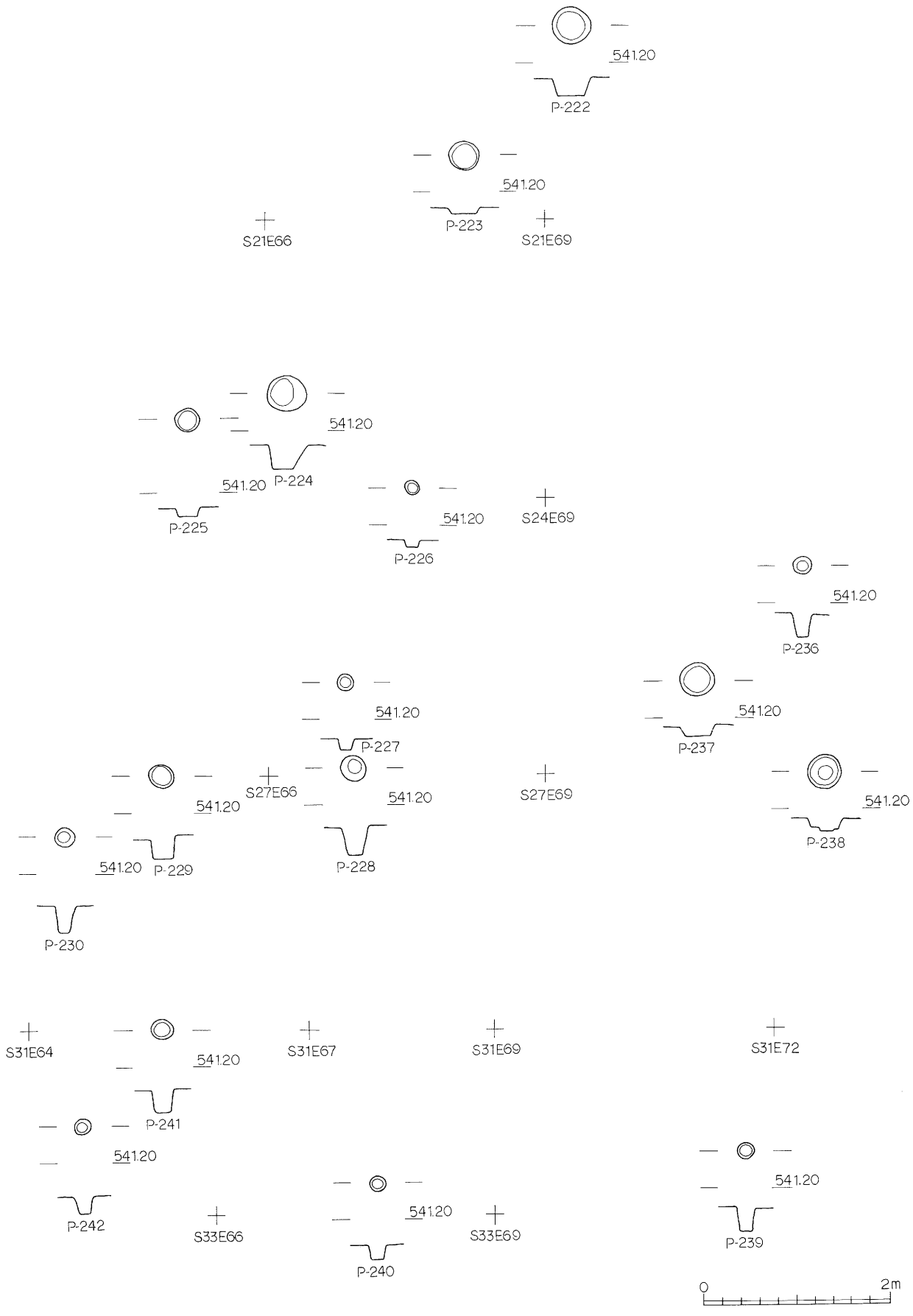
第73図 ピット実測図(14)



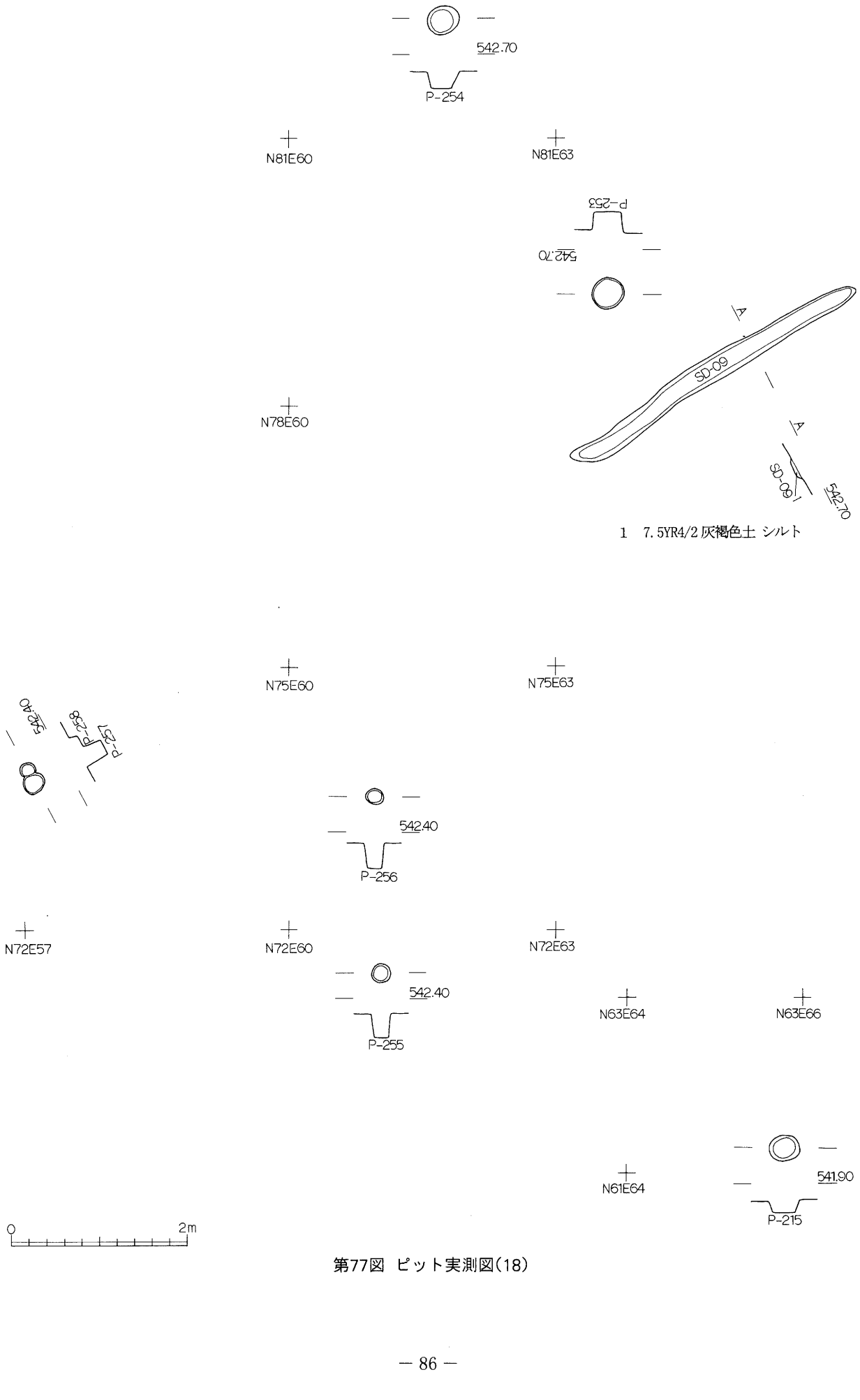
第74図 ピット実測図(15)



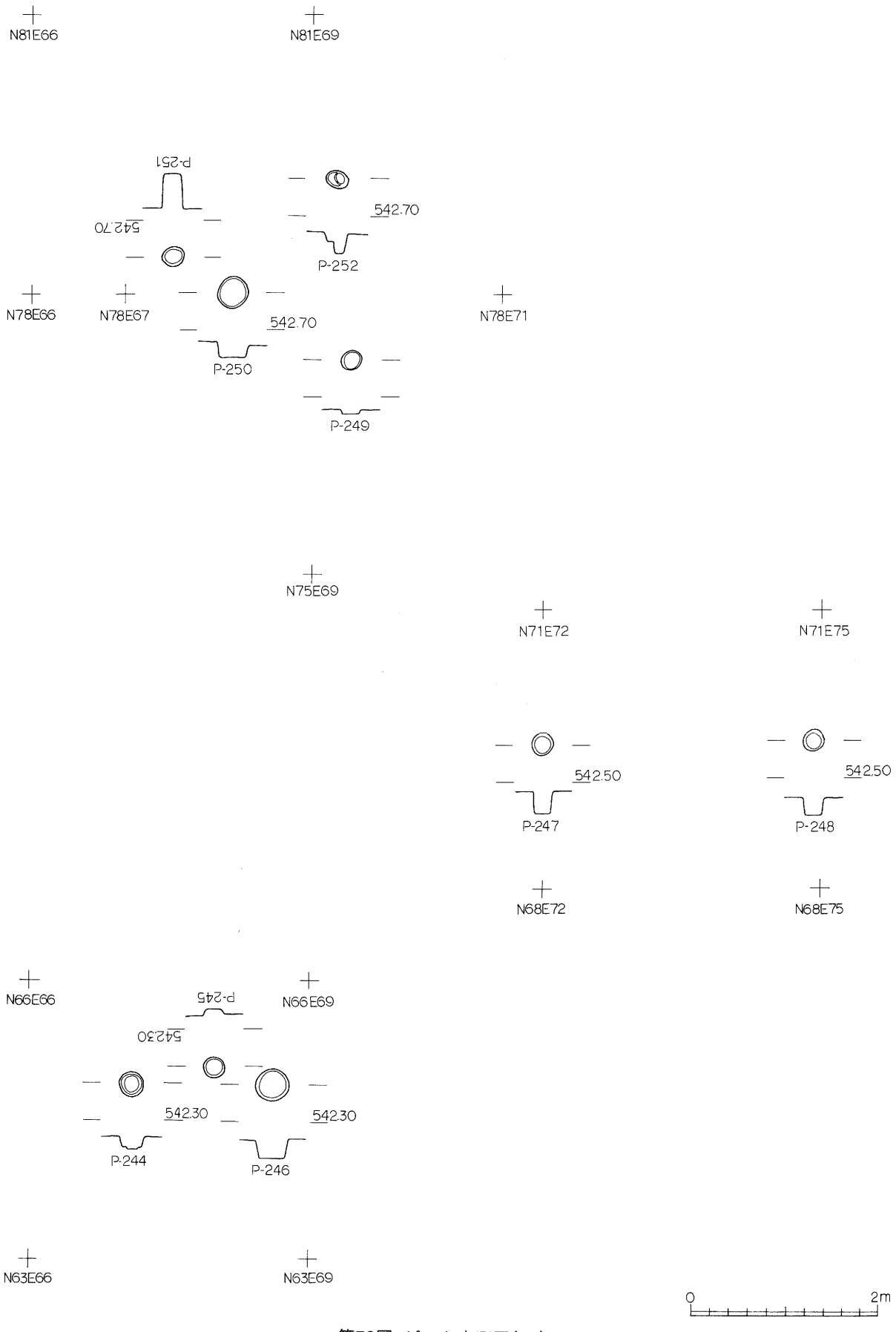
第75図 ピット実測図(16)



第76図 ピット実測図(17)



第77図 ピット実測図(18)



第78図 ピット実測図(19)

第1号掘立柱建物跡

遺構図版	第6図	遺物図版	—	規模	桁行5間(7.00m)×梁行4間(6.40m)
主軸方向	N－39°－W			棟方向	北西南東棟
柱間寸法	桁行1.40m　梁行1.60m				

	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
柱穴	1	0.42	0.40	0.07	円形	無	8	0.46	0.42	0.34	円形	無
	2	0.39	0.38	0.42	円形	有	9	0.37	0.36	0.30	円形	無
	3	0.38	0.36	0.23	円形	無	10	0.42	0.38	0.16	円形	無
	4	0.47	0.43	0.38	円形	有	11	0.42	0.39	0.39	円形	無
	5	0.41	0.38	0.10	円形	無	12	0.56	0.48	0.42	円形	無
	6	0.38	0.36	0.14	円形	無	13	0.46	0.43	0.40	円形	無
	7	0.26	0.25	0.36	円形	無						

備考	P2・4・6・7・8・9から土師器片出土 北西隅は調査区域外 ST－02と切り合い関係

第2号掘立柱建物跡

遺構図版	第7図	遺物図版	—	規模	桁行2間(3.64m)×梁行1間(2.64m)
主軸方向	N－50°－W			棟方向	北西南東棟
柱間寸法	桁行1.82m　梁行2.64m				

	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
柱穴	1	0.36	0.38	0.34	円形	無	4	0.34	0.34	0.42	円形	無
	2	0.48	0.46	0.46	円形	無	5	0.42	0.36	0.42	円形	無
	3	0.34	0.26	0.36	円形	無	6	0.32	0.30	0.28	円形	無

備考	P2から土師器片出土 ST－01と切り合い関係

第5表 掘立柱建物跡観察表(1)

第3号掘立柱建物跡

遺構図版	第８図	遺物図版	—	規模	桁行２間(3.35m)×梁行１間(3.40m)
主軸方向	N－５４° －W			棟方向	北西南東棟
柱間寸法	桁行1.68m　梁行3.40m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.38	0.36	0.21	円形	無	4	0.38	0.36	0.23	円形	無
	2	0.34	0.33	0.28	円形	無	5	0.36	0.36	0.35	円形	無
	3	0.40	0.39	0.42	円形	無	6	0.37	0.36	0.31	円形	無

備考	Ｐ１・３・５から土師器片出土

第4号掘立柱建物跡

遺構図版	第９図	遺物図版	—	規模	桁行２間(3.60m)×梁行１間(3.10m)
主軸方向	N－３７° －W			棟方向	北西南東棟
柱間寸法	桁行1.80m　梁行3.10m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.36	0.34	0.22	円形	無	4	0.36	0.34	0.18	円形	無
	2	0.42	0.38	0.18	円形	無	5	0.38	0.38	0.24	円形	無
	3	0.40	0.36	0.26	円形	無	6	0.34	0.34	0.28	円形	無

備考	Ｐ１・２・５から土師器片出土

第６表 掘立柱建物跡観察表(２)

第5号掘立柱建物跡

遺構図版	第１０図	遺物図版	—	規模	桁行２間(5.07m)×梁行２間(3.26m)
主軸方向	N－１３°－E			棟方向	南北棟
柱間寸法	桁行2.54m　梁行1.63m				

	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
柱穴	1	0.32	0.30	0.24	円形	無	5	0.31	0.30	0.18	円形	無
	2	0.38	0.34	0.24	円形	無	6	0.34	0.34	0.24	円形	無
	3	0.40	0.34	0.23	円形	無	7	0.30	0.28	0.16	円形	無
	4	0.36	0.36	0.24	円形	無	8	0.36	0.32	0.24	円形	無

備考	Ｐ６・８から土師器片出土

第6号掘立柱建物跡

遺構図版	第１１図	遺物図版	—	規模	桁行３間(5.24m)×梁行３間(4.36m)
主軸方向	N－８４°－W			棟方向	東西棟
柱間寸法	桁行1.74m　梁行1.45m				

	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
柱穴	1	0.32	0.26	0.25	円形	無	8	0.38	0.38	0.30	円形	無
	2	0.34	0.32	0.24	円形	無	9	0.42	0.38	0.25	円形	無
	3	0.34	0.32	0.18	円形	無	10	0.44	0.44	0.26	円形	無
	4	0.40	0.40	0.18	円形	無	11	0.34	0.34	0.26	円形	無
	5	0.38	0.36	0.16	円形	無	12	0.34	0.32	0.23	円形	無
	6	0.38	0.38	0.28	円形	無	13	0.34	0.30	0.26	円形	無
	7	0.40	0.36	0.28	円形	無						

備考	Ｐ３・５・８・９・１３から土師器片出土

第７表 掘立柱建物跡観察表(３)

第7号掘立柱建物跡

遺構図版	第１２図	遺物図版	—	規模	桁行３間(5.48m)×梁行１間(4.00m)
主軸方向	N－3°－E			棟方向	南北棟
柱間寸法	桁行1.83m　梁行4.00m				

	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
柱穴	1	0.48	0.46	0.22	円形	無	5	0.49	0.39	0.22	円形	無
	2	0.45	0.44	0.19	円形	無	6	0.48	0.42	0.20	円形	無
	3	0.42	0.38	0.24	円形	無	7	0.45	0.44	0.21	円形	無
	4	0.40	0.40	0.18	円形	無	8	0.42	0.40	0.22	円形	無

備考	Ｐ４から土師器片出土

第8号掘立柱建物跡

遺構図版	第１３図	遺物図版	—	規模	桁行３間(5.11m)×梁行１間(3.90m)
主軸方向	N－3°－E			棟方向	南北棟
柱間寸法	桁行1.70m　梁行3.90m				

	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
柱穴	1	0.58	0.42	0.36	楕円形	無	5	0.40	0.38	0.40	円形	無
	2	0.38	0.37	0.28	円形	無	6	0.42	0.36	0.28	円形	無
	3	0.36	0.31	0.30	円形	無	7	0.36	0.34	0.30	円形	無
	4	0.34	0.33	0.38	円形	無	8	0.34	0.33	0.22	円形	無

備考	

第８表　掘立柱建物跡観察表(４)

第9号掘立柱建物跡

遺構図版	第１４図	遺物図版	—	規模	桁行３間(4.40m)×梁行１間(3.75m)
主軸方向	N－3°－E			棟方向	南北棟
柱間寸法	桁行1.47m　梁行3.75m				

	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
柱穴	1	0.40	0.38	0.34	円形	無	5	0.46	0.38	0.48	楕円形	無
	2	0.42	0.38	0.36	円形	無	6	0.40	0.38	0.44	円形	無
	3	0.50	0.36	0.42	楕円形	無	7	0.44	0.42	0.38	円形	無
	4	0.44	0.40	0.48	円形	無	8	0.46	0.44	0.50	円形	無

備考	Ｐ１から土師器片出土

第10号掘立柱建物跡

遺構図版	第１５図	遺物図版	第７９図	規模	桁行２間(3.28m)×梁行２間(3.23m)
主軸方向	N－５８°－E			棟方向	北東南西棟
柱間寸法	桁行1.64m　梁行1.62m				

	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
柱穴	1	0.30	0.29	0.24	円形	無	5	0.30	0.28	0.28	円形	無
	2	0.28	0.26	0.16	円形	無	6	0.36	0.36	0.16	円形	無
	3	0.28	0.28	0.16	円形	無	7	0.36	0.34	0.20	円形	無
	4	0.30	0.28	0.24	円形	無	8	0.22	0.21	0.30	円形	無

備考	Ｐ５(第79図-1)から土師器片出土

第９表 掘立柱建物跡観察表(５)

第11号掘立柱建物跡

遺構図版	第１６図	遺物図版	—	規模	桁行２間(3.20m)×梁行１間(3.15m)
主軸方向	N－８３°－W			棟方向	東西棟
柱間寸法	桁行1.60m　梁行3.15m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.24	0.24	0.28	円形	無	4	0.38	0.32	0.38	楕円形	有
	2	0.21	0.20	0.04	円形	無	5	0.28	0.27	0.11	円形	無
	3	0.25	0.25	0.22	円形	無	6	0.28	0.28	0.14	円形	無

備考	Ｐ１・３・４・５・６から土師器片出土

第12号掘立柱建物跡

遺構図版	第１７図	遺物図版	第７９図	規模	桁行４間(7.50m)×梁行４間(7.00m)
主軸方向	N－３°－W			棟方向	南北棟
柱間寸法	桁行1.88m　梁行1.75m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.36	0.34	0.34	円形	無	11	0.42	0.38	0.40	楕円形	無
	2	0.52	0.38	0.40	楕円形	有	12	0.32	0.30	0.36	円形	無
	3	0.39	0.30	0.38	楕円形	無	13	0.34	0.30	0.30	楕円形	無
	4	0.54	0.40	0.36	楕円形	有	14	0.48	0.34	0.36	楕円形	無
	5	0.38	0.36	0.38	円形	無	15	0.44	0.38	0.36	楕円形	無
	6	0.40	0.34	0.44	楕円形	無	16	0.32	0.28	0.40	楕円形	有
	7	0.40	0.38	0.33	円形	無	17	0.22	0.20	0.20	円形	無
	8	0.38	0.28	0.34	楕円形	無	18	0.23	0.20	0.18	円形	無
	9	0.44	0.44	0.30	円形	有	19	0.32	0.22	0.24	楕円形	無
	10	0.58	0.34	0.38	楕円形	無	20	0.28	0.20	0.22	楕円形	無

備考	Ｐ６・８(第79図-2)・１２・１３・１９から土師器片出土 前回一部調査

第10表　掘立柱建物跡観察表(６)

第13号掘立柱建物跡

遺構図版	第１８図	遺物図版	—	規模	桁行４間(6.38m)×梁行３間(5.70m)
主軸方向	N－3°－W			棟方向	南北棟
柱間寸法	桁行1.60m　梁行1.90m				

	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
柱穴	1	0.28	0.26	0.20	円形	無	8	0.26	0.24	0.34	円形	無
	2	0.25	0.25	0.24	円形	無	9	0.29	0.29	0.18	円形	無
	3	0.27	0.27	0.30	円形	無	10	0.28	0.27	0.14	円形	無
	4	0.30	0.28	0.20	円形	無	11	0.33	0.32	0.12	円形	無
	5	0.28	0.26	0.16	円形	無	12	0.32	0.31	0.22	円形	無
	6	0.28	0.28	0.15	円形	無	13	0.32	0.31	0.21	円形	無
	7	0.26	0.24	0.24	円形	無	14	0.29	0.28	0.18	円形	無

備考	Ｐ９・１３から土師器片出土 ＳＴ－１５と切り合い関係

第14号掘立柱建物跡

遺構図版	第１９図	遺物図版	—	規模	桁行２間(4.10m)×梁行１間(3.40m)
主軸方向	N－５６°－W			棟方向	北西南東棟
柱間寸法	桁行2.05m　梁行3.40m				

	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
柱穴	1	0.43	0.40	0.18	円形	無	4	0.37	0.37	0.21	円形	無
	2	0.30	0.30	0.14	円形	無	5	0.40	0.36	0.18	円形	無
	3	0.38	0.37	0.18	円形	無	6	0.39	0.34	0.14	円形	無

備考	

第11表 掘立柱建物跡観察表(７)

第15号掘立柱建物跡

遺構図版	第２０図	遺物図版	—	規模	桁行２間(4.06m)×梁行１間(3.68m)
主軸方向	N－２１° －E			棟方向	北東南西棟
柱間寸法	桁行2.03m　梁行3.68m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.38	0.36	0.18	円形	無	4	0.40	0.36	0.44	楕円形	無
	2	0.38	0.36	0.12	円形	無	5	0.42	0.40	0.22	円形	無
	3	0.51	0.36	0.24	円形	有	6	0.44	0.38	0.18	円形	無

備考	Ｐ１・３・６から土師器片出土 ＳＴ－１３と切り合い関係

第16号掘立柱建物跡

遺構図版	第２１図	遺物図版	—	規模	桁行１間(3.14m)×梁行１間(2.60m)
主軸方向	N－６８° －W			棟方向	北西南東棟
柱間寸法	桁行3.14m　梁行2.60m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.48	0.42	0.16	円形	無	4	0.48	0:46	0.32	円形	無
	2	0.48	0.38	0.36	円形	無	5	0.46	0.40	0.36	円形	無

備考	Ｐ４から土師器片出土

第12表 掘立柱建物跡観察表(８)

第17号掘立柱建物跡

遺構図版	第２２図	遺物図版	—	規模	桁行２間(3.73m)×梁行１間(3.10m)
主軸方向	N－２３°－W			棟方向	北西南東棟
柱間寸法	桁行1.87m　梁行3.10m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.31	0.28	0.22	円形	無	4	0.38	0.36	0.15	円形	無
	2	0.36	0.12	0.14	円形	無	5	0.32	0.30	0.11	円形	無
	3	0.33	0.30	0.18	円形	無	6	0.29	0.28	0.20	円形	無

備考	

第18号掘立柱建物跡

遺構図版	第２３図	遺物図版	—	規模	桁行４間(6.40m)×梁行４間(6.00m)
主軸方向	N－８°－W			棟方向	北西南東棟
柱間寸法	桁行1.60m　梁行1.50m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.62	0.60	0.52	円形	無	10		0.36	0.46	円形	無
	2	0.38	0.38	0.36	円形	有	11	0.30	0.28	0.42	円形	無
	3	0.42	0.40	0.46	円形	無	12	0.36	0.32	0.34	円形	無
	4	0.38	0.36	0.40	円形	有	13	0.34	0.32	0.32	円形	無
	5	0.42	0.36	0.50	円形	無	14	0.43	0.38	0.32	円形	無
	6	0.40	0.36	0.42	円形	無	15	0.46	0.40	0.36	楕円形	有
	7	0.36	0.34	0.38	円形	無	16	0.50	0.40	0.42	楕円形	無
	8	0.44	0.36	0.44	楕円形	無	17	0.50	0.41	0.46	楕円形	無
	9		0.32	0.40	円形	有						

備考	Ｐ１・２・３・６・７・１１・１２・１４から土師器片出土 Ｐ１０がＰ９をきる ＳＤ－０８をきる

第13表　掘立柱建物跡観察表(９)

第19号掘立柱建物跡

遺構図版	第２４図	遺物図版	—	規模	桁行３間(4.75m)×梁行２間(3.90m)
主軸方向	Ｎ－２０°－Ｅ			棟方向	北東南西棟
柱間寸法	桁行1.58m　梁行1.95m				

	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
柱穴	1	0.22	0.22	0.23	円形	無	6	0.32	0.28	0.10	円形	無
	2	0.44	0.36	0.22	円形	無	7	0.32	0.32	0.26	円形	無
	3	0.38	0.37	0.23	円形	無	8	0.36	0.36	0.26	円形	無
	4	0.34	0.34	0.20	円形	無	9	0.36	0.32	0.20	円形	無
	5	0.36	0.36	0.24	円形	無	10	0.34	0.32	0.16	円形	無

備考	Ｐ４・５・８・１０から土師器片出土 ＳＴ－１９Ｐ２がＰ－１３５をきる

第20号掘立柱建物跡

遺構図版	第２５図	遺物図版	第７９図	規模	桁行３間(4.93m)×梁行２間(3.87m)
主軸方向	Ｎ－８４°－Ｅ			棟方向	東西棟
柱間寸法	桁行1.64m　梁行1.94m				

	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
柱穴	1	0.36	0.35	0.20	円形	有	7	0.50	0.46	0.29	円形	有
	2	0.44	0.40	0.23	円形	有	8	0.34	0.32	0.29	円形	無
	3	0.28	0.26	0.16	円形	無	9	0.36	0.34	0.24	円形	有
	4	0.28	0.28	0.19	円形	無	10	0.33	0.25	0.29	円形	有
	5	0.27	0.26	0.33	円形	無	11	0.28	0.24	0.13	円形	有
	6	0.34	0.33	0.19	円形	無						

備考	Ｐ６(第79図-3)・７から土師器片出土　Ｐ７から土製模造鏡出土 入側柱式 前回調査

第14表 掘立柱建物跡観察表(10)

第21号掘立柱建物跡

遺構図版	第２６図	遺物図版	—	規模	桁行１間(3.05m)×梁行１間(1.80m)
主軸方向	N－１０°－E			棟方向	北東南西棟
柱間寸法	桁行3.05m　梁行1.80m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.50	0.50	0.30	円形	無	3	0.48	0.44	0.32	円形	無
	2	0.44	0.43	0.38	円形	無	4	0.52	0.20	0.26	楕円形	無

備考	Ｐ２から土師器片出土 ＳＴ-２１Ｐ４がＳＴ-２２Ｐ３に切られる

第22号掘立柱建物跡

遺構図版	第２７図	遺物図版	第７９図	規模	桁行２間(3.60m)×梁行１間(3.10m)
主軸方向	N－８２°－E			棟方向	東西棟
柱間寸法	桁行1.80m　梁行3.10m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.48	0.44	0.34	円形	無	4	0.42	0.40	0.24	円形	無
	2	0.48	0.38	0.45	楕円形	無	5	0.40	0.40	0.31	円形	無
	3	0.50	0.40	0.26	楕円形	無	6	0.58	0.53	0.40	円形	無

備考	Ｐ１(第79図－4)・2・3・4・5から土師器片出土　Ｐ６(第79図－5)から土師・須恵器片出土 ＳＴ-２２Ｐ３がＳＴ-２１Ｐ４をきる

第15表　掘立柱建物跡観察表(11)

第23号掘立柱建物跡

遺構図版	第２８図	遺物図版	—	規模	桁行２間(2.27m)×梁行２間(3.60m)
主軸方向	N－７５° －W			棟方向	北西南東棟
柱間寸法	桁行1.14m　梁行1.80m				

	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
柱穴	1	0.60	0.32	0.36	円形	無	6	0.60	0.50	0.22	円形	有
	3	0.36	0.34	0.30	円形	無	7	0.46	0.44	0.30	円形	無
	4	0.42	0.38	0.32	円形	無	8	0.44	0.40	0.42	円形	無
	5	0.42	0.40	0.36	円形	有	9	0.36	0.36	0.24	円形	無

備考	Ｐ４・５・６・７・８・９から土師器片出土 ＳＴ-２３Ｐ６がＳＴ-２４Ｐ２をきる

第24号掘立柱建物跡

遺構図版	第２９図	遺物図版	—	規模	桁行２間(3.15m)×梁行１間(3.04m)
主軸方向	N－１６° －W			棟方向	北西南東棟
柱間寸法	桁行1.57m　梁行3.04m				

	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
柱穴	1	0.34	0.32	0.20	円形	有	4	0.35	0.34	0.24	円形	有
	2	0.36	0.34	0.38	円形	無	5	0.36	0.28	0.27	楕円形	有
	3	0.34	0.28	0.38	円形	有	6	0.30	0.30	0.20	円形	無

備考	Ｐ１・３・４・６から土師器片出土 ＳＴ－２４Ｐ２がＳＴ－２３Ｐ６に切られる

第16表 掘立柱建物跡観察表(12)

第25号掘立柱建物跡

遺構図版	第３０図	遺物図版	—	規模	桁行４間(4.98m)×梁行３間(4.44m)
主軸方向	N－２５°－W			棟方向	北西南東棟
柱間寸法	桁行1.25m　梁行1.48m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.35	0.35	0.24	円形	無	12	0.34	0.30	0.20	円形	無
	2	0.40	0.30	0.20	楕円形	有	13	0.30	0.29	0.22	円形	無
	4	0.34	0.30	0.14	円形	無	14	0.34	0.34	0.22	円形	無
	5	0.48	0.34	0.16	楕円形	有	15	0.30	0.23	0.18	楕円形	無
	7	0.28	0.28	0.08	円形	無	16	0.30	0.30	0.28	円形	無
	8	0.36	0.28	0.14	楕円形	無	17	0.28	0.27	0.20	円形	無
	10	0.35	0.34	0.14	円形	無	18	0.26	0.26	0.19	円形	無

備考	Ｐ１０・１２・１６・１７・１８から土師器片出土 ＳＤ－０８と切り合い関係

第26号掘立柱建物跡

遺構図版	第３１図	遺物図版	—	規模	桁行２間(3.90m)×梁行３間(3.90m)
主軸方向	N－７６°－W			棟方向	南北棟
柱間寸法	桁行1.95m　梁行1.30m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.56	0.54	0.30	円形	有	8	0.70	0.55	0.35	楕円形	有
	2	0.44	0.42	0.34	円形	有	10	0.42	0.36	0.20	円形	無
	3	0.60	0.48	0.32	楕円形	有	11	0.52	0.44	0.30	円形	有
	5	0.68	0.48	0.34	楕円形	有	12	0.38	0.38	0.34	円形	有
	7	0.58	0.52	0.37	円形	無	14	0.62	0.56	0.38	円形	有

備考	Ｐ１・２・３・５・７・８・１０・１１・１２・１４から土師器片出土

第17表　掘立柱建物跡観察表(13)

第27号掘立柱建物跡

遺構図版	第３２図	遺物図版	第１２８図	規模	桁行５間(8.24m)×梁行　間(　　m)
主軸方向	Ｎ－３０°　－Ｅ			棟方向	
柱間寸法	桁行1.65m　梁行2.00m				

	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
柱穴	1	0.64	0.48	0.58	楕円形	有	5	0.50	0.42	0.34	楕円形	有
	2	0.54	0.42	0.52	楕円形	有	6	0.52	0.36	0.36	楕円形	有
	3	0.66	0.44	0.50	楕円形	有	7	0.41	0.40	0.22	円形	無
	4	0.50	0.45	0.28	楕円形	有	8	0.66	0.42	0.58	楕円形	有

備考	Ｐ４から土師器片出土　Ｐ６から臼玉２個(第128図-1･2)出土 ＳＤ－０４に切られる

第28号掘立柱建物跡

遺構図版	第３３図	遺物図版	—	規模	桁行３間(5.00m)×梁行３間(4.60m)
主軸方向	Ｎ－１０°　－Ｗ			棟方向	北西南東棟
柱間寸法	桁行1.66m　梁行1.53m				

	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
柱穴	1	0.32	0.30	0.20	円形	無	7	0.32	0.30	0.24	円形	無
	2	0.28	0.26	0.28	円形	無	8	0.30	0.30	0.16	円形	無
	3	0.26	0.24	0.30	円形	無	9	0.30	0.30	0.12	円形	無
	4	0.32	0.32	0.26	円形	無	10	0.32	0.30	0.16	円形	無
	5	0.30	0.26	0.22	円形	無	11	0.28	0.30	0.20	円形	無
	6	0.28	0.24	0.18	円形	無	12	0.26	0.26	0.20	円形	無

備考	Ｐ１･２･３･４から土師器片出土

第18表　掘立柱建物跡観察表(14)

第29号掘立柱建物跡

遺構図版	第３４図	遺物図版	—	規模	桁行３間(5.60m)×梁行３間(4.10m)
主軸方向	N－８５°－W			棟方向	東西棟
柱間寸法	桁行1.87m　梁行1.37m				

	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
柱穴	1	0.50	0.46	0.34	円形	無	7	0.48	0.46	0.42	円形	有
	2	0.48	0.44	0.30	円形	無	8	0.40	0.36	0.36	円形	無
	3	0.54	0.50	0.46	円形	無	9	0.44	0.42	0.40	円形	無
	4	0.58	0.56	0.36	円形	無	10	0.53	0.48	0.44	円形	無
	5	0.46	0.44	0.34	円形	無	11	0.44	0.43	0.46	円形	無
	6	0.46	0.40	0.46	円形	無	12	0.42	0.40	0.30	円形	有

備考	Ｐ２・３・４・５・６・７・８・９・１０・１１・１２から土師器片出土

第30号掘立柱建物跡

遺構図版	第３５図	遺物図版	—	規模	桁行２間(2.89m)×梁行１間(2.66m)
主軸方向	N－８２°－E			棟方向	東西棟
柱間寸法	桁行1.45m　梁行2.66m				

	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
柱穴	1	0.33	0.32	0.20	円形	無	4	0.38	0.36	0.22	円形	無
	2	0.37	0.34	0.23	円形	無	5	0.39	0.36	0.34	円形	無
	3	0.33	0.32	0.19	円形	無	6	0.39	0.38	0.21	円形	無

備考	Ｐ１・３・６から土師器片出土

第19表　掘立柱建物跡観察表(15)

第31号掘立柱建物跡

遺構図版	第３６図	遺物図版	—	規模	桁行３間(3.70m)×梁行１間(3.00m)
主軸方向	N－３０°－W			棟方向	北西南東棟
柱間寸法	桁行1.23m　梁行3.00m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.40	0.36	0.34	円形	無	5	0.48	0.46	0.42	円形	有
	2	0.50	0.44	0.36	円形	有	6	0.50	0.46	0.40	円形	有
	3	0.46	0.42	0.38	円形	無	7	0.50	0.48	0.32	円形	有
	4	0.50	0.44	0.44	円形	有	8	0.48	0.46	0.32	円形	無

備考	Ｐ２・４・７から土師器片出土

第32号掘立柱建物跡

遺構図版	第３７図	遺物図版	—	規模	桁行　間(　　m)×梁行２間(3.00m)
主軸方向	N－８２°－E			棟方向	東西棟
柱間寸法	桁行1.60m　梁行1.50m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.36	0.34	0.31	円形	無	4	0.55	0.42	0.31	円形	無
	2	0.50	0.48	0.26	楕円形	無	5	0.41	0.36	0.45	円形	無
	3	0.37	0.36	0.32	円形	有	6	0.44	0.36	0.29	楕円形	無

備考	Ｐ２・６から土師器片出土 東側は調査区域外

第20表　掘立柱建物跡観察表(16)

第33号掘立柱建物跡

遺構図版	第３８図	遺物図版	—	規模	桁行　間(　　m)×梁行　間(　　m)
主軸方向	N－６４°　－E			棟方向	
柱間寸法	桁行1.67m　梁行1.45m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.48	0.42	0.58	円形	無	4	0.44	0.40	0.52	円形	無
	2	0.43	0.43	0.56	円形	有	5	0.47	0.42	0.40	円形	無
	3	0.48	0.42	0.54	円形	無	6	0.46	0.44	0.50	円形	有

備考	Ｐ４・５・６から土師器片出土 南側は調査区域外

第34号掘立柱建物跡

遺構図版	第３９図	遺物図版	第７９図	規模	桁行２間(3.57m)×梁行２間(3.44m)
主軸方向	N－２３°　－E			棟方向	北西南東棟
柱間寸法	桁行1.79m　梁行1.72m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.51	0.44	0.30	不整形	有	5	0.32	0.30	0.37	円形	無
	2	0.26	0.24	0.21	円形	無	6	0.27	0.26	0.27	円形	無
	3	0.34	0.30	0.28	円形	無	7	0.44	0.43	0.38	円形	無
	4	0.37	0.34	0.44	円形	無	8	0.40	0.39	0.27	円形	無

備考	Ｐ１・３(第79図-6)・７(第79図-7)・８から土師器片出土

第21表　掘立柱建物跡観察表(17)

第35号掘立柱建物跡

遺構図版	第４０図	遺物図版	—	規模	桁行２間(5.32m)×梁行１間(4.05m)
主軸方向	N－６３° －W			棟方向	北東南西棟
柱間寸法	桁行2.66m　梁行4.05m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.24	0.22	0.12	円形	有	4	0.27	0.25	0.12	円形	無
	2	0.31	0.28	0.18	円形	無	5	0.36	0.22	0.18	楕円形	有
	3	0.28	0.26	0.16	円形	無	6	0.24	0.24	0.14	円形	無

備考	

第36号掘立柱建物跡

遺構図版	第４１図	遺物図版	—	規模	桁行２間(3.70m)×梁行１間(3.09m)
主軸方向	N－４５° －E			棟方向	北東南西棟
柱間寸法	桁行1.85m　梁行3.09m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.36	0.32	0.44	円形	無	4	0.42	0.40	0.20	円形	無
	2	0.40	0.34	0.30	円形	無	5	0.40	0.36	0.30	円形	無
	3	0.42	0.40	0.26	円形	有	6	0.36	0.34	0.26	円形	無

備考	Ｐ２・３・４・６から土師器片出土

第22表　掘立柱建物跡観察表(18)

第37号掘立柱建物跡

遺構図版	第４２図	遺物図版	—	規模	桁行　間(　　m)×梁行１間(3.80m)
主軸方向	Ｎ－４２°　－Ｅ			棟方向	
柱間寸法	桁行1.50m　梁行3.80m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.36	0.26	0.26	円形	無	4	0.18	0.18	0.14	円形	無
	2	0.40	0.40	0.40	円形	無	5	0.40	0.36	0.17	円形	無
	3	0.44	0.38	0.26	円形	無	6	0.36	0.35	0.14	円形	無

備考	Ｐ２・４から土師器片出土 ＳＤ―０４に切られる

第38号掘立柱建物跡

遺構図版	第４３図	遺物図版	—	規模	桁行１間(2.86m)×梁行１間(2.80m)
主軸方向	Ｎ－７２°　－Ｅ			棟方向	北東南西棟
柱間寸法	桁行2.86m　梁行2.80m				

柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.28	0.24	0.20	円形	無	4	0.26	0.24	0.20	円形	無
	2	0.24	0.24	0.20	円形	無	5	0.28	0.24	0.20	円形	無

備考	Ｐ３・４から土師器片出土

第23表　掘立柱建物跡観察表(19)

第1号竪穴住居跡

遺構図版	第４４図	遺物図版	第８０・８１図	平面形態	不明		
主軸方向	N－３６° －W	規模	5.94×	壁高	0.20(南)～0.28(北西)		
床高	536.72～536.77			床面積	不明		
柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	備考	
	1	0.32	0.30	0.34	円形		
備考	南側は撹乱を受けている。床面は締まり、凹凸は少ない。						

第24表 竪穴住居跡観察表

	長径	短径	深さ	平面形態	断面形態	備考
ＳＫ－０１	1.70	1.68	0.20	円形	たらい状	
ＳＫ－０２	0.94	0.78	0.16	楕円形	たらい状	
ＳＫ－０３	0.92	0.44	0.40	楕円形	なべ底状	
ＳＫ－０４	0.94	0.90	0.14	不整形	たらい状	
ＳＫ－０５	0.70	－	0.08	－	－	
ＳＫ－０６	0.80	0.80	0.14	円形	たらい状	
ＳＫ－０７	0.86	0.58	0.08	不整形	たらい状	
ＳＫ－０８	2.60	1.86	0.16	不整形	たらい状	

第25表 土壙観察表

番号	長径	短径	深さ	番号	長径	短径	深さ	番号	長径	短径	深さ
P-1	0.46	0.44	0.20	P-32	0.18	0.16	0.08	P-74	0.26	0.24	0.41
2	0.36	0.30	0.23	33	0.24	0.21	0.38	75	0.36	0.36	0.03
3	0.46	0.38	0.18	34	0.34	0.30	0.28	76	0.28	0.22	0.10
4	0.24	0.24	0.14	35	0.76	0.66	0.50	77	0.40	0.38	0.14
5	0.22	0.22	0.10	36	0.24	0.24	0.44	78	0.18	0.14	0.10
6	0.20	0.20	0.18	40	0.14	0.13	0.06	79	0.44	0.44	0.45
7	0.38	0.32	0.12	43	0.46	0.34	0.10	80	0.26	0.24	0.17
8	0.22	0.22	0.05	47	0.16	0.16	0.10	81	0.10	0.08	0.10
9	0.12	0.11	0.20	49	0.68	0.34	0.46	82	0.22	0.22	0.10
10	0.20	0.20	0.07	50	0.22	0.22	0.12	83	0.26	0.24	0.10
11	0.14	0.14	0.14	51	0.26	0.22	0.26	84	0.24	0.22	0.10
12	0.25	0.22	0.30	52	0.48	0.32	0.40	85	0.16	0.14	0.10
13	0.20	0.20	0.12	53	0.21	0.20	0.16	86	0.18	0.16	0.14
14	0.40	0.38	0.40	54	0.46	0.42	0.17	87	0.38	0.36	0.36
15	0.14	0.14	0.14	55	0.36	0.30	0.19	88	0.15	0.14	0.08
16	0.22	0.20	0.32	56	0.32	0.30	0.20	89	0.38	0.14	0.26
17	0.24	0.22	0.18	57	0.38	0.34	0.40	90	0.35	0.34	0.24
18	0.18	0.14	0.08	58	0.24	0.24	0.14	91	0.37	0.36	0.19
19	0.24	0.22	0.11	59	0.36	0.35	0.49	92	0.32	0.31	0.34
20	0.20	0.20	0.18	60	0.38	0.30	0.30	93	0.29	0.29	0.22
21	0.20	0.20	0.14	62	0.20	0.20	0.08	94	0.36	0.12	0.46
22	0.19	0.18	0.10	64	0.22	0.20	0.40	95	0.30	0.26	0.03
23	0.22	0.21	0.26	65	0.30	0.28	0.22	96	0.28	0.26	0.10
24	0.17	0.16	0.12	66	0.30	0.28	0.16	97	0.28	0.28	0.02
25	0.26	0.25	0.18	67	0.24	0.22	0.18	98	0.26	0.24	0.04
26	0.15	0.15	0.11	68	0.30	0.27	0.10	99	0.22	0.21	0.16
27	0.26	0.24	0.32	69	0.18	0.16	0.14	100	0.18	0.17	0.18
28	0.19	0.18	0.12	70	0.20	0.18	0.16	102	0.38	0.36	0.24
29	0.22	0.22	0.29	71	0.16	0.15	0.05	103	0.39	0.38	0.28
30	0.20	0.20	0.17	72	0.24	0.24	0.10	104	0.26	0.24	0.11
31	0.16	0.16	0.06	73	0.20	0.18	0.34	105	0.26	0.20	0.20

第26表 ピット観察表(1)

番号	長径	短径	深さ	番号	長径	短径	深さ	番号	長径	短径	深さ
P-106	0.26	0.22	0.14	P-139	0.24	0.22	0.20	P-174	0.22	0.20	0.28
107	0.22	0.21	0.22	140	0.20	0.20	0.24	175	0.12	0.12	0.12
108	0.28	0.28	0.10	141	0.24	0.24	0.06	176	0.19	0.19	0.13
109	0.35	0.32	0.24	142	0.22	0.20	0.10	177	0.24	0.20	0.24
110	0.32	0.31	0.18	143	0.26	0.24	0.18	178	0.51	0.26	0.34
112	0.23	0.22	0.14	144	0.20	0.18	0.10	179	0.32	0.22	0.14
113	0.16	0.13	0.07	145	0.18	0.12	0.06	180	0.30	0.20	0.16
114	0.20	0.19	0.12	146	0.18	0.18	0.10	181	0.36	0.34	0.17
115	0.18	0.17	0.25	147	0.26	0.24	0.12	182	0.14	0.14	0.07
116	0.32	0.28	0.18	148	0.20	0.20	0.32	183	0.18	0.16	0.24
117	0.22	0.18	0.22	149	0.22	0.20	0.28	185	0.28	0.24	0.30
118	0.26	0.24	0.09	150	0.20	0.18	0.26	191	0.22	0.20	0.26
119	0.36	0.32	0.10	151	0.18	0.18	0.11	193	0.13	0.12	0.18
120	0.16	0.16	0.38	152	0.16	0.16	0.18	194	0.18	0.16	0.32
121	0.22	0.21	0.11	153	0.22	0.20	0.12	195	0.12	0.10	0.18
122	0.20	0.19	0.30	154	0.38	0.30	0.26	196	0.30	0.28	0.27
123	0.20	0.16	0.04	155	0.12	0.12	0.12	197	0.20	0.18	
124	0.32	0.30	0.17	156	0.38	0.36	0.08	198	0.20	0.18	0.18
125	0.28	0.26	0.16	157	0.12	0.10	0.06	199	0.20	0.18	0.08
126	0.28	0.26	0.12	158	0.24	0.22	0.12	200	0.20	0.18	0.18
127	0.20	0.20	0.18	159	0.26	0.26	0.08	201	0.16	0.14	0.08
128	0.40	0.36	0.08	160	0.30	0.23	0.21	202	0.25	0.23	0.24
129	0.40	0.32	0.26	162	0.28	0.28	0.20	203	0.52	0.44	0.25
130	0.34	0.32	0.26	165	0.26	0.24	0.20	204	0.40	0.38	0.12
131	0.24	0.22	0.08	166	0.18	0.18	0.16	205	0.23	0.22	0.12
132	0.20	0.18	0.06	167	0.16	0.14	0.10	206	0.20	0.20	0.18
133	0.16	0.16	0.04	168	0.32	0.32	0.08	207	0.18	0.18	0.20
134	0.26	0.24	0.06	170	0.24	0.24	0.16	208	0.24	0.20	0.18
135	0.28	0.26	0.18	171	0.31	0.30	0.22	209	0.40	0.36	0.30
136	0.28	0.26	0.27	172	0.12	0.12	0.15	211	0.2	0.18	0.18
138	0.36	0.34	0.16	173	0.16	0.14	0.08	212	0.28	0.26	0.32

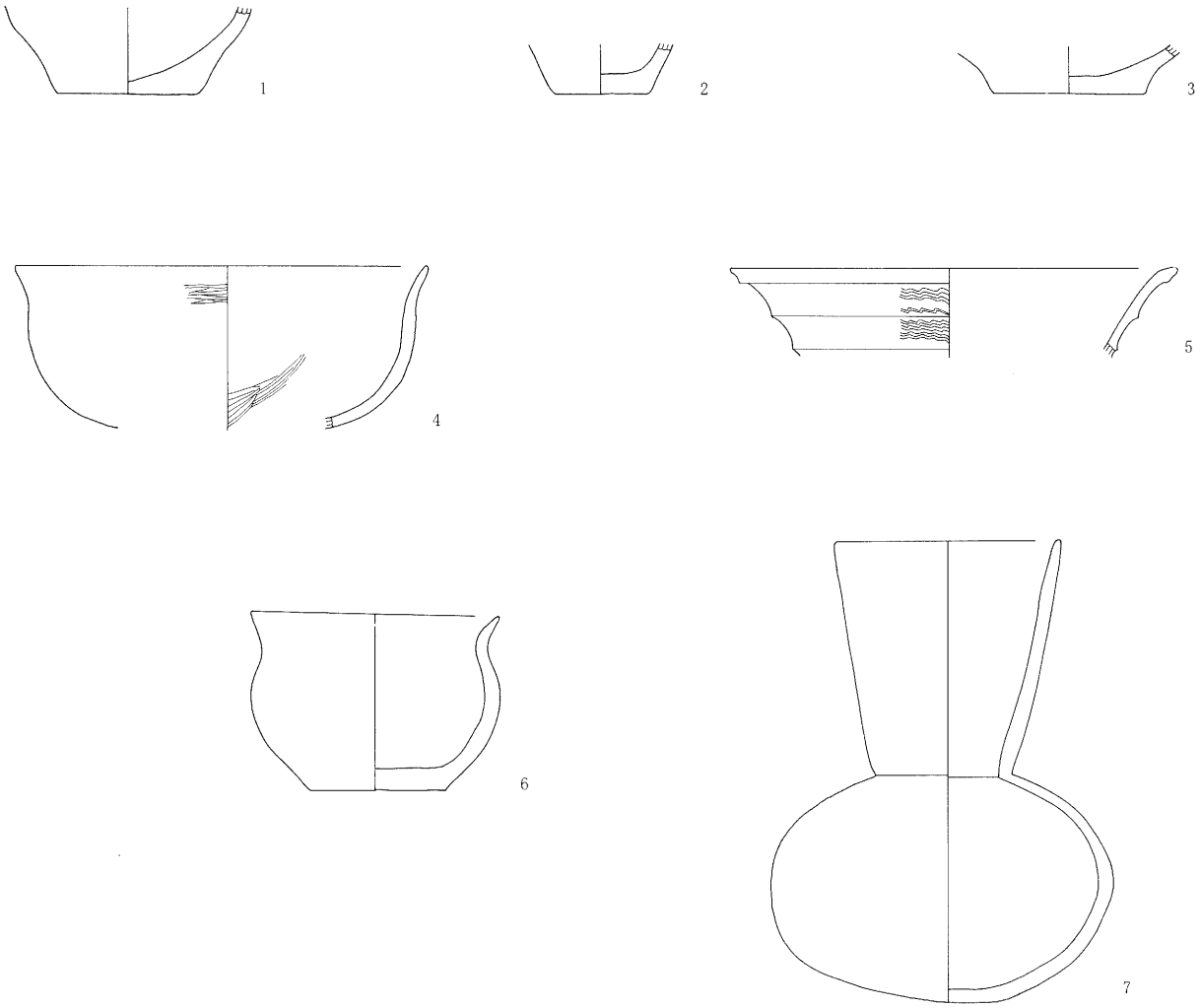
第27表 ピット観察表(2)

番号	長径	短径	深さ
P-213	0.20	0.16	0.06
214	0.20	0.18	0.10
215	0.34	0.28	0.14
216	0.34	0.28	
219	0.28	0.28	0.22
220	0.3	0.30	0.14
221	0.26	0.24	0.26
222	0.40	0.40	0.18
223	0.32	0.32	0.06
224	0.42	0.38	0.27
225	0.26	0.26	0.09
226	0.17	0.16	0.08
227	0.18	0.18	0.12
228	0.30	0.28	0.30
229	0.28	0.27	0.20
230	0.22	0.22	0.30
231	0.40	0.36	0.06
232	0.32	0.32	0.24
233	0.30	0.24	0.08
234	0.22	0.24	0.10
235	0.42	0.32	0.16
236	0.20	0.20	0.25
237	0.38	0.36	0.10
238	0.38	0.38	0.14
239	0.18	0.18	0.26
240	0.18	0.18	0.16
241	0.24	0.22	0.24
242	0.18	0.16	0.18
243	0.18	0.18	0.32
244	0.26	0.26	0.16
245	0.23	0.22	0.07

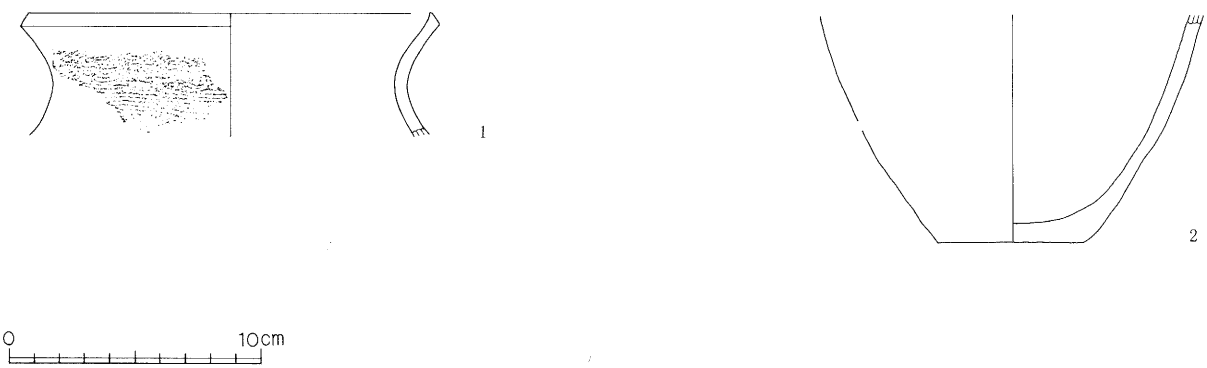
番号	長径	短径	深さ
P-246	0.36	0.34	0.20
247	0.24	0.24	0.23
248	0.22	0.22	0.20
249	0.22	0.22	0.04
250	0.34	0.33	0.14
251	0.22	0.20	0.37
252	0.24	0.18	0.22
253	0.36	0.34	0.24
254	0.36	0.34	0.20
255	0.22	0.21	0.37
256	0.21	0.18	0.30
257	0.25	0.22	0.24
258	0.17	0.14	0.10

第28表 ピット観察表(3)

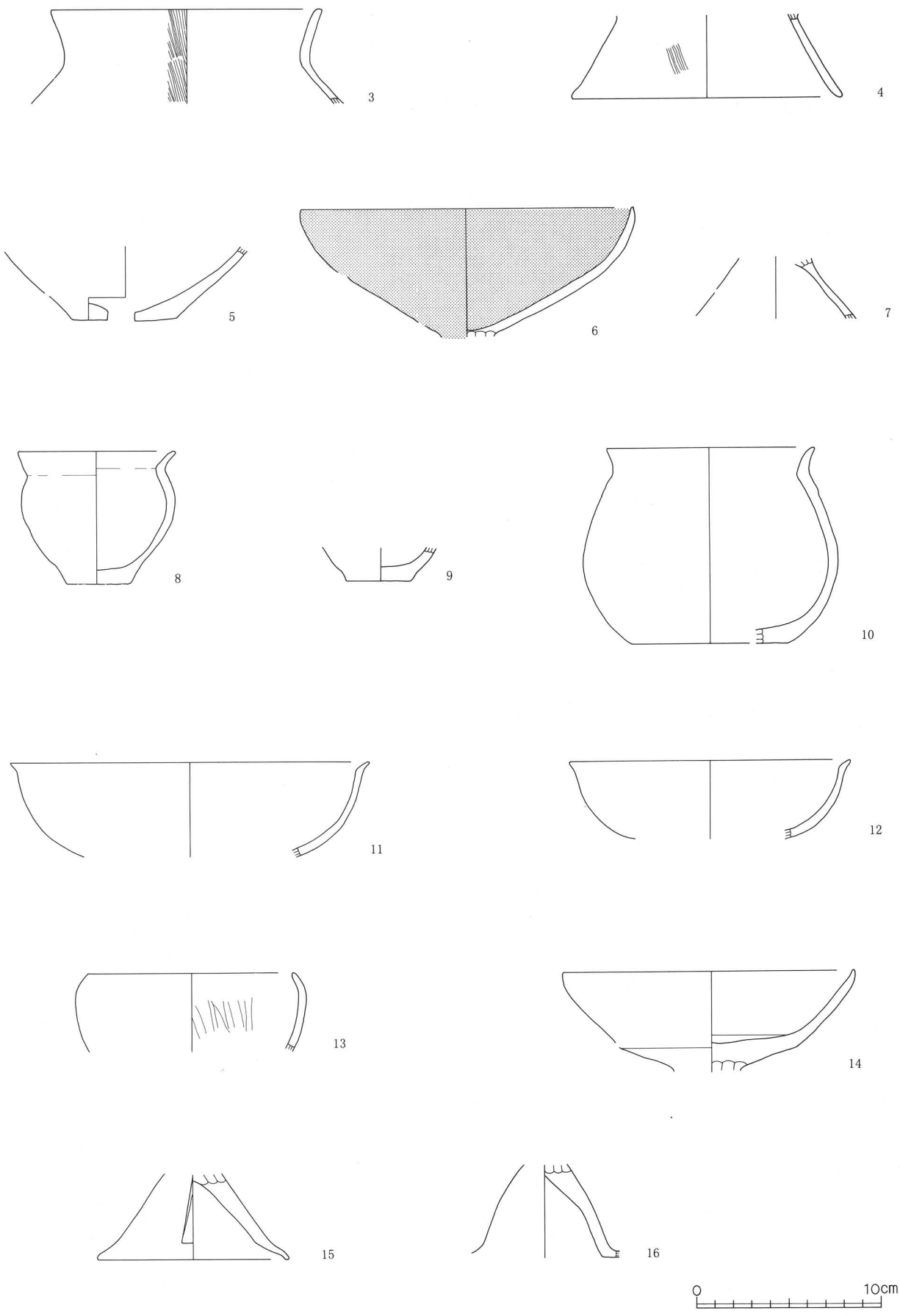
第4節　遺物実測図



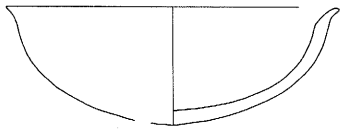
第79図　掘立柱建物跡出土遺物実測図



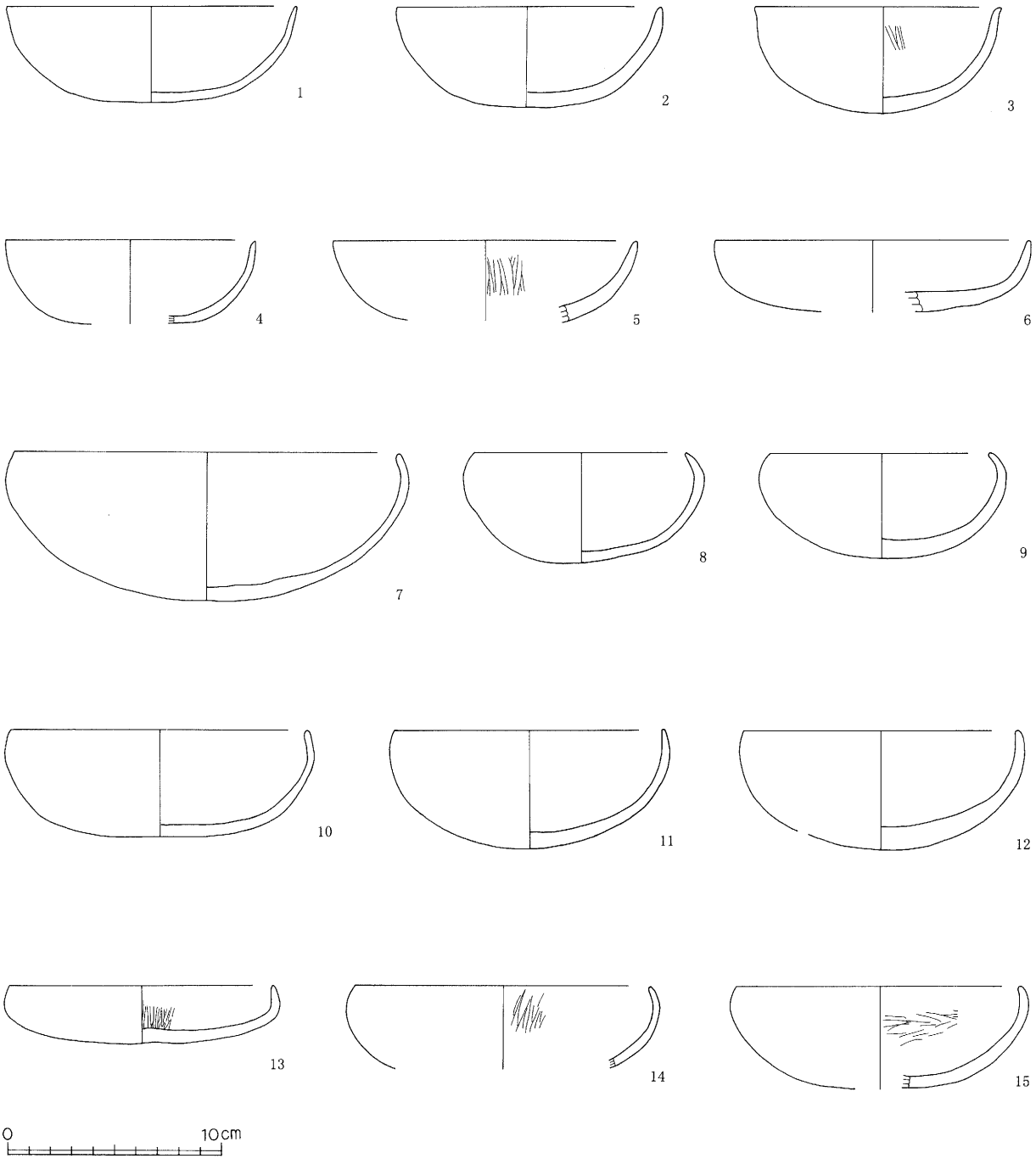
第80図　第１号竪穴住居跡出土遺物実測図(１)



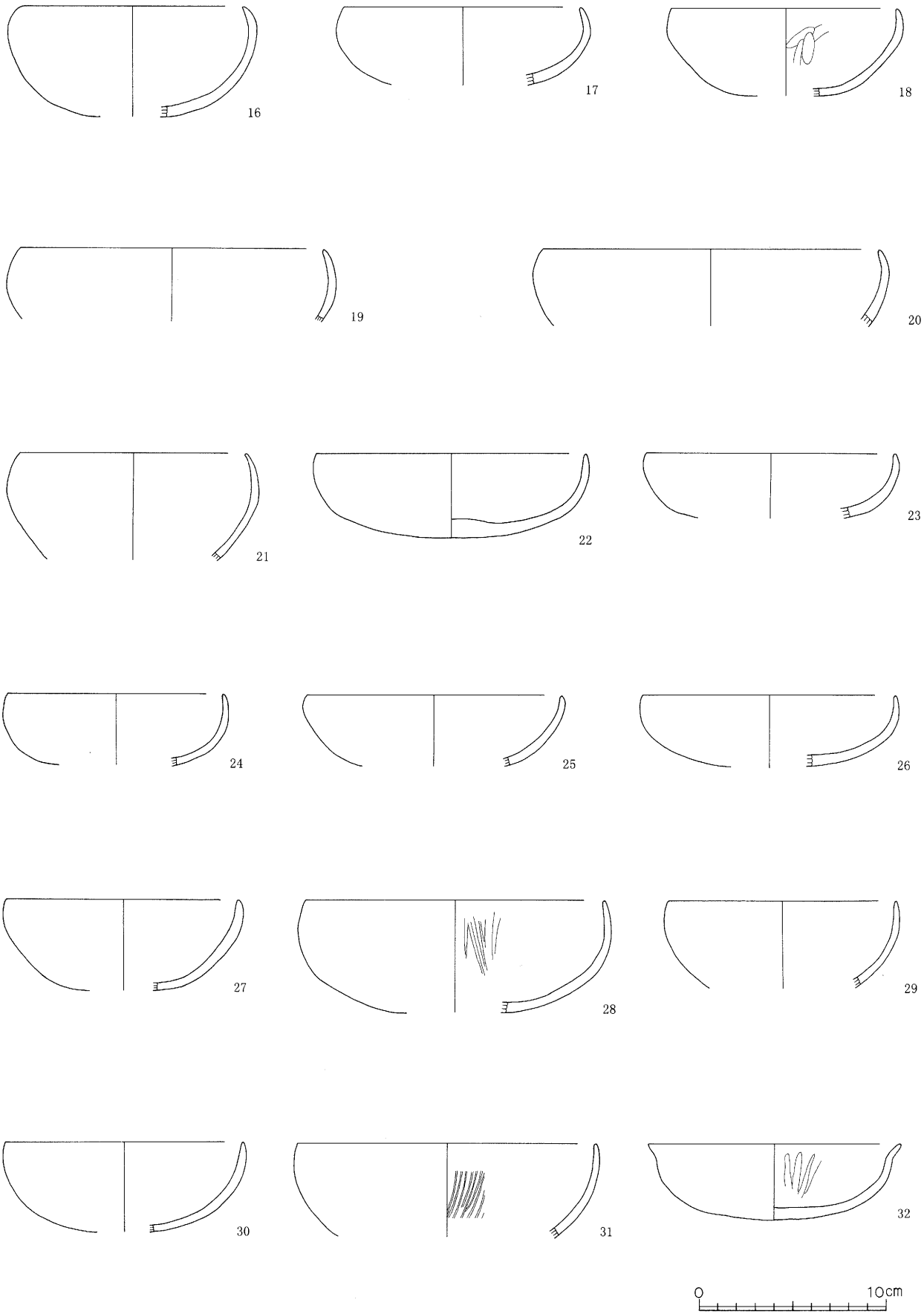
第81図 第１号竪穴住居跡出土遺物実測図（２）



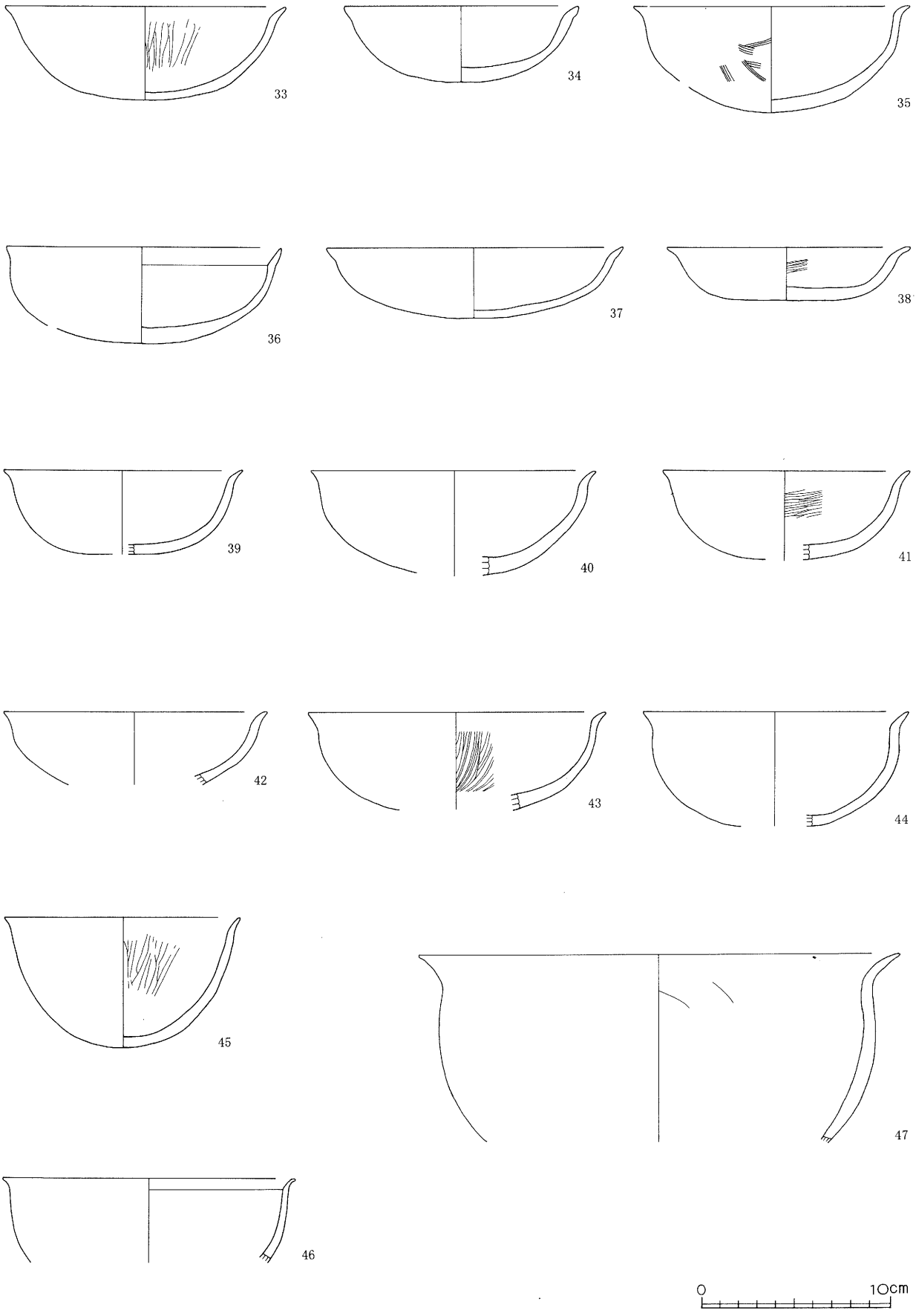
第82図 第１号溝跡出土遺物実測図



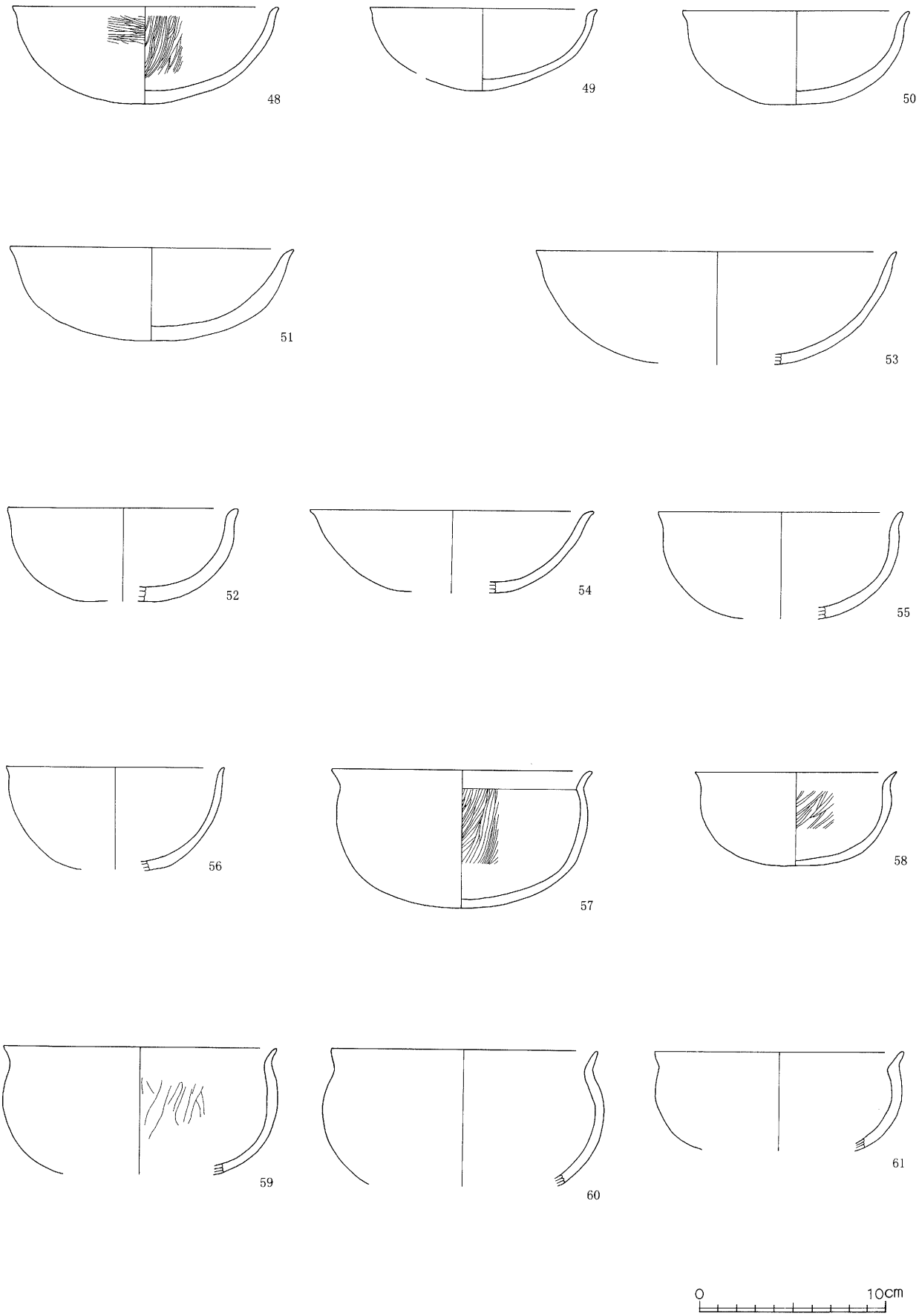
第83図 第２号溝跡出土遺物実測図（１）



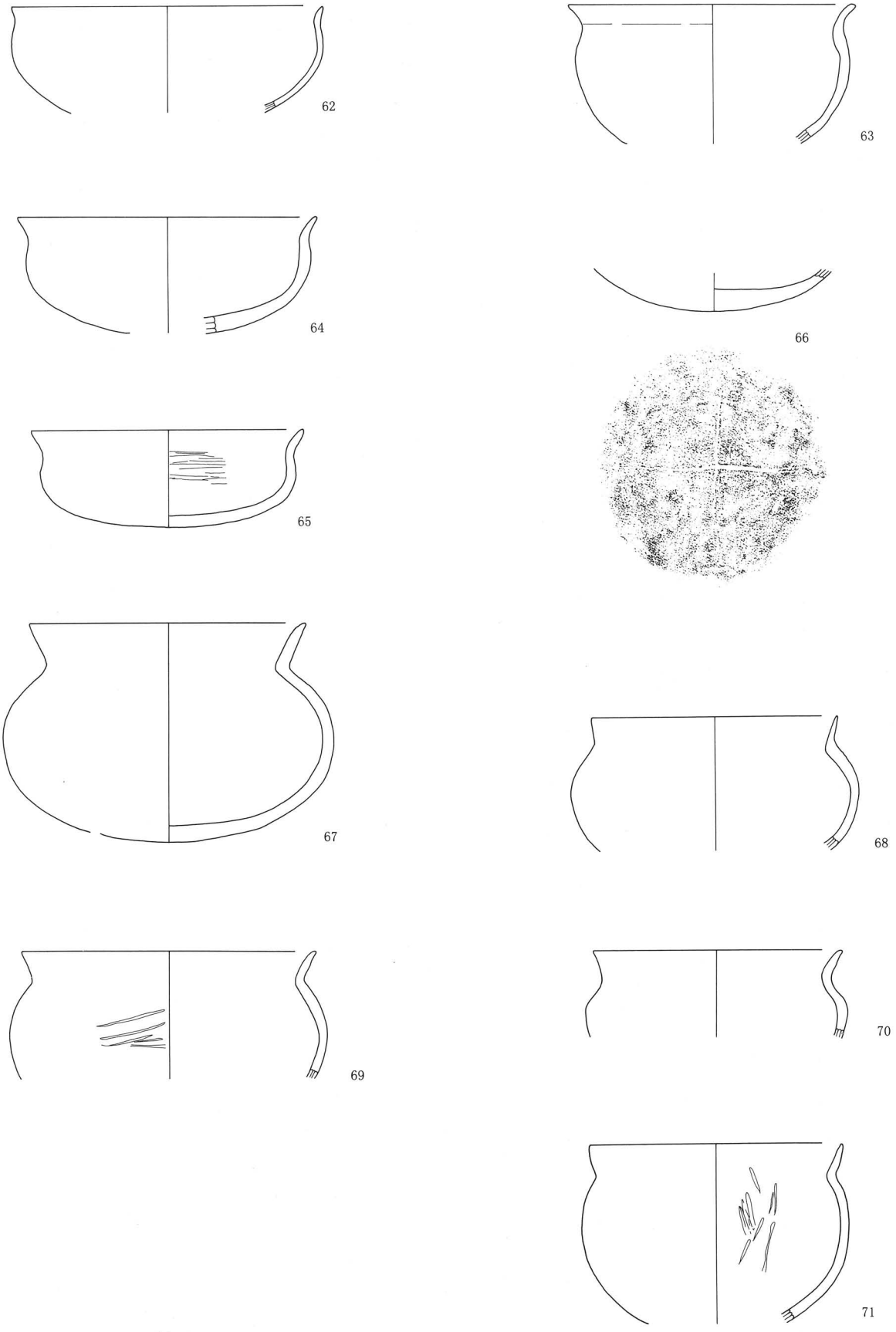
第84図 第２号溝跡出土遺物実測図（２）



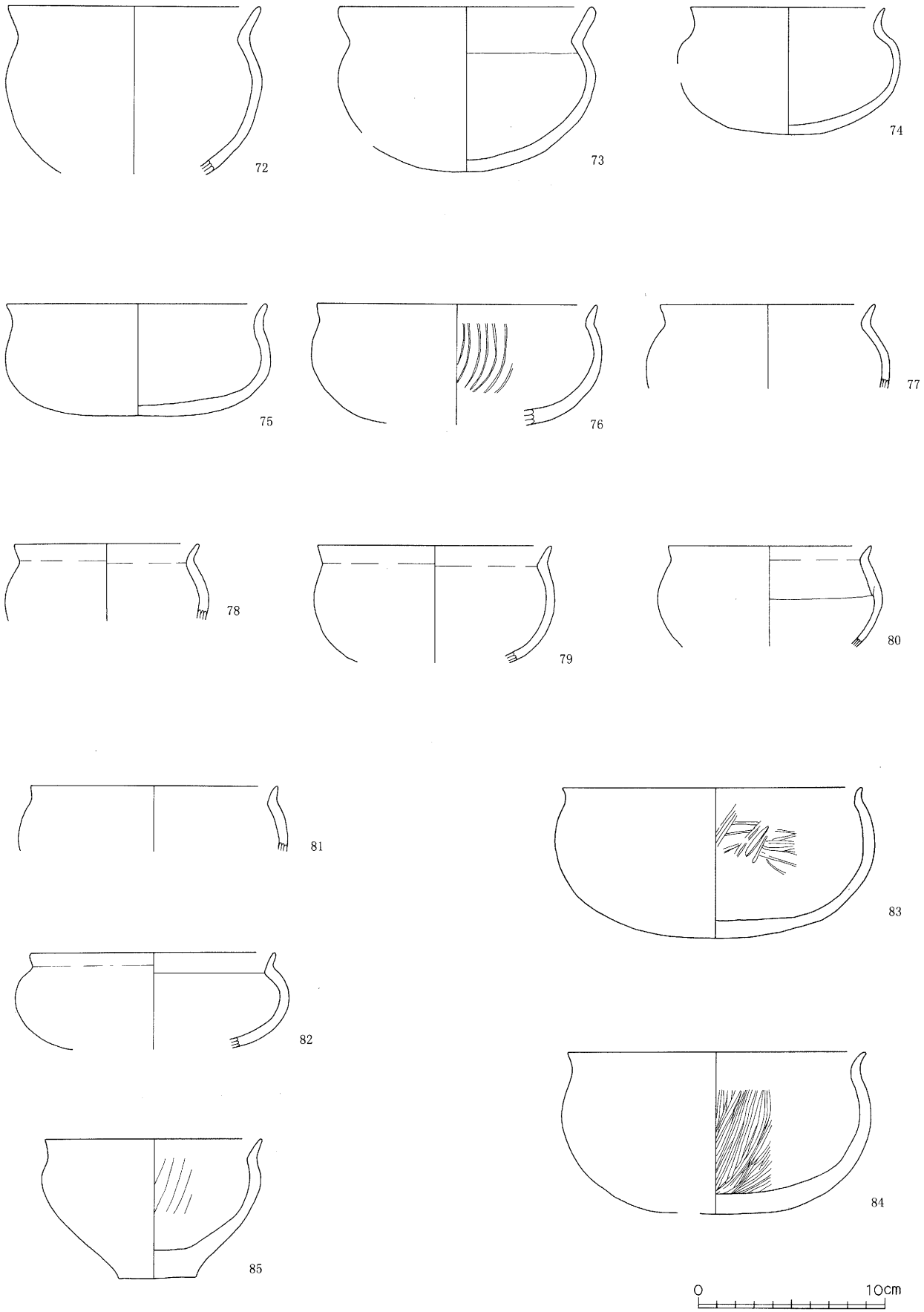
第85図 第２号溝跡出土遺物実測図（３）



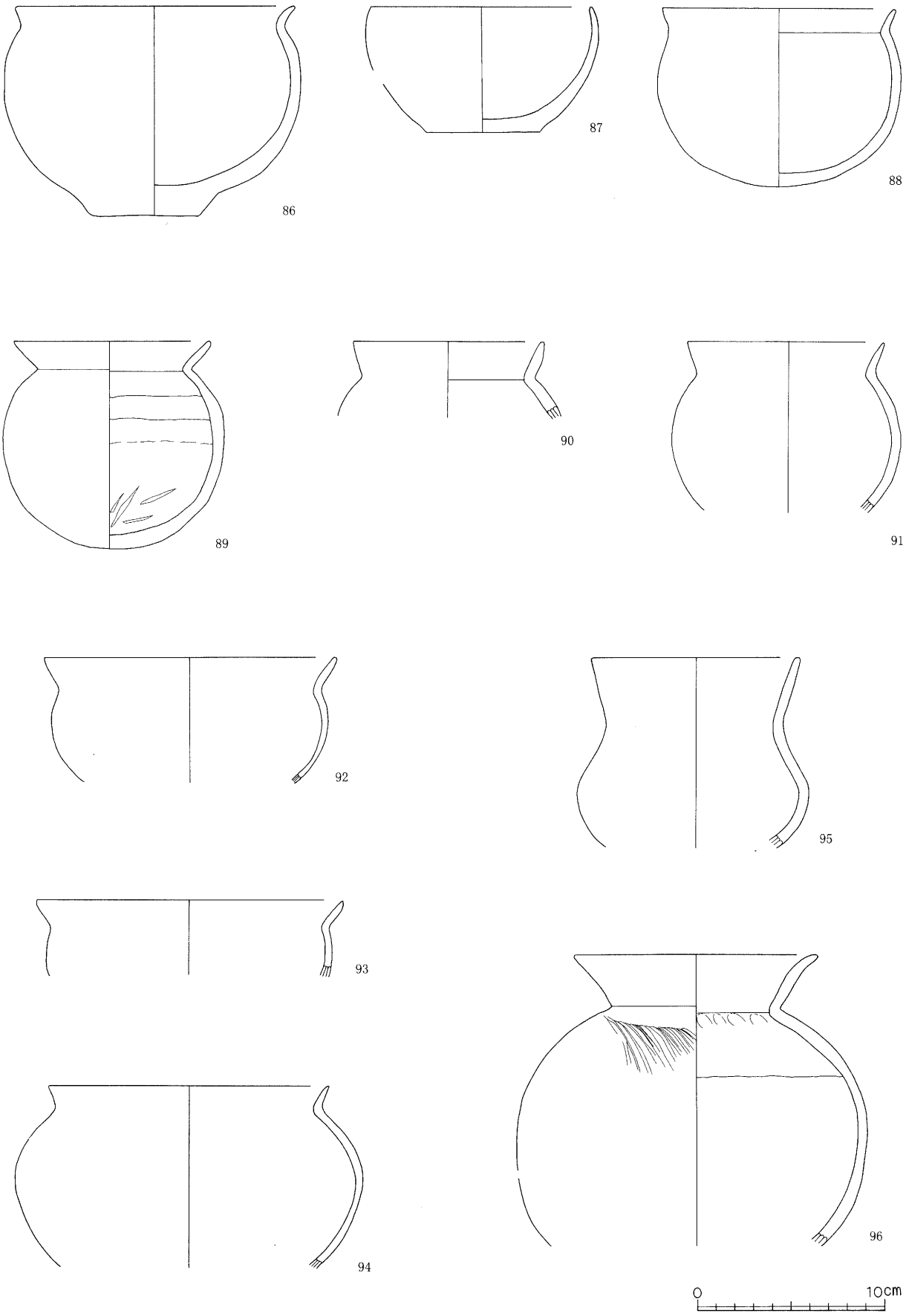
第86図 第２号溝跡出土遺物実測図（４）



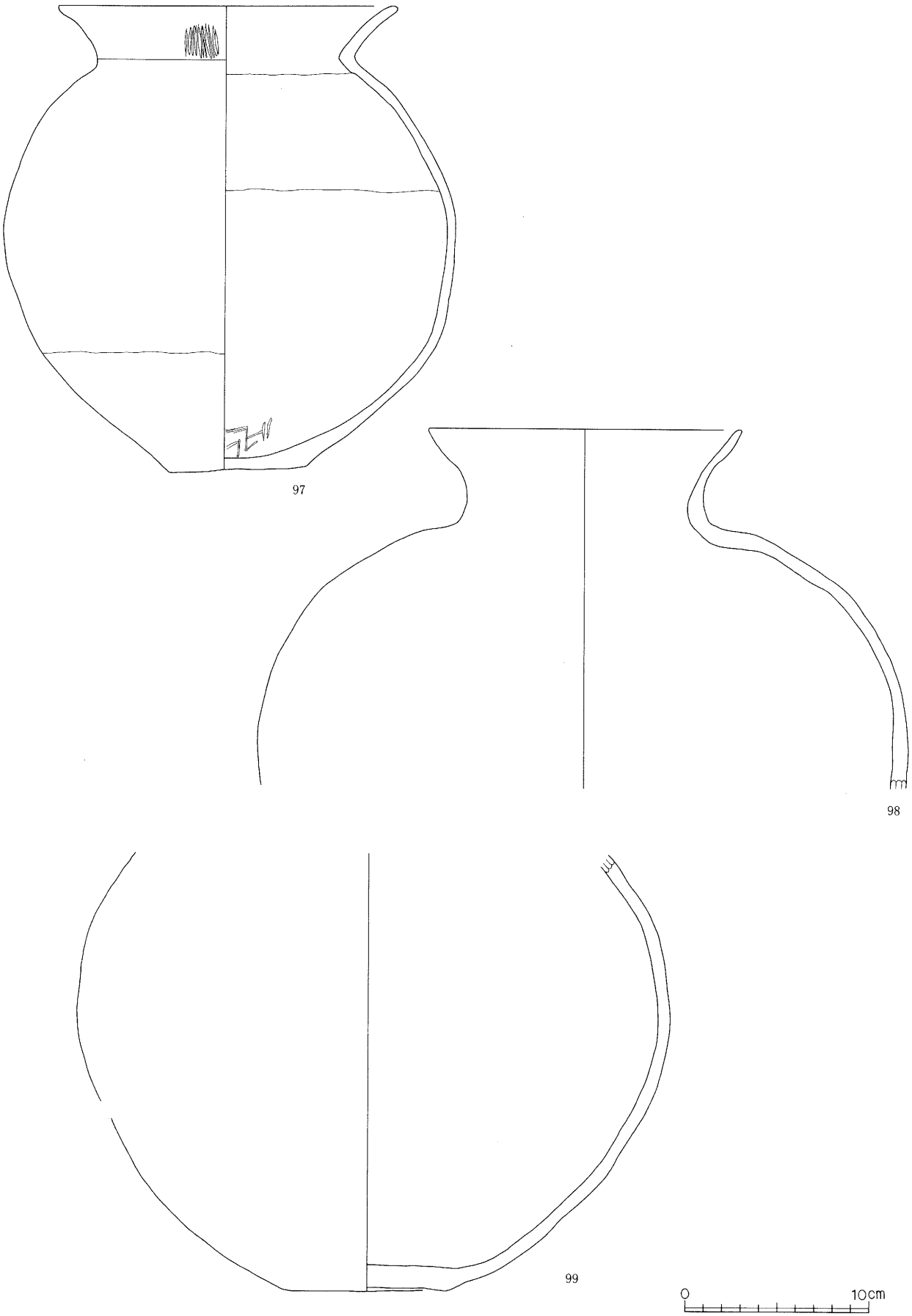
第87図 第２号溝跡出土遺物実測図(５)



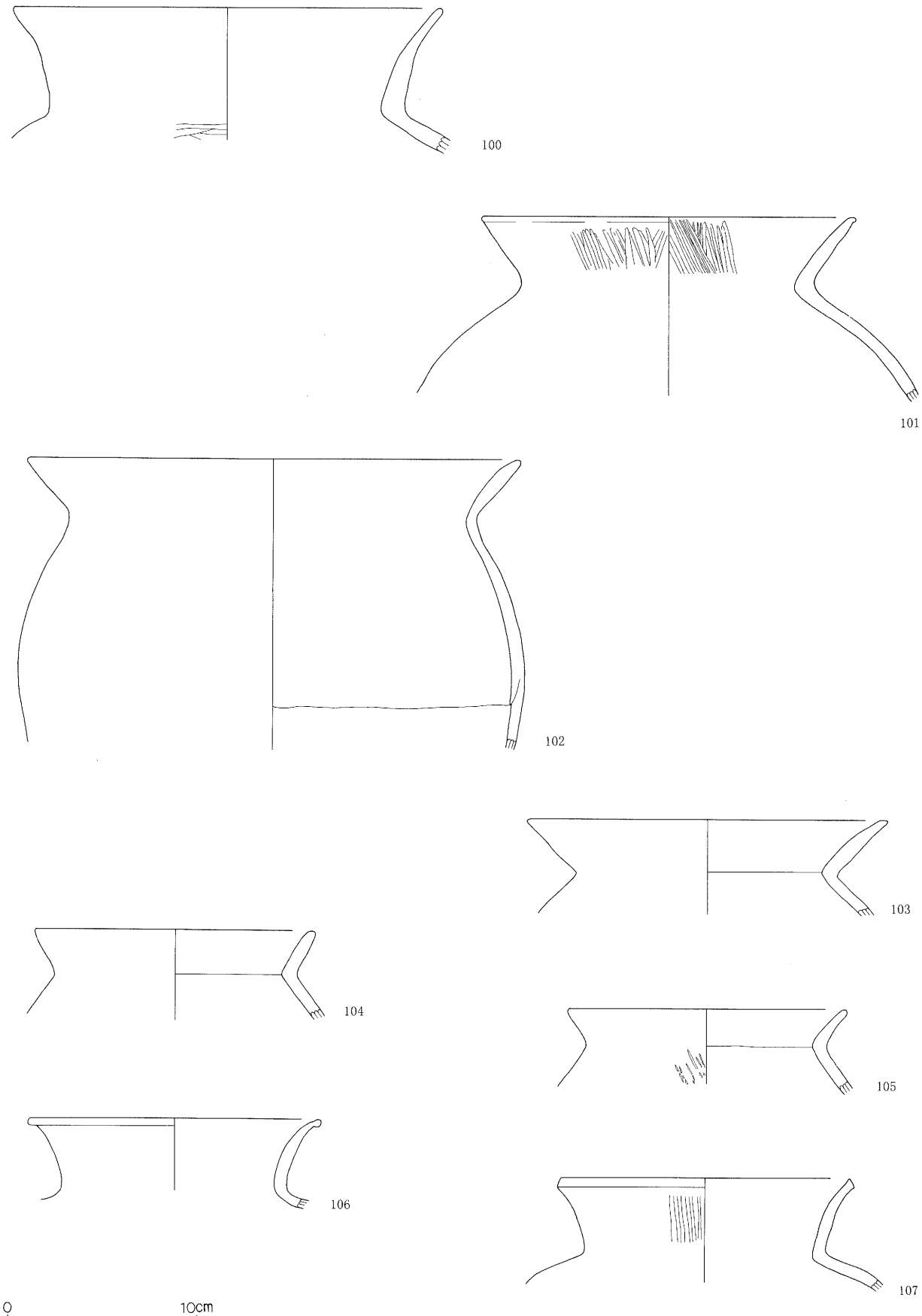
第88図 第２号溝跡出土遺物実測図（６）



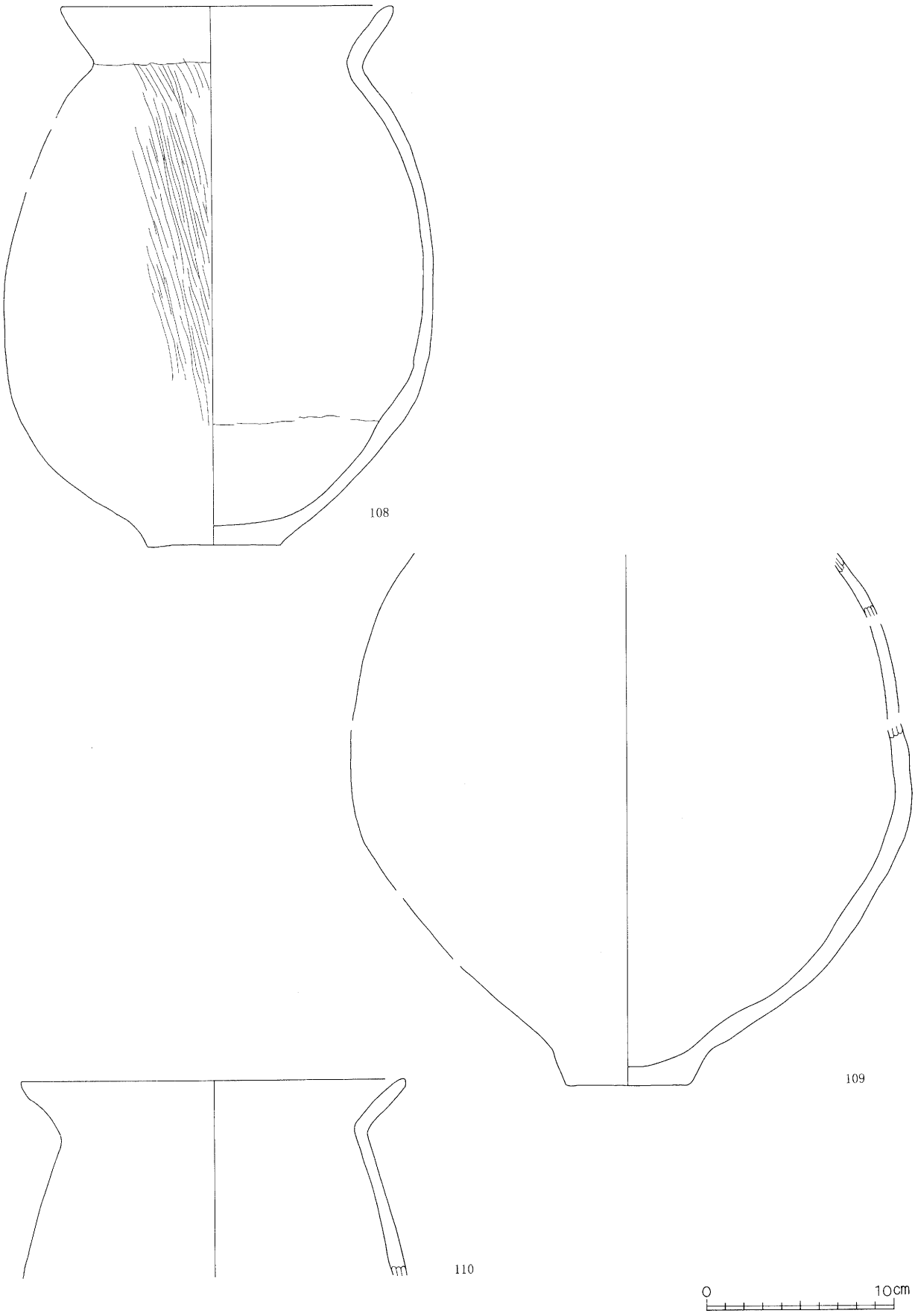
第89図 第２号溝跡出土遺物実測図（７）



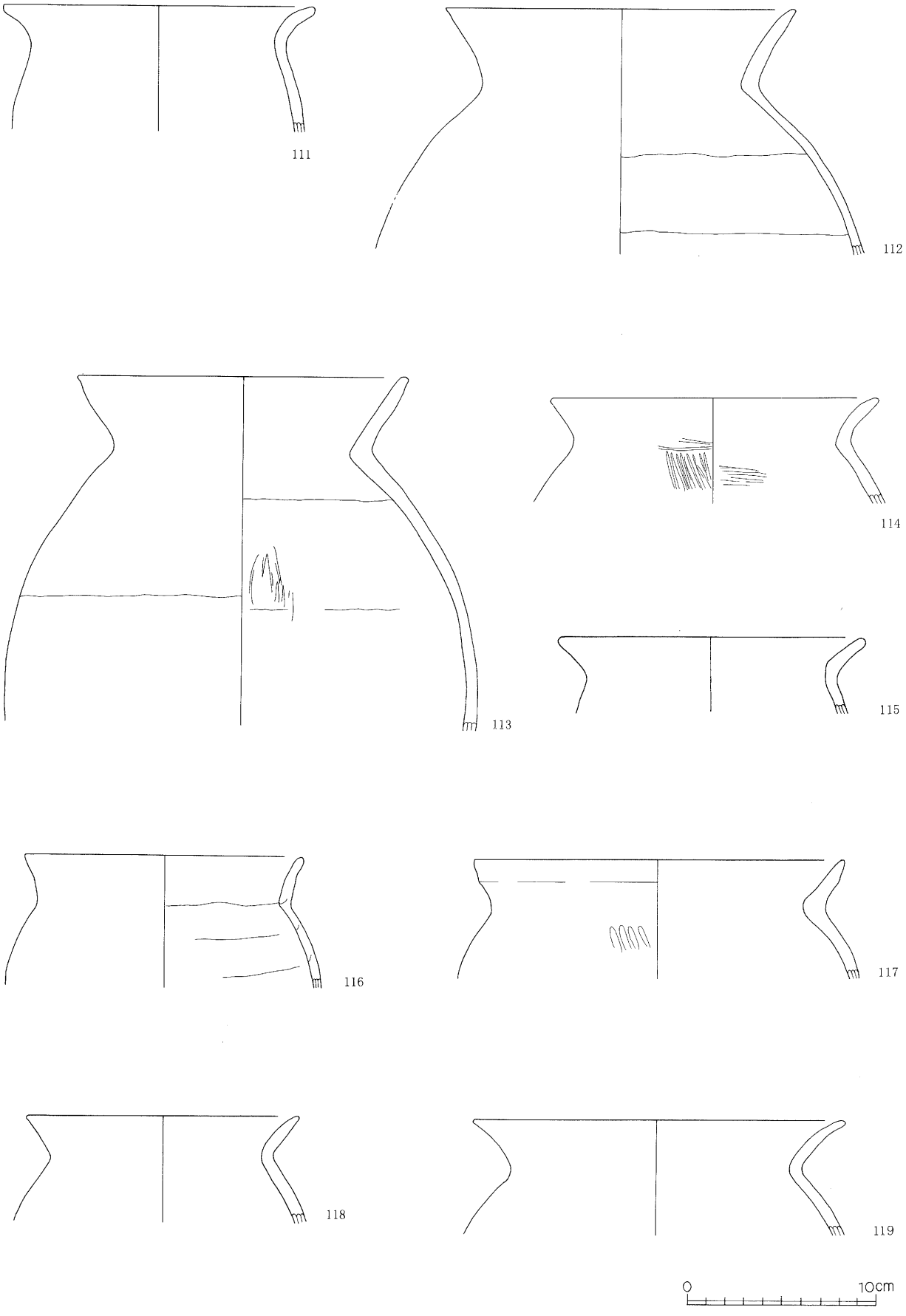
第90図 第２号溝跡出土遺物実測図（８）



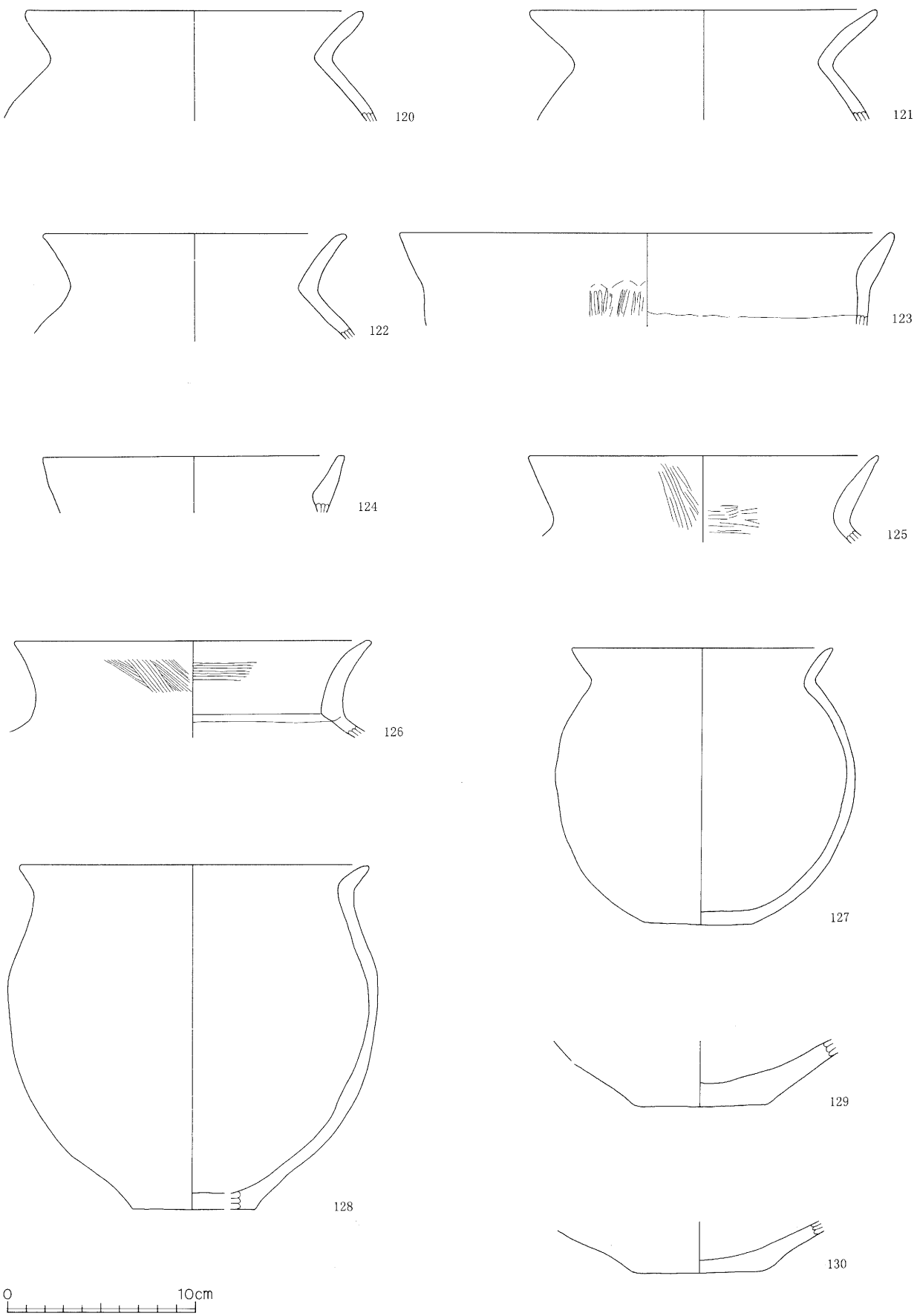
第91図　第２号溝跡出土遺物実測図（９）



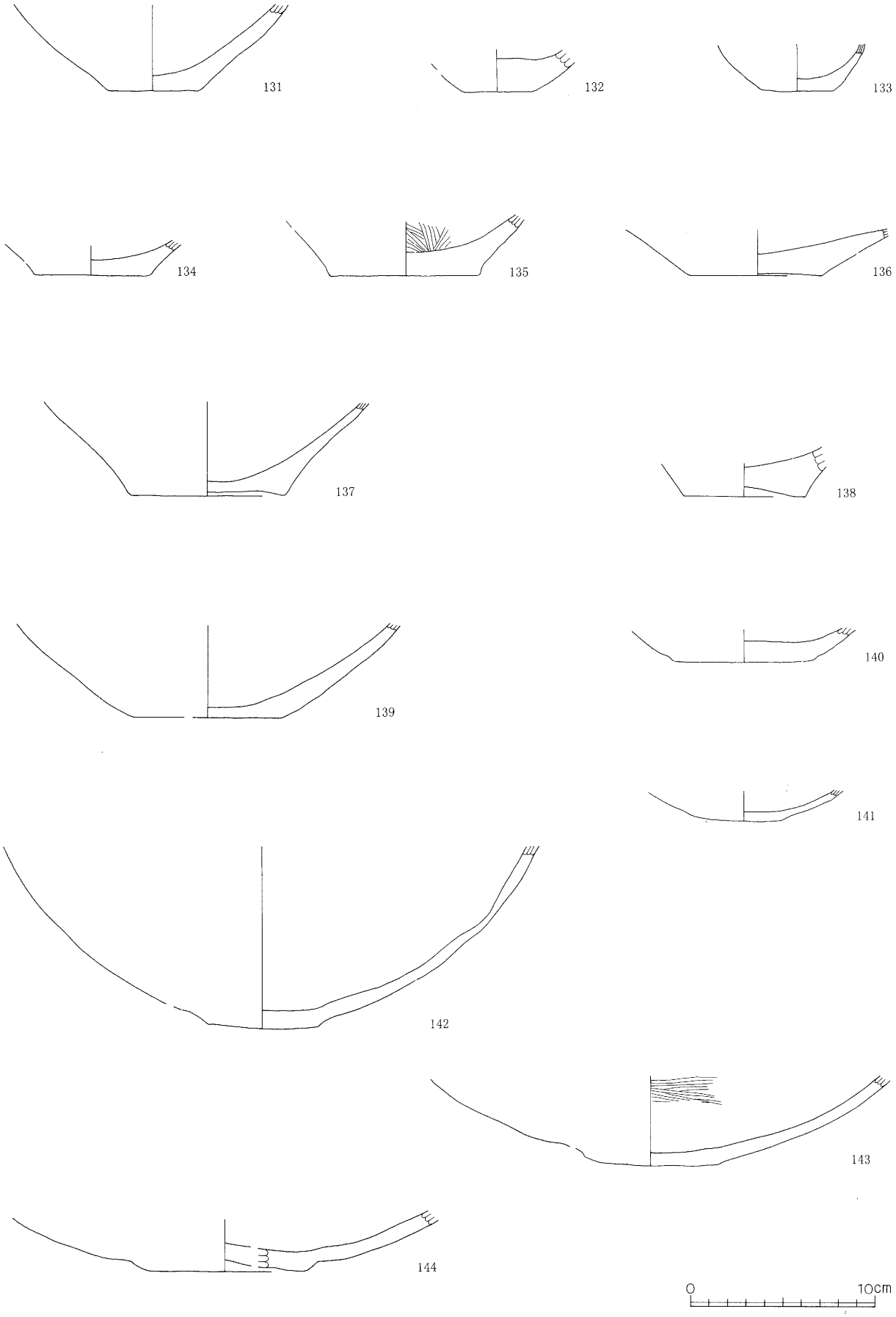
第92図　第２号溝跡出土遺物実測図(10)



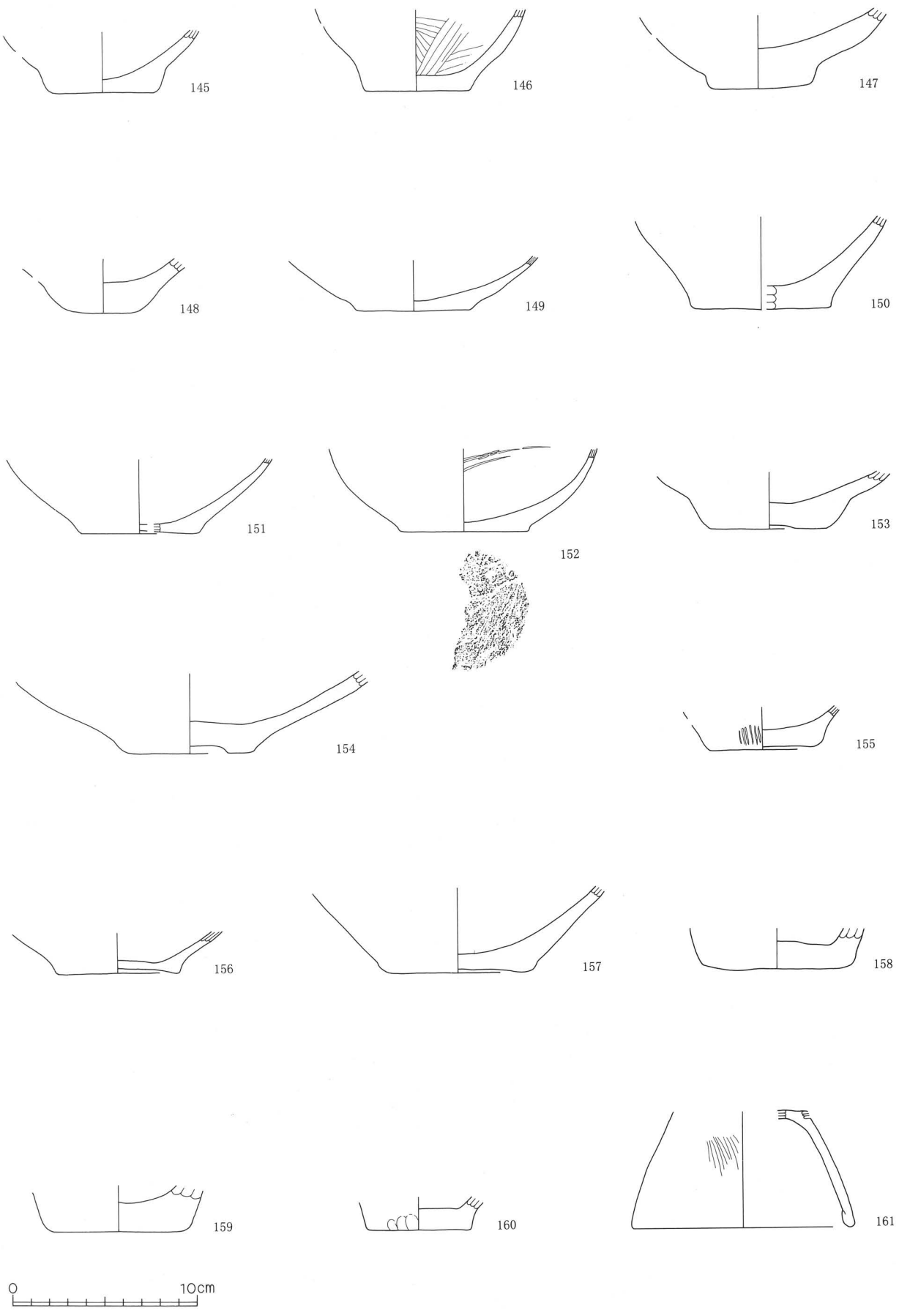
第93図　第２号溝跡出土遺物実測図(11)



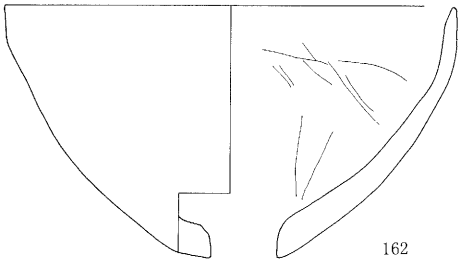
第94図 第２号溝跡出土遺物実測図(12)

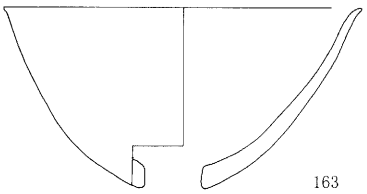


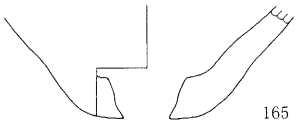
第95図　第２号溝跡出土遺物実測図(13)

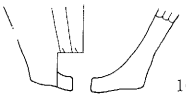


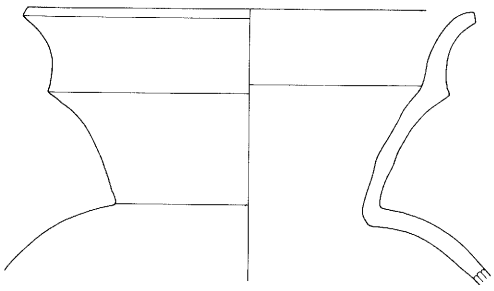
第96図 第２号溝跡出土遺物実測図(14)

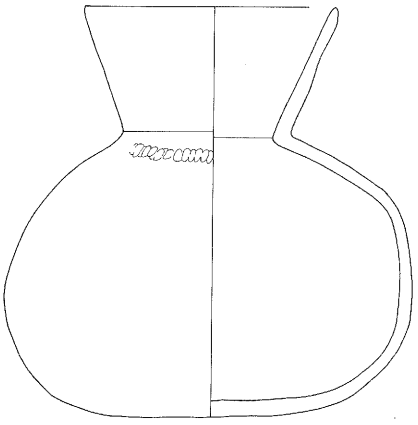


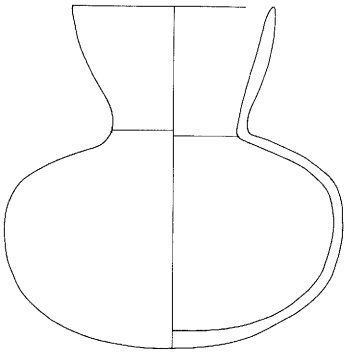


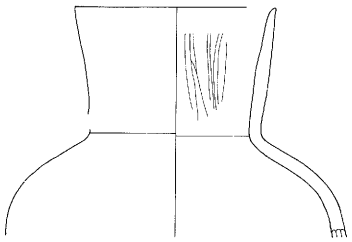


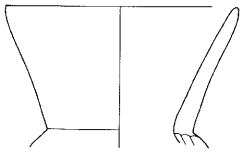


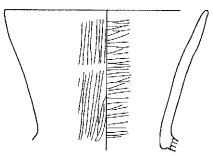


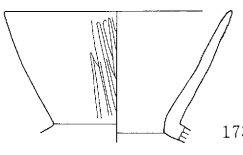


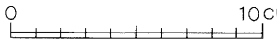




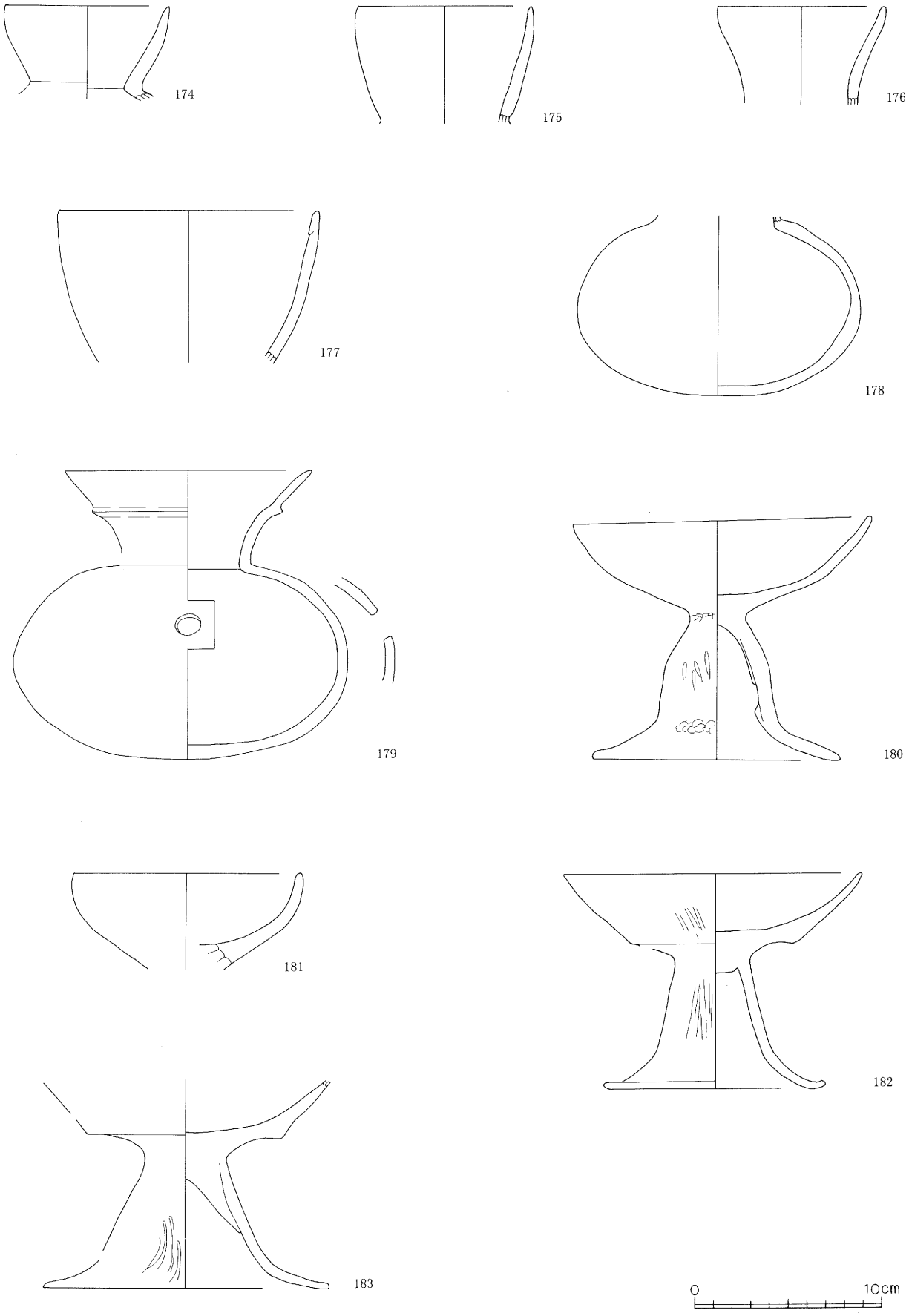




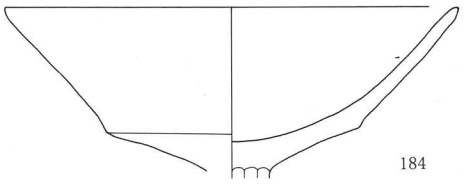


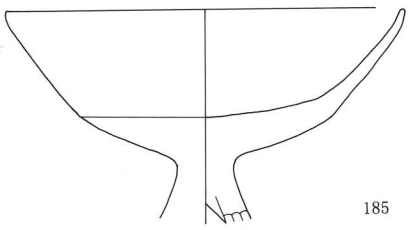


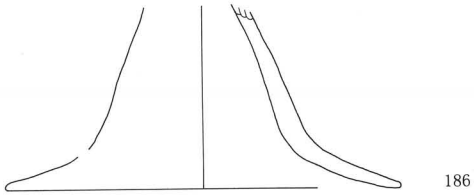
第97図 第２号溝跡出土遺物実測図(15)

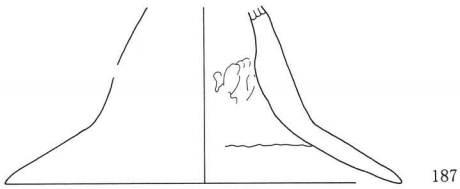


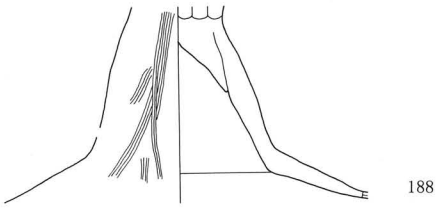
第98図　第２号溝跡出土遺物実測図(16)

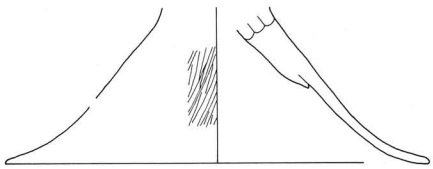


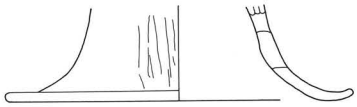


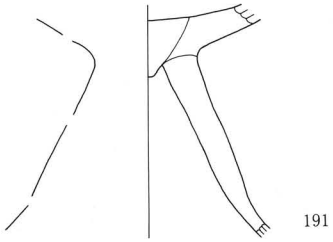


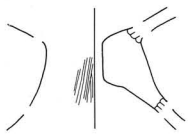


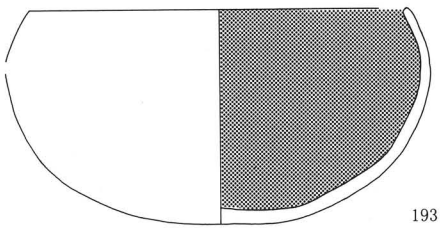


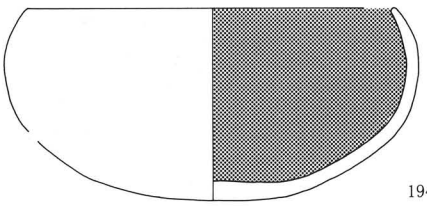




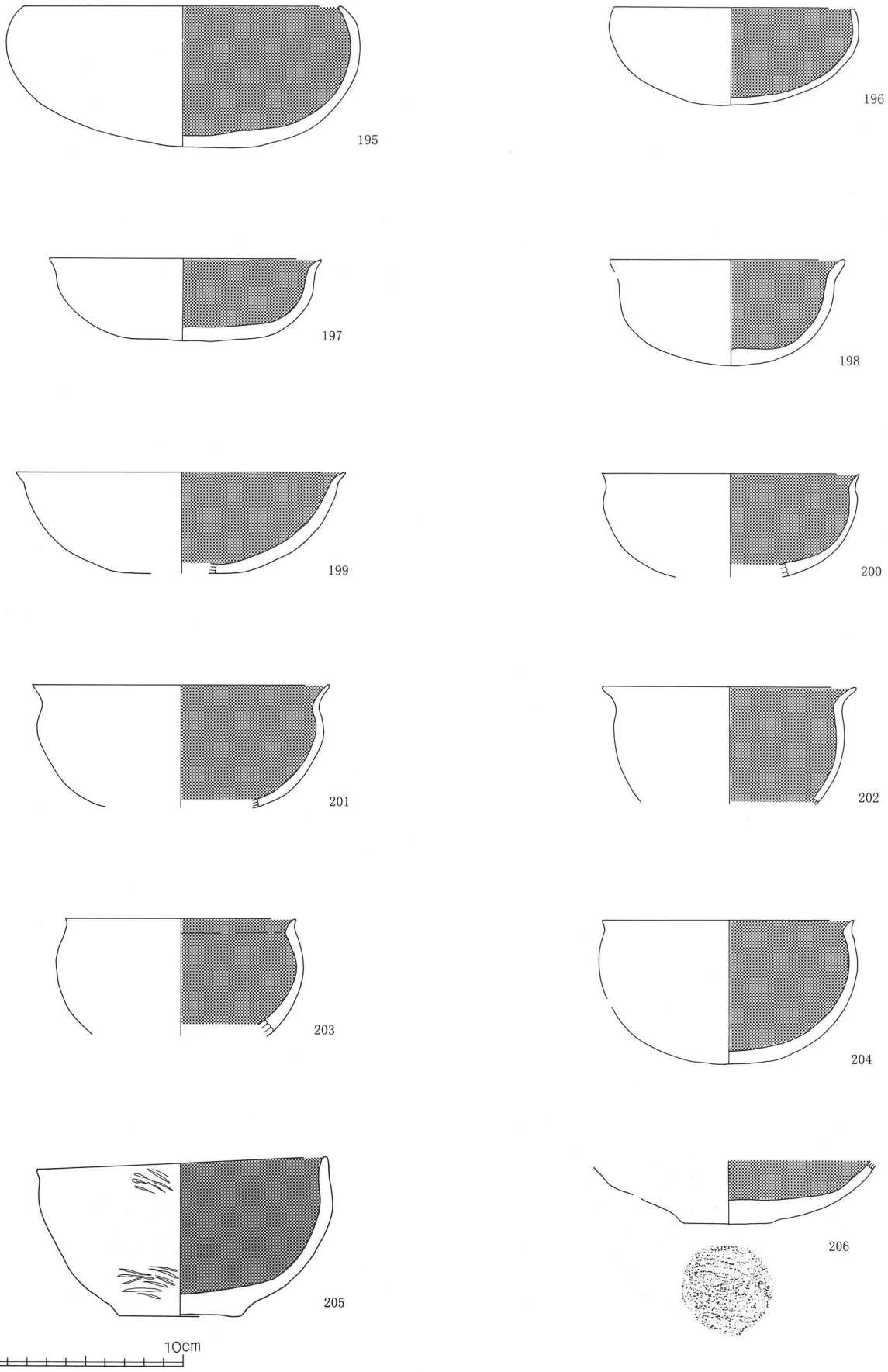




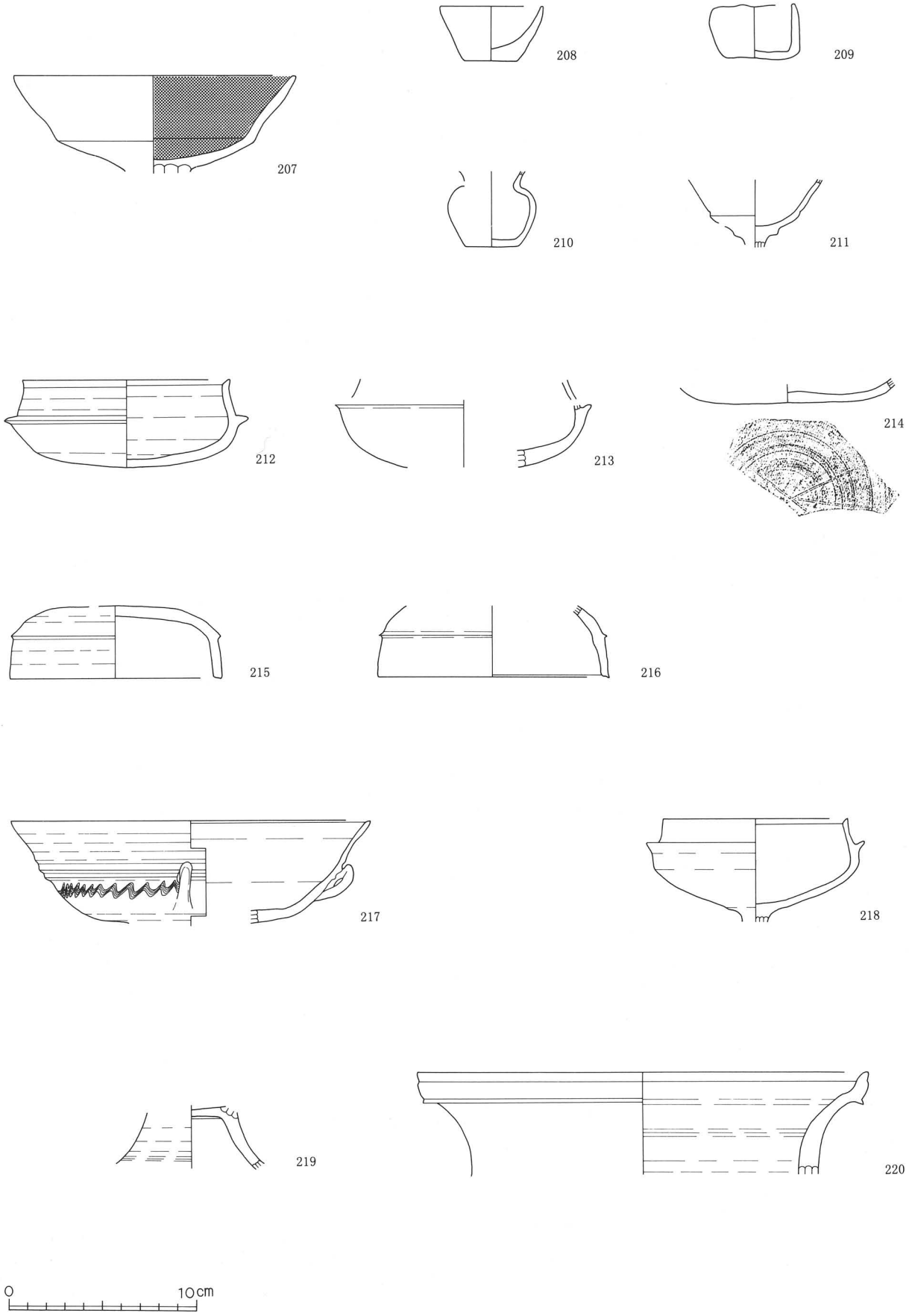




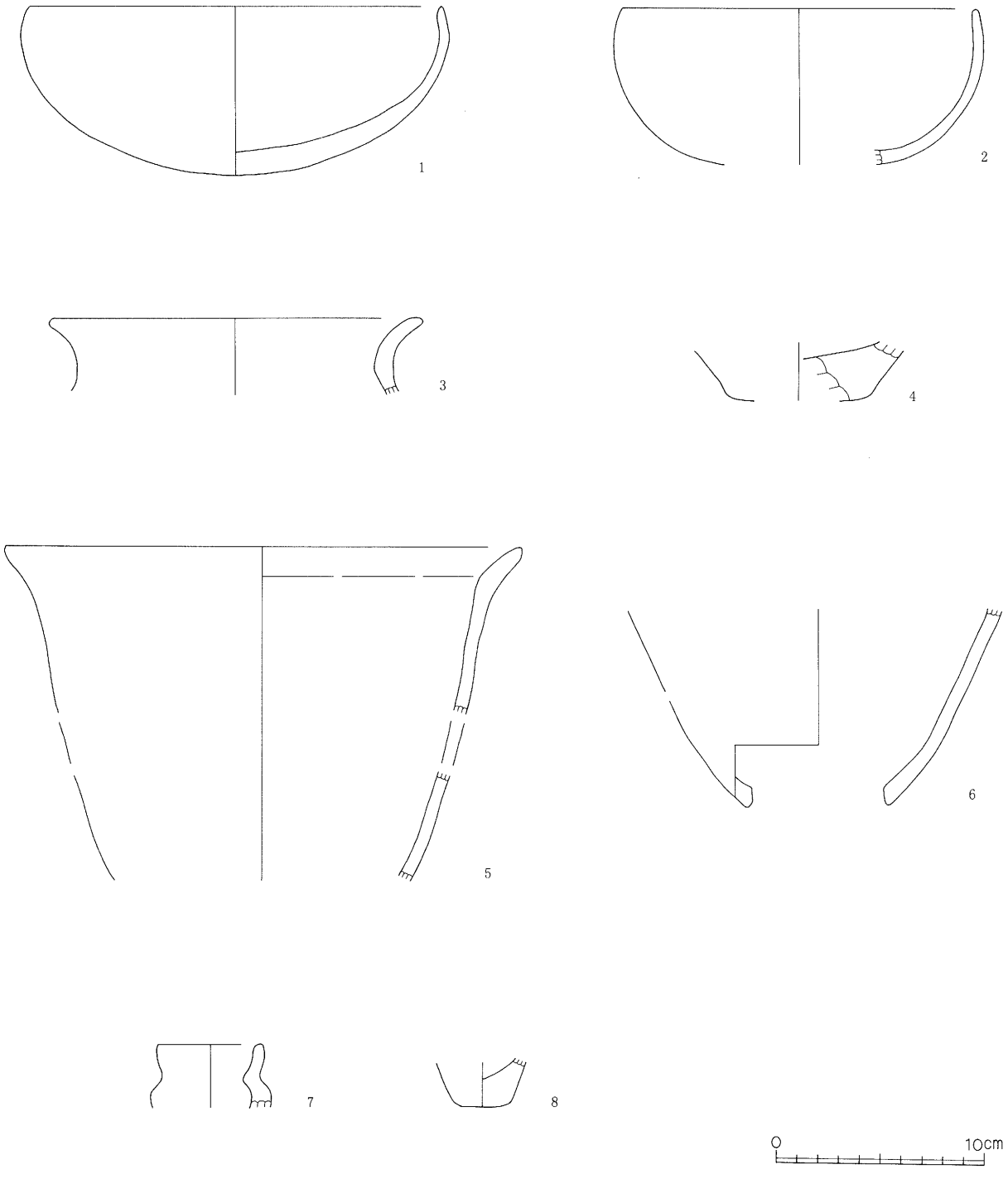
第99図 第２号溝跡出土遺物実測図(17)



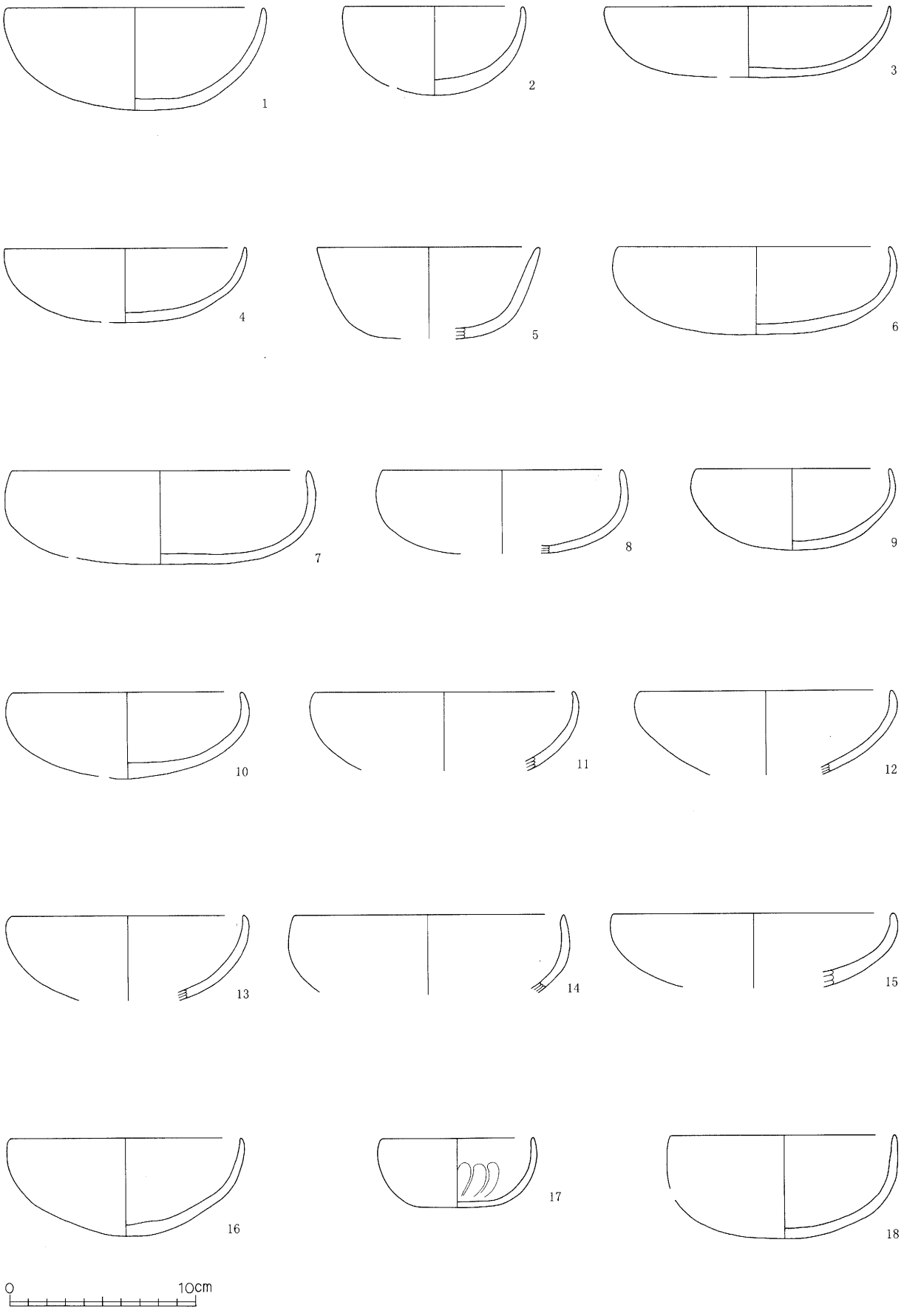
第100図 第２号溝跡出土遺物実測図(18)



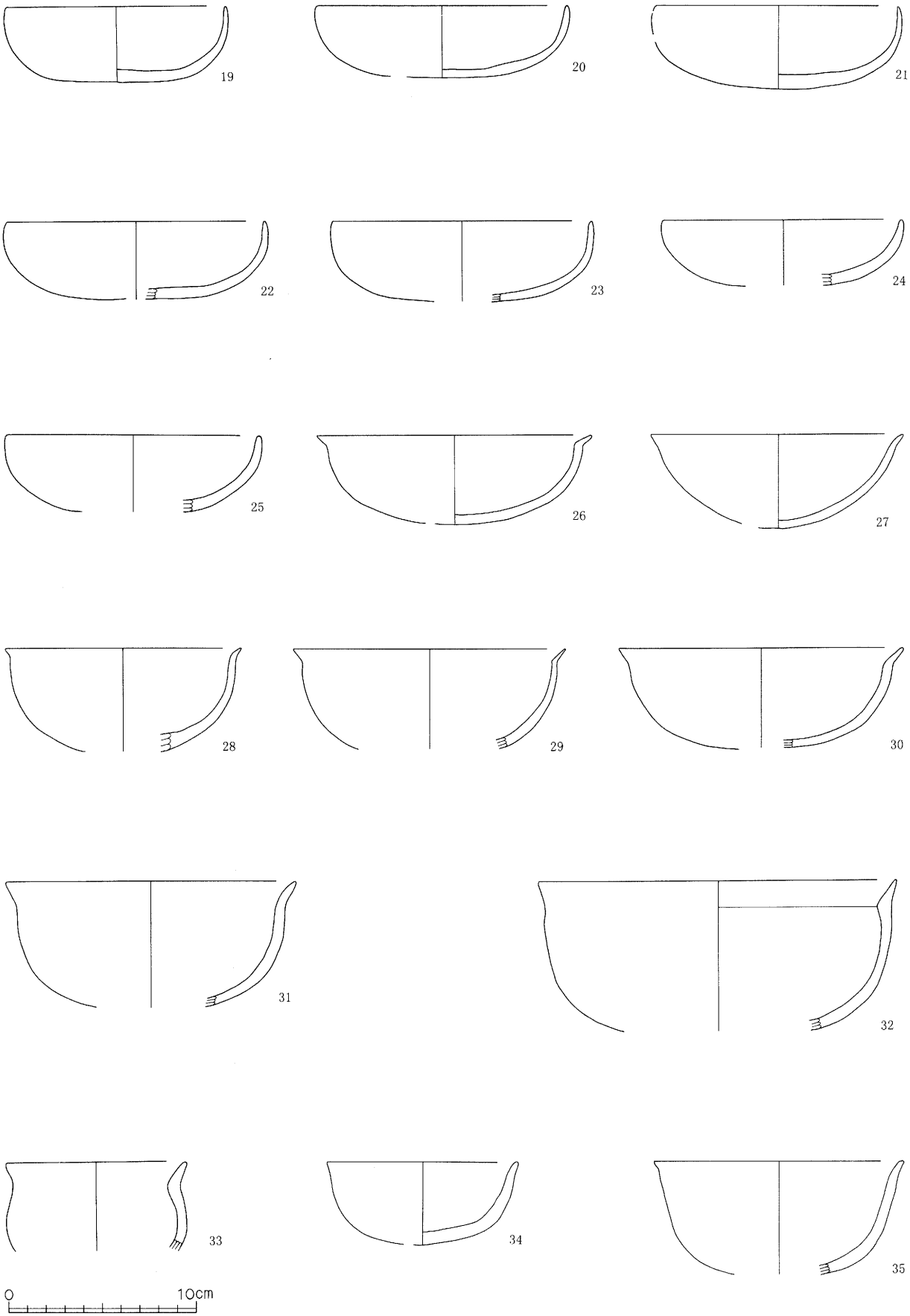
第101図　第２号溝跡出土遺物実測図(19)



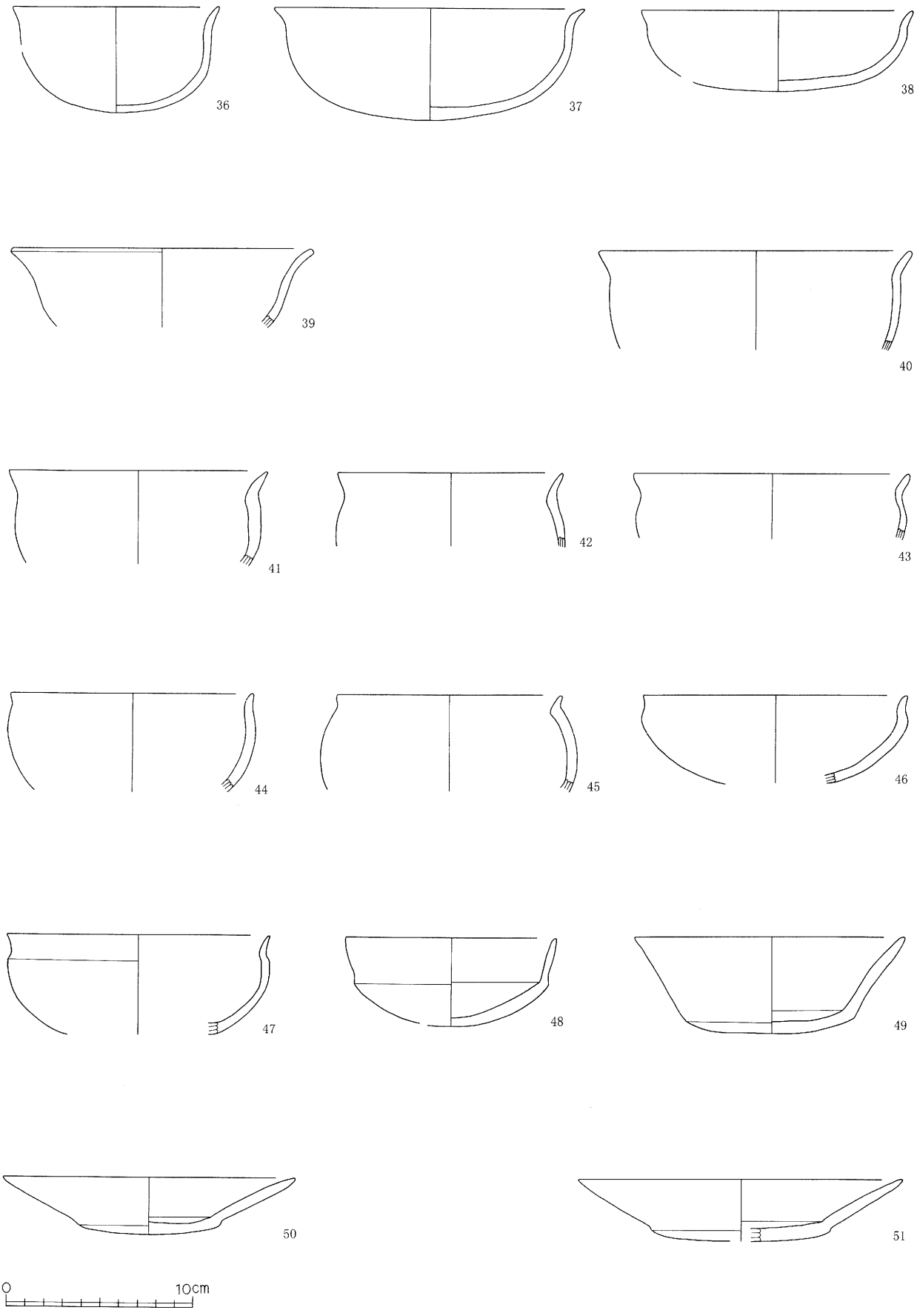
第102図 第４号溝跡出土遺物実測図



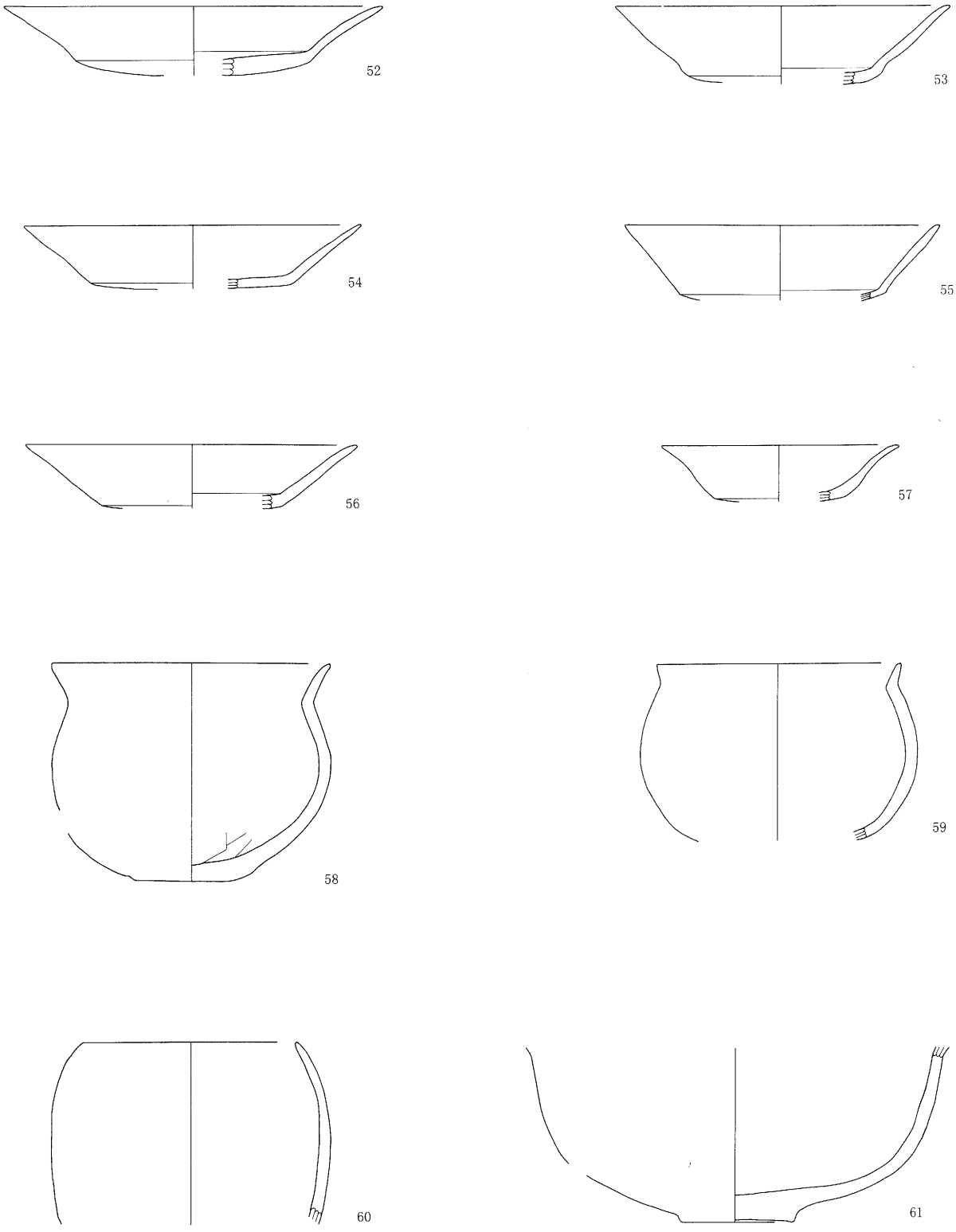
第103図 第５号溝跡出土遺物実測図(１)



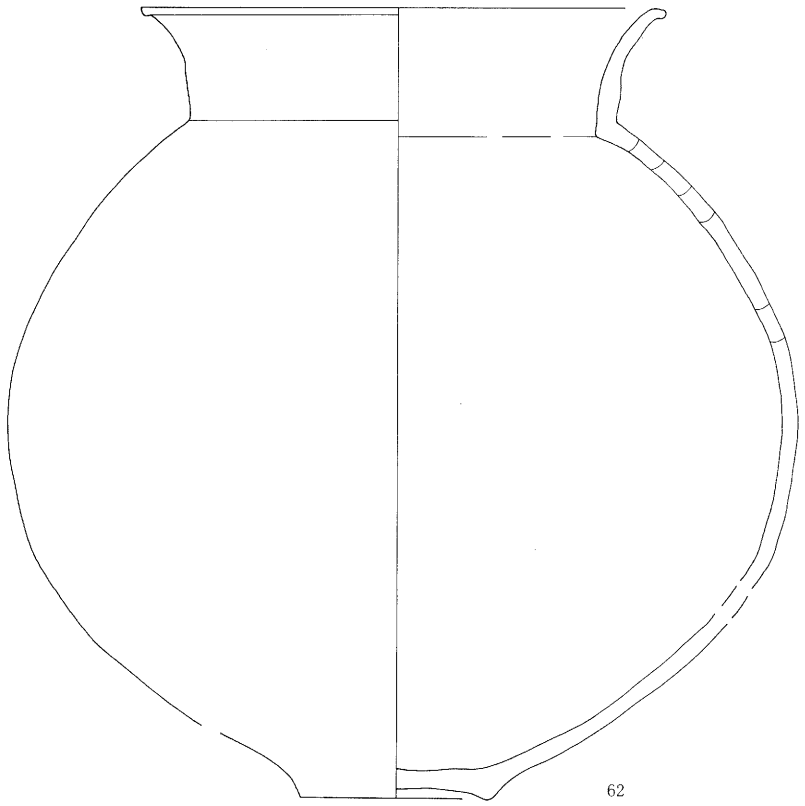
第104図 第５号溝跡出土遺物実測図（２）

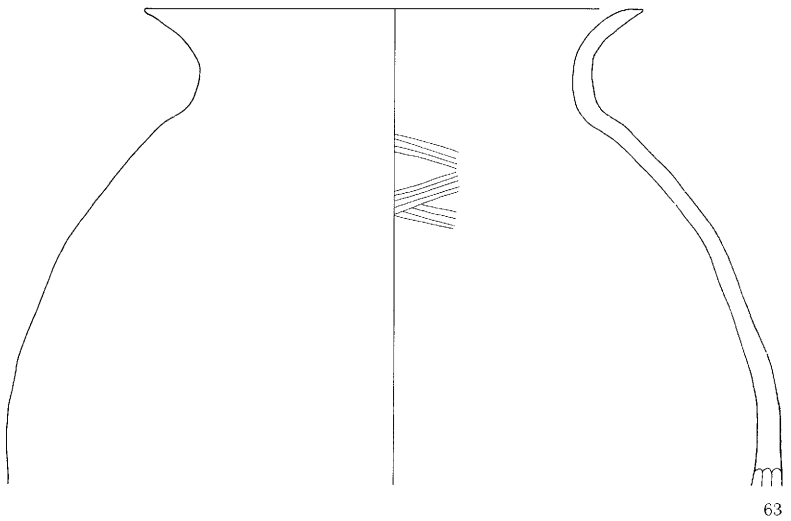


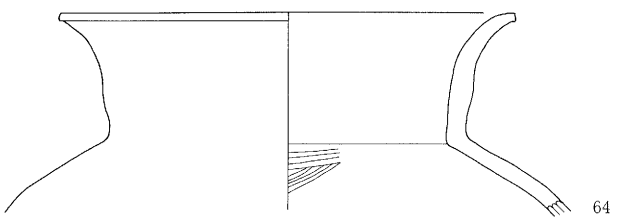
第105図 第５号溝跡出土遺物実測図（３）

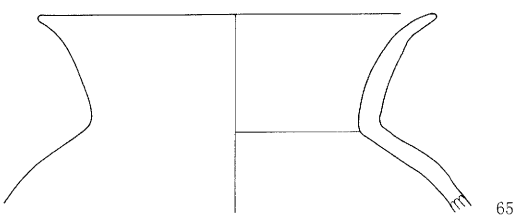


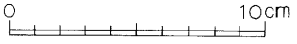
第106図 第５号溝跡出土遺物実測図(４)



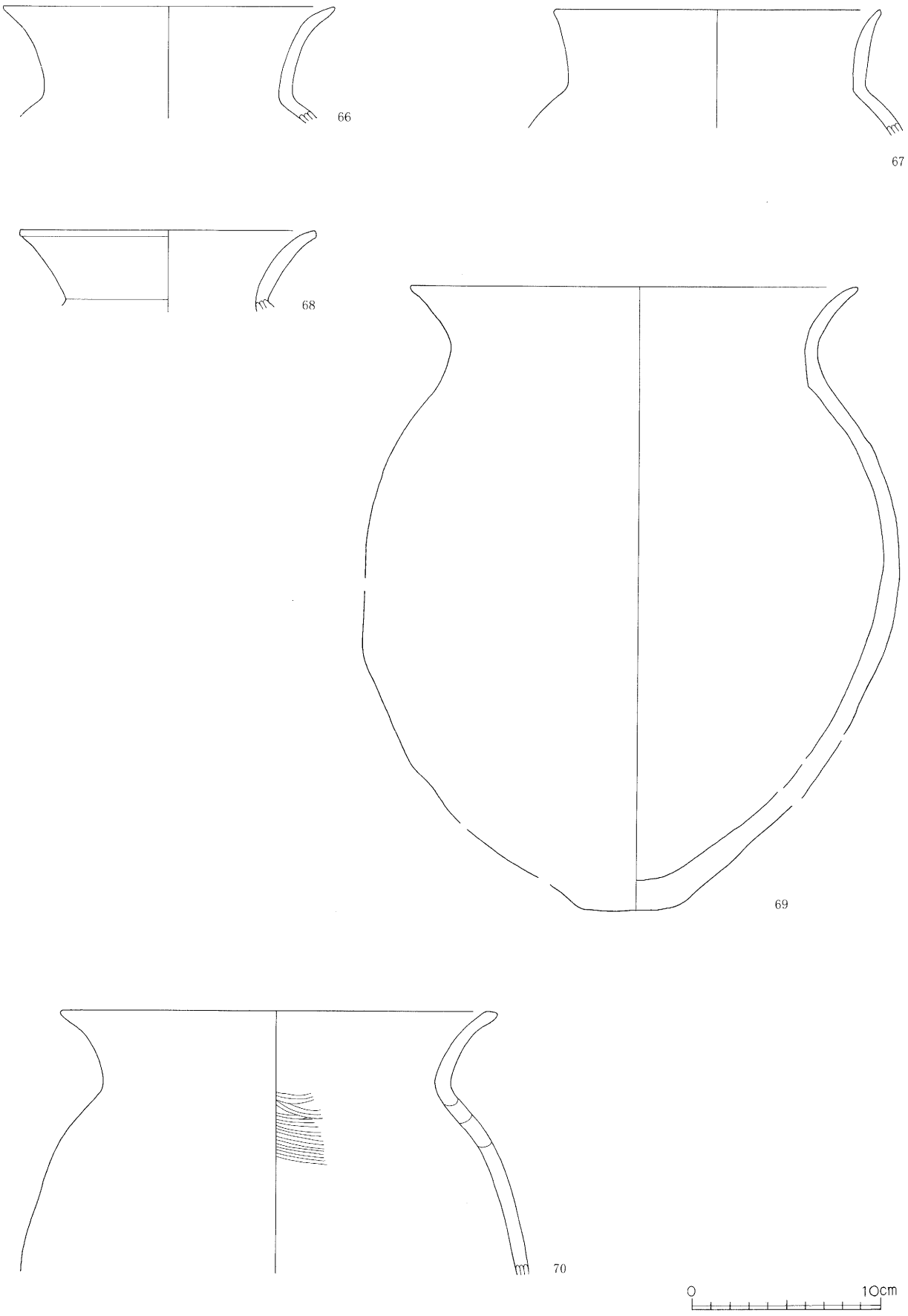




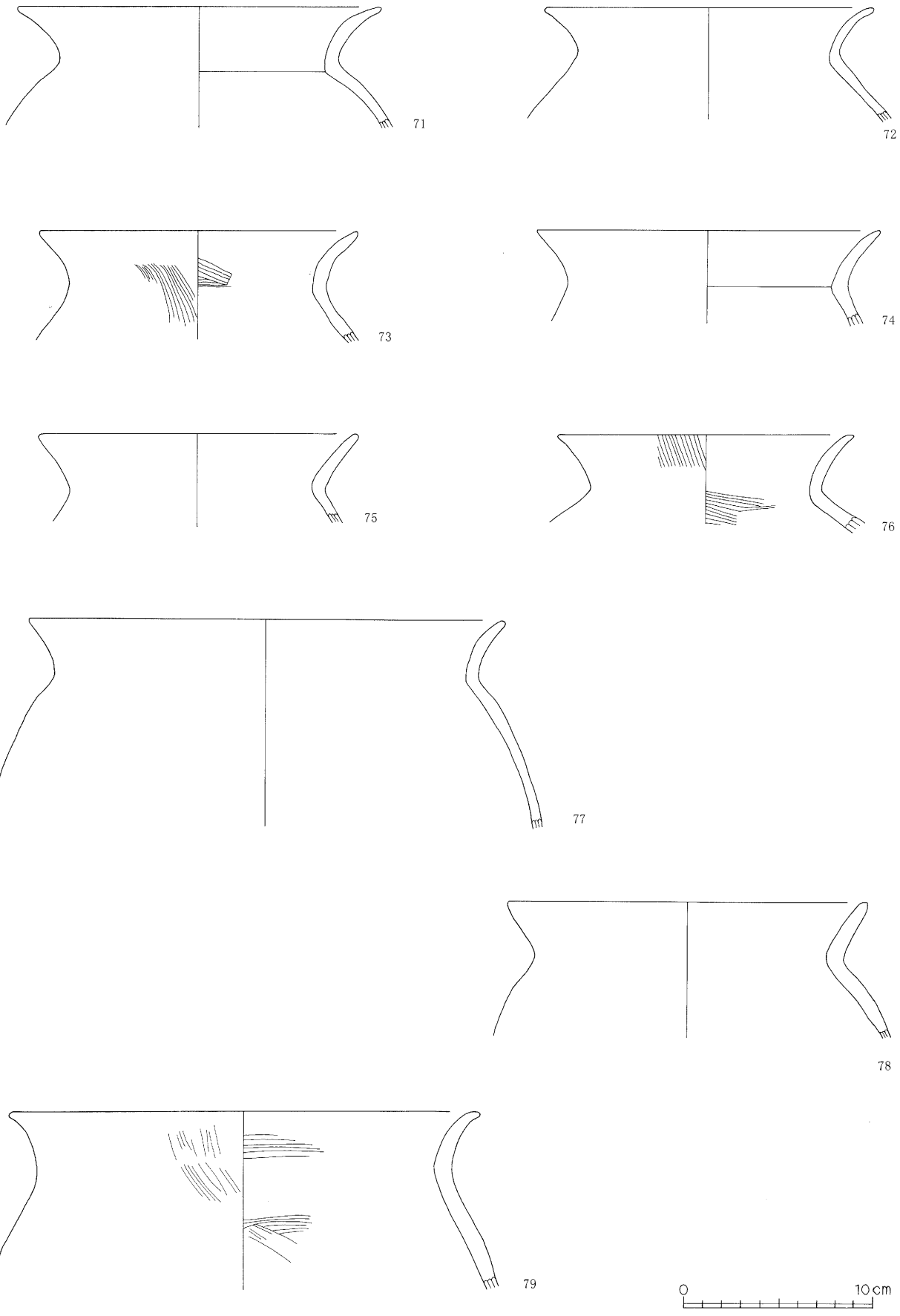




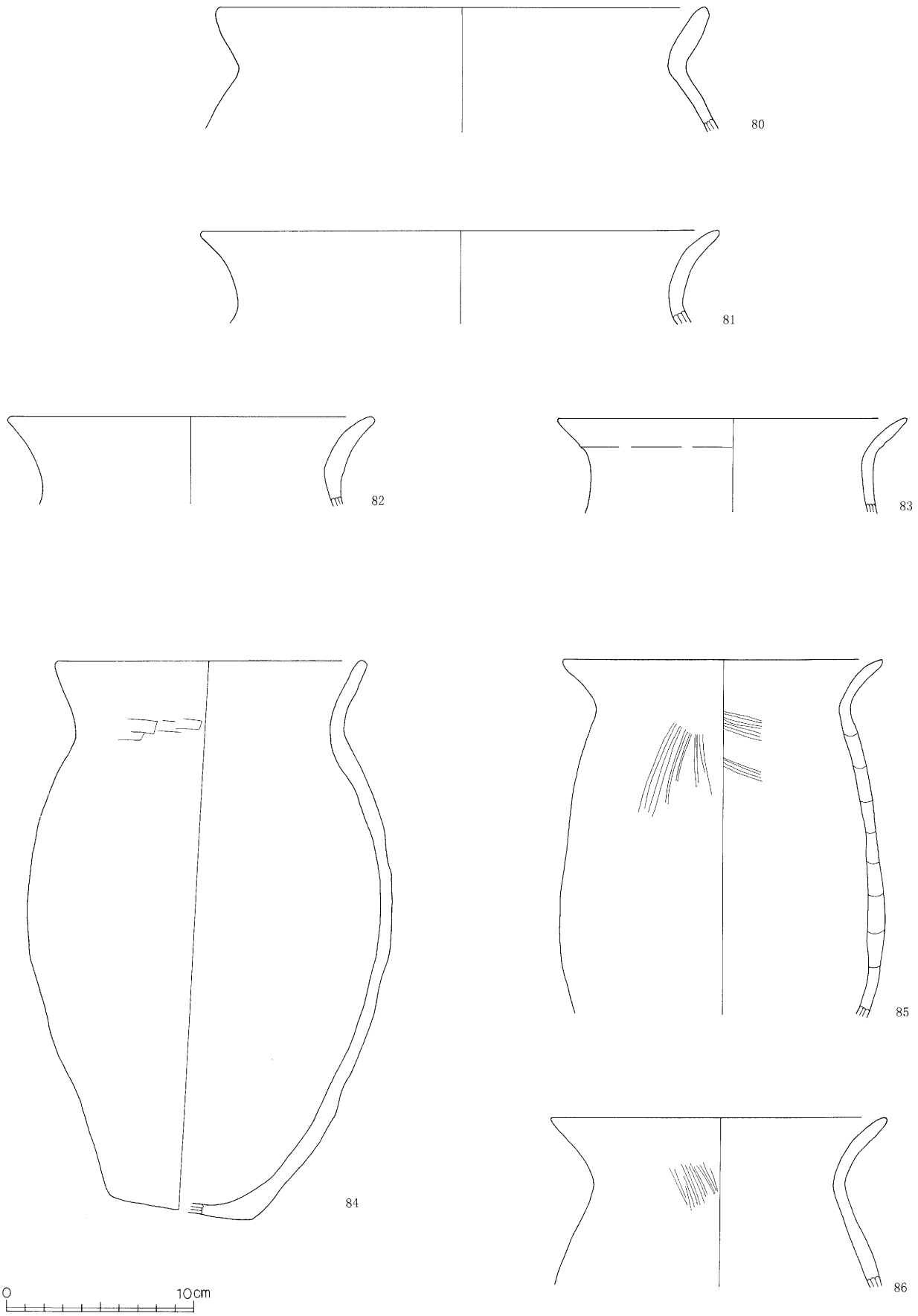
第107図　第５号溝跡出土遺物実測図（５）



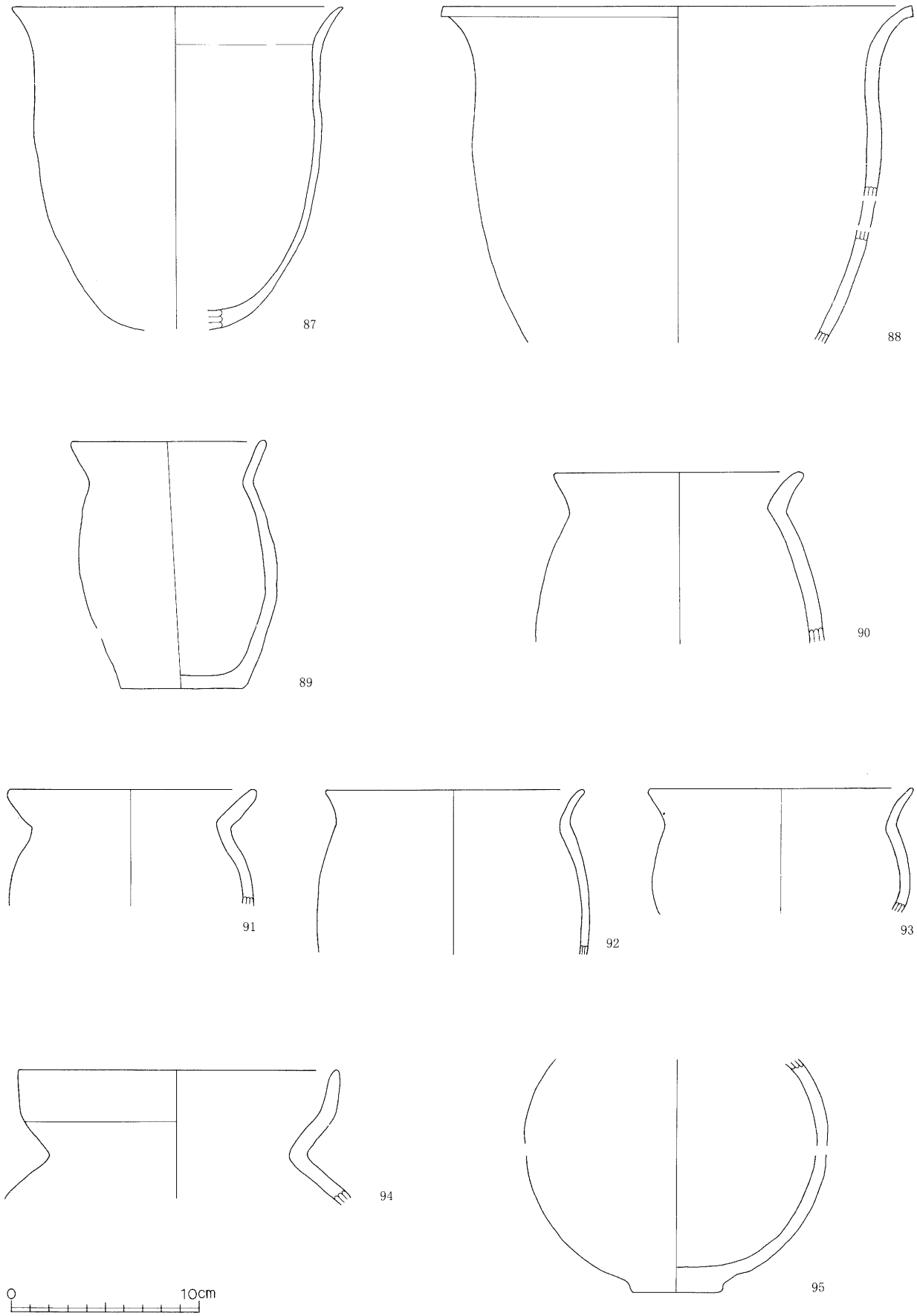
第108図　第５号溝跡出土遺物実測図（６）



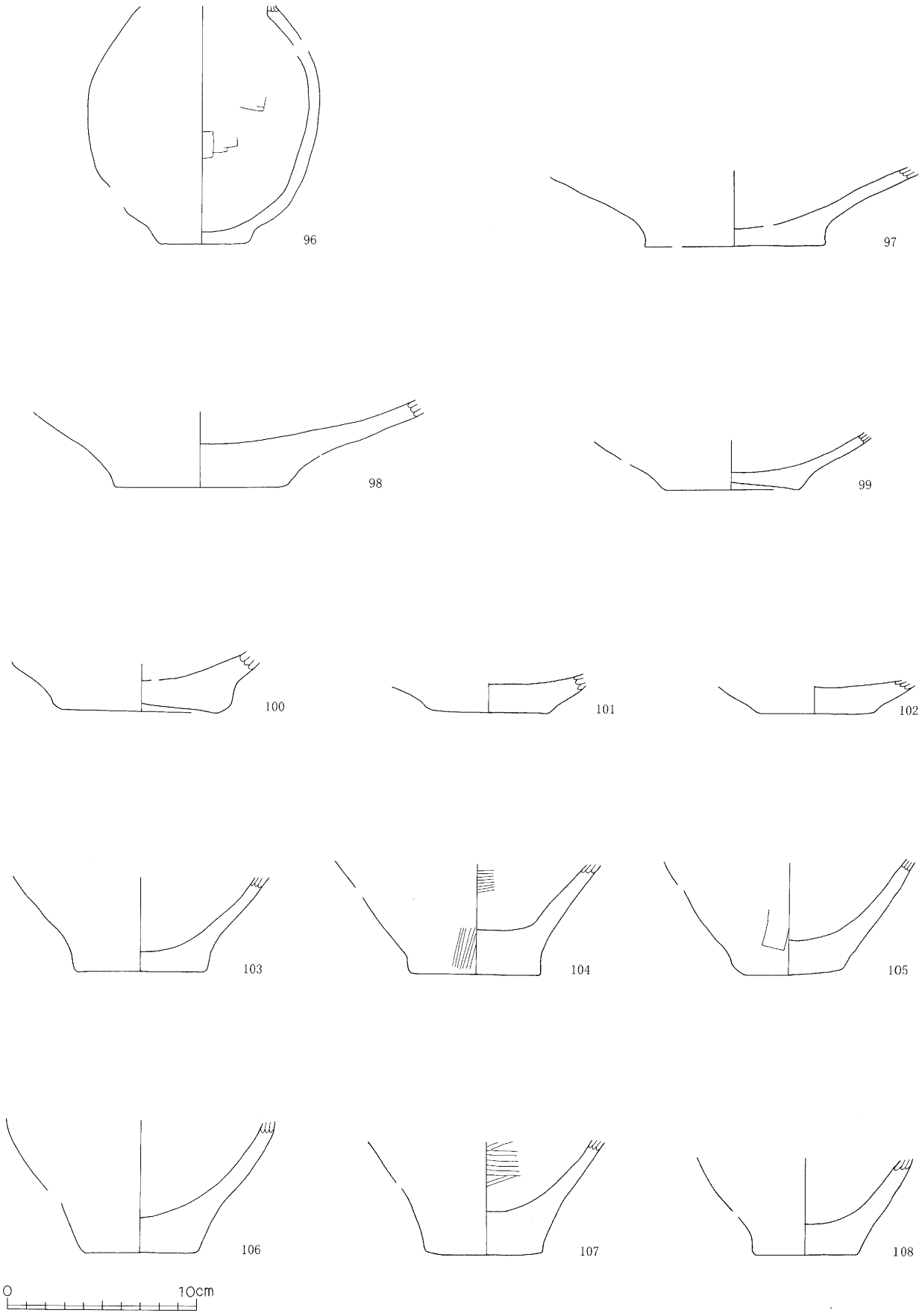
第109図 第５号溝跡出土遺物実測図(７)



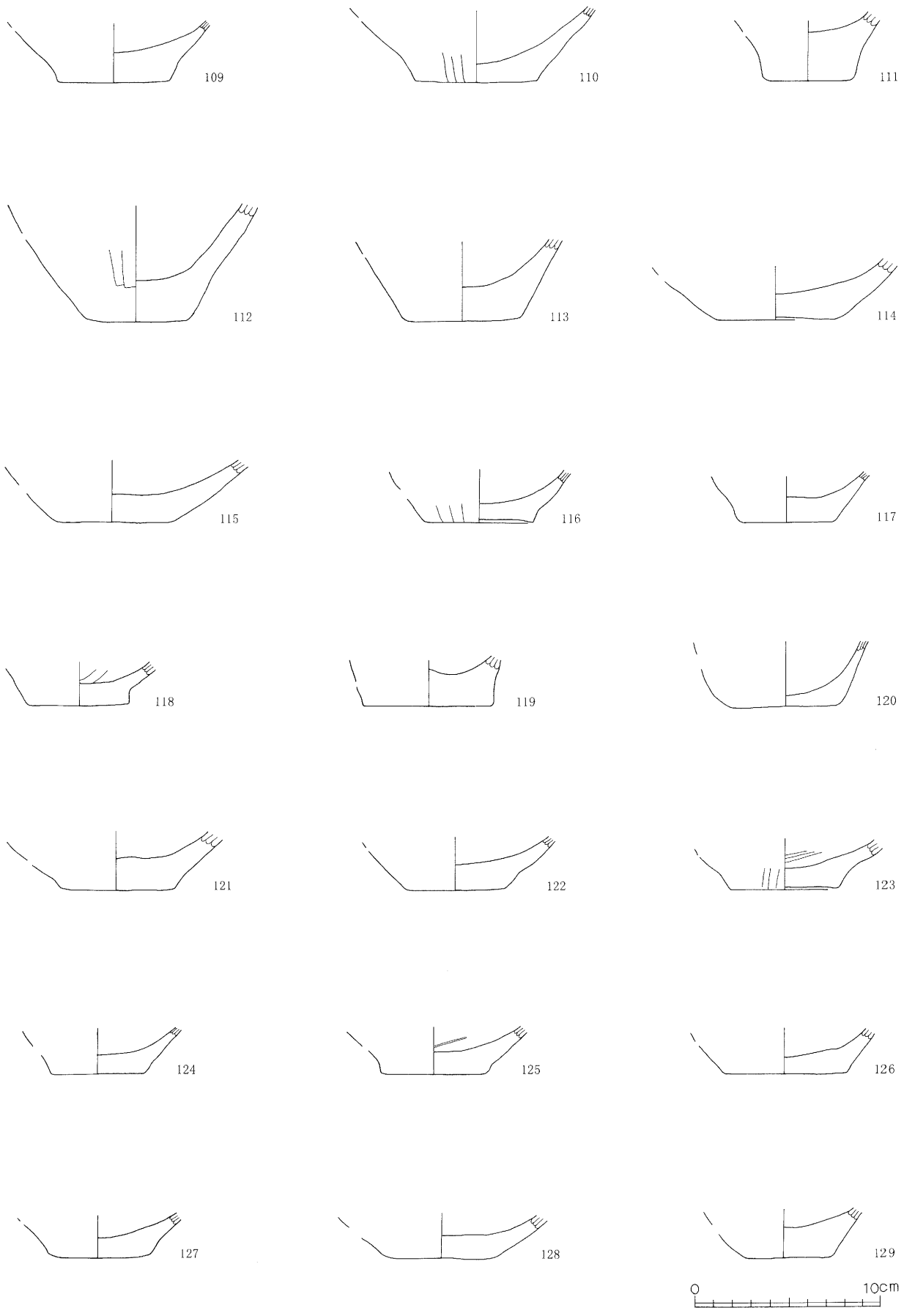
第110図 第５号溝跡出土遺物実測図（８）



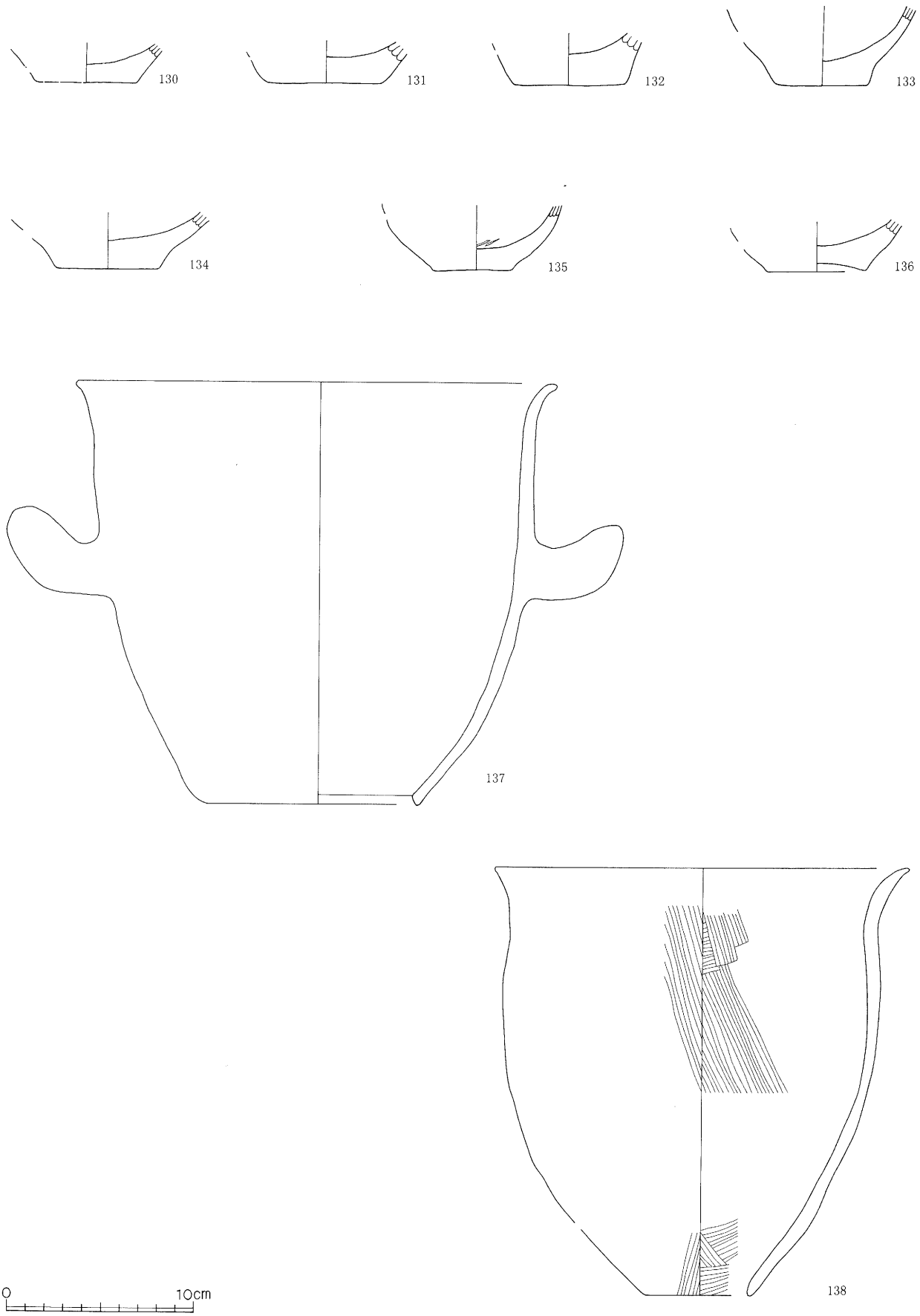
第111図 第５号溝跡出土遺物実測図（９）



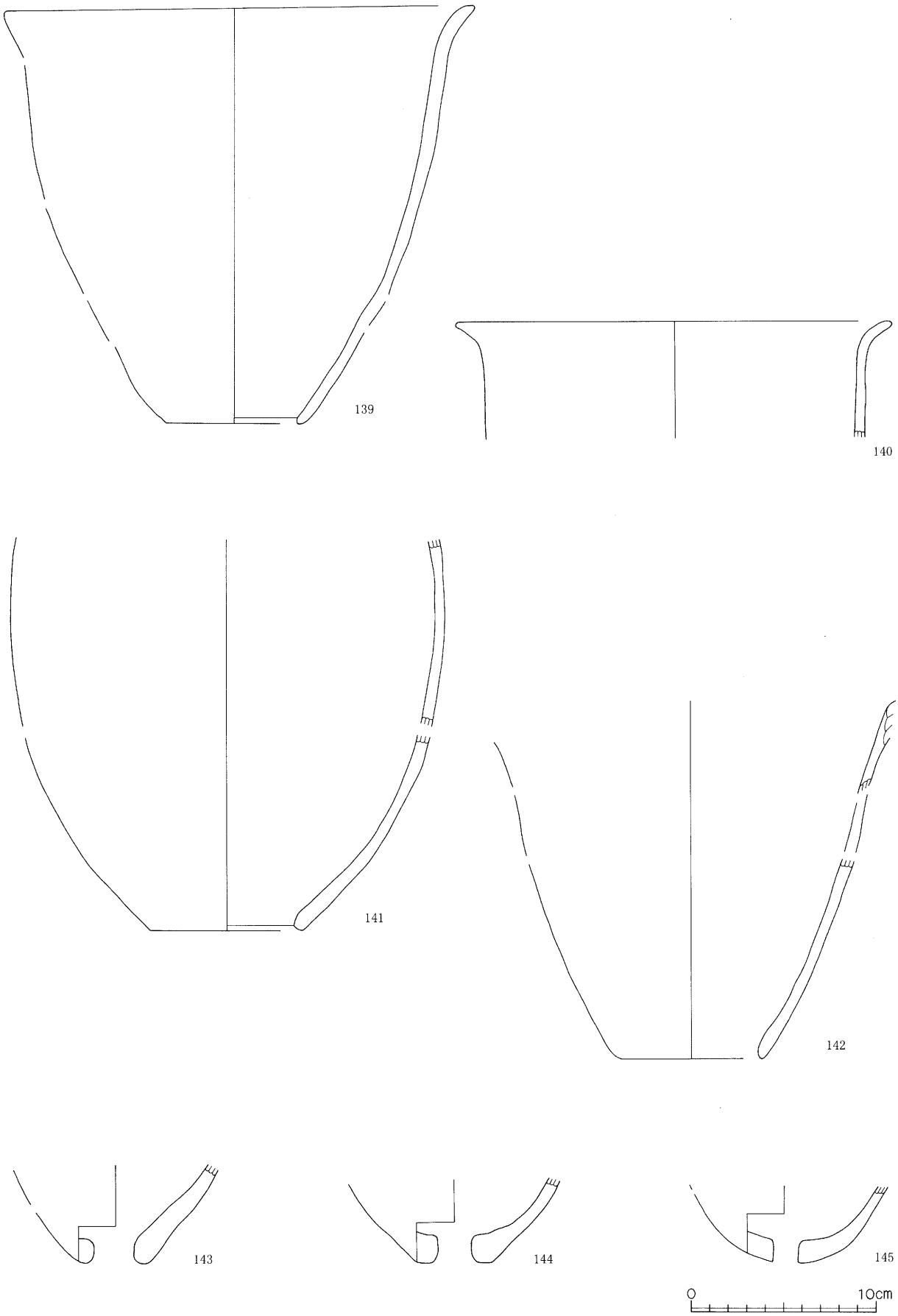
第112図 第５号溝跡出土遺物実測図(10)



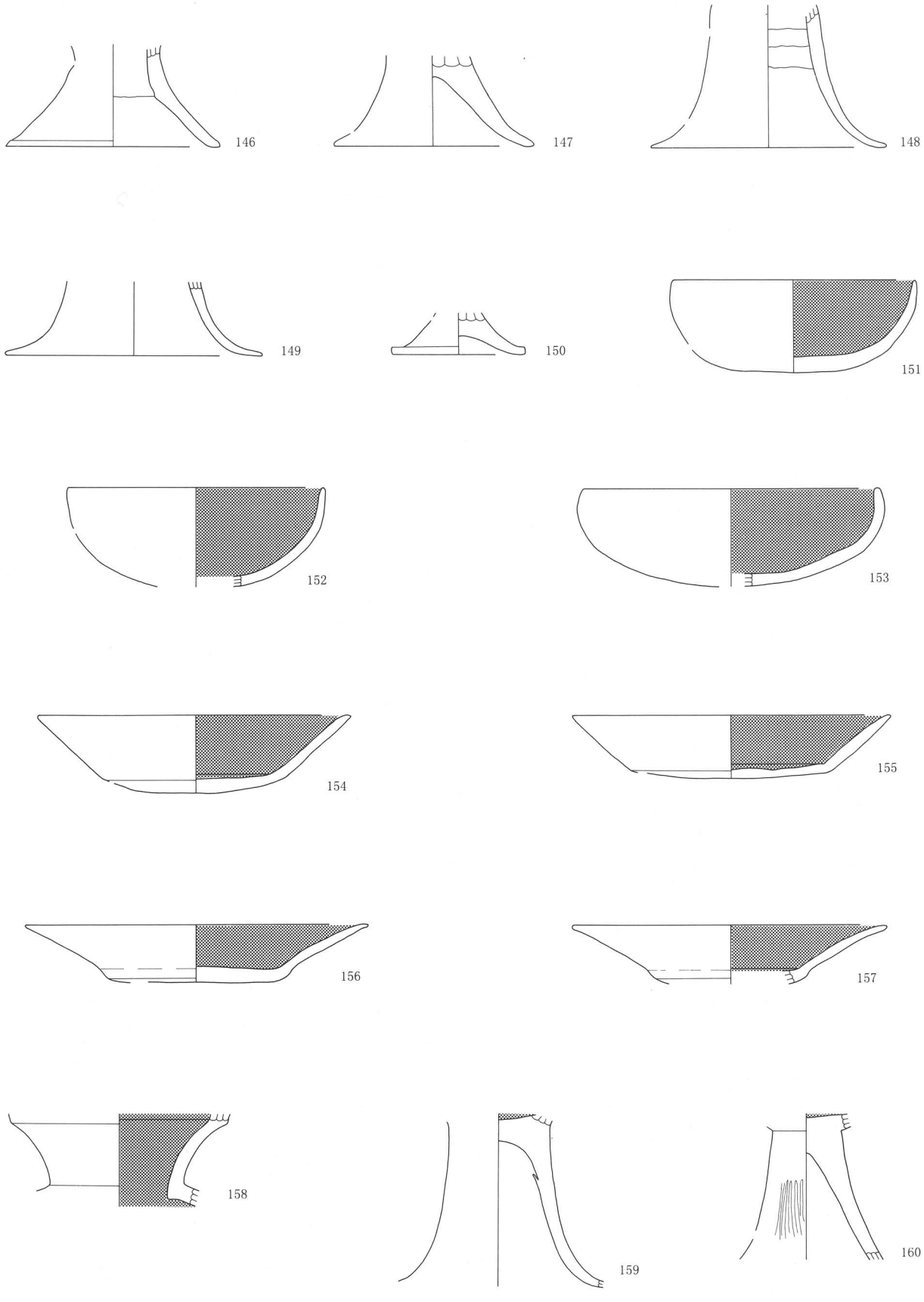
第113図 第５号溝跡出土遺物実測図(11)



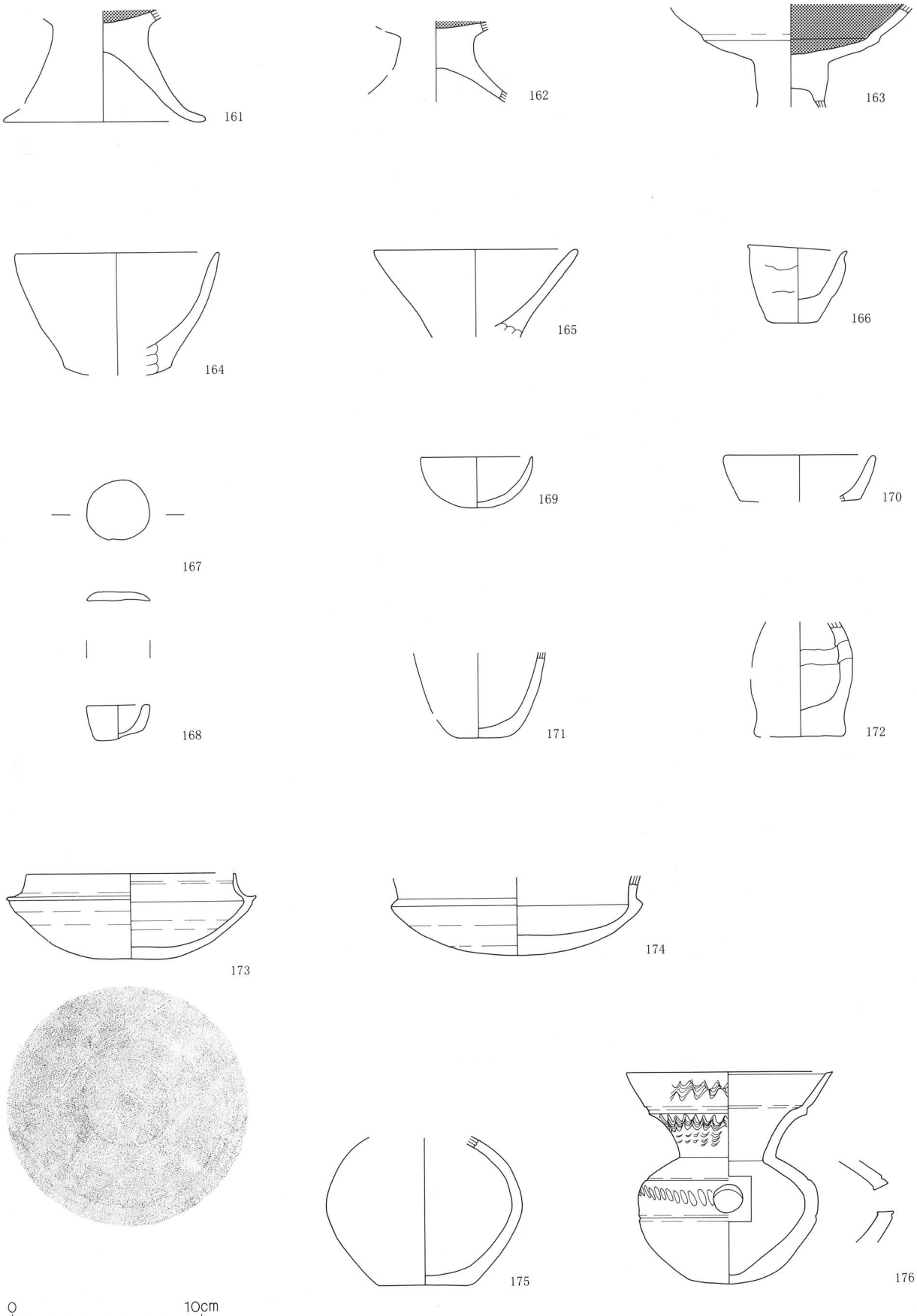
第114図 第５号溝跡出土遺物実測図(12)



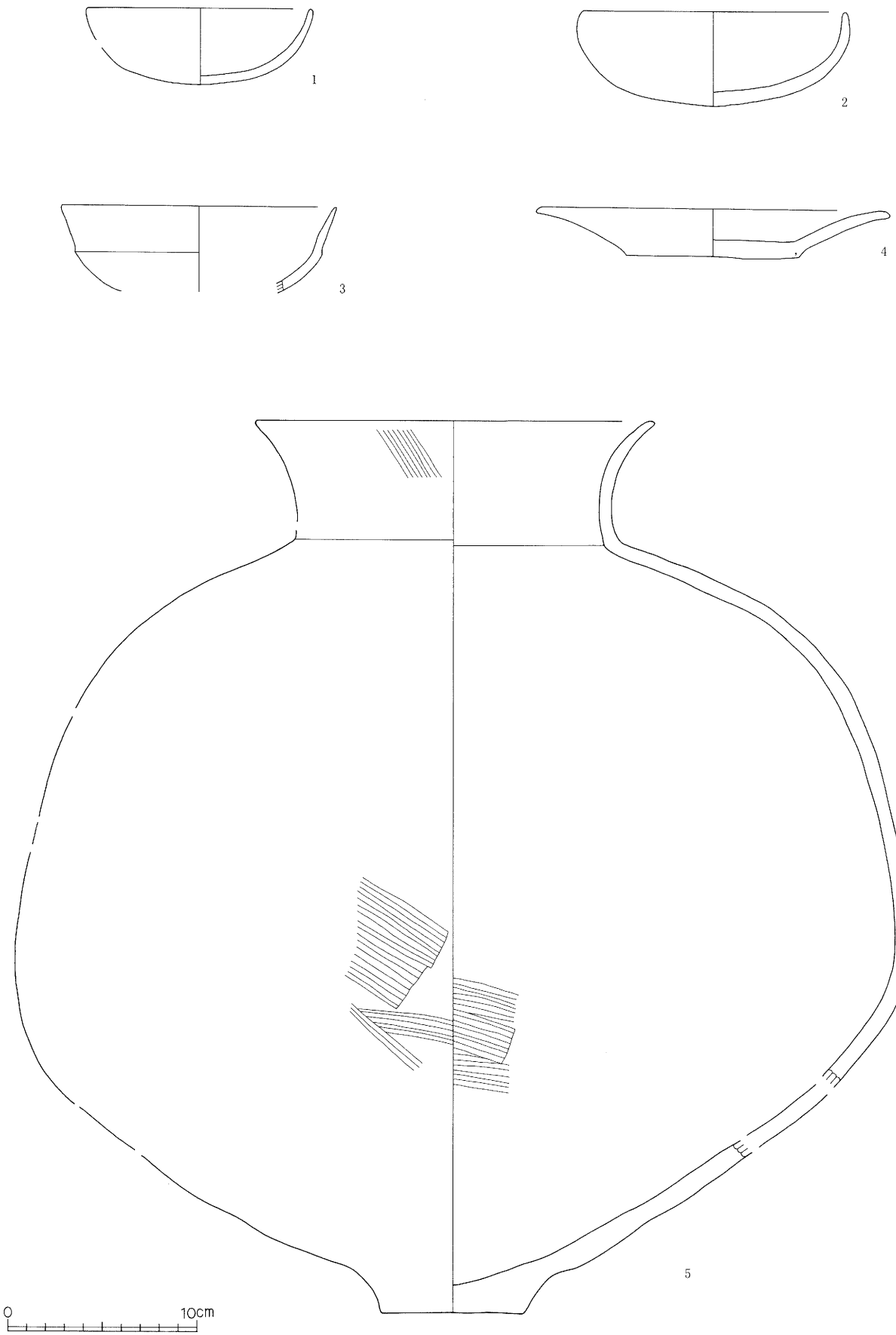
第115図 第５号溝跡出土遺物実測図(13)



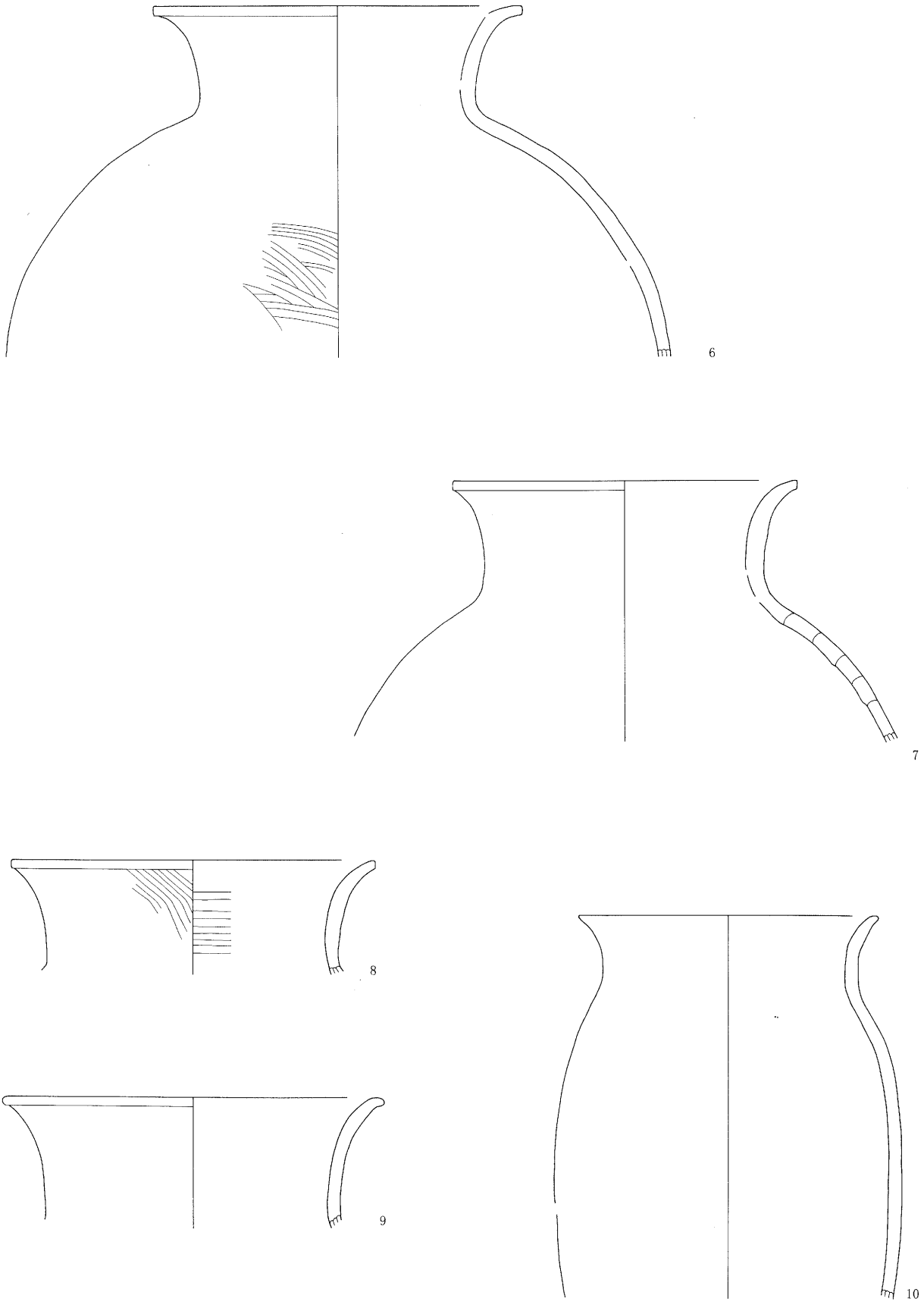
第116図 第５号溝跡出土遺物実測図(14)



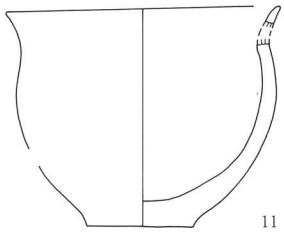
第117図 第５号溝跡出土遺物実測図(15)

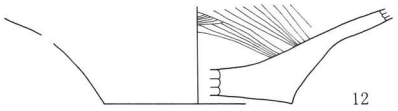


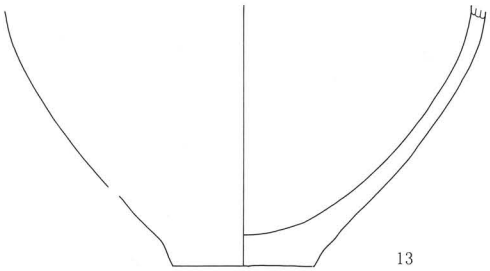
第118図 第６号溝跡出土遺物実測図（１）

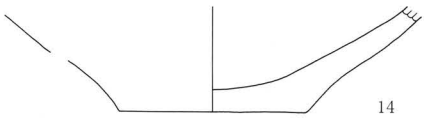


第119図 第６号溝跡出土遺物実測図（２）

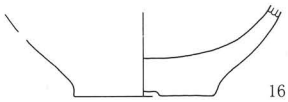

11

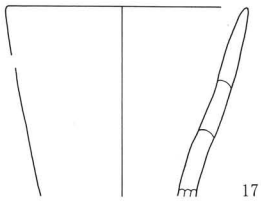

12

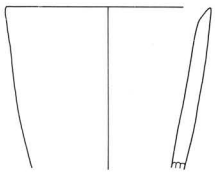

13


14

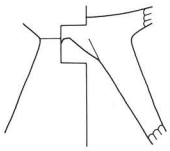
15

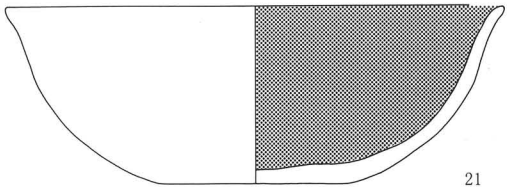

16

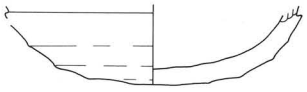

17


18

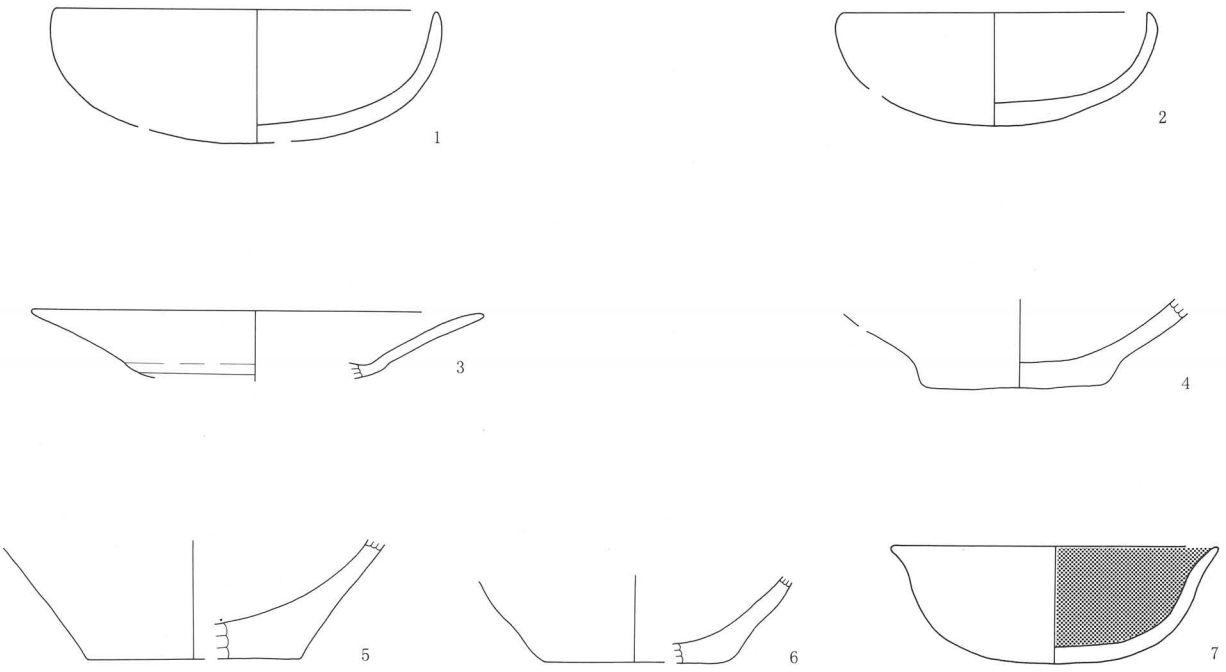
19


20

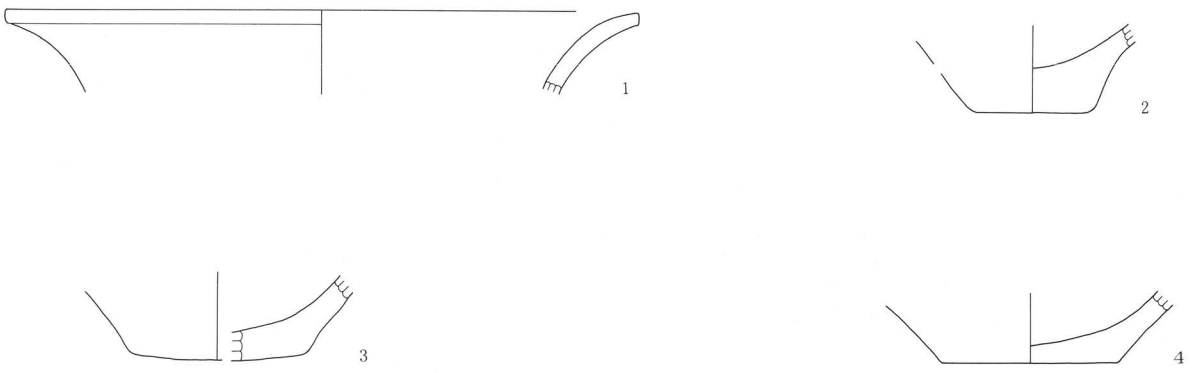

21


22

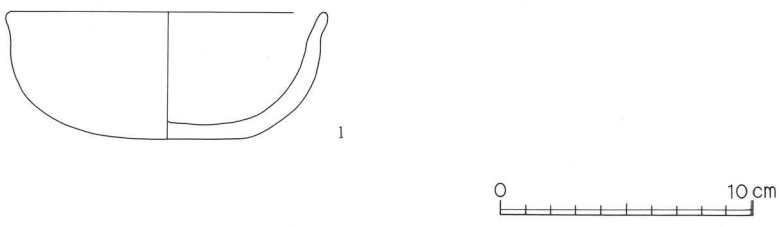
第120図 第６号溝跡出土遺物実測図（３）



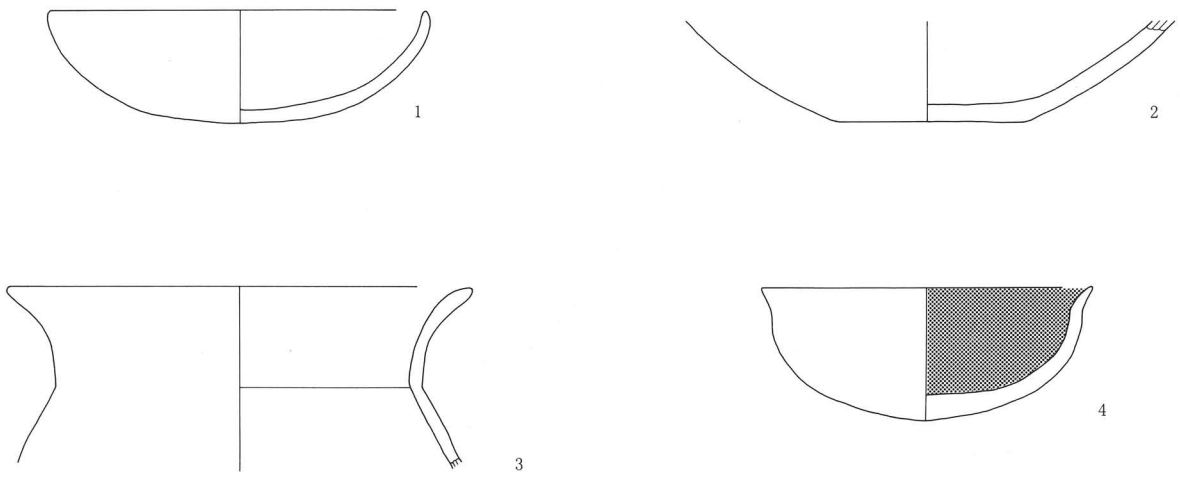
第121図　第７号溝跡出土遺物実測図



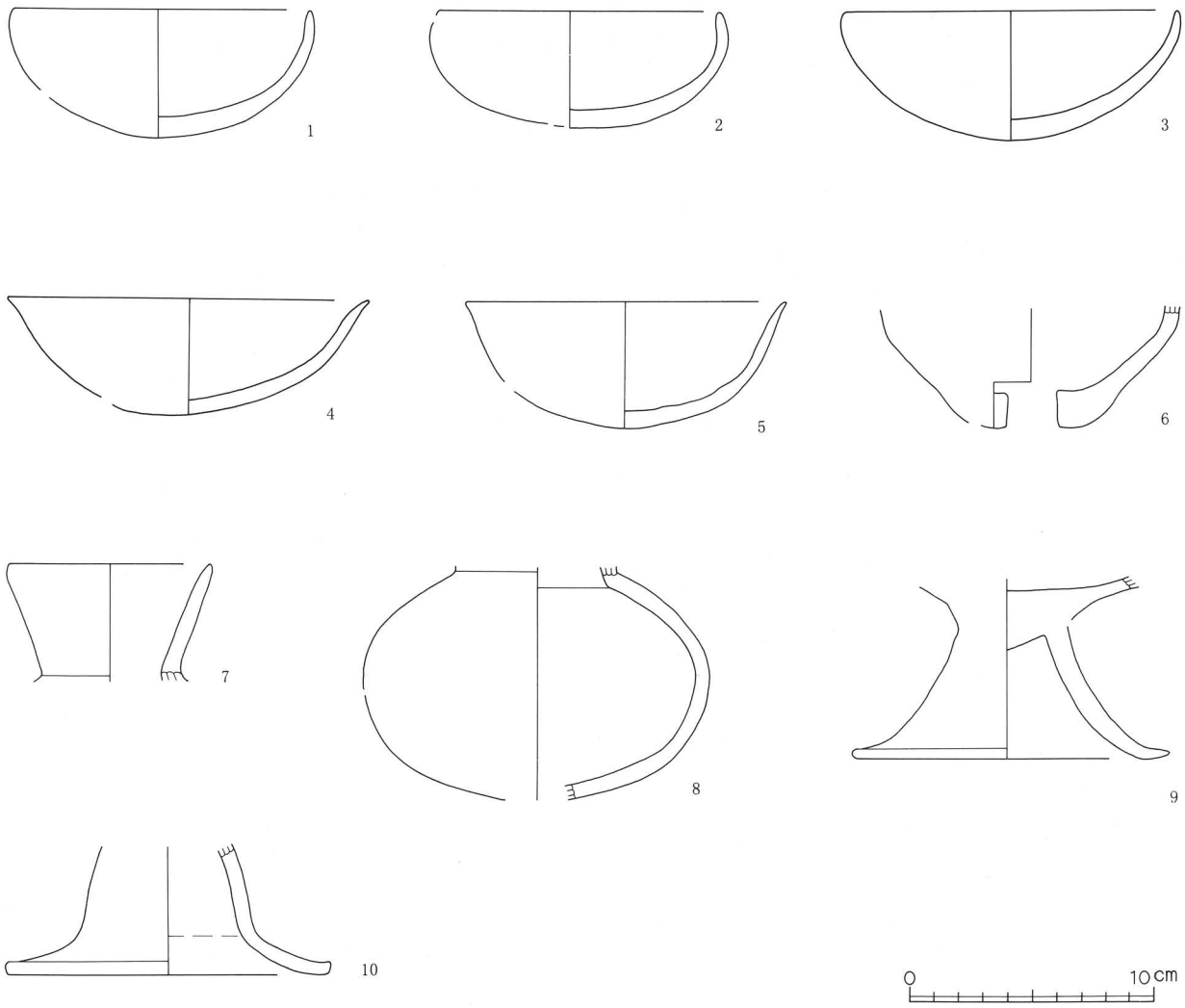
第122図　第８号溝跡出土遺物実測図



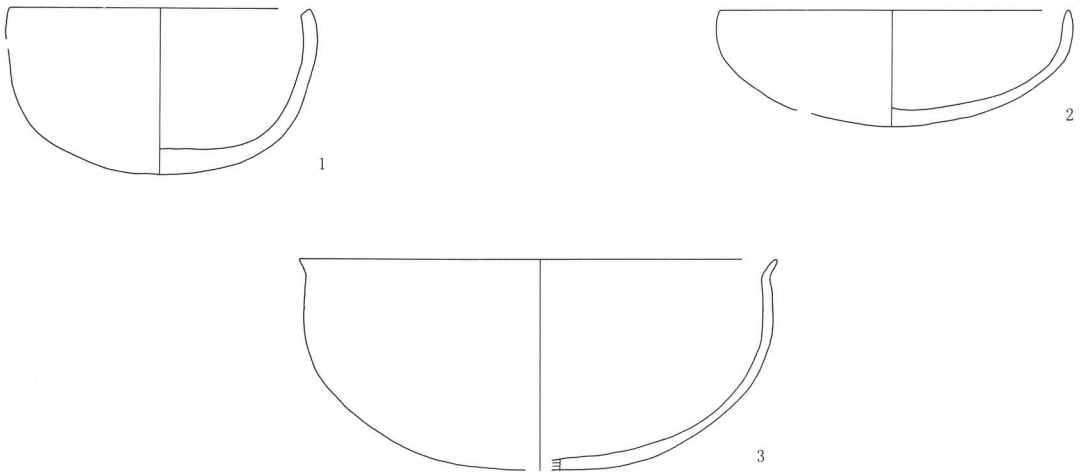
第123図　第７号土壙出土遺物実測図



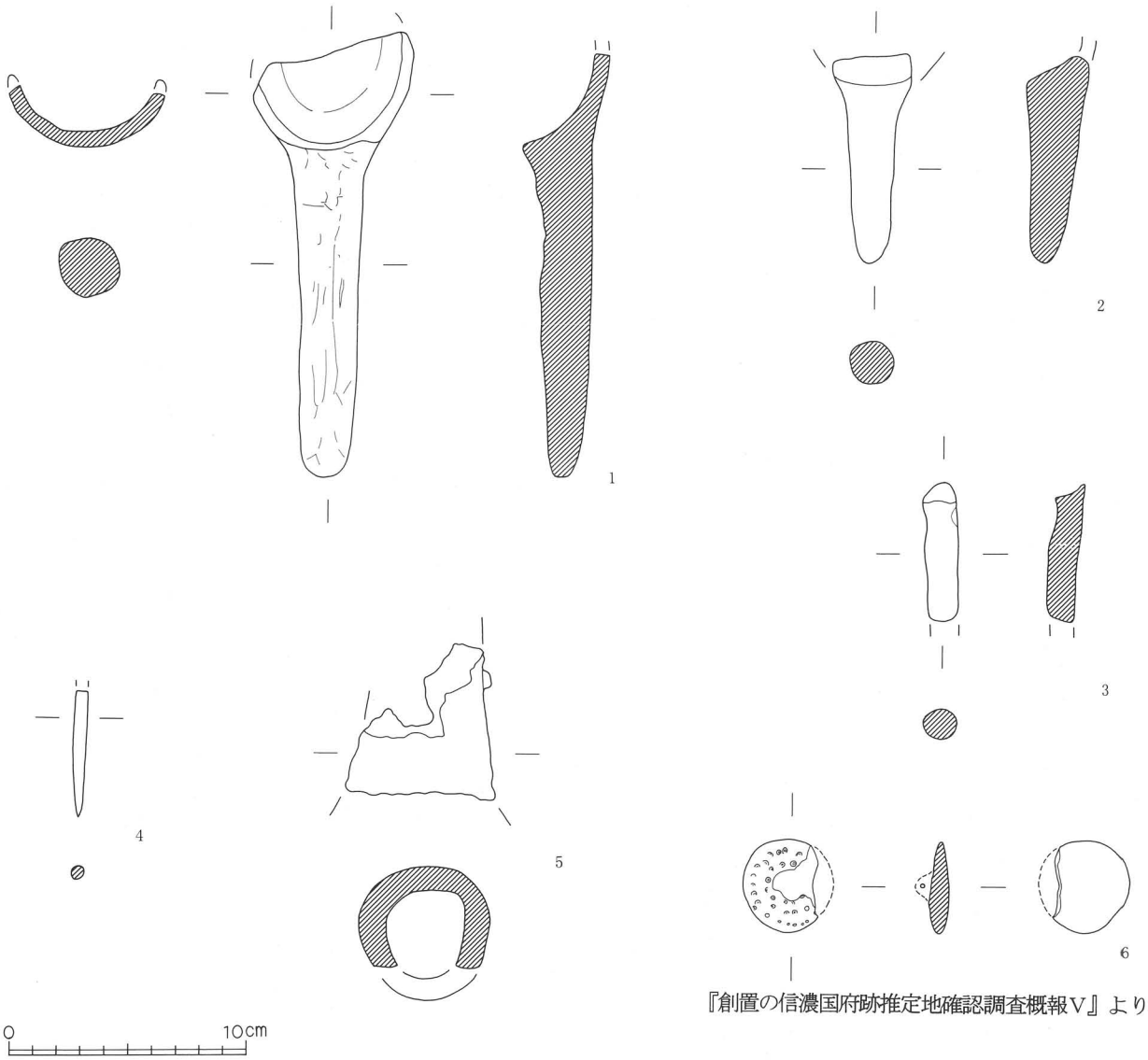
第124図　ピット出土遺物実測図



第125図　A区遺構外出土遺物実測図

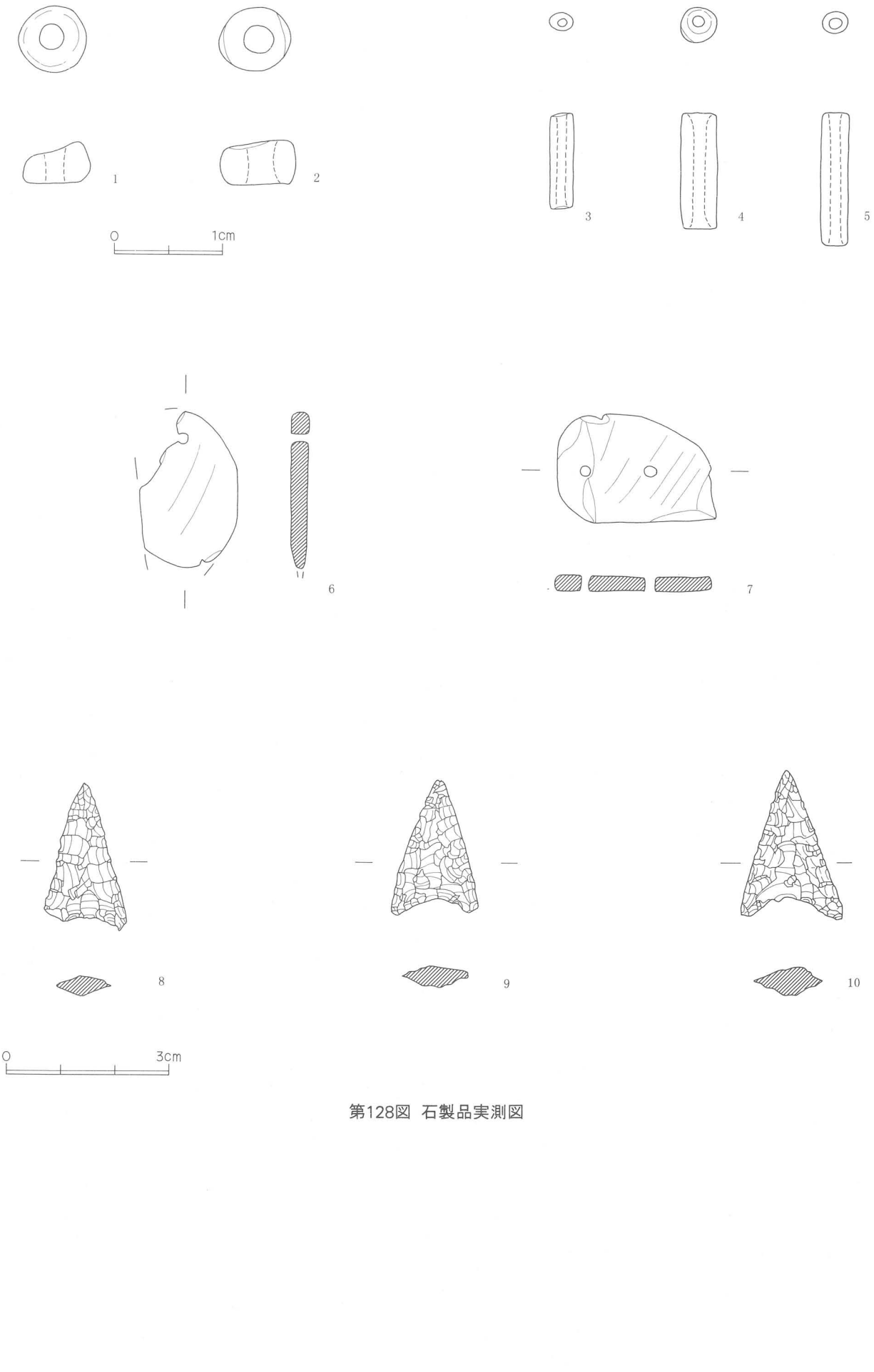


第126図　B区遺構外出土遺物実測図



『創置の信濃国府跡推定地確認調査概報Ⅴ』より

第127図　土製品実測図



第128図 石製品実測図

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
10号建物跡	甕	—	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		3.5	焼;良好		
第79図−1	土師	5.8	色;(外)2.5YR4/8 赤褐		(内)撫で
		底部1/4	(内)2.5YR5/8 明赤褐		
12号建物跡	甕	—	胎;雲母・礫・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		2.0	焼;良好		
第79図−2	土師	4.0	色;(外)5YR4/8 赤褐		(内)撫で
		底部一部	(内)2.5YR2/1 黒		
20号建物跡	甕	—	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		2.0	焼;良好		
第79図−3	土師	3.2	色;(外)2.5YR4/6 赤褐		(内)撫で
		底部のみ	(内)7.5YR7/4 にぶい橙		
22号建物跡	坏	16.5	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	口縁部外反する	(外)箆磨き
		6.5	焼;良好		
第79図−4	土師	—	色;(外)10YR3/1 黒褐		(内)箆磨き
		口縁体部1/4	(内)7.5YR6/4 にぶい橙		
22号建物跡	甕	18.4	胎;粗砂粒含む	口縁部外反する	(外)轆轤による撫で 突帯と波状文を有する
		3.5	焼;良好		
第79図−5	須恵	—	色;(外)N5/灰		(内)轆轤による撫で
		口縁部一部	(内)N6/灰		
34号建物跡	鉢	10.1	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	平底より立ち上がり、胴部上位で最大径を測り、口縁部外反する	(外)撫で
		7.0	焼;良好		
第79図−6	土師	5.5	色;(外)2.5YR5/6 明赤褐〜N2/黒		(内)撫で
		完存	(内)2.5YR5/6 明赤褐		
34号建物跡	坩	8.6	胎; 石英・雲母・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、体部偏平な球状を呈し、口縁部直線的に開く	(外)撫で
		18.2	焼;良好		
第79図−7	土師	—	色;(外)7.5YR7/8 黄橙		(内)撫で
		ほぼ完存	(内)5Y3/1 オリーブ黒〜5YR7/6 橙		
1号住居跡	甕	16.0	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	口縁部外反する。 口唇部面取りを施す	(外)波状文・簾状文を施す
		4.9	焼;良好		
第80図−1	弥生	—	色;(外)5YR5/6 明赤褐		(内)
		口縁部一部	(内)5YR5/6 明赤褐		
1号住居跡	甕	—	胎;白色微砂粒含む	平底より内弯して立ち上がる	(外)
		9.0	焼;良好		
第80図−2	弥生	5.6	色;(外)5YR6/6 橙		(内)
		底完存胴部2/3	(内)5YR7/4 にぶい橙		
1号住居跡	甕	14.6	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	口縁部「く」状を呈する	(外)刷毛調整
		5.1	焼;良好		
第81図−3	土師	—	色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙		(内)撫で
		口縁部一部	(内)5YR6/6 橙		
1号住居跡	台付 甕	—	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	台部	(外)刷毛調整
		4.5	焼;良好		
第81図−4	土師	14.6	色;(外)7.5YR7/3 にぶい橙		(内)
		台部一部	(内)7.5YR7/4 にぶい橙		
1号住居跡	甑	—	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	底部に1孔を有する	(外)撫で
		3.8	焼;良好		
第81図−5	土師	5.7	色;(外)5YR5/6 明赤褐〜3/1 黒褐		(内)撫で
		底部のみ	(内)5YR4/4 にぶい赤褐		
1号住居跡	高坏	18.0	胎;白色微砂粒含む	坏部外傾して開き、口縁部僅かに内弯する	(外)箆磨き
		6.8	焼;良好		
第81図−6	弥生	—	色;(外)10R3/6 暗赤		(内)箆磨き 外内面赤色塗彩
		坏部2/3	(内)10R3/6 暗赤		
1号住居跡	高坏	—	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	接合部	(外)撫で
		3.3	焼;良好		
第81図−7	土師	—	色;(外)7.5YR3/1 黒褐〜4/3 暗褐		(内)撫で
		接合部のみ	(内)5YR4/4 にぶい赤褐〜3/1 黒褐		
1号住居跡	ミニチュア	8.3	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	平底より外傾して立ち上がり、口縁部「く」状を呈する。	(外)撫で
		7.2	焼;良好		
第81図−8	土師	3.4	色;(外)10R5/8 赤〜5YR4/4 にぶい赤褐		(内)撫で 内面に炭化物？付着
		完存	(内)10R5/8 赤〜5YR4/4 にぶい赤褐		

第29表　遺物観察表(1)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
1号住居跡	ミニチュア	—	胎;白色砂粒含む	平底	(外)撫で
		1.8	焼;良好		
第81図−9	土師	3.6	色;(外)2.5YR5/6 明赤褐〜5YR7/4 にぶい橙		(内)撫で
		底部2/3	(内)2.5YR5/6 明赤褐〜5YR7/4 にぶい橙		
1号住居跡	甕	11.3	胎;雲母・細砂粒含む	平底から内弯して立ち上がり、胴部下位で張りを持ち、口縁部「く」状を呈する。粘土帯積み上げ	(外)撫で
		10.5	焼;良好		
第81図−10	土師	8.4	色;(外)2.5Y8/2 灰白		(内)撫で
		1/3	(内)2.5Y8/2 灰白		
1号住居跡	坏	19.4	胎;粗砂粒含む	口縁部僅かに外反する	(外)撫で
		5.1	焼;良好		
第81図−11	土師	—	色;(外)7.5YR7/6 橙		(内)撫で
		1/5	(内)7.5YR7/3 にぶい橙		
1号住居跡	坏	15.0	胎;雲母・粗砂粒含む	口縁部僅かに外反する	(外)撫で
		4.3	焼;良好		
第81図−12	土師	—	色;(外)2.5YR6/6 橙		(内)撫で
		口縁部1/6	(内)2.5Y5/1 黄灰		
1号住居跡	坏	11.2	胎;雲母・粗砂粒含む	口縁部内弯する	(外)撫で
		4.2	焼;良好		
第81図−13	土師	—	色;(外)5Y6/1 灰		(内)篦磨き後撫で
		口縁部1/2	(内)2.5Y3/1 黒褐		
1号住居跡	高坏	15.4	胎;雲母・粗砂粒含む	坏部下位で稜を持ち、開く	(外)撫で
		5.3	焼;良好		
第81図−14	土師	—	色;(外)10YR8/3 浅黄燈		(内)撫で
		坏部1/2	(内)10YR8/2 灰白		
1号住居跡	高坏	—	胎;雲母・粗砂粒含む	脚部に三角形状の透かし穴を4孔？持つ	(外)撫で
		4.6	焼;良好		
第81図−15	土師	10.2	色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙		(内)撫で
		脚部1/5	(内)7.5YR7/6 橙〜N3/暗灰		
1号住居跡	高坏	—	胎;粗砂粒含む	脚部下位で屈曲し、直線的に開く	(外)撫で
		5.3	焼;良好		
第81図−16	土師	—	色;(外)2.5Y7/3 浅黄		(内)撫で
		脚部1/2	(内)2.5Y7/3 浅黄		
1号溝跡	坏	13.2	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに外反する	(外)撫で
		4.6	焼;良好		
第82図−1	土師	—	色;(外)2.5Y8/2 灰白		(内)撫で
		1/4	(内)2.5Y7/3 浅黄		
2号溝跡	坏	11.4	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口縁部開く	(外)撫で
		4.5	焼;良好		
第83図−1	土師	—	色;(外)10YR5/2 灰黄褐		(内)底部指での押さえ後撫で
		1/3	(内)2.5Y3/1 黒褐〜N3/暗灰		
2号溝跡	坏	12.5	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口縁部開く	(外)撫で
		4.7	焼;良好		
第83図−2	土師	—	色;(外)5YR4/4 にぶい赤褐〜N3/暗灰		(内)底部篦で押え後撫で
		ほぼ完存	(内)5YR4/4 にぶい赤褐〜N3/暗灰		
2号溝跡	坏	11.3	胎;石英・礫・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに外反する	(外)撫で
		5.5	焼;良好		
第83図−3	土師	—	色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙〜N2/黒		(内)篦磨き後撫で
		ほぼ完存	(内)10YR7/3 にぶい黄橙〜N2/黒		
2号溝跡	坏	11.7	胎;雲母・粗砂粒含む	体部内弯し、口縁部開く	(外)撫で
		3.9	焼;良好		
第83図−4	土師	—	色;(外)5YR6/8 橙		(内)撫で
		1/5	(内)5YR7/8 橙		
2号溝跡	坏	14.2	胎;粗砂粒含む	体部内弯し、口縁部開く	(外)撫で
		3.8	焼;良好		
第83図−5	土師	—	色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙〜N2/黒		(内)篦磨き後撫で
		口縁部1/3	(内)10YR7/3 にぶい黄橙		
2号溝跡	坏	14.8	胎;石英・粗砂粒含む	浅い丸底より立ち上がり、口縁部開く	(外)撫で
		3.3	焼;良好		
第83図−6	土師	—	色;(外)7.5YR8/4 浅黄橙		(内)撫で
		1/3	(内)7.5YR7/6 橙		

第30表　遺物観察表(2)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
2号溝跡 第83図−7	坏 土師	17.9 7.0 — 1/3	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙〜N3/暗灰 (内)10YR7/3 にぶい黄橙	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第83図−8	坏 土師	10.0 5.2 — 完存	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/6 橙〜N3/暗灰 (内)5YR6/6 橙〜4/2 灰褐	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第83図−9	坏 土師	10.5 4.9 — ほぼ完存	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/4 にぶい橙〜3/1 黒褐 (内)5YR4/1 褐灰	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第83図−10	坏 土師	14.0 5.0 — 1/3	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/3 にぶい橙〜3/1 黒褐 (内)7.5YR7/3 にぶい橙〜3/1 黒褐	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第83図−11	坏 土師	12.5 5.5 — 完存	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/6 橙〜7/4 にぶい橙 (内)5YR5/6 明赤褐	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第83図−12	坏 土師	12.8 5.6 — 口縁1/4 体部1/2	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙〜黒 (内)10YR7/4 にぶい黄橙	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第83図−13	坏 土師	12.3 2.6 — 2/3	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y7/3 浅黄 (内)2.5Y7/2 灰黄	浅い丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で (内)箆磨き後撫で
2号溝跡 第83図−14	坏 土師	14.0 3.8 — 口縁部1/3	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR6/4 にぶい黄橙〜4/1 褐灰 (内)10YR6/4 にぶい黄橙〜4/1 褐灰	口縁部内弯する	(外)撫で (内)箆磨き後撫で
2号溝跡 第83図−15	坏 土師	13.4 4.7 — 1/5	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙〜4/1 黒灰 (内)10YR4/1 黒灰	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で (内)箆磨き後撫で
2号溝跡 第84図−16	坏 土師	11.7 5.9 — 1/4	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/6 橙〜7.5YR8/3 浅黄橙 (内)7.5YR7/4 にぶい橙	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第84図−17	坏 土師	12.8 4.2 — 1/4	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR6/6 橙〜10YR7/3 にぶい黄橙 (内)2.5YR6/6 橙〜10YR7/3 にぶい黄橙	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第84図−18	坏 土師	12.1 4.8 — 口縁部1/4	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR4/6 赤褐 (内)2.5YR4/6 赤褐	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で (内)箆磨き後撫で
2号溝跡 第84図−19	坏 土師	16.2 3.9 — 口縁部1/5	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR6/4 にぶい黄橙 (内)2.5Y6/2 灰黄	口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第84図−20	坏 土師	18.0 4.1 — 口縁部一部	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙 (内)10YR7/2 にぶい黄橙	口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第84図−21	坏 土師	12.1 5.7 — 口縁部1/5	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR6/8 橙〜2.5YR4/1 赤灰 (内)5YR3/1 黒褐〜10YR7/1 灰白	口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で

第31表　遺物観察表(3)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
2号溝跡 第84図－22	坏 土師	14.4 4.6 － 2/3	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR8/4 浅黄橙 (内)10YR8/4 浅黄橙	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第84図－23	坏 土師	13.3 4.0 － 1/6	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/4 浅黄橙 (内)7.5YR8/6 浅黄橙	口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第84図－24	坏 土師	11.6 3.8 － 口縁部2/3	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10R6/8 赤橙 (内)10R5/8 赤	口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第84図－25	坏 土師	13.6 3.8 － 口縁部1/4	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/1 明褐灰 (内)7.5YR7/2 明褐灰	口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第84図－26	坏 土師	13.6 3.9 － 1/3	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/3 にぶい橙～N3/暗灰 (内)7.5YR7/4 にぶい橙	浅い丸底より立ち上がり、口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第84図－27	坏 土師	12.4 4.9 － 口縁部1/4	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR5/6 明赤褐～N2/黒 (内)2.5YR4/6 赤褐	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第84図－28	坏 土師	16.0 6.0 － 1/3	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/6 橙～N3/暗灰 (内)7.5YR6/6 橙	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)箆磨き後撫で
2号溝跡 第84図－29	坏 土師	12.2 4.7 － 口縁部1/5	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/3 浅黄橙 (内)7.5YR8/3 浅黄橙	口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第84図－30	坏 土師	12.7 5.2 － 1/3	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/3 にぶい橙～6/6 橙 (内)5YR7/3 にぶい橙～6/6 橙	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第84図－31	坏 土師	16.0 5.0 － 口縁部1/5	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR5/3 にぶい褐 (内)7.5YR6/3 にぶい褐	口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)箆磨き後撫で
2号溝跡 第84図－32	坏 土師	13.4 4.1 － 1/2	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR5/3 にぶい黄褐 (内)10YR6/4 にぶい黄橙	丸底より立ち上がり、口縁部外傾する	(外)撫で (内)箆磨き後撫で
2号溝跡 第85図－33	坏 土師	14.8 5.0 － 口縁1/5 底部1/2	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR8/2 灰白 (内)10YR8/3 浅黄橙	丸底より立ち上がり、口縁部外傾する	(外)撫で (内)箆磨き後撫で
2号溝跡 第85図－34	坏 土師	12.3 4.1 － 1/4	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR5/8 明赤褐～6/6 橙 (内)2.5YR6/8 橙	丸底より立ち上がり、口縁部外傾する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第85図－35	坏 土師	14.3 5.7 － 2/3	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/4 にぶい黄橙 (内)10YR7/4 にぶい黄橙～N3/暗灰	丸底より立ち上がり、口縁部外傾する	(外)箆削り後撫で (内)撫で
2号溝跡 第85図－36	坏 土師	14.6 5.2 － 2/3	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR6/2 灰黄褐～5/1 褐灰 (内)10YR6/2 灰黄褐～4/1 褐灰	丸底より立ち上がり、口縁部外傾する	(外)撫で (内)撫で

第32表　遺物観察表(4)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
2号溝跡	坏	15.7	胎;雲母・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口縁部外傾する	(外)撫で
		3.8	焼;良好		
第85図－37	土師	—	色;(外)2.5Y7/2 灰黄		(内)撫で
		2/3	(内)2.5Y7/2 灰黄		
2号溝跡	坏	12.8	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	浅い丸底より立ち上がり、口縁部外傾する	(外)撫で
		2.9	焼;良好		
第85図－38	土師	—	色;(外)7.5YR3/1 黒褐		(内)箆磨き後撫で
		1/5	(内)7.5YR4/1 褐灰～7/2 明褐灰		
2号溝跡	坏	12.6	胎;礫・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口縁部外傾する	(外)撫で
		4.5	焼;良好		
第85図－39	土師	—	色;(外)10R5/6 赤～5YR7/6 橙		(内)撫で
		1/2	(内)5YR7/6 橙		
2号溝跡	坏	15.0	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口縁部外傾する	(外)撫で
		5.6	焼;良好		
第85図－40	土師	—	色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙～4/1 褐灰		(内)箆磨き後撫で
		2/3	(内)10YR7/2 にぶい黄橙～4/1 褐灰		
2号溝跡	坏	13.0	胎;石英・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口縁部外傾する	(外)撫で
		4.8	焼;良好		
第85図－41	土師	—	色;(外)10YR6/3 にぶい黄橙～N3/暗灰		(内)撫で
		1/4	(内)10YR7/3 にぶい黄橙		
2号溝跡	坏	14.0	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	口縁部外傾する	(外)撫で
		3.9	焼;良好		
第85図－42	土師	—	色;(外)2.5YR4/1 赤灰～6/8 橙		(内)撫で
		1/6	(内)10YR6/3 にぶい黄橙		
2号溝跡	坏	15.6	胎;石英・粗砂粒含む	口縁部外傾する	(外)撫で
		5.2	焼;良好		
第85図－43	土師	—	色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙～4/1 褐灰		(内)箆磨き後撫で
		1/6	(内)10YR7/2 にぶい黄橙		
2号溝跡	坏	15.0	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口縁部外傾する	(外)撫で
		6.1	焼;良好		
第85図－44	土師	—	色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙～2.5YR6/4 赤褐		(内)撫で
		1/8	(内)10YR7/2 にぶい黄橙		
2号溝跡	坏	12.4	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口縁部緩く外傾する	(外)撫で
		6.0	焼;良好		
第85図－45	土師	—	色;(外)10YR3/8 浅黄橙～N3/暗灰		(内)箆磨き後撫で
		1/3	(内)10YR7/2 にぶい黄橙		
2号溝跡	坏	15.4	胎;石英・粗砂粒含む	口縁部緩く外傾する	(外)撫で
		4.5	焼;良好		
第85図－46	土師	—	色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙～N4/灰		(内)撫で
		口縁部 1/7	(内)7.5YR7/4 にぶい橙～5/1 褐灰		
2号溝跡	坏	25.4	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	口縁部緩く外傾する	(外)撫で
		10.0	焼;良好		
第85図－47	土師	—	色;(外)10YR8/3 浅黄橙		(内)箆削り後撫で
		口縁部 1/7	(内)7.5YR8/4 浅黄橙		
2号溝跡	坏	14.0	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに外反する	(外)箆磨き後撫で
		5.2	焼;良好		
第86図－48	土師	—	色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙～5YR2/1 黒褐		(内)箆磨き後撫で
		完存	(内)10YR7/3 にぶい黄橙		
2号溝跡	坏	12.0	胎;粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに外反する	(外)撫で
		4.4	焼;良好		
第86図－49	土師	—	色;(外)5YR6/6 橙～7.5YR7/4 にぶい橙		(内)撫で
		2/3	(内)5YR6/8 橙		
2号溝跡	坏	12.3	胎;粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに外反する	(外)撫で
		5.0	焼;良好		
第86図－50	土師	—	色;(外)2.5YR6/8 橙～5YR7/6 橙		(内)撫で
		1/3	(内)5YR6/8 橙		
2号溝跡	坏	14.8	胎;石英・礫・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに外反する	(外)撫で
		5.0	焼;良好		
第86図－51	土師	—	色;(外)10YR7/4 にぶい黄橙～3/1 黒褐		(内)撫で
		1/4	(内)10YR7/3 にぶい黄橙～N3/暗灰		

第33表　遺物観察表(5)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
2号溝跡 第86図－52	坏 土師	12.2 5.0 — 1/5	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR4/6 赤褐～黒 (内)5YR5/6 明赤褐～7.5YR3/1 黒褐	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第86図－53	坏 土師	19.2 6.1 — 1/5	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/4 浅黄橙 (内)7.5YR8/4 浅黄橙	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第86図－54	坏 土師	16.0 4.4 — 2/3	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR5/1 褐灰～7/6 橙 (内)5YR3/1 黒褐～7/6 橙	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに外反する	(外)撫で (内)箆磨き後撫で
2号溝跡 第86図－55	坏 土師	13.0 5.7 — 1/4	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR5/1 褐灰～7/1 灰白 (内)10YR7/2 にぶい黄橙	口縁部僅かに外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第86図－56	坏 土師	11.4 5.5 — 1/4	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR7/6 橙～7/4 にぶい赤褐 (内)2.5YR7/4 淡赤橙～N4/灰	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第86図－57	坏 土師	14.0 7.4 — 1/4	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/4 にぶい黄橙～7.5YR6/6 橙 (内)10YR7/4 にぶい黄橙～7.5YR6/6 橙	丸底より立ち上がり、口縁部外反する	(外)撫で (内)箆磨き後撫で
2号溝跡 第86図－58	坏 土師	10.8 5.0 — 1/4	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y4/1 黄灰～N3/暗灰 (内)2.5Y7/2 灰黄～N4/灰	丸底より立ち上がり、口縁部外反する	(外)撫で (内)箆磨き後撫で
2号溝跡 第86図－59	坏 土師	14.7 6.8 — 1/3	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR8/2 灰白～N4/灰 (内)10YR8/3 浅黄橙	丸底より立ち上がり、口縁部外反する	(外)撫で (内)箆磨き後撫で
2号溝跡 第86図－60	坏 土師	14.4 7.3 — 1/6	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR6/6 橙～10R5/6 赤 (内)2.5YR7/6 橙	丸底より立ち上がり、口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第86図－61	坏 土師	13.3 5.3 — 1/4	胎;白色微砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y7/3 浅黄 (内)2.5Y8/4 淡黄～N3/暗灰	口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第87図－62	坏 土師	16.0 5.5 — 1/6	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/4 浅黄橙 (内)7.5YR8/4 浅黄橙	丸底より立ち上がり、口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第87図－63	坏 土師	15.6 7.8 — 1/7	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/4 にぶい黄橙～4/1 褐灰 (内)10YR7/4 にぶい黄橙～4/1 褐灰	丸底より立ち上がり、口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第87図－64	坏 土師	15.5 5.9 — 2/5	胎;雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/4 浅黄橙 (内)7.5YR7/4 にぶい橙～10YR5/2 灰黄褐	丸底より立ち上がり、口縁部外反する	(外)撫で (内)箆磨き後撫で
2号溝跡 第87図－65	坏 土師	14.2 5.0 — 1/2	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR8/4 浅黄橙 (内)10YR8/4 浅黄橙	丸底より立ち上がり、口縁部外反する	(外)撫で (内)箆磨き後撫で
2号溝跡 第87図－66	坏 土師	— 1.9 — 底部のみ	胎;雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR8/3 浅黄橙 (内)10YR8/2 灰白	丸底	(外)撫で (内)撫で

第34表　遺物観察表(6)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
2号溝跡 第87図－67	鉢 土師	13.8 11.3 — 口縁1/8 体部2/3	胎;雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR5/6 明赤褐～10YR3/1 黒褐 (内)黒	丸底より立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第87図－68	鉢 土師	12.6 6.9 — 口縁部1/8	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR7/6 橙～4/1 赤灰 (内)7.5YR3/1 黒褐	体部中位で張りを持ち、口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第87図－69	鉢 土師	15.0 6.0 — 口縁部1/4	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/4 にぶい黄橙 (内)N3/暗灰	体部中位で張りを持ち、口縁部「く」状を呈する	(外)箆削り後撫で (内)撫で
2号溝跡 第87図－70	鉢 土師	12.6 4.5 — 口縁部1/5	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR5/3 にぶい黄褐 (内)10YR5/2 灰黄褐～3/1 黒褐	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第87図－71	鉢 土師	12.6 9.2 — 1/3	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR5/6 明赤褐～7.5YR7/4 にぶい橙 (内)7.5YR7/4 にぶい橙	丸底より立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部屈曲し、僅かに内弯する	(外)撫で (内)口縁部撫で体部箆磨き
2号溝跡 第88図－72	鉢 土師	13.5 9.0 — 1/3	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/6 橙～N5/灰 (内)7.5YR7/4 にぶい橙	丸底より立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第88図－73	鉢 土師	13.6 8.8 — 1/3	胎;雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙～N3/暗灰 (内)10YR7/3 にぶい黄橙	丸底より立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第88図－74	鉢 土師	10.5 6.9 — 1/2	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/4 浅黄橙 (内)7.5YR8/4 浅黄橙	丸底より立ち上がり、体部上位で張りを持ち、口縁部短く外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第88図－75	鉢 土師	14.0 6.0 — 1/2	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y6/2 灰黄 (内)2.5Y7/3 浅黄	丸底より立ち上がり、体部下位で張りを持ち、口縁部短く外反する	(外)撫で (内)箆磨き後撫で
2号溝跡 第88図－76	鉢 土師	15.0 6.5 — 口縁部1/7	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y7/2 灰黄 (内)2.5Y6/2 灰黄～N3/暗灰	丸底より立ち上がり、体部上位で張りを持ち、口縁部短く外反する	(外)撫で (内)箆磨き
2号溝跡 第88図－77	鉢 土師	11.4 4.5 — 口縁部1/4	胎;礫粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/4 にぶい黄橙 (内)10YR7/4 にぶい黄橙	口縁部短く外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第88図－78	鉢 土師	9.9 4.1 — 1/6	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR6/6 橙 (内)2.5YR4/1 黄灰	口縁部短く外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第88図－79	鉢 土師	12.5 6.3 — 1/6	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y7/2 灰黄～N3/暗灰 (内)2.5Y7/3 浅黄	丸底より立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部短く外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第88図－80	鉢 土師	10.8 5.4 — 口縁部体部1/4	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR8/3 浅黄橙～N3/暗灰 (内)2.5YR6/1 黄灰	体部中位で張りを持ち、口縁部短く外反する 粘土帯積上げ	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第88図－81	鉢 土師	13.2 3.5 — 口縁部1/4	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3 にぶい橙～5/3 にぶい黄褐 (内)10YR7/3 にぶい橙～5/3 にぶい黄褐	口縁部短く外反する	(外)撫で (内)撫で

第35表　遺物観察表(7)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
2号溝跡 第88図－82	鉢 土師	13.0 5.1 － 1/5	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/4 にぶい橙～N2/黒 (内)10YR7/3 にぶい黄橙～5/2 灰黄褐	浅い丸底より立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部短く外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第88図－83	鉢 土師	15.8 8.0 － 完存	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y8/2 灰白～N3/暗灰 (内)2.5Y7/2 灰黄	丸底より立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部短く外反する	(外)篦磨き後口縁部撫で (内)篦磨き後撫で
2号溝跡 第88図－84	鉢 土師	16.0 8.7 － 2/3	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙～3/2 黒褐 (内)10YR7/3 にぶい黄橙	丸底より立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部短く外反する	(外)撫で (内)篦磨き後撫で
2号溝跡 第88図－85	鉢 土師	11.5 7.4 4.3 完存	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙～2/1 黒 (内)5YR6/6 橙	平底より内弯気味に立ち上がり、体部上位で張りを持ち口縁部外反する	(外)撫で (内)篦削り後撫で
2号溝跡 第89図－86	鉢 土師	14.8 11.3 6.2 ほぼ完存	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR4/6 赤褐～N3/暗灰 (内)5YR4/6 赤褐～3/1 黒褐	平底より立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第89図－87	鉢 土師	11.8 6.7 5.7 1/3	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/3 浅黄橙～5YR6/6 橙 (内)7.5YR8/3 浅黄橙	平底より立ち上がり、口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第89図－88	小型 甕 土師	12.4 9.6 － ほぼ完存	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR4/6 赤褐～N2/黒 (内)5YR4/6 赤褐～N2/黒	丸底より立ち上がり、胴部球状を呈し、口縁部外反する	(外)撫で (内)篦磨き後撫で
2号溝跡 第89図－89	小型 甕 土師	10.5 11.1 － 完存	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/6 橙～4/1 褐灰 (内)7.5YR3/1 黒褐～10YR8/4 浅黄橙	丸底より立ち上がり、胴部球状を呈し、口縁部「く」状を呈する 粘土帯積上げ	(外)撫で (内)篦削り後撫で
2号溝跡 第89図－90	小型 甕 土師	10.2 4.1 － 口縁部3/5	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10R6/4 にぶい赤橙 (内)2.5Y3/1 黒褐	口縁部「く」状を呈する 粘土帯積上げ	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第89図－91	小型 甕 土師	10.6 9.1 － 口縁1/3胴部1/4	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR6/6 橙 (内)7.5YR4/1 褐灰～7/4 にぶい橙	胴部球状を呈し、口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第89図－92	小型 甕 土師	15.6 6.7 － 口縁部1/4	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR1.7/1 赤黒～6/6 橙 (内)7.5YR7/4 にぶい橙	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第89図－93	小型 甕 土師	16.6 4.0 － 口縁部1/5	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR5/4 にぶい褐 (内)10YR7/3 にぶい黄橙～4/2 灰黄褐	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第89図－94	小型 甕 土師	15.0 9.7 － 口縁部胴部2/3	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR76/8 橙～7.5YR5/3 にぶい褐 (内)7.5YR3/1 黒褐～7/4 にぶい橙	胴部上位で張りを持ち、口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第89図－95	小型 甕 土師	11.0 9.2 － 口縁胴ほぼ完存	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR4/1 褐灰～7.5YR6/2 灰褐 (内)10YR7/2 にぶい黄橙	胴部中位で張りを持ち、口縁部直線的に開く	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第89図－96	甕 土師	13.0 15.5 － 口縁胴ほぼ完存	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙～4/1 褐灰 (内)2.5YR7/2 灰黄～10YR2/1 黒	胴部は球状を呈し、口縁部「く」状を呈する 粘土帯積上げ	(外)篦磨き後撫で (内)篦削り後撫で　頸部指頭による押え

第36表　遺物観察表(8)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
2号溝跡 第90図－97	甕 土師	18.0 25.2 7.4 ほぼ完存	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙～N2/黒 (内)10YR7/3 にぶい黄橙	平底より外傾して立ち上がり、胴部球状を呈し、口縁部「く」状を呈する 粘土帯積上げ	(外)口縁部箆磨き　撫で (内)底部箆による押え　撫で
2号溝跡 第90図－98	甕 土師	17.0 19.4 － 口縁部ほぼ完存	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/1 明褐灰～N3/暗灰 (内)7.5YR7/1 明褐灰	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第90図－99	甕 土師	－ 23.6 9.0 底部のみ胴部1/2	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙 (内)10YR6/1 褐灰	平底より立ち上がり、胴部球状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第91図－100	甕 土師	22.5 6.6 － 口縁部1/4	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR6/6 橙～10YR8/3 浅黄橙 (内)10YR8/2 灰白	口縁部「く」状を呈する 粘土帯積上げ	(外)箆磨き後撫で (内)撫で
2号溝跡 第91図－101	甕 土師	19.5 9.5 － 口縁部3/4	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙～N4/灰 (内)10YR7/2 にぶい黄橙～N4/灰	口縁部「く」状を呈する	(外)箆磨き後撫で (内)箆磨き後撫で
2号溝跡 第91図－102	甕 土師	26.0 15.4 － 1/5	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/6 橙～N3/暗灰 (内)5YR8/3 淡橙	口縁部「く」状を呈する 粘土帯積上げ	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第91図－103	甕 土師	18.7 5.0 － 口縁部1/3	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR8/2 灰白 (内)10YR8/2 灰白	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第91図－104	甕 土師	14.8 4.7 － 口縁部1/3	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y7/2 灰黄 (内)2.5Y7/2 灰黄	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第91図－105	甕 土師	14.4 4.0 － 口縁部1/3	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙 (内)10YR7/3 にぶい黄橙	口縁部「く」状を呈する	(外)箆磨き後撫で (内)撫で
2号溝跡 第91図－106	甕 土師	15.5 3.8 － 口縁部1/2	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/4 浅黄橙 (内)7.5YR8/4 浅黄橙	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第91図－107	甕 土師	15.2 5.6 － 口縁部1/4	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙 (内)N3/暗灰	口縁部屈曲外反する 口唇部面取りを施す	(外)箆磨き後撫で (内)撫で
2号溝跡 第92図－108	甕 土師	17.7 28.9 7.2 ほぼ完存	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR5/6 明赤褐～N2/黒 (内)5YR5/6 明赤褐	平底より外傾して立ち上がり、口縁部「く」状を呈する 粘土帯積上げ	(外)刷毛調整　口縁部撫で (内)箆削り後撫で
2号溝跡 第92図－109	甕 土師	－ 28.3 6.6 胴部1/2底完存	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR4/6 赤褐～10YR3/1 黒褐 (内)5YR4/3 にぶい赤褐	平底より立ち上がり、胴部下位で張りを持つ	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第92図－110	甕 土師	20.4 10.5 － 口縁部ほぼ完存	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR4/3 褐～N2/黒 (内)10YR3/2 黒褐	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第93図－111	甕 土師	16.4 6.7 － 口縁部1/5	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR4/4 にぶい赤褐 (内)7.5YR2/1 黒	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で

第37表　遺物観察表(9)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
2号溝跡	甕	18.6	胎;石英・礫・粗砂粒含む	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で
		13.2	焼;良好	粘土帯積上げ	
第93図－112	土師	－	色;(外)5YR6/6 橙		(内)撫で
		口縁部1/3	(内)5YR6/6 橙～5/4 にぶい赤褐		
2号溝跡	甕	17.4	胎;石英・粗砂粒含む	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で
		19.0	焼;良好	粘土帯積上げ	
第93図－113	土師	－	色;(外)5YR5/6 明赤褐～3/4 暗赤褐		(内)箆削り後撫で
		1/3	(内)5YR5/6 明赤褐～3/4 暗赤褐		
2号溝跡	甕	17.3	胎;石英・礫・粗砂粒含む	口縁部「く」状を呈する	(外)刷毛調整後撫で
		5.7	焼;良好		
第93図－114	土師	－	色;(外)7.5YR5/3 にぶい褐		(内)刷毛調整後撫で
		口縁部1/4	(内)7.5YR7/4 にぶい橙		
2号溝跡	甕	16.0	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で
		4.0	焼;良好		
第93図－115	土師	－	色;(外)5YR5/6 明赤褐		(内)撫で
		口縁部1/3	(内)7.5YR4/3 褐		
2号溝跡	甕	15.0	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	口縁部緩く外反する	(外)撫で
		7.1	焼;良好	粘土帯積上げ	
第93図－116	土師	－	色;(外)2.5YR5/6 明赤褐		(内)撫で
		口縁部1/4	(内)2.5YR3/1 暗赤灰～7.5YR4/2 灰褐		
2号溝跡	甕	18.8	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で　頸部指頭による押え
		6.4	焼;良好		
第93図－117	土師	－	色;(外)5YR6/6 橙～10YR4/1 褐灰		(内)撫で
		口縁部1/4	(内)7.5YR6/4 にぶい橙		
2号溝跡	甕	14.4	胎;石英・礫・粗砂粒含む	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で
		5.7	焼;良好		
第93図－118	土師	－	色;(外)2.5YR5/6 明赤褐		(内)撫で
		口縁部1/3	(内)N2/黒		
2号溝跡	甕	19.4	胎;石英・粗砂粒含む	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で
		3.5	焼;良好		
第93図－119	土師	－	色;(外)2.5YR4/4 にぶい赤褐		(内)撫で
		口縁部1/2	(内)2.5YR4/6 赤褐		
2号溝跡	甕	17.8	胎;雲母・粗砂粒含む	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で
		5.9	焼;良好		
第94図－120	土師	－	色;(外)2.5YR6/6 橙		(内)撫で
		口縁部3/4	(内)2.5YR6/6 橙		
2号溝跡	甕	18.4	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で
		6.0	焼;良好		
第94図－121	土師	－	色;(外)2.5YR6/6 橙～5YR6/4 にぶい橙		(内)撫で
		口縁部1/2	(内)5YR5/6 明赤褐		
2号溝跡	甕	15.8	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で
		5.7	焼;良好		
第94図－122	土師	－	色;(外)5YR3/1 黒褐		(内)撫で
		口縁部1/2	(内)5YR3/1 黒褐		
2号溝跡	甕	26.4	胎;石英・礫・粗砂粒含む	口縁部緩く外反する	(外)刷毛調整後撫で
		5.0	焼;良好	粘土帯積上げ	
第94図－123	土師	－	色;(外)2.5YR3/4 暗赤褐		(内)撫で
		口縁部1/6	(内)7.5YR3/2 黒褐		
2号溝跡	甕	16.0	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	口縁部緩く外反する	(外)撫で
		3.0	焼;良好		
第94図－124	土師	－	色;(外)5YR5/6 明赤褐		(内)撫で
		口縁部1/3	(内)7.5YR6/4 にぶい橙		
2号溝跡	甕	18.6	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	口縁部「く」状を呈する	(外)刷毛調整
		4.5	焼;良好		
第94図－125	土師	－	色;(外)5YR4/6 赤褐～N2/黒		(内)刷毛調整
		口縁部1/6	(内)5YR4/6 赤褐～2/1 黒褐		
2号溝跡	甕	18.8	胎;雲母・粗砂粒含む	口縁部「く」状を呈する	(外)刷毛調整後撫で
		4.9	焼;良好		
第94図－126	土師	－	色;(外)2.5YR4/6 赤褐		(内)刷毛調整後撫で
		口縁部2/3	(内)2.5YR4/6 赤褐		

第38表　遺物観察表(10)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
2号溝跡	甕	14.0	胎;雲母・粗砂粒含む	平底より立ち上がり、胴部中位で張りを持ち、口縁部「く」状を呈する	(外)撫で
		14.8	焼;良好		
第94図－127	土師	5.8	色;(外)2.5YR4/8 赤褐		(内)撫で　底部箆による押え
		ほぼ完存	(内)10YR2/3 黒褐		
2号溝跡	甕	18.6	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	平底より内弯しながら立ち上がり、口縁部「く」状を呈する	(外)撫で
		18.4	焼;良好		
第94図－128	土師	6.7	色;(外)5YR6/6 橙～N2/黒		(内)撫で
		1/2	(内)5YR5/6 明赤褐～N2/黒		
2号溝跡	甕	－	胎;石英・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		3.5	焼;良好		
第94図－129	土師	7.0	色;(外)10YR6/3 にぶい黄橙		(内)撫で
		底部のみ	(内)10YR6/3 にぶい黄橙～7.5YR4/4 褐		
2号溝跡	甕	－	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		2.7	焼;良好		
第94図－130	土師	7.5	色;(外)5YR6/6 橙～4/1 褐灰		(内)撫で
		底部のみ	(内)10YR10/3 にぶい黄橙		
2号溝跡	甕	－	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		4.7	焼;良好		
第95図－131	土師	5.0	色;(外)2.5YR4/8 赤褐～5YR4/3 にぶい赤褐		(内)撫で
		底部3/4	(内)5YR4/6 赤褐		
2号溝跡	甕	－	胎;石英・礫・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		2.0	焼;良好		
第95図－132	土師	4.0	色;(外)5YR4/6 赤褐		(内)撫で
		底部2/3	(内)5YR2/1 黒褐		
2号溝跡	甕	－	胎;雲母・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		2.6	焼;良好		
第95図－133	土師	3.8	色;(外)7.5YR8/4 浅黄橙		(内)撫で
		底部のみ	(内)7.5YR8/4 浅黄橙		
2号溝跡	甕	－	胎;雲母・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		1.7	焼;良好		
第95図－134	土師	6.0	色;(外)10YR4/8 赤		(内)撫で
		底部のみ	(内)5YR5/6 明赤褐		
2号溝跡	甕	－	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		3.0	焼;良好		
第95図－135	土師	8.0	色;(外)2.5YR5/8 明赤褐		(内)刷毛調整
		底部のみ	(内)7.5YR7/4 にぶい橙		
2号溝跡	甕	－	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		2.5	焼;良好		
第95図－136	土師	7.4	色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙～4/1 褐灰		(内)撫で
		底部1/2	(内)10YR7/2 にぶい黄橙～5/4 にぶい黄褐		
2号溝跡	甕	－	胎;雲母・粗砂粒含む	上げ底気味の底部	(外)撫で
		5.1	焼;良好		
第95図－137	土師	8.5	色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙		(内)撫で
		底部1/4	(内)10YR7/2 にぶい黄橙		
2号溝跡	甕	－	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	上げ底気味の底部	(外)撫で
		1.8	焼;良好		
第95図－138	土師	6.5	色;(外)7.5YR5/4 にぶい褐		(内)撫で
		底部のみ	(内)5YR4/4 にぶい赤褐		
2号溝跡	甕	－	胎;雲母・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		5.0	焼;良好		
第95図－139	土師	8.1	色;(外)2.5YR76/8 橙		(内)撫で
		底部1/3	(内)5YR5/4 にぶい赤褐		
2号溝跡	甕	－	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		1.8	焼;良好		
第95図－140	土師	7.5	色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙		(内)撫で
		底部3/4	(内)7.5YR8/4 浅黄橙		
2号溝跡	甕	－	胎;石英・礫・粗砂粒含む	平底	(外)箆磨き後撫で
		1.6	焼;良好		
第95図－141	土師	4.0	色;(外)2.5YR4/6 赤褐～2/1 黒		(内)箆削り後撫で
		底部のみ	(内)7.5YR7/4 にぶい橙～2.5YR4/6 赤褐		

第39表　遺物観察表(11)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
2号溝跡 第95図－142	甕 土師	－ 9.9 6.0 底部のみ	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR5/6 明赤褐～3/1 黒褐 (内)5YR7/4 にぶい橙	平底より内弯気味に立ち上がる	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第95図－143	甕 土師	－ 4.6 6.8 底部のみ	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙 (内)10YR7/2 にぶい黄橙	平底より内弯して立ち上がる	(外)箆磨き後撫で (内)箆磨き後撫で
2号溝跡 第95図－144	甕 土師	－ 2.5 8.0 底部1/8	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙 (内)7.5YR7/4 にぶい橙～5/6 明褐	平底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図－145	甕 土師	－ 3.4 5.8 底部のみ	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/4 にぶい橙～2.5YR5/8 明赤褐 (内)N3/暗灰	平底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図－146	甕 土師	－ 4.4 5.7 底部のみ	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR5/6 明赤褐 (内)10YR3/2 黒褐	平底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図－147	甕 土師	－ 4.0 6.0 底部のみ	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR3/4 暗赤褐～2/1 赤黒 (内)2.5YR5/6 明赤褐	平底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図－148	甕 土師	－ 3.0 4.0 底部のみ	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR5/6 明赤褐 (内)5YR5/6 明赤褐	平底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図－149	甕 土師	－ 2.8 6.2 底部1/2	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR5/4 にぶい黄褐～N3/暗灰 (内)2.5Y7/3 浅黄	平底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図－150	甕 土師	－ 5.0 7.3 底部1/2	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR5/3 にぶい褐 (内)7.5YR3/1 黒褐	平底	(外)箆削り (内)箆削り
2号溝跡 第96図－151	甕 土師	－ 4.0 6.5 底部2/3	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/6 橙～7.5YR8/6 浅黄橙 (内)7.5YR7/にぶい橙	平底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図－152	甕 土師	－ 4.5 6.8 底部1/2	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/4 にぶい橙～2.5Y3/1 黒褐 (内)N2/黒	平底	(外)箆磨き後撫で 底部箆切り (内)箆磨き後撫で
2号溝跡 第96図－153	甕 土師	－ 3.0 6.6 底部のみ	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR5/8 明赤褐 (内)N2/黒	平底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図－154	甕 土師	－ 3.4 7.5 底部のみ	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/1 明褐灰 (内)7.5YR7/4 にぶい橙	上げ底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図－155	甕 土師	－ 2.2 6.0 底部2/3	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR5/4 にぶい褐 (内)7.5YR3/3 暗褐	平底	(外)箆削り (内)撫で
2号溝跡 第96図－156	甕 土師	－ 2.2 6.6 底部のみ	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/3 浅黄橙 (内)7.5YR8/2 灰白～4/4 褐	上げ底気味の底部	(外)撫で (内)撫で

第40表　遺物観察表(12)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
2号溝跡 第96図－157	甕 土師	－ 4.6 7.1 底部1/3	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/2にぶい黄橙 (内)2.5Y7/3浅黄	平底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図－158	甕 土師	－ 2.5 8.0 底部のみ	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR8/4浅黄橙 (内)10YR8/4浅黄橙～3/1黒褐	平底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図－159	甕 土師	－ 2.0 7.6 底部のみ	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR4/6赤褐 (内)5YR4/6赤褐	平底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図－160	甕 土師	－ 1.8 5.7 底部のみ	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR5/4にぶい褐 (内)7.5YR6/6橙	平底	(外)撫で　指頭圧痕 (内)篦削り後撫で
2号溝跡 第96図－161	台付 甕 土師	－ 6.3 12.2 台部1/4	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR5/6明赤褐～7.5YR4/1褐灰 (内)5YR5/8明赤褐～10YR4/2灰黄褐	台部直線的に開き、裾部折り返す	(外)刷毛調整 (内)撫で
2号溝跡 第97図－162	甑 土師	17.8 10.1 3.2 2/3	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR8/3浅黄橙 (内)10YR8/4浅黄橙	体部は内弯し、口縁部で直立する。底部に1孔を有する	(外)撫で (内)篦磨き
2号溝跡 第97図－163	甑 土師	14.0 7.2 2.3 ほぼ完存	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/4にぶい黄橙～2/1黒 (内)10YR7/3にぶい黄橙	体部は砲弾状を呈し、口縁部僅かに外反する。底部に1孔を有する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第97図－164	甑 土師	－ 4.2 2.2 底部のみ	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y7/2灰黄～N3/暗灰 (内)N2/黒～3/暗灰	底部に1孔を有する	(外)撫で (内)篦磨き後撫で
2号溝跡 第97図－165	甑 土師	－ 4.4 1.8 1/3	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR5/6明赤褐 (内)5YR5/6明赤褐～N2/黒	底部に1孔を有する	(外)撫で (内)篦で押え後撫で
2号溝跡 第97図－166	甑 土師	－ 3.4 0.7 底部のみ	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/6橙～4/1褐灰 (内)5YR5/6明赤褐	底部に1孔を有する	(外)篦削り (内)撫で
2号溝跡 第97図－167	有段 壺 土師	16.0 8.5 － 口縁部2/3	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/3浅黄橙 (内)7.5YR8/3浅黄橙	頸部から外反しながら立ち上がり、口縁部屈曲外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第97図－168	坩 土師	9.8 16.3 － 完存	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR5/6明赤褐～N3/暗灰 (内)10YR8/4浅黄橙	丸底から立ち上がり、体部は偏平な球形を呈し、口縁部にかけて直線的に開く	(外)篦磨き後撫で　指頭圧痕 (内)撫で
2号溝跡 第97図－169	坩 土師	7.9 13.5 － 完存	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR76/8橙～7.5YR7/3にぶい褐 (内)5YR7/6橙～7.5YR7/4にぶい橙	丸底から立ち上がり、体部は偏平な球形を呈し、口縁部にかけて直線的に開く	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第97図－170	坩 土師	8.0 9.1 － 口縁部完存	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/4にぶい橙 (内)5YR7/6橙	口縁部直線的に開く	(外)撫で (内)篦磨き後撫で
2号溝跡 第97図－171	坩 土師	9.2 5.6 － 口縁部1/5	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/6橙 (内)2.5YR6/8橙	口縁部直線的に開く	(外)篦磨き (内)篦削り

第41表　遺物観察表(13)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
2号溝跡	坩	8.1	胎;雲母・粗砂粒含む	口縁部直線的に開く	(外)篦磨き
		5.2	焼;良好		
第97図－172	土師	－	色;(外)5Y5/1 灰～N3/暗灰		(内)篦磨き
		口縁部1/3	(内)5Y5/1 灰～N3/暗灰		
2号溝跡	坩	9.0	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	口縁部直線的に開く	(外)篦磨き
		5.0	焼;良好		
第97図－173	土師	－	色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙		(内)撫で
		口縁部1/2	(内)7.5YR7/3 にぶい橙		
2号溝跡	坩	8.8	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	口縁部直線的に開き、口唇部僅かに内弯する	(外)撫で
		5.0	焼;良好		
第98図－174	土師	－	色;(外)10YR7/6 明黄褐		(内)撫で
		口縁部4/5	(内)10YR7/6 明黄褐		
2号溝跡	坩	9.2	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	口縁部直線的に開き、口唇部僅かに内弯する	(外)篦磨き
		6.7	焼;良好		
第98図－175	土師	－	色;(外)7.5YR8/3 浅黄橙		(内)篦磨き
		口縁部1/4	(内)7.5YR8/3 浅黄橙～5/1 褐灰		
2号溝跡	坩	9.0	胎;石英・粗砂粒含む	口縁部直線的に開き、口唇部僅かに内弯する	(外)撫で
		5.3	焼;良好		
第98図－176	土師	－	色;(外)7.5YR7/6 橙		(内)撫で
		口縁部1/4	(内)7.5YR7/6 橙		
2号溝跡	坩	13.8	胎;石英・礫・粗砂粒含む	口縁部緩く内弯する。口唇部折り返す	(外)撫で
		8.2	焼;良好		
第98図－177	土師	－	色;(外)7.5YR6/4 にぶい橙		(内)撫で
		口縁部一部	(内)N3/暗灰		
2号溝跡	坩	－	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	体部偏平な球形を呈する	(外)篦磨き後撫で
		9.6	焼;良好		
第98図－178	土師	－	色;(外)5YR7/4 にぶい橙～7/6 橙		(内)篦磨き後撫で
		体部2/3	(内)N3/暗灰		
2号溝跡	甕	13.0	胎;粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、胴部偏平な球状を呈し、口縁部2段に屈曲外反する胴部に1孔を有する	(外)撫で
		15.5	焼;良好		
第98図－179	土師	－	色;(外)10YR6/6 赤橙～N3/暗灰		(内)撫で
		口縁1/2胴部完	(内)7.5YR8/4 浅黄橙		
2号溝跡	高坏	15.7	胎;石英・粗砂粒含む	坏部は内弯しながら開き、脚部は柱状を呈して、裾部で大きく開く	(外)坏部撫で　脚部篦磨き後撫で
		13.1	焼;良好		
第98図－180	土師	13.0	色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙		(内)撫で
		ほぼ完存	(内)10YR7/2 にぶい黄橙		
2号溝跡	高坏	12.2	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	坏部は内弯しながら開く	(外)撫で
		5.2	焼;良好		
第98図－181	土師	－	色;(外)5YR6/6 橙～2.5Y5/1 黄灰		(内)撫で
		坏部1/2	(内)5YR6/6 橙		
2号溝跡	高坏	15.7	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	坏部下位で稜を持って開き、裾部ラッパ状に大きく開く	(外)篦磨き
		11.5	焼;良好		
第98図－182	土師	10.8	色;(外)2.5YR7/6 橙		(内)撫で
		坏部2/3脚部完	(内)2.5YR7/8 橙		
2号溝跡	高坏	－	胎;石英・礫・粗砂粒含む	坏部下位で稜を持ち、脚部柱状を呈し、裾部大きく開く	(外)篦磨き
		11.2	焼;良好		
第98図－183	土師	16.0	色;(外)10YR7/4 にぶい黄橙		(内)撫で
		坏部1/3脚部2/3	(内)7.5YR8/4 浅黄橙～N3/暗灰		
2号溝跡	高坏	18.0	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	坏部下位で稜を持ち、開く	(外)撫で
		6.8	焼;良好		
第99図－184	土師	－	色;(外)10YR6/6 赤橙～5YR7/6 橙		(内)撫で
		坏部4/5	(内)5YR7/6 橙		
2号溝跡	高坏	15.8	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	坏部下位で稜を持ち、開く	(外)撫で
		8.4	焼;良好		
第99図－185	土師	－	色;(外)5YR6/8 橙～7.5YR7/6 橙		(内)撫で
		坏部3/4	(内)7.5YR7/4 にぶい橙		
2号溝跡	高坏	－	胎;雲母・粗砂粒含む	裾部大きく開く	(外)撫で
		7.2	焼;良好		
第99図－186	土師	15.8	色;(外)7.5YR8/6 浅黄橙		(内)撫で
		脚部3/4	(内)7.5YR8/6 浅黄橙		

第42表　遺物観察表(14)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
2号溝跡 第99図－187	高坏 土師	－ 7.0 15.6 脚部2/3	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/8 黄橙～2.5Y6/1 黄灰 (内)7.5YR6/4 にぶい橙	裾部大きく開く	(外)撫で (内)撫で　指頭による押え
2号溝跡 第99図－188	高坏 土師	－ 7.7 － 脚部2/3	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙 (内)10YR7/2 にぶい黄橙	裾部大きく開く	(外)刷毛調整後撫で (内)撫で
2号溝跡 第99図－189	高坏 土師	－ 6.2 15.4 脚部2/3	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/4 浅黄橙～5YR7/6 橙 (内)5YR7/6 橙	脚部大きく開く	(外)箆磨き (内)箆磨き後撫で
2号溝跡 第99図－190	高坏 土師	－ 3.7 13.8 脚部1/2	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/6 橙～10YR7/4 にぶい黄橙 (内)10YR7/4 にぶい黄橙	裾部反り返る	(外)箆磨き (内)撫で
2号溝跡 第99図－191	高坏 土師	－ 9.2 － 脚部3/4	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y5/1 黄灰 (内)2.5Y3/1 黒褐	脚部開く	(外)箆磨き後撫で (内)箆削り後撫で
2号溝跡 第99図－192	器台 土師	－ 3.4 － 接合部	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/4 にぶい橙 (内)5YR6/4 にぶい橙	接合部	(外)箆磨き (内)撫で
2号溝跡 第99図－193	坏 土師	15.0 8.4 － 3/4	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR5/6 明褐～N3/暗灰 (内)黒	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で (内)黒色処理
2号溝跡 第99図－194	坏 土師	14.5 7.6 － 2/3	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙 (内)黒	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で (内)黒色処理
2号溝跡 第100図－195	坏 土師	16.5 7.3 － 2/3	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y7/2 灰黄 (内)黒	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で (内)黒色処理
2号溝跡 第100図－196	坏 土師	11.5 5.0 － 2/3	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/4 にぶい黄橙～2/3 黒褐 (内)黒	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で (内)黒色処理
2号溝跡 第100図－197	坏 土師	13.6 4.0 － 4/5	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR6/8 橙 (内)黒	丸底より立ち上がり、口縁部緩く外反する	(外)撫で (内)黒色処理
2号溝跡 第100図－198	坏 土師	11.8 5.2 － ほぼ完存	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR3/1 黒褐 (内)黒	丸底より立ち上がり、口縁部緩く外反する	(外)撫で (内)黒色処理
2号溝跡 第100図－199	坏 土師	17.0 5.2 － 1/4	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙～N2/黒 (内)黒	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに外反する	(外)箆磨き後撫で (内)黒色処理
2号溝跡 第100図－200	坏 土師	13.2 5.3 － 1/6	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙～5/1 褐灰 (内)黒	口縁部「く」状を呈する	(外)箆磨き後撫で (内)黒色処理
2号溝跡 第100図－201	坏 土師	15.2 6.3 － 1/6	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y7/2 灰黄 (内)黒	口縁部「く」状を呈する	(外)箆磨き後撫で (内)黒色処理

第43表　遺物観察表(15)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
2号溝跡 第100図— 202	坏 土師	13.0 6.0 — 1/5	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙 (内)黒	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)黒色処理
2号溝跡 第100図— 203	鉢 土師	11.8 6.0 — 1/3	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y7/3 浅黄 (内)黒	体部上位で張りを持ち、口縁部短く外反する	(外)撫で (内)黒色処理
2号溝跡 第100図— 204	鉢 土師	12.9 7.4 — 2/3	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR8/4 浅黄橙～N3/暗灰 (内)黒	丸底より立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部短く外反する	(外)撫で (内)黒色処理
2号溝跡 第100図— 205	鉢 土師	15.0 8.2 6.4 3/4	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙～N3/暗灰 (内)黒	平底より内弯して立ち上がり、体部上位で張りを持ち口縁部に至る	(外)篦磨き (内)黒色処理
2号溝跡 第100図— 206	鉢 土師	— 2.9 4.7 底部のみ	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/6 橙 (内)黒	平底	(外)撫で (内)黒色処理
2号溝跡 第101図— 207	高坏 土師	14.8 5.2 — 坏部完存	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR8/4 淡橙 (内)黒	坏部下位で稜を持ち、口縁部開く	(外)撫で (内)黒色処理
2号溝跡 第101図— 208	ミニチュア 土師	5.5 2.9 2.9 ほぼ完存	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y7/3 浅黄 (内)2.5Y7/3 浅黄	手捏ね	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第101図— 209	ミニチュア 土師	4.2 2.9 4.2 完存	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/6 橙～N4/灰 (内)5YR6/6 橙～N4/灰	手捏ね	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第101図— 210	ミニチュア 土師	— 3.9 2.8 体部完存	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR8/2 灰白 (内)10YR8/2 灰白	手捏ね	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第101図— 211	ミニチュア 土師	— 3.5 — 坏部1/3	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/6 浅黄橙 (内)2.5YR6/6 橙	手捏ね	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第101図— 212	坏 須恵	10.8 4.7 — 3/4	胎;白色礫含む 焼;良好 色;(外)N4/灰 (内)N4/灰	丸底より立ち上がり、受部は内に伸び、口唇部は外傾する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
2号溝跡 第101図— 213	坏 須恵	13.4 3.3 — 1/3	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)N4/灰 (内)N3/暗灰	体部中位に稜を持つ	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
2号溝跡 第101図— 214	坏 須恵	— 0.9 — 底部1/2	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)N5/灰 (内)N5/灰	丸底	(外)轆轤による撫で 底面に篦記号を有する (内)轆轤による撫で
2号溝跡 第101図— 215	蓋 須恵	11.4 3.9 — 1/5	胎;精良 焼;良好 色;(外)N6/灰～4/灰 (内)N5/灰	天井部は偏平で稜以下は直降する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
2号溝跡 第101図— 216	蓋 須恵	12.4 3.8 — 1/2	胎;精良 焼;良好 色;(外)N3/暗灰 (内)N4/灰	稜以下は僅かに外反し口縁部に至る	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で

第44表　遺物観察表(16)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
2号溝跡 第101図－ 217	高坏 須恵	19.3 5.5 － 坏部1/6	胎;精良 焼;良好 色;(外)N3/暗灰 (内)N6/灰	坏部は開き、外面に把手を有する	(外)轆轤による撫で 沈線・波状文を施す (内)轆轤による撫で
2号溝跡 第101図－ 218	高坏 須恵	9.8 5.5 － 坏部2/3	胎;精良 焼;良好 色;(外)N4/灰 (内)N4/灰	坏部中位に稜を持ち、口縁部内傾する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
2号溝跡 第101図－ 219	高坏 須恵	－ 2.8 － 接合部のみ	胎;精良 焼;良好 色;(外)N5/灰 (内)N5/灰	接合部のみ	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
2号溝跡 第101図－ 220	甕 須恵	24.0 5.4 － 口縁部1/3	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)N4/灰 (内)N3/暗灰	口縁部稜を持ち、外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
4号溝跡 第102図－1	坏 土師	19.6 8.1 － 1/3	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y3/2 灰黄～2/1 黒 (内)2.5Y5/1 黄灰	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
4号溝跡 第102図－2	坏 土師	16.8 7.5 － 口縁部体部1/4	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y7/3 浅黄 (内)2.5Y7/4 浅黄	口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
4号溝跡 第102図－3	甕 土師	17.8 3.6 － 口縁部1/4	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR4/3 褐 (内)7.5YR5/4 にぶい褐	口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
4号溝跡 第102図－4	甕 土師	－ 2.8 6.8 底部1/2	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR4/2 灰褐 (内)7.5YR5/4 にぶい褐	平底	(外)撫で (内)撫で
4号溝跡 第102図－5	甑 土師	24.8 16.0 － 口縁1/4胴一部	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/4 にぶい橙～7/5 橙 (内)5YR7/5 橙～7/4 にぶい橙	胴部直線的に開き、口縁部外反する 6と同一個体か?	(外)撫で (内)撫で
4号溝跡 第102図－6	甑 土師	－ 9.5 7.0 底部ほぼ完存	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/4 にぶい橙～N3/暗灰 (内)5YR7/4 にぶい橙	底部より外傾して立ち上がる 5と同一個体か?	(外)撫で (内)横位の撫で
4号溝跡 第102図－7	ミニチュア 土師	5.0 3.0 － 口縁部一部	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙 (内)10YR6/4 にぶい黄橙	手捏ね	(外)撫で (内)撫で
4号溝跡 第102図－8	ミニチュア 土師	－ 2.1 2.6 底部1/2	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙～5/1 褐灰 (内)10YR7/3 にぶい黄橙	手捏ね	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第103図－1	坏 土師	13.8 5.5 － ほぼ完存	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/6 橙 (内)5YR7/6 橙	丸底より立ち上がり、口縁部開く	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第103図－2	坏 土師	9.8 4.8 － 1/3	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/6 橙～10YR6/1 褐 (内)5YR7/6 橙	丸底より立ち上がり、口縁部開く	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第103図－3	坏 土師	15.4 4.8 － 1/3	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)N3/暗灰 (内)2.5Y5/1 黄灰～7.5YR7/4 にぶい橙	丸底より立ち上がり、口縁部開く	(外)撫で (内)撫で

第45表　遺物観察表(17)

遺構 No 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
5号溝跡 第103図－4	坏 土師	13.0 4.0 － 1/3	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR8/4 浅黄橙～N4/灰 (内)5YR6/6 橙	丸底より立ち上がり、口縁部開く	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第103図－5	坏 土師	12.0 4.9 － 1/5	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/6 橙～2.5YR5/8 明赤褐 (内)5YR6/6 橙	口縁部開く	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第103図－6	坏 土師	14.7 4.7 － 1/3	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙～4/1 褐灰 (内)10YR7/2 にぶい黄橙～4/1 褐灰	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第103図－7	坏 土師	16.0 5.0 － 2/3	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙～N2/黒 (内)7.5YR7/4 にぶい橙～N4/灰	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第103図－8	坏 土師	13.0 4.5 － 口縁部1/5	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/6 橙～N4/灰 (内)5YR6/6 橙	口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第103図－9	坏 土師	11.4 4.3 — 1/2	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR6/6 橙 (内)2.5YR6/6 橙	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)口縁部横位の撫で (内)撫で
5号溝跡 第103図－10	坏 土師	13.4 4.6 － 1/2	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/4 にぶい橙～2.5YR7/6 橙 (内)5YR7/4 にぶい橙	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第103図－11	坏 土師	14.0 4.2 － 口縁部1/4	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10R6/赤橙 (内)2.5YR7/6 橙	口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第103図－12	坏 土師	13.8 4.5 － 口縁部1/3	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙～N4/灰 (内)10YR7/2 にぶい黄橙	口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第103図－13	坏 土師	12.4 4.5 － 口縁部1/3	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR5/6 明赤褐 (内)2.5YR5/4 にぶい赤褐	口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第103図－14	坏 土師	14.5 4.3 － 口縁部1/3	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙 (内)10YR7/2 にぶい黄橙～N3/暗灰	口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第103図－15	坏 土師	15.4 3.9 － 口縁部1/4	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/4 浅黄橙～2.5Y5/1 黄灰 (内)10YR5/3 にぶい黄褐～2.5Y5/1 黄灰	口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第103図－16	坏 土師	12.6 5.2 － 1/3	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10R6/6 赤橙 (内)2.5YR7/6 橙	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第103図－17	坏 土師	8.3 3.7 － 1/4	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙 (内)10YR7/3 にぶい黄橙	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第103図－18	坏 土師	12.2 5.5 － 4/5	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/6 橙～7.5YR7/4 にぶい橙 (内)5YR6/6 橙	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で

第46表　遺物観察表(18)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
5号溝跡 第104図−19	坏 土師	11.6 4.0 — 1/4	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/2灰白〜5YR4/1灰白 (内)7.5YR8/2灰白〜5YR4/1灰白	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第104図−20	坏 土師	13.6 3.9 — 1/3	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR7/6橙〜10YR7/1灰白 (内)10YR7/1灰白	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第104図−21	坏 土師	13.0 4.4 — 1/2	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/4浅黄橙〜5/1褐灰 (内)7.5YR7/6橙	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第104図−22	坏 土師	14.0 4.1 — 口縁部1/4	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3にぶい黄橙〜N5/灰 (内)10YR7/2にぶい黄橙	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第104図−23	坏 土師	13.8 4.3 — 口縁部1/3	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR6/6橙〜7.5YR7/3にぶい橙 (内)5YR6/6橙	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第104図−24	坏 土師	12.8 3.5 — 口縁部1/5	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y7/2灰黄 (内)2.5Y7/2灰黄	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第104図−25	坏 土師	13.9 4.1 — 口縁部1/4	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3にぶい黄橙〜N3/暗灰 (内)10YR7/3にぶい黄橙〜5/4にぶい黄褐	口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第104図−26	坏 土師	14.6 4.8 — 1/2	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/6橙 (内)5YR6/6橙	丸底より立ち上がり、口縁部外傾する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第104図−27	坏 土師	13.4 5.0 — 1/5	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/4にぶい橙〜10YR8/2灰白 (内)7.5YR7/4にぶい橙〜2.5Y7/1灰白	丸底より立ち上がり、口縁部外傾する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第104図−28	坏 土師	12.6 5.5 — 口縁部1/4	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR8/2灰白 (内)10YR7/2にぶい黄橙	口縁部外傾する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第104図−29	坏 土師	14.5 5.3 — 口縁部1/3	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR8/2灰白 (内)10YR7/3にぶい黄橙	口縁部外傾する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第104図−30	坏 土師	15.2 5.3 — 口縁部1/3	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR6/6橙〜10YR5/2灰黄褐 (内)2.5YR6/6橙〜10YR4/1褐灰	口縁部外傾する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第104図−31	坏 土師	15.4 6.7 — 口縁部1/3	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/6橙 (内)5YR7/6橙	口縁部外傾する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第104図−32	坏 土師	19.0 8.0 — 口縁部1/5	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/6橙〜7/6橙 (内)2.5Y3/1黒褐	口縁部外傾する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第104図−33	坏 土師	9.6 4.7 — 口縁部1/5	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/6橙 (内)7.5YR6/6橙〜10YR6/3にぶい黄橙	口縁部外傾する	(外)撫で (内)撫で

第47表　遺物観察表(19)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
5号溝跡	坏	10.2	胎;雲母・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		4.4	焼;良好	縁部僅かに外反する	
第104図－34	土師	—	色;(外)5YR4/6 赤褐～N2/黒		(内)撫で
		1/2	(内)5YR5/4 にぶい赤褐		
5号溝跡	坏	13.2	胎;雲母・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		6.0	焼;良好	縁部僅かに外反する	
第104図－35	土師	—	色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙		(内)撫で
		口縁部1/2	(内)7.5YR7/6 橙		
5号溝跡	坏	11.0	胎;粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		5.8	焼;良好	縁部外反する	
第105図－36	土師	—	色;(外)5YR5/1 褐灰～6/4 にぶい橙		(内)撫で
		ほぼ完存	(内)5YR5/1 褐灰～6/4 にぶい橙		
5号溝跡	坏	16.4	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		6.0	焼;良好	縁部外反する	
第105図－37	土師	—	色;(外)7.5YR6/3 にぶい褐		(内)撫で
		1/4	(内)7.5YR6/3 にぶい褐		
5号溝跡	坏	14.4	胎;粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		4.3	焼;良好	縁部外反する	
第105図－38	土師	—	色;(外)2.5Y7/3 浅黄		(内)撫で
		1/2	(内)10YR4/3 にぶい黄褐		
5号溝跡	坏	16.0	胎;雲母・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		4.2	焼;良好	縁部外反する	
第105図－39	土師	—	色;(外)7.5YR7/6 橙～N3/暗灰	口唇部面取りを施す	(内)撫で
		口縁部1/4	(内)5YR7/6 橙		
5号溝跡	坏	16.4	胎;粗砂粒含む	口縁部外反する	(外)撫で
		5.3	焼;良好		
第105図－40	土師	—	色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙		(内)撫で
		口縁部1/4	(内)10YR7/3 にぶい黄橙		
5号溝跡	坏	13.8	胎;粗砂粒含む	口縁部外反する	(外)撫で
		5.0	焼;良好		
第105図－41	土師	—	色;(外)7.5YR8/6 浅黄橙		(内)撫で
		口縁部1/4	(内)7.5YR8/6 浅黄橙～10YR7/3 にぶい黄橙		
5号溝跡	坏	12.0	胎;粗砂粒含む	口縁部外反する	(外)撫で
		3.8	焼;良好		
第105図－42	土師	—	色;(外)10YR7/4 にぶい黄橙～6/3 にぶい黄橙		(内)撫で
		口縁部1/5	(内)7.5YR6/6 橙		
5号溝跡	坏	14.6	胎;粗砂粒含む	口縁部外反する	(外)撫で
		3.5	焼;良好		
第105図－43	土師	—	色;(外)10YR5/2 灰黄褐～5/6 黄褐		(内)撫で
		口縁部1/3	(内)10YR4/1 褐灰		
5号溝跡	坏	13.0	胎;雲母・粗砂粒含む	口縁部短く外反する	(外)撫で
		5.2	焼;良好		
第105図－44	土師	—	色;(外)2.5Y7/2 灰黄		(内)撫で
		口縁部1/2	(内)2.5Y7/2 灰黄		
5号溝跡	坏	12.0	胎;粗砂粒含む	口縁部短く外反する	(外)撫で
		5.0	焼;良好		
第105図－45	土師	—	色;(外)10YR7/4 にぶい黄橙		(内)撫で
		口縁部1/5	(内)10YR4/6 褐		
5号溝跡	坏	14.0	胎;雲母・粗砂粒含む	体部上位に稜を持ち、口	(外)撫で
		4.7	焼;良好	縁部僅かに外反する	
第105図－46	土師	—	色;(外)7.5YR8/2 灰白～5/1 褐灰		(内)撫で
		口縁部1/5	(内)10YR8/2 灰白		
5号溝跡	坏	14.0	胎;石英・雲母・細砂粒含む	体部上位に稜を持ち、口	(外)撫で
		5.3	焼;良好	縁部僅かに外反する	
第105図－47	土師	—	色;(外)5YR7/3 にぶい橙		(内)撫で
		口縁部1/5	(内)5YR7/3 にぶい橙		
5号溝跡	坏	11.2	胎;粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、体	(外)撫で
		4.7	焼;良好	部下位に稜を持ち、口縁	
第105図－48	土師	—	色;(外)7.5YR8/4 浅黄橙～2.5Y7/1 灰白	部開く	(内)撫で
		1/5	(内)7.5YR8/4 浅黄橙		

第48表　遺物観察表(20)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
5号溝跡 第105図－49	坏 土師	14.4 5.2 — 完存	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/6橙～2.5YR5/6明赤褐 (内)5YR6/6橙	丸底より外傾して立ち上がり、体部下位に稜を持ち、口縁部開く	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第105図－50	坏 土師	15.6 3.0 — 1/6	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/4にぶい橙 (内)7.5YR7/4にぶい橙	浅い丸底より外傾して立ち上がり、体部下位に稜を持ち、口縁部開く	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第105図－51	坏 土師	17.4 3.3 — 1/3	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/6橙～N4/灰 (内)7.5YR6/6橙	浅い丸底より外傾して立ち上がり、体部下位に稜を持ち、口縁部開く	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第106図－52	坏 土師	18.8 3.4 — 口縁部1/9	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR5/2灰褐 (内)7.5YR5/2灰褐	体部下位に稜を持ち、口縁部開く	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第106図－53	坏 土師	15.6 3.9 — 口縁部1/5	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/6橙～N4/灰 (内)5YR7/6橙	体部下位に稜を持ち、口縁部開く	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第106図－54	坏 土師	17.0 3.2 — 口縁部1/9	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/6橙 (内)7.5YR7/4にぶい橙	体部下位に稜を持ち、口縁部開く	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第106図－55	坏 土師	15.2 4.8 — 口縁部1/4	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR7/6橙～N4/灰 (内)2.5YR7/4淡赤橙	体部下位に稜を持ち、口縁部開く	(外)撫で (内)箆磨き後撫で
5号溝跡 第106図－56	坏 土師	16.6 3.2 — 口縁部1/3	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/6橙～N4/灰 (内)5YR7/8橙	体部下位に稜を持ち、口縁部開く	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第106図－57	坏 土師	11.6 2.7 — 口縁部1/5	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR6/4にぶい黄橙 (内)10YR7/3にぶい黄橙～N5/灰	体部下位に稜を持ち、口縁部開く	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第106図－58	鉢 土師	14.0 10.9 5.7 1/2	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/4にぶい橙～10YR4/1褐灰 (内)7.5YR6/4にぶい橙～10YR4/1褐灰	平底より内弯して立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で　箆による押え
5号溝跡 第106図－59	鉢 土師	12.0 8.8 — 口縁部体部1/3	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR6/8橙～10YR7/2にぶい黄橙 (内)10YR7/2にぶい黄橙	体部中位で張りを持ち、口縁部短く外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第106図－60	鉢 土師	10.8 9.1 — 口縁部1/3	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR4/4褐～10YR7/3にぶい黄橙 (内)7.5YR4/4褐	口縁部内弯する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第106図－61	鉢 土師	— 8.5 6.0 1/3	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR4/3にぶい黄褐～5/1褐灰 (内)N4/灰	平底より内弯して立ち上がり、口縁部僅かに外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第107図－62	甕 土師	20.5 31.4 7.4 2/3	胎;微砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/4浅黄橙～N3/暗灰 (内)7.5YR8/3浅黄橙	上げ底気味の底部より立ち上がり、胴部球状を呈し、口縁部「コ」状に外反する　粘土帯積み上げ	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第107図－63	甕 土師	19.4 18.9 — 口縁部1/2	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/6橙 (内)5YR7/4にぶい橙	口縁部「コ」状に外反する	(外)撫で (内)刷毛調整

第49表　遺物観察表(21)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
5号溝跡 第107図－64	甕 土師	18.0 7.8 － 口縁部2/3	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR8/2灰白 (内)10YR8/2灰白～N3/暗灰	口縁部「コ」状に外反する 口唇部面取りを施す	(外)撫で (内)刷毛調整後撫で
5号溝跡 第107図－65	甕 土師	15.6 7.7 － 口縁部1/2	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/6橙～10R3/2暗赤褐 (内)10YR4/1褐灰	口縁部「コ」状に外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第108図－66	甕 土師	17.6 6.0 － 口縁部1/6	胎;石英・雲母・微砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/4にぶい黄橙 (内)10YR6/1褐灰	口縁部「コ」状に外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第108図－67	甕 土師	17.2 6.4 － 口縁部1/2	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/3浅黄橙～5Y7/1灰白 (内)5Y7/1灰白	口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第108図－68	甕 土師	15.2 4.3 － 口縁部1/5	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/4にぶい黄橙 (内)10YR7/4にぶい黄橙	口縁部外反する 口唇部面取りを施す	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第108図－69	甕 土師	23.7 32.8 5.0 3/4	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR5/8赤～7.5YR7/4にぶい橙 (内)7.5YR7/4にぶい橙	平底より立ち上がり、胴部上位で張りを持ち、口縁部「く」状に外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第108図－70	甕 土師	23.4 14.0 － 口縁部胴部1/3	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/4にぶい橙 (内)10YR7/3にぶい黄橙～N3/灰	口縁部「く」状に外反する 粘土帯積上げ	(外)撫で (内)刷毛調整
5号溝跡 第109図－71	甕 土師	19.3 6.5 － 口縁部1/3	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR4/4にぶい赤褐 (内)7.5YR3/1黒褐	口縁部「く」状に外反する	(外)横位の撫で (内)横位の撫で
5号溝跡 第109図－72	甕 土師	17.4 6.0 － 口縁部1/3	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/6橙 (内)5YR6/6橙	口縁部「く」状に外反する 丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)横位の撫で (内)撫で
5号溝跡 第109図－73	甕 土師	16.8 5.9 － 口縁部3/4	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR4/4にぶい赤褐～3/2暗赤褐 (内)5YR4/4にぶい赤褐～3/2暗赤褐	口縁部「く」状に外反する	(外)刷毛調整後撫で (内)刷毛調整後撫で
5号溝跡 第109図－74	甕 土師	18.2 5.0 － 口縁部1/4	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR5/6明褐 (内)5YR6/6橙	口縁部「く」状に外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第109図－75	甕 土師	16.8 5.0 － 口縁部1/3	胎;石英・雲母・細砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR5/4にぶい褐 (内)7.5YR5/4にぶい褐	口縁部「く」状に外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第109図－76	甕 土師	15.6 4.8 － 口縁部1/5	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/6橙 (内)5YR5/6明赤褐～4/1褐灰	口縁部「く」状に外反する	(外)刷毛調整後撫で (内)刷毛調整
5号溝跡 第109図－77	甕 土師	25.2 11.1 － 口縁部1/6	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR8/4淡橙～7.5YR6/1褐灰 (内)2.5Y5/1黄灰	口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第109図－78	甕 土師	19.0 7.3 － 口縁部1/3	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/6橙 (内)5YR4/6赤褐	口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で

第50表　遺物観察表(22)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
5号溝跡	甕	24.6	胎;粗砂粒含む	口縁部外反する	(外)刷毛調整後撫で
		9.5	焼;良好		
第109図−79	土師	−	色;(外)7.5YR4/6 褐		(内)刷毛調整後撫で
		口縁部 1/6	(内)7.5YR5/6 明褐		
5号溝跡	甕	25.4	胎;雲母・礫・粗砂粒含む	口縁部外反する	(外)撫で
		6.7	焼;良好		
第110図−80	土師	−	色;(外)7.5YR4/2 灰褐〜5/4 にぶい褐		(内)撫で
		口縁部 1/5	(内)7.5YR5/4 にぶい褐〜N5/灰		
5号溝跡	甕	27.2	胎;粗砂粒含む	口縁部外反する	(外)撫で
		5.0	焼;良好		
第110図−81	土師	−	色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙		(内)撫で
		口縁部 1/4	(内)7.5YR7/4 にぶい橙〜N5/灰		
5号溝跡	甕	19.2	胎;雲母・粗砂粒含む	口縁部外反する	(外)撫で
		4.7	焼;良好		
第110図−82	土師	−	色;(外)7.5YR5/4 にぶい褐		(内)撫で
		口縁部 1/4	(内)7.5YR7/4 にぶい橙〜N5/灰		
5号溝跡	甕	15.2	胎;粗砂粒含む	口縁部外反する	(外)撫で
		4.9	焼;良好		
第110図−83	土師	−	色;(外)5YR6/6 橙		(内)撫で
		口縁部 1/3	(内)5YR6/6 橙		
5号溝跡	甕	16.4	胎;粗砂粒含む	平底より立ち上がり、胴部砲弾状を呈し、口縁部外反する	(外)口縁部横位の箆削り後撫で
		29.3	焼;良好		
第110図−84	土師	7.7	色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙〜4/3 橙		(内)撫で
		1/2	(内)7.5YR7/4 にぶい橙		
5号溝跡	甕	16.8	胎;雲母・粗砂粒含む	口縁部外反する 粘土帯積上げ	(外)刷毛調整
		19.0	焼;良好		
第110図−85	土師	−	色;(外)7.5YR3/2 黒褐〜5/4 にぶい褐		(内)刷毛調整
		口縁部胴部 1/3	(内)5YR6/8 橙		
5号溝跡	甕	17.8	胎;雲母・粗砂粒含む	口縁部外反する	(外)刷毛調整
		9.0	焼;良好		
第110図−86	土師	−	色;(外)5YR5/6 明赤褐		(内)撫で
		口縁部 1/2	(内)5YR5/6 明赤褐		
5号溝跡	甕	17.4	胎;石英・雲母・細砂粒含む	口縁部外反する	(外)撫で
		17.2	焼;良好		
第111図−87	土師	−	色;(外)5YR6/6 橙		(内)撫で
		1/2	(内)5YR5/6 明赤褐		
5号溝跡	甕	24.8	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	口縁部外反する 口唇部面取りを施す	(外)撫で
		18.0	焼;良好		
第111図−88	土師	−	色;(外)7.5YR6/2 灰褐〜2/1 黒		(内)撫で
		口縁部 1/3	(内)7.5YR6/2 灰褐		
5号溝跡	甕	10.2	胎;石英・雲母・細砂粒含む	平底より内弯して立ち上がり、口縁部外反する	(外)撫で
		13.2	焼;良好		
第111図−89	土師	6.4	色;(外)7.5YR7/3 にぶい橙		(内)撫で
		2/3	(内)7.5YR7/4 にぶい橙		
5号溝跡	甕	12.8	胎;粗砂粒含む	口縁部外反する	(外)撫で
		9.0	焼;良好		
第111図−90	土師	−	色;(外)5YR3/6 暗赤褐		(内)撫で
		口縁部 1/2	(内)5YR2/1 黒褐		
5号溝跡	甕	13.2	胎;粗砂粒含む	口縁部外反する	(外)撫で
		6.2	焼;良好		
第111図−91	土師	−	色;(外)7.5YR6/4 にぶい橙		(内)撫で
		口縁部 3/4	(内)7.5YR6/4 にぶい橙		
5号溝跡	甕	13.8	胎;石英・粗砂粒含む	口縁部外反する	(外)撫で
		8.8	焼;良好		
第111図−92	土師	−	色;(外)7.5YR6/4 にぶい橙〜2.5YR5/6 明赤褐		(内)撫で
		口縁部 1/2	(内)10YR5/2 灰黄褐		
5号溝跡	甕	14.0	胎;雲母・粗砂粒含む	口縁部外反する	(外)撫で
		6.7	焼;良好		
第111図−93	土師	−	色;(外)7.5YR7/6 橙		(内)撫で
		口縁部 1/2	(内)7.5YR7/4 にぶい橙		

第51表　遺物観察表(23)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
5号溝跡	甕	17.0	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	口縁部受口状を呈する	(外)撫で
		6.9	焼;良好		
第111図－94	土師	－	色;(外)5YR5/6 明赤褐～N2/黒		(内)撫で
		口縁部1/2	(内)5YR5/4 にぶい赤褐		
5号溝跡	甕	－	胎;粗砂粒含む	平底より立ち上がり、胴部球状を呈する	(外)撫で
		12.5	焼;良好		
第111図－95	土師	4.8	色;(外)2.5YR7/6 橙～N2/黒		(内)撫で
		底部2/3	(内)5YR7/6 橙		
5号溝跡	甕	－	胎;粗砂粒含む	平底より内弯して立ち上がる	(外)撫で
		12.7	焼;良好		
第112図－96	土師	4.5	色;(外)10YR8/2 灰白～N3/暗灰		(内)刷毛調整
		底部胴部1/2	(内)10YR8/2 灰白～N3/暗灰		
5号溝跡	甕	－	胎;石英・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		4.1	焼;良好		
第112図－97	土師	9.3	色;(外)7.5YR7/6 橙		(内)撫で
		底部3/4	(内)7.5YR8/4 浅黄橙		
5号溝跡	甕	－	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		4.6	焼;良好		
第112図－98	土師	9.0	色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙～2/1 黒		(内)撫で
		底部のみ	(内)7.5YR5/1 褐灰		
5号溝跡	甕	－	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	上げ底気味の底部	(外)撫で
		3.0	焼;良好		
第112図－99	土師	7.0	色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙～4/1 褐灰		(内)撫で
		底部2/3	(内)10YR8/3 浅黄橙		
5号溝跡	甕	－	胎;雲母・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		3.2	焼;良好		
第112図－100	土師	9.4	色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙～N4/灰		(内)撫で
		底部1/2	(内)10YR7/3 にぶい黄橙～N4/灰		
5号溝跡	甕	－	胎;粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		2.1	焼;良好		
第112図－101	土師	6.8	色;(外)2.5YR6/8 橙～10YR3/1 黒褐		(内)撫で
		底部のみ	(内)10YR3/1 黒褐		
5号溝跡	甕	－	胎;粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		1.8	焼;良好		
第112図－102	土師	6.4	色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙		(内)撫で
		底部のみ	(内)N3/暗灰		
5号溝跡	甕	－	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		5.0	焼;良好		
第112図－103	土師	6.8	色;(外)7.5YR4/1 褐灰		(内)撫で
		底部1/2	(内)7.5YR7/3 にぶい橙		
5号溝跡	甕	－	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	平底	(外)刷毛調整
		5.9	焼;良好		
第112図－104	土師	6.8	色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙		(内)刷毛調整
		底部のみ	(内)7.5YR6/6 橙		
5号溝跡	甕	－	胎;粗砂粒含む	平底	(外)箆削り
		6.2	焼;良好		
第112図－105	土師	5.6	色;(外)5YR6/6 橙～N2/黒		(内)撫で
		底部のみ	(内)5YR5/6 明赤褐		
5号溝跡	甕	－	胎;雲母・礫・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		7.0	焼;良好		
第112図－106	土師	6.1	色;(外)5YR6/4 にぶい橙～6/6 橙		(内)撫で
		底部のみ	(内)N3/暗灰		
5号溝跡	甕	－	胎;雲母・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		6.1	焼;良好		
第112図－107	土師	6.3	色;(外)5YR6/8 橙～7/8 橙		(内)刷毛調整
		底部のみ	(内)5YR6/6 橙		
5号溝跡	甕	－	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		5.1	焼;良好		
第112図－108	土師	5.6	色;(外)5YR6/6 橙		(内)撫で
		底部のみ	(内)5YR2/1 黒褐		

第52表　遺物観察表(24)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
5号溝跡 第113図－ 109	甕 土師	－ 3.2 6.0 底部のみ	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR5/8 明赤褐 (内)10YR7/2 にぶい黄橙	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第113図－ 110	甕 土師	－ 4.1 6.6 底部のみ	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR5/8 明赤褐～7.5YR3/1 黒褐 (内)7.5YR6/4 にぶい橙	平底	(外)箆削り (内)撫で
5号溝跡 第113図－ 111	甕 土師	－ 3.8 5.0 底部のみ	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR4/8 赤褐～3/1 暗赤灰 (内)7.5YR3/3 暗褐	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第113図－ 112	甕 土師	－ 6.5 5.7 底部のみ	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/6 橙～N3/暗灰 (内)5YR6/8 橙	平底	(外)箆削り (内)撫で
5号溝跡 第113図－ 113	甕 土師	－ 4.3 6.6 底部のみ	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR4/4 にぶい赤褐～N2/黒 (内)2.5YR4/6 赤褐	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第113図－ 114	甕 土師	－ 3.3 6.4 底部のみ	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙 (内)7.5YR8/4 浅黄橙	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第113図－ 115	甕 土師	－ 3.3 5.8 底部のみ	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/4 にぶい橙 (内)7.5YR6/4 にぶい橙	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第113図－ 116	甕 土師	－ 2.9 5.9 底部のみ	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR5/4 にぶい褐～N3/暗灰 (内)10YR4/2 灰黄褐	平底	(外)箆削り (内)撫で
5号溝跡 第113図－ 117	甕 土師	－ 2.7 5.0 底部のみ	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/6 橙 (内)10YR7/2 にぶい黄橙	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第113図－ 118	甕 土師	－ 2.4 5.5 底部のみ	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR4/6 赤褐～N3/暗灰 (内)5YR4/6 赤褐	平底	(外)撫で (内)箆による押え
5号溝跡 第113図－ 119	甕 土師	－ 2.7 7.0 底部のみ	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/6 橙 (内)5YR4/1 褐灰	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第113図－ 120	甕 土師	－ 3.5 5.8 底部3/4	胎;雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR5/6 明赤褐～N3/暗灰 (内)5YR5/6 明赤褐	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第113図－ 121	甕 土師	－ 3.1 6.1 底部3/4	胎;雲母・微砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/3 にぶい褐 (内)7.5YR7/3 にぶい橙～N3/暗灰	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第113図－ 122	甕 土師	－ 2.9 5.5 底部のみ	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR5/8 明赤褐 (内)2.5YR6/8 橙	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第113図－ 123	甕 土師	－ 2.8 5.8 底部のみ	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/4 にぶい黄橙～N4/灰 (内)N4/灰	平底	(外)箆削り (内)刷毛調整

第53表　遺物観察表(25)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
5号溝跡 第113図— 124	甕 土師	— 2.5 5.0 底部のみ	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/3 にぶい褐 (内)7.5YR6/3 にぶい褐	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第113図— 125	甕 土師	— 2.6 5.6 底部のみ	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙～4/1 褐灰 (内)7.5YR3/1 黒褐	平底	(外)撫で (内)篦による押え
5号溝跡 第113図— 126	甕 土師	— 2.5 6.6 底部のみ	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR4/4 にぶい赤褐 (内)5YR5/4 にぶい赤褐	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第113図— 127	甕 土師	— 2.5 5.6 底部のみ	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR4/8 赤褐～7.5YR4/1 褐灰 (内)10YR6/1 褐灰	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第113図— 128	甕 土師	— 2.5 6.0 底部のみ	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/4 浅黄橙～N4/灰 (内)10YR8/4 浅黄橙	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第113図— 129	甕 土師	— 2.7 4.6 底部のみ	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR4/3 にぶい赤褐 (内)7.5YR3/1 黒褐	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第114図— 130	甕 土師	— 2.1 5.4 底部のみ	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR6/6 橙 (内)5YR3/1 黒褐	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第114図— 131	甕 土師	— 2.2 6.2 底部のみ	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR5/4 にぶい赤褐 (内)2.5YR3/1 暗赤灰	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第114図— 132	甕 土師	— 2.7 6.0 底部3/4	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR4/6 赤褐 (内)5YR4/4 にぶい赤褐	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第114図— 133	甕 土師	— 4.4 4.8 底部のみ	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/4 にぶい橙～2.5YR5/6 明赤褐 (内)10YR5/1 褐灰	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第114図— 134	甕 土師	— 3.0 5.4 底部のみ	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR4/6 赤褐 (内)5YR4/2 灰褐	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第114図— 135	甕 土師	— 3.5 4.3 底部のみ	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/3 にぶい橙 (内)7.5YR7/3 黒褐～3/1 黒褐	平底	(外)撫で (内)篦による押え
5号溝跡 第114図— 136	甕 土師	— 2.8 5.3 底部のみ	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR4/6 赤褐 (内)5YR7/6 橙	上げ底気味の底部	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第114図— 137	甑 土師	25.5 22.5 11.5 ほぼ完存	胎;石英・細砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙 (内)10YR5/1 褐灰	底部より内弯して立ち上がり、口縁部外反する。体部に1対の把手を有する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第114図— 138	甑 土師	22.0 22.8 5.8 3/4	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR5/6 明赤褐～N2/黒 (内)2.5YR6/8 橙～N4/灰	底部より内弯して立ち上がり、口縁部外反する	(外)刷毛調整 (内)刷毛調整

第54表　遺物観察表(26)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
5号溝跡 第115図－ 139	甑 土師	25.3 22.5 7.6 3/4	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/6 浅黄橙～N3/暗灰 (内)7.5YR8/6 浅黄橙	底部より外傾して立ち上がり、口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第115図－ 140	甑? 土師	23.4 6.3 － 口縁部1/6	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/4 浅黄橙 (内)7.5YR8/4 浅黄橙	口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第115図－ 141	甑 土師	－ 21.2 8.2 体部底部1/3	胎;微砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y7/2 灰黄～N2/黒 (内)10YR5/2 灰黄褐	底部より内弯して立ち上がる	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第115図－ 142	甑 土師	－ 19.3 7.8 体部底部1/4	胎;微砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y7/2 灰黄～N2/黒 (内)2.5Y7/2 灰黄	底部より外傾して立ち上がる	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第115図－ 143	甑 土師	－ 5.3 3.6 底部のみ	胎;石英・雲母・細砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/3 浅黄橙～3/1 黒褐 (内)10YR8/3 浅黄橙	底部に1孔を有する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第115図－ 144	甑 土師	－ 4.5 4.1 底部1/2	胎;微砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/4 にぶい橙 (内)7.5YR5/8 明褐	底部に1孔を有する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第115図－ 145	甑 土師	－ 4.1 1.3 底部のみ	胎;石英・雲母・細砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR5/4 にぶい赤褐～2/1 黒褐 (内)10YR5/2 灰黄褐	底部に1孔を有する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第116図－ 146	高坏 土師	－ 5.3 11.2 脚部のみ	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/6 橙～2.5YR6/6 橙 (内)7.5YR7/4 にぶい橙	脚部は緩く外反する。 裾部面取りを施す	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第116図－ 147	高坏 土師	－ 4.9 10.6 脚部のみ	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/6 浅黄橙 (内)5YR7/6 橙	脚部外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第116図－ 148	高坏 土師	－ 7.5 12.5 脚部2/3	胎;雲母・細砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/2 灰白 (内)7.5YR8/2 灰白	脚部外反する 粘土帯積上げ	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第116図－ 149	高坏 土師	－ 3.9 13.4 脚部1/5	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/6 橙 (内)2.5YR7/6 橙～N5/灰	脚部外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第116図－ 150	高坏 土師	－ 2.3 7.0 脚部のみ	胎;雲母・微砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR5/6 明赤褐 (内)5YR5/6 明赤褐	脚部大きく開く 裾部面取りを施す	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第116図－ 151	坏 土師	12.8 4.9 － 1/2	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/4 にぶい橙～10YR7/2 にぶい黄橙 (内)黒	丸底より立ち上がり、口縁部開く	(外)撫で (内)黒色処理
5号溝跡 第116図－ 152	坏 土師	13.6 5.2 － 口縁部1/2	胎;雲母・細砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙 (内)黒	口縁部開く	(外)撫で (内)黒色処理
5号溝跡 第116図－ 153	坏 土師	15.6 5.1 － 1/2	胎;石英・雲母・細砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙～3/1 黒褐 (内)黒	丸底より立ち上がり、口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)黒色処理

第55表　遺物観察表(27)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
5号溝跡	坏	16.5	胎;粗砂粒含む	丸底より外傾して立ち上がり、体部下位に稜を持ち、口縁部開く	(外)撫で
		4.1	焼;良好		
第116図－	土師	－	色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙		(内)黒色処理
154		1/3	(内)黒		
5号溝跡	坏	16.8	胎;雲母・粗砂粒含む	丸底より外傾して立ち上がり、体部下位に稜を持ち、口縁部開く	(外)撫で
		3.2	焼;良好		
第116図－	土師	－	色;(外)7.5YR7/3 にぶい橙～N3/暗灰		(内)黒色処理
155		4/5	(内)黒		
5号溝跡	坏	18.0	胎;雲母・粗砂粒含む	丸底より外傾して立ち上がり、体部下位に稜を持ち、口縁部開く	(外)撫で
		3.0	焼;良好		
第116図－	土師	－	色;(外)5YR6/6 橙～N3/暗灰		(内)黒色処理
156		1/3	(内)黒		
5号溝跡	坏	16.5	胎;粗砂粒含む	体部下位に稜を持ち、口縁部開く	(外)撫で
		3.1	焼;良好		
第116図－	土師	－	色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙～N3/暗灰		(内)黒色処理
157		口縁部1/5	(内)黒		
5号溝跡	有段 壺	－	胎;雲母・粗砂粒含む	口縁部屈曲外反する	(外)撫で
		4.8	焼;良好		
第116図－		－	色;(外)10YR8/3 浅黄橙		(内)黒色処理
158	土師	口縁部一部	(内)黒		
5号溝跡	高坏	－	胎;粗砂粒含む	脚部外反する	(外)撫で
		9.1	焼;良好		
第116図－	土師	－	色;(外)5YR7/4 にぶい橙		(内)坏部黒色処理
159		脚部一部	(内)坏部 黒　脚部 5YR7/4 にぶい橙		
5号溝跡	高坏	－	胎;雲母・礫・粗砂粒含む	脚部外反する	(外)箆磨き
		7.7	焼;良好		
第116図－	土師	－	色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙～N3/暗灰		(内)坏部黒色処理
160		脚部一部	(内)黒		
5号溝跡	高坏	－	胎;雲母・粗砂粒含む	脚部ラッパ状に開く	(外)撫で
		5.9	焼;良好		
第117図－	土師	10.7	色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙		(内)坏部黒色処理
161		脚部のみ	(内)坏部 黒　脚部 5YR6/6 橙		
5号溝跡	高坏	－	胎;粗砂粒含む	接合部	(外)撫で
		4.2	焼;良好		
第117図－	土師	－	色;(外)5YR7/6 橙		(内)坏部黒色処理
162		接合部のみ	(内)坏部 黒　脚部 5YR7/6 橙		
5号溝跡	高坏	－	胎;粗砂粒含む	坏部下位に稜を有する	(外)撫で
		5.5	焼;良好		
第117図－	土師	－	色;(外)10YR5/6 黄褐		(内)坏部黒色処理
163		接合部のみ	(内)黒		
5号溝跡	ミニチュア	10.8	胎;粗砂粒含む	手捏ね	(外)撫で
		6.5	焼;良好		
第117図－	土師	－	色;(外)5YR5/6 明赤褐～N2/黒		(内)撫で
164		1/4	(内)5YR5/6 明赤褐～N2/黒		
5号溝跡	ミニチュア	10.8	胎;粗砂粒含む	手捏ね	(外)撫で
		4.6	焼;良好		
第117図－	土師	－	色;(外)5YR4/4 にぶい赤褐～3/1 黒褐		(内)撫で
165		1/4	(内)5YR4/4 にぶい赤褐		
5号溝跡	ミニチュア	5.2	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	手捏ね	(外)撫で
		4.1	焼;良好		
第117図－	土師	2.6	色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙～N2/黒		(内)撫で
166		完存	(内)7.5YR7/4 にぶい橙		
5号溝跡	ミニチュア	3.3	胎;微砂粒含む	手捏ね	(外)撫で
		0.4	焼;良好		
第117図－	土師	－	色;(外)5YR7/4 にぶい橙～10YR8/1 灰白		(内)撫で
167		完存	(内)10YR8/1 灰白		
5号溝跡	ミニチュア	3.2	胎;微砂粒含む	手捏ね	(外)撫で
		2.9	焼;良好		
第117図－	土師	2.3	色;(外)5YR7/4 にぶい橙～10YR8/1 灰白		(内)撫で
168		完存	(内)10YR8/1 灰白		

第56表　遺物観察表(28)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
5号溝跡	ミニチュア	5.9 2.7	胎;粗砂粒含む 焼;良好	手捏ね	(外)撫で
第117図－169	土師	－ 1/4	色;(外)2.5YR7/8 橙～5Y6/1 灰 (内)2.5YR6/8 橙		(内)撫で
5号溝跡	ミニチュア	7.8 2.4	胎;粗砂粒含む 焼;良好	手捏ね	(外)撫で
第117図－170	土師	6.4 1/5	色;(外)5YR6/6 橙 (内)5YR6/6 橙		(内)撫で
5号溝跡	ミニチュア	－ 4.5	胎;石英・雲母・細砂粒含む 焼;良好	手捏ね	(外)撫で
第117図－171	土師	3.0 底部のみ	色;(外)10YR8/3 浅黄橙 (内)10YR7/3 にぶい黄橙		(内)撫で
5号溝跡	ミニチュア	－ 6.0	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好	手捏ね	(外)撫で
第117図－172	土師	4.8 底部のみ	色;(外)7.5YR6/3 にぶい褐～5/1 褐灰 (内)7.5YR5/1 褐灰		(内)撫で
5号溝跡	坏	11.0 4.5	胎;白色砂粒含む 焼;良好	丸底より立ち上がり、受部は内に伸び、口唇部外反する 底部回転篦切り	(外)轆轤による撫で 底部に篦記号を有す
第117図－173	須恵	－ ほぼ完存	色;(外)N6/灰 (内)N6/灰		(内)轆轤による撫で
5号溝跡	坏	－ 4.1	胎;石英・雲母・細砂粒含む 焼;不良	丸底より立ち上がり、口縁部外反する 底部回転篦切り	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
第117図－174	須恵	－ 底部のみ	色;(外)10YR7/1 灰白 (内)10YR7/2 にぶい黄橙		
5号溝跡	長頸壺	－ 7.8	胎;石英・雲母・細砂粒含む 焼;不良	平底より内弯して立ち上がる	(外)轆轤による撫で
第117図－175	須恵	5.0 胴部1/2	色;(外)N5/灰～7.5YR7/4 にぶい橙 (内)N5/灰～7.5YR7/4 にぶい橙		(内)轆轤による撫で
5号溝跡	甕	10.9 11.2	胎;白色砂粒含む 焼;良好	丸底より立ち上がり、胴部球状を呈し、口縁部に稜を有し、外反する。 胴部に1孔を有する	(外)轆轤による撫で 沈線・波状文を施す
第117図－176	須恵	－ 4/5	色;(外)5YR5/3 にぶい赤褐～N5/灰 (内)5YR5/3 にぶい赤褐～2.5YR4/6 赤褐		(内)轆轤による撫で
6号溝跡	坏	11.8 4.0	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好	丸底より立ち上がり、口縁部開く	(外)撫で
第118図－1	土師	－ 1/2	色;(外)5YR7/6 橙～7/3 にぶい橙 (内)5YR7/6 橙		(内)撫で
6号溝跡	坏	13.8 5.0	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)撫で
第118図－2	土師	－ 1/2	色;(外)2.5Y7/2 灰黄～6/1 黄灰 (内)2.5Y6/1 黄灰		(内)撫で
6号溝跡	坏	14.4 4.5	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好	体部中位に稜を持ち、口縁部開く	(外)撫で
第118図－3	土師	－ 口縁部一部	色;(外)5YR6/6 橙 (内)5YR7/4 にぶい橙～6/6 橙		(内)撫で
6号溝跡	坏	18.2 2.5	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好	平底より外傾して立ち上がり、体部下位に稜を持ち、口縁部大きく開く	(外)刷毛調整後撫で
第118図－4	土師	9.0 1/4	色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙～6/8 にぶい黄橙 (内)2.5YR7/6 橙		(内)撫で
6号溝跡	甕	21.2 47.0	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好	平底より外傾して立ち上がり、胴部下位に張りを持ち、口縁部「コ」状を呈する	(外)刷毛調整
第118図－5	土師	7.5 2/3	色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙～N2/黒 (内)N6/灰～3/暗灰		(内)刷毛調整
6号溝跡	甕	19.2 18.4	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好	口縁部「コ」状を呈する。 口唇部面取りを施す	(外)刷毛調整後撫で
第119図－6	土師	－ 口縁3/4 胴部1/3	色;(外)10YR7/4 にぶい黄橙 (内)10YR7/4 にぶい黄橙		(内)撫で
6号溝跡	甕	18.2 13.4	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好	口縁部「コ」状を呈する 口唇部面取りを施す	(外)撫で
第119図－7	土師	－ 口縁完胴部一部	色;(外)7.5Y5/1 灰～3/1 オリーブ黒 (内)7.5Y6/1 灰	粘土帯積上げ	(内)撫で

第57表　遺物観察表(29)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
6号溝跡	甕	19.0	胎;礫・細砂粒含む	口縁部外反する。	(外)刷毛調整
		6.0	焼;良好	口唇部面取りを施す	
第119図－8	土師	－	色;(外)10YR8/2灰白		(内)刷毛調整後撫で
		口縁部1/4	(内)10YR7/2にぶい黄橙～N3/暗灰		
6号溝跡	甕	20.0	胎;石英・礫・細砂粒含む	口縁部外反する。	(外)撫で
		7.0	焼;良好	粘土帯積上げ	
第119図－9	土師	－	色;(外)7.5YR7/6橙	口唇部面取りを施す	(内)撫で
		口縁部1/4	(内)7.5YR7/4橙		
6号溝跡	甕	15.6	胎;石英・礫・粗砂粒含む	口縁部外反する	(外)撫で
		20.0	焼;良好		
第119図－10	土師	－	色;(外)7.5YR7/4にぶい橙～N3/暗灰		(内)撫で
		口縁完胴部1/2	(内)N3/暗灰		
6号溝跡	甕	11.0	胎;礫・粗砂粒含む	平底より立ち上がり、口縁部外反する	(外)撫で
		8.8	焼;良好		
第120図－11	土師	4.2	色;(外)5YR6/6橙		(内)撫で
		3/4	(内)5YR6/6橙		
6号溝跡	甕	－	胎;礫・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		3.8	焼;良好		
第120図－12	土師	7.4	色;(外)2.5Y7/1灰白～N3/暗灰		(内)刷毛調整
		底部一部	(内)黒		
6号溝跡	甕	－	胎;石英・礫・粗砂粒含む	平底より外傾して立ち上がる	(外)撫で
		10.5	焼;良好		
第120図－13	土師	5.6	色;(外)5YR6/6橙～N3/暗灰		(内)撫で
		胴部1/4底部完	(内)N3/暗灰		
6号溝跡	甕	－	胎;石英・礫・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		4.2	焼;良好		
第120図－14	土師	7.4	色;(外)N3/暗灰		(内)撫で
		底部のみ	(内)5Y6/1灰		
6号溝跡	甕	－	胎;礫・粗砂粒含む	平底	(外)箆削り
		3.5	焼;良好		
第120図－15	土師	7.4	色;(外)10YR7/3にぶい黄橙～N3/暗灰		(内)撫で
		底部のみ	(内)10YR7/3にぶい黄橙		
6号溝跡	甕	－	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		3.3	焼;良好		
第120図－16	土師	5.6	色;(外)5YR6/4にぶい橙～N3/暗灰		(内)撫で
		底部のみ	(内)5YR6/4にぶい橙		
6号溝跡	坩	9.5	胎;礫・粗砂粒含む	口縁部直線的に開く	(外)撫で
		7.7	焼;良好	粘土帯積上げ	
第120図－17	土師	－	色;(外)10YR7/1灰白		(内)撫で
		口縁部1/2	(内)10YR7/1灰白		
6号溝跡	坩	8.2	胎;礫・粗砂粒含む	口縁部直線的に開く	(外)撫で
		6.5	焼;良好		
第120図－18	土師	－	色;(外)2.5Y7/1灰白		(内)撫で
		口縁部1/3	(内)2.5Y7/1灰白～N3/暗灰		
6号溝跡	坩	11.6	胎;雲母・礫・粗砂粒含む	口縁部内弯する	(外)撫で
		3.4	焼;良好		
第120図－19	土師	－	色;(外)10YR7/3にぶい黄橙		(内)撫で
		口縁部1/4	(内)10YR7/3にぶい黄橙		
6号溝跡	高坏	－	胎;礫・細砂粒含む	接合部	(外)撫で
		5.4	焼;良好		
第120図－20	土師	－	色;(外)10YR7/3にぶい黄橙		(内)撫で
		接合部のみ	(内)10YR7/3にぶい黄橙		
6号溝跡	坏	19.8	胎;礫・粗砂粒含む	平底より立ち上がり、口縁部僅かに外反する	(外)撫で
		7.0	焼;良好		
第120図－21	土師	－	色;(外)7.5YR7/3にぶい橙～N3/暗灰		(内)黒色処理
		1/8	(内)黒		
6号溝跡	坏	－	胎;石英・礫・粗砂粒含む	丸底	(外)轆轤による撫で
		3.1	焼;良好	底部回転箆切り	
第120図－22	須恵	－	色;(外)N5/灰		(内)轆轤による撫で
		底部のみ	(内)N5/灰		

第58表　遺物観察表(30)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
7号溝跡	坏	15.1	胎;礫・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		5.3	焼;良好	縁部開く	
第121図−1	土師	−	色;(外)2.5YR6/6 橙〜N3/暗灰		(内)撫で
		1/3	(内)2.5YR5/6 明赤褐		
7号溝跡	坏	12.2	胎;礫・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		4.5	焼;良好	縁部僅かに内弯する	
第121図−2	土師	−	色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙〜N3/暗灰		(内)撫で
		1/2	(内)7.5YR7/4 にぶい橙		
7号溝跡	坏	17.8	胎;細砂粒含む	体部下位に稜を持ち、口	(外)撫で
		2.7	焼;良好	縁部大きく開く	
第121図−3	土師	−	色;(外)5YR4/6 赤褐〜4/1 褐灰		(内)撫で
		口縁部一部	(内)5YR6/6 橙		
7号溝跡	甕	−	胎;石英・礫・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		3.6	焼;良好		
第121図−4	土師	7.5	色;(外)7.5YR5/3 にぶい褐		(内)撫で
		底部のみ	(内)7.5YR6/3 にぶい褐		
7号溝跡	甕	−	胎;石英・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		4.7	焼;良好		
第121図−5	土師	8.4	色;(外)7.5YR6/4 にぶい橙〜5/4 にぶい褐		(内)撫で
		底部1/4	(内)7.5YR6/4 にぶい橙		
7号溝跡	甕	−	胎;石英・礫・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		3.4	焼;良好		
第121図−6	土師	7.4	色;(外)5YR4/6 赤褐		(内)撫で
		底部1/4	(内)7.5YR5/6 明褐		
7号溝跡	坏	12.8	胎;礫・細砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		4.7	焼;良好	縁部外反する	
第121図−7	土師	−	色;(外)10YR8/3 浅黄橙		(内)黒色処理
		1/4	(内)黒		
8号溝跡	甕	25.0	胎;石英・粗砂粒含む	口縁部外反する	(外)撫で
		3.3	焼;良好	口唇部面取りを施す	
第122図−1	土師	−	色;(外)5YR6/8 橙〜6/2 灰褐		(内)撫で
		口縁部一部	(内)5YR6/8 橙〜7/4 にぶい橙		
8号溝跡	甕	−	胎;石英・礫・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		3.5	焼;良好		
第122図−2	土師	4.4	色;(外)2.5YR5/6 明赤褐		(内)撫で
		底部1/2	(内)7.5YR5/2 灰褐〜6/4 にぶい橙		
8号溝跡	甕	−	胎;石英・礫・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		3.5	焼;良好		
第122図−3	土師	7.0	色;(外)5YR5/4 にぶい赤褐		(内)撫で
		底部一部	(内)5YR5/4 にぶい赤褐		
8号溝跡	甕	−	胎;礫・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		3.8	焼;良好		
第122図−4	土師	7.0	色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙		(内)撫で
		底部一部	(内)7.5YR7/4 にぶい橙		
7号土壙	坏	12.8	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		5.0	焼;良好	縁部外反する	
第123図−1	土師	−	色;(外)10YR4/2 灰黄褐		(内)撫で
		ほぼ完存	(内)10YR4/1 褐灰		
75号ピット	坏	14.8	胎;粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		4.5	焼;良好	縁部開く	
第124図−1	土師	−	色;(外)2.5Y7/4 浅黄		(内)撫で
		1/8	(内)10YR8/1 灰白		
77号ピット	甕	−	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	平底	(外)撫で
		4.0	焼;良好		
第124図−2	土師	7.5	色;(外)2.5YR4/4 にぶい赤褐		(内)撫で
		底部1/4	(内)2.5YR5/6 明赤褐		
122号ピット	甕	18.2	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	口縁部外反する	(外)撫で
		7.2	焼;良好		
第124図−3	土師	−	色;(外)5YR6/6 橙		(内)撫で
		口縁部3/8	(内)7.5YR7/4 にぶい橙		

第59表　遺物観察表(31)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
212号ピット	坏	13.0	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		5.3	焼;良好	縁部外反する	
第124図−4	土師	−	色;(外)5Y4/1 灰		(内)黒色処理
		1/4	(内)黒		
A区遺構外	坏	12.2	胎;石英・礫・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		5.3	焼;良好	縁部僅かに内弯する	
第125図−1	土師	−	色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙〜N3/暗灰		(内)撫で
		2/3	(内)10YR7/2 にぶい黄橙		
A区遺構外	坏	11.4	胎;石英・礫・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		4.8	焼;良好	縁部僅かに内弯する	
第125図−2	土師	−	色;(外)10YR7/2 にぶい黄橙		(内)撫で
		3/4	(内)7.5Y3/1 オリーブ黒		
A区遺構外	坏	13.6	胎;礫・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		5.3	焼;良好	縁部僅かに内弯する	
第125図−3	土師	−	色;(外)5YR7/4 にぶい橙〜7/1 明褐灰		(内)撫で
		1/2	(内)5YR7/4 にぶい橙〜8/2 灰白		
A区遺構外	坏	14.8	胎;礫・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		4.8	焼;良好	縁部外傾する	
第125図−4	土師	−	色;(外)2.5YR6/6 橙		(内)撫で
		1/3	(内)2.5YR6/6 橙〜7/1 明赤灰		
A区遺構外	坏	13.1	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		5.2	焼;良好	縁部僅かに外反する	
第125図−5	土師	−	色;(外)10YR5/1 褐灰		(内)撫で
		1/5	(内)10YR7/2 にぶい黄橙		
A区遺構外	甑	−	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	底部に1孔を有する	(外)撫で
		5.0	焼;良好		
第125図−6	土師	2.0	色;(外)7.5YR5/1 褐灰		(内)撫で
		底部一部	(内)7.5YR5/2 灰褐		
A区遺構外	坩	8.2	胎;礫・粗砂粒含む	口縁部直線的に開く	(外)撫で
		4.8	焼;良好		
第125図−7	土師	−	色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙		(内)撫で
		口縁部のみ	(内)7.5YR7/4 にぶい橙		
A区遺構外	坩	−	胎;礫・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、体	(外)撫で
		9.5	焼;良好	部偏平な球状を呈する	
第125図−8	土師	−	色;(外)7.5YR7/3 にぶい橙		(内)撫で
		体部3/4	(内)7.5YR7/3 にぶい橙		
A区遺構外	高坏	−	胎;礫・粗砂粒含む	脚部大きく開く	(外)撫で
		7.5	焼;良好		
第125図−9	土師	13.0	色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙〜8/2 灰白		(内)撫で
		脚部3/4	(内)7.5YR8/2 灰白		
A区遺構外	高坏	−	胎;礫・粗砂粒含む	裾部大きく開く	(外)撫で
		5.4	焼;良好		
第125図−10	土師	13.4	色;(外)7.5YR7/3 にぶい橙〜7/6 橙		(内)撫で
		脚部1/4	(内)7.5YR7/6 橙〜7/2 明褐灰		
B区遺構外	坏	11.8	胎;石英・雲母・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		6.6	焼;良好	縁部僅かに内弯する	
第126図−1	土師	−	色;(外)10YR6/3 にぶい黄橙〜N2/黒		(内)撫で
		2/3	(内)2.5YR6/3 にぶい黄〜7.5Y3/1 オリーブ黒		
B区遺構外	坏	13.8	胎;石英・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		4.6	焼;良好	縁部僅かに内弯する	
第126図−2	土師	−	色;(外)7.5YR7/4 にぶい橙〜2.5YR6/6 橙		(内)撫で
		1/2	(内)10YR7/3 にぶい黄橙〜5YR7/6 橙		
B区遺構外	坏	18.8	胎;粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外)撫で
		8.4	焼;良好	縁部僅かに外反する	
第126図−3	土師	−	色;(外)7.5YR8/3 浅黄橙〜2.5YR7/1 灰白		(内)撫で
		1/3	(内)7.5YR8/3 浅黄橙〜2.5YR7/1 灰白		

第60表　遺物観察表(32)

遺構No.	図版No.	遺物名称	色　調	法　量			
				長さ(cm)	幅　(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
5号溝跡	第127図-1	匙型土製品	7.5YR5/6明褐	17.00	6.50	0.60	182.10
5号溝跡	第127図-2	匙型土製品	7.5YR6/6橙	8.80	3.30	1.90	52.86
5号溝跡	第127図-3	不明	10YR7/3にぶい黄橙	5.90	1.10	1.10	12.83
5号溝跡	第127図-4	不明	10YR7/3にぶい黄橙	5.30	0.60	0.60	1.78

第61表　土製品観察表

遺構No.	図版No.	遺物名称	色　調	法　量			
				長さ(cm)	外径(cm)	口径(cm)	重量(g)
5号溝跡	第127図-5	羽口	7.5YR7/4にぶい橙	6.30	—	—	86.76

第62表　羽口観察表

遺構No.	図版No.	遺物名称	材　質	色　調	法　量				
					長さ(cm)	幅　(cm)	孔径(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
27号建物跡P6	第128図-1	臼玉	石墨片岩	10GY2/1緑灰	0.70	0.60	0.30	0.40	0.24
27号建物跡P6	第128図-2	臼玉	石墨片岩	7.5GY3/1暗緑灰	0.60	0.60	0.30	0.40	0.22
1号溝跡	第128図-3	管玉	石墨片岩	7.5GY6/1緑灰	1.90	0.50	0.20	0.40	0.71
1号溝跡	第128図-4	管玉	石墨片岩	10BG1.7/1青黒	2.20	0.70	0.50	0.70	2.05
5号溝跡	第128図-5	管玉	石墨片岩	10G2/1緑黒	2.50	0.50	0.30	0.40	2.04
1号溝跡	第128図-6	模造品	絹雲母片岩	7.5Y7/1灰白	3.10	2.90	0.20	0.30	3.21
2号溝跡	第128図-7	模造品	滑石	2.5Y6/1黄灰	2.90	2.10	0.20	0.40	4.18
4号溝跡	第128図-8	石鏃	珪岩	2.5GY6/1オリーブ灰	2.50	2.10	—	0.40	0.92
5号溝跡	第128図-9	石鏃	黒耀石		2.70	1.50	—	0.40	1.12
遺構外	第128図-10	石鏃	黒耀石		2.80	1.90	—	0.60	1.58

第63表　石製品観察表

第５節　小　結

今回発掘調査を実施した西之手遺跡の調査面積は、第２次調査部分とあわせると約16,000 ㎡に及んでいる。この面積は、近年の上田市の発掘調査としては、かなり大規模なものとなる。

今回の発掘調査により西之手遺跡は、古墳時代中期後半から後期前半の大規模な溝と掘立柱建物群で構成された、特異な集落遺跡であるということが明らかになった。さらに、これまで比較的開発が遅いと考えられていた染屋台において、古墳時代中期後半には、かなり大規模な開発行為があったということが実証された。これらのことは、上小地域の古墳時代のあり方を理解し、また、染屋台の開発の起源を探るうえで、今後に重要な示唆を与えるであろう。この節では、第２次調査の成果も踏まえて、今回の発掘調査により明らかになった事実と今後の課題を簡単にまとめてみたい。

まず、掘立柱建物跡についてである。今回確認された 38 棟の掘立柱建物跡を１つのまとまりとしてとらえてみると、ある一定期間このまとまりが存続し、建物が数期にわたって変遷していったと考えられる。その存続期間は、建物跡自体からの遺物の出土が微少であるためはっきりしたことはいえない。しかし、その存続期間と溝跡出土の土器の時期が一致すると考えれば、古墳時代中期後半から後期前半とみてほぼ間違いない。

この建物群の興味深い点は、側柱式建物を中心に構成されており、総柱式建物・竪穴住居が確認されなかったことである。一般的な集落は、側柱式建物・総柱式建物・竪穴住居が混在して構成されている。仮に、西之手遺跡を一般的な集落とすると、この建物群は集落の一部分ということになり、近隣地に竪穴住居群等が存在する非常に大規模な遺跡ということがいえるであろう。また、この建物群が単独で集落として存在するならば、西之手遺跡はかなり特殊な性格を持つ集落ということになるであろう。この特殊な性格が、何に起因するのかを判断することは、現時点では難しい。このことについては、類例の増加と今後の研究に期待したい。

次に、溝跡についてである。今回の発掘調査において、特に、注目されるべき溝跡は、第２・５号である。両者とも遺構全体を確認することはできなかったが、今回確認した部分だけでも非常に大規模な溝跡であることは明白である。両者あわせて、土器の出土量は、コンテナ 30 箱以上を数えた。しかし、両者における遺物の出土状況は大きく異なっている。

第２号からは、30 点以上の一括土器が出土した。その出土状況から祭祀的な性格を帯びた遺物である可能性が感じられた。第５号では、この溝の東端から約 25m部分の溝底には大小の円礫は存在するが、遺物はほとんど確認できなかった。この部分から西側については一括土器の出土はほとんど確認されなかったが、小破片の土器が大量に出土し、土

器棄て場ともいえる様相を呈していた。このことは、この部分についてのみ、土器の廃棄が行われたことを示し、興味深い。これらのことから、今回の発掘調査の範囲に限定すると、第２・５号を土器の遺棄あるいは廃棄場所として二次的に利用していることがわかる。

それでは、第２・５号の形成されたそもそもの目的は何であろうか。覆土の観察所見から考えると、両者とも機能時には水流があったものと推定できる。染屋台が自然流の乏しい乏水地域であることを考慮すると、その目的は、第一に、溝による水の確保ということが挙げられる。

さらに、もう一つの側面として、区画としての溝の可能性があるのではないだろうか。第２号は、一部分のみの確認であり、第６号との接続も推測の域を出ない。だが、第５号は、西之手遺跡第２次調査で確認された第１号溝跡とかなり高い確率で接続すると思われる。第２次調査の結果によると、第２次調査範囲付近が西之手遺跡の東側の縁辺部に相当するとの指摘がなされている。このため、第２次調査の第１号溝跡は、西之手遺跡の東端を区切る溝と考えられる。

仮に、第５号と西之手遺跡第２次調査で確認された第１号溝跡が接続するならば、第５号についても同様に区画としての機能があると考えることはできないだろうか。ただし、第５号の北側にも掘立柱建物跡が確認されているので、西之手遺跡の北端を区画する溝というよりは、集落内を何らかの目的で区画する溝なのではないだろうか。今後の調査の進展次第では、さらに、明確な事実が明らかにされるであろう。

２次にわたる発掘調査によって、西之手遺跡は、大規模な溝跡と掘立柱建物群で構成された遺跡であることが明らかになった。しかし、遺跡全体について調査が行われたわけではない。では、この遺跡のひろがりはどの程度になるのだろうか。

Ａ区は、第２号溝跡が南北にひろがる以外は、大きくひろがる可能性は少ないであろう。Ｂ区は、第２次調査範囲付近を西之手遺跡の東端とすれば、その北、南、西側に掘立柱建物群が展開するだろう。

特に、西側は桁行５間の大型の掘立柱建物跡が２棟確認された。各柱穴の平面形は、楕円形を呈し、柱自体の掘り方も明確である。このため、西之手遺跡の掘立柱建物群の中心は、Ｂ区の西側に存在すると考えられる。また、第５号溝跡をはさんで、３棟の掘立柱建物跡が確認されているので、北側にも掘立柱建物群が展開していくと思われる。これらの建物群と南側の掘立柱建物群と機能面で明確な違いがあるとすれば、注目される。

本来、遺跡の性格は、遺跡の大部分が明らかになってから論じられるべきものである。未調査区域の残る西之手遺跡についても、今回の成果のみでその性格を論じるのは難しい。このため、今後の課題を中心にまとめてみたい。

西之手遺跡を特徴づけているものは、掘立柱建物群の存在である。この掘立柱建物群は、どのような機能を持っていたのだろうか。具体的にいうと、この掘立柱建物群が、竪穴住

居のような居住空間としての性格を持つかどうかということである。

もし、この掘立柱建物群が居住空間としての性格を持つならば、これは、一般の竪穴住居と同様の機能を持っているということになる。では、なぜ竪穴住居を選択せずに、掘立柱建物が選択されたのだろうか。地形的な制約があるとは考えにくいので、実際に、この建物群に居住していた集団と一般の竪穴住居に居住していた集団の間には、何らかの違いがあったのではないかと考えられる。今のところ、その違いの背景を類推することはできない。しかしながら、一般の集落に居住する集団とは明らかに異なる特殊な集団が居住していた可能性が高い。

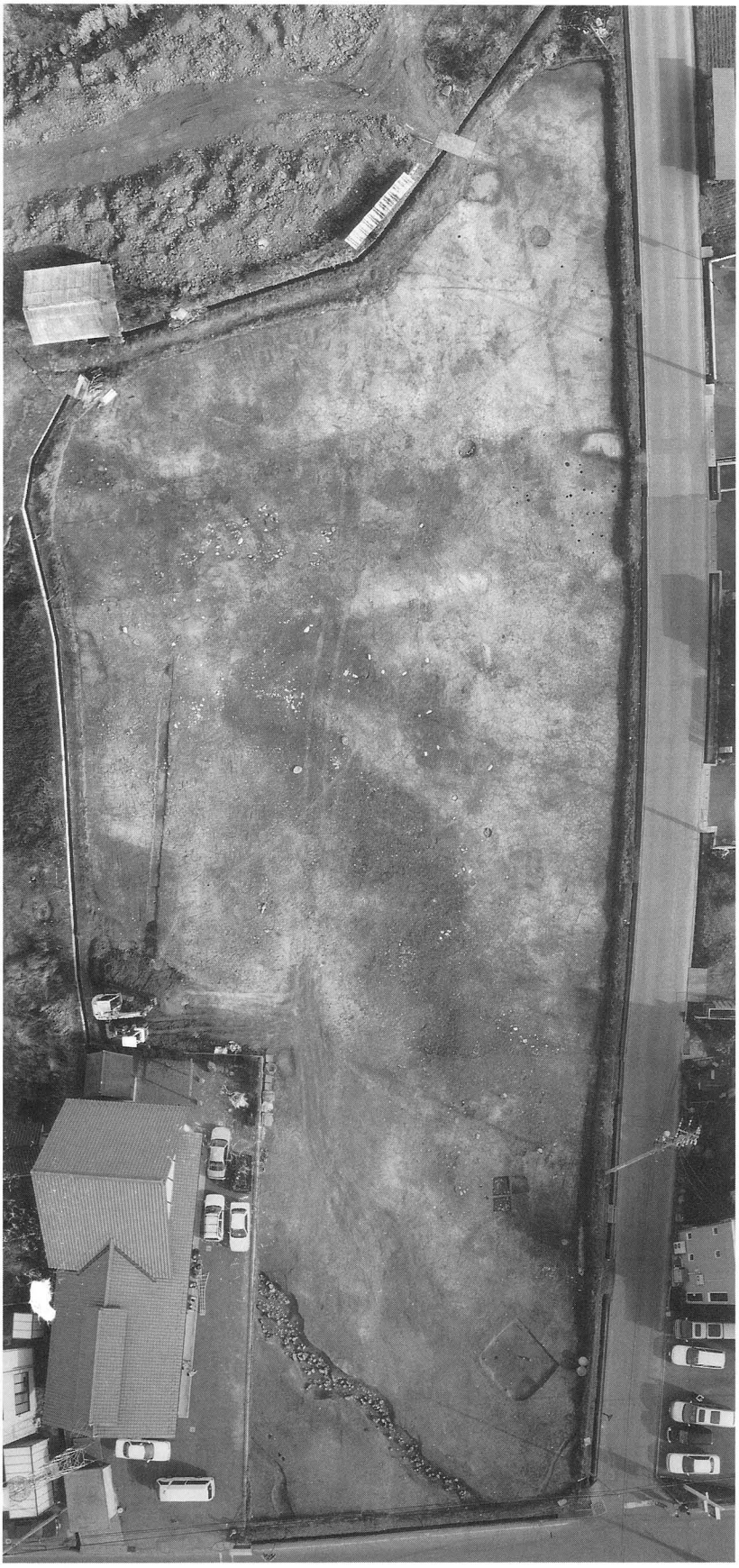
また、この掘立柱建物群が居住空間としての性格を持たないならば、この掘立柱建物群に関わる集団が周辺に居住していたことになり、西之手遺跡自体もかなり大規模なものとなってくる。このように、居住空間と居住空間ではない部分が明確に分けられるとすれば、おのずと西之手遺跡の性格も限られてくるのではないだろうか。つまり、掘立柱建物群(居住空間ではない部分)が、政治的な施設としての色合いを帯びてくるのではないだろうか。さらに、大胆な推測が許されるならば、西之手遺跡が染屋台周辺地域の当該期の政治的な中心地である可能性も考えていかなければいけないのではなかろうか。

以上、簡単に今回の発掘調査についての成果をまとめた。あくまでも、遺跡の一部分を調査しただけなので、今後の調査の進展により遺跡の全貌が明らかになることを期待したい。

最後に、現在の発掘調査は、そのほとんどが何らかの開発行為に伴った記録保存を目的とした緊急調査である。調査方法も非常に詳細であり、調査期間も長期間にわたる。このため、経費はかなり高額になり、この負担は事業主体者にたよっている。このような状況下、計画段階を含めると約4年間という長期間にわたり、御理解と御協力をいただいた㈱やおふくの皆様に心より感謝を申し上げて小結としたい。

写 真 図 版

西之手遺跡発掘調査区域(平成６年５月撮影のものに合成)

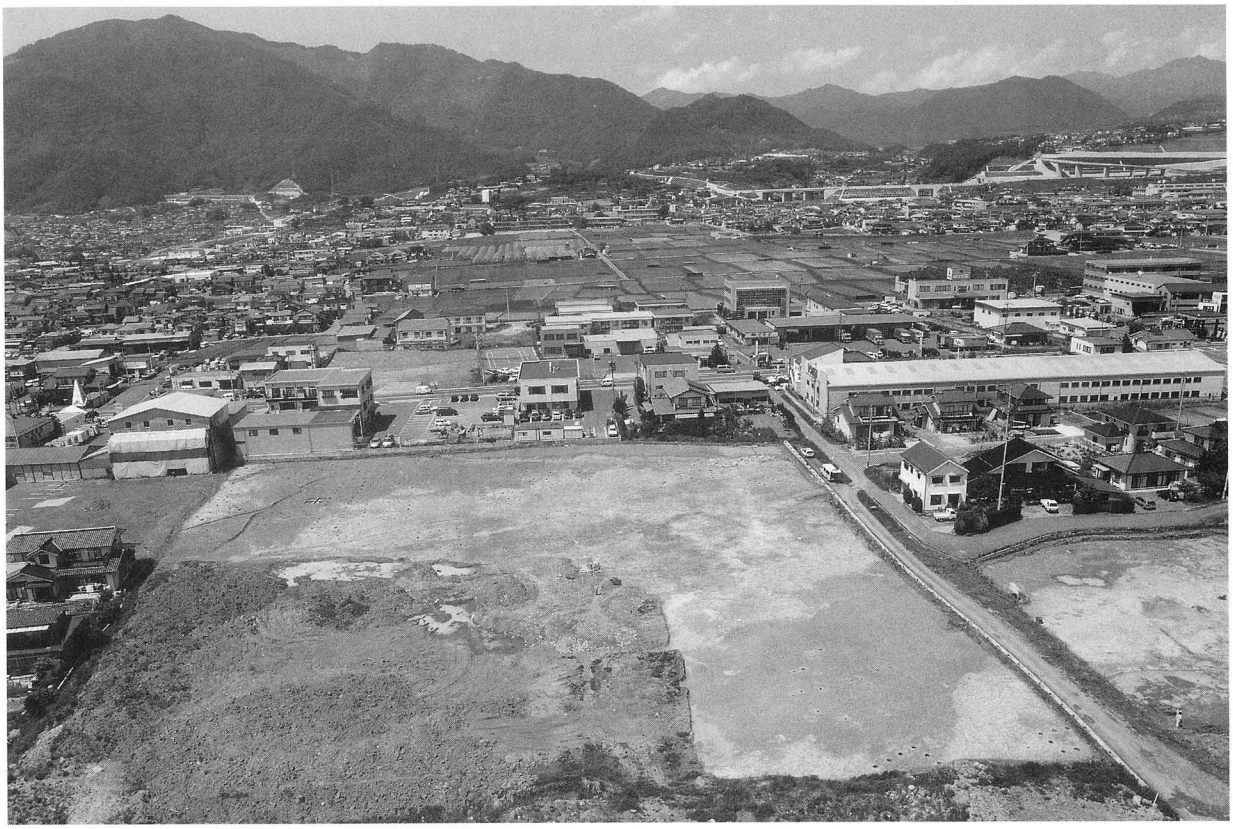


A区（上空から）

A区(南から)

A区(東から)

B区（上空から）



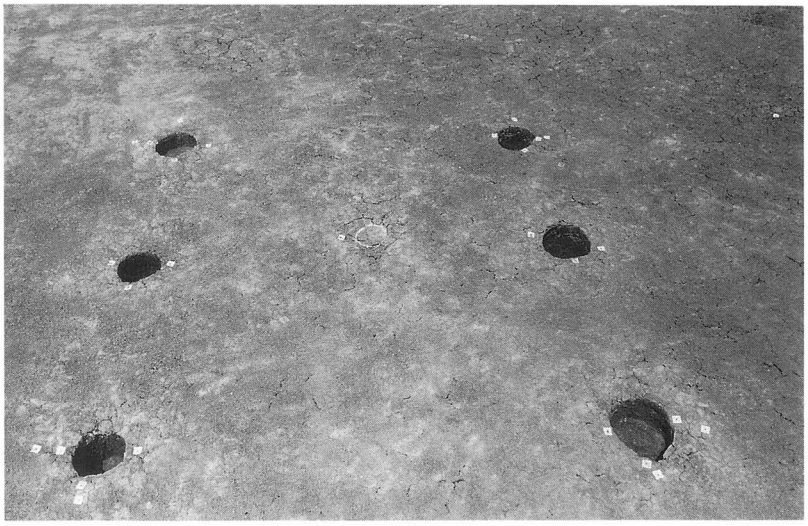
B区（南から）

B区（東から）

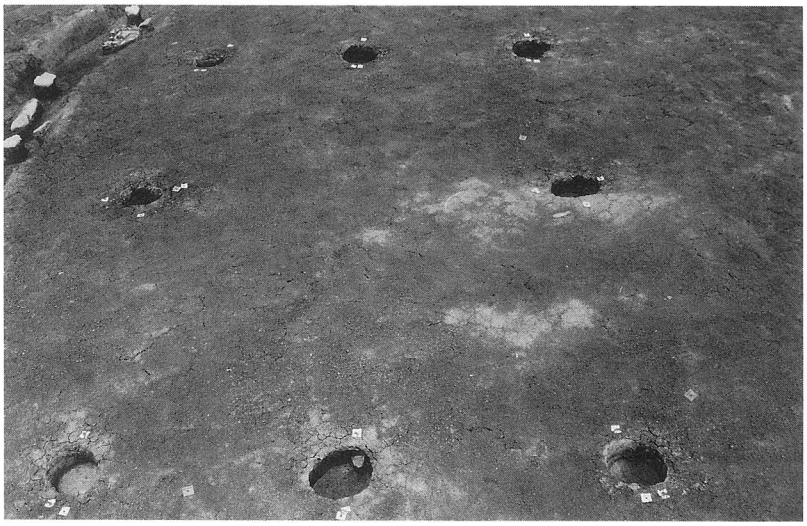
第１号掘立柱建物跡（南東から）

第２号掘立柱建物跡（南東から）

第３号掘立柱建物跡（南東から）



第４号掘立柱建物跡（南東から）

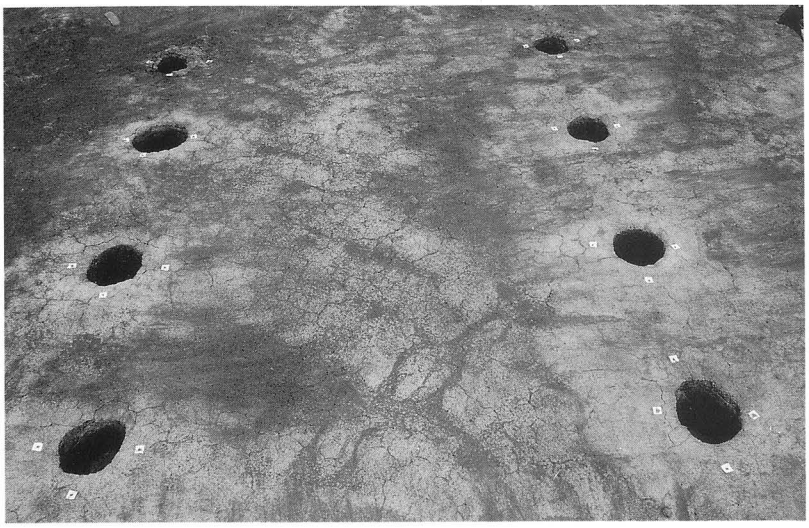


第５号掘立柱建物跡（南から）

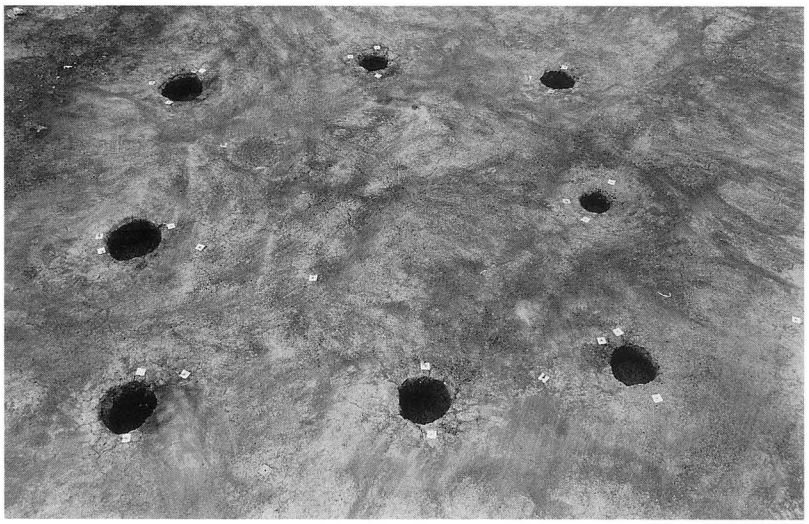
第６号掘立柱建物跡（南から）

第７号掘立柱建物跡（南から）

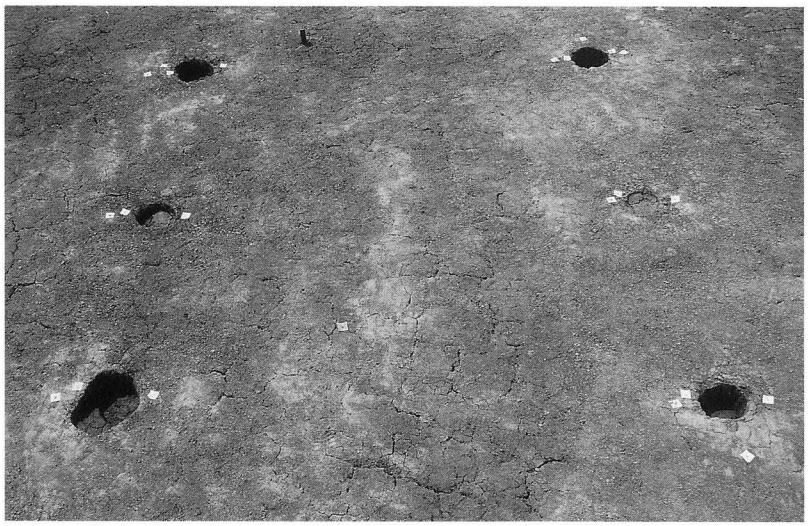
第８号掘立柱建物跡（南から）



第９号掘立柱建物跡（南から）



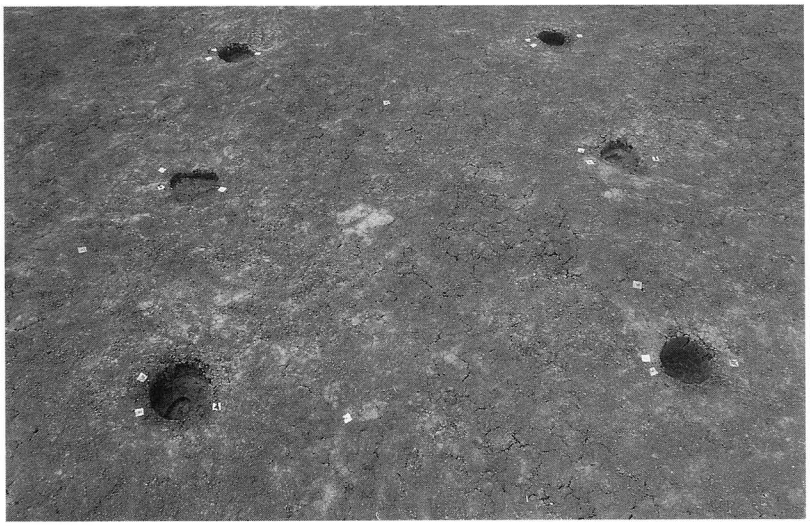
第10号掘立柱建物跡(北東から)



第11号掘立柱建物跡(東から)

第12号掘立柱建物跡(南から)

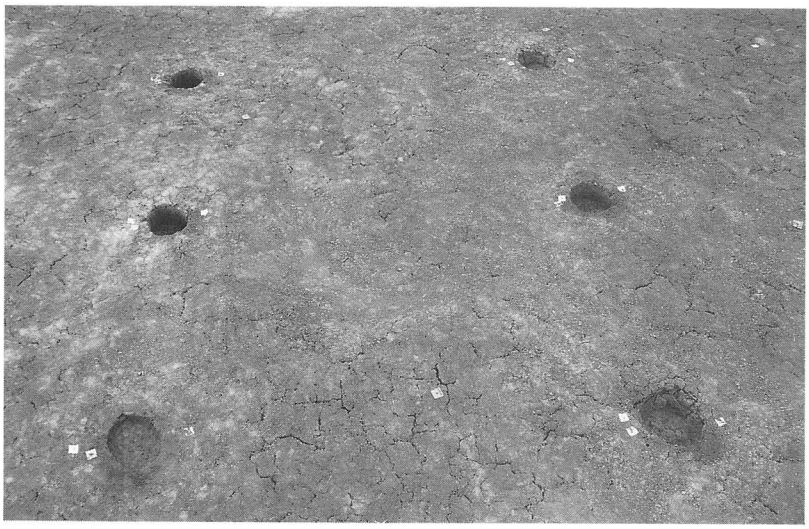
第13号掘立柱建物跡（西から）



第14号掘立柱建物跡（南東から）

第15号掘立柱建物跡（北東から）

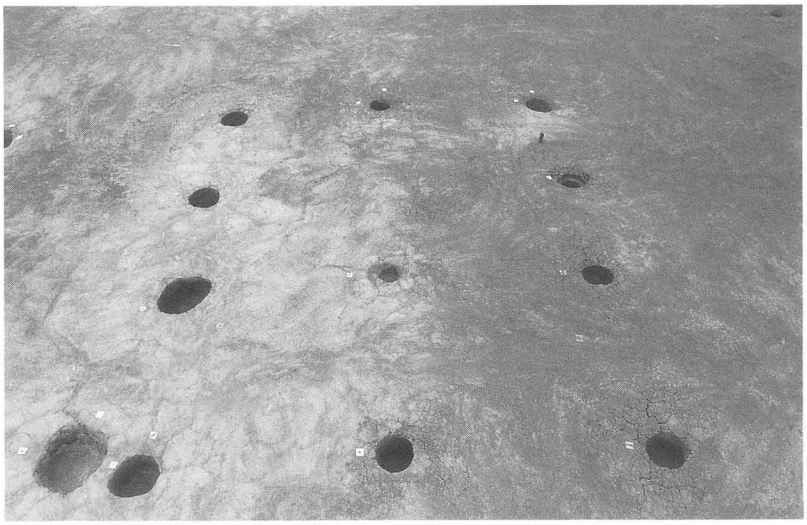
第16号掘立柱建物跡（南西から）



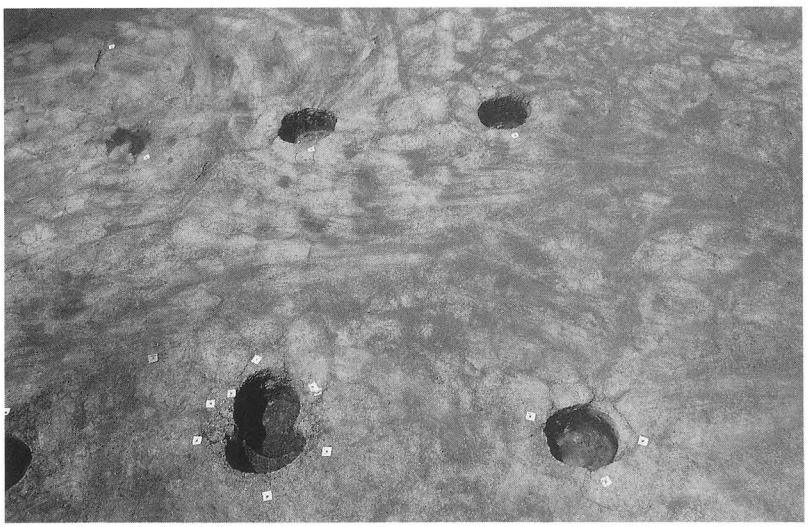
第17号掘立柱建物跡（南東から）

第18号掘立柱建物跡（南から）

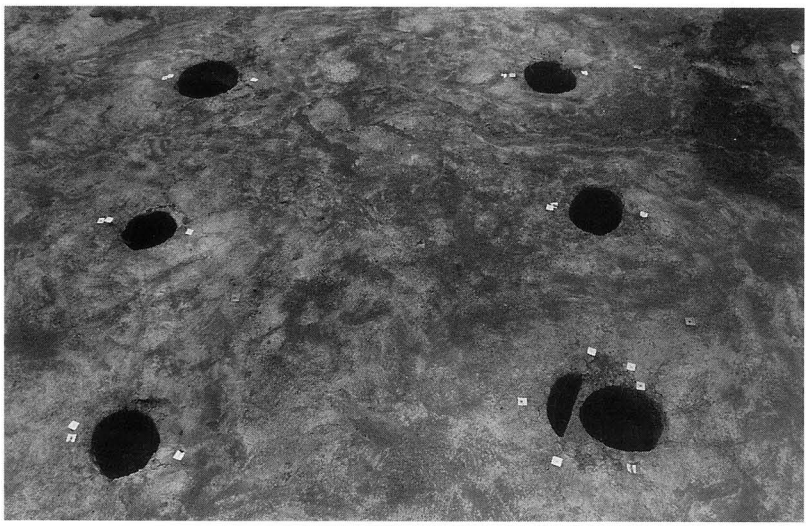
第19号掘立柱建物跡（南から）



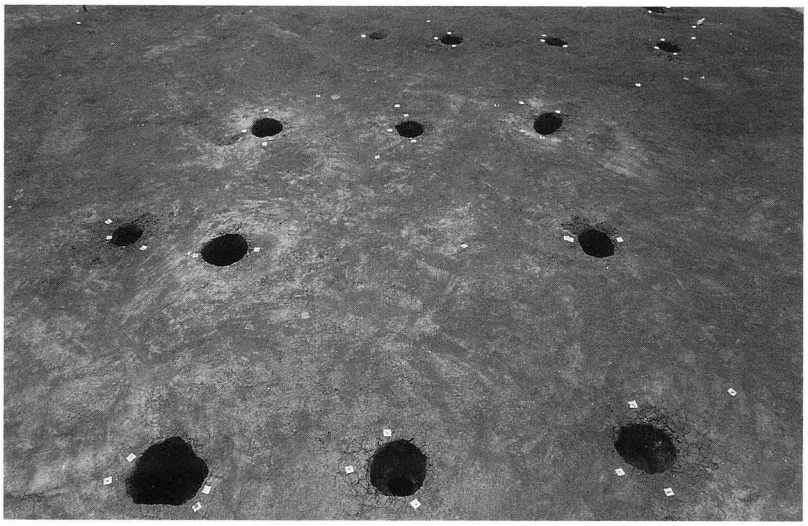
第20号掘立柱建物跡（東から）



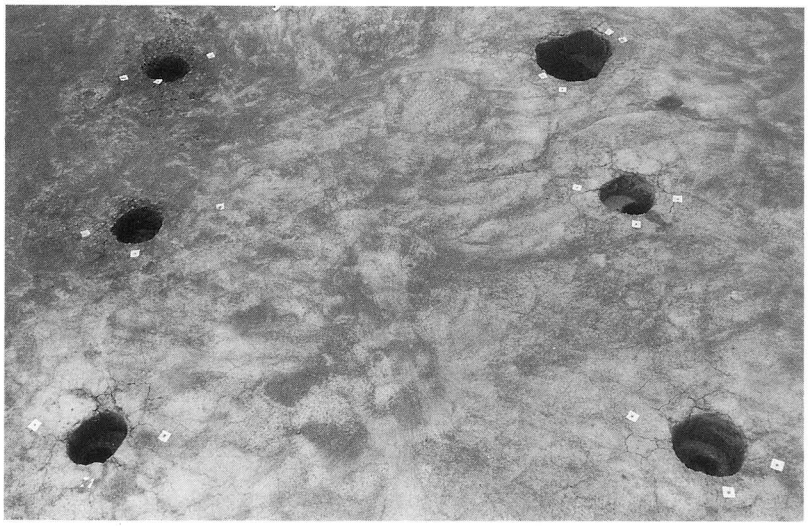
第21号掘立柱建物跡（南から）



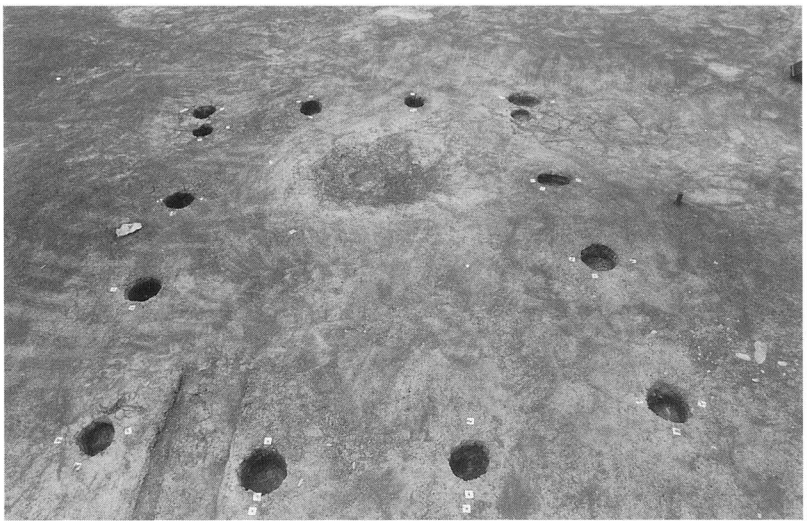
第22号掘立柱建物跡（東から）



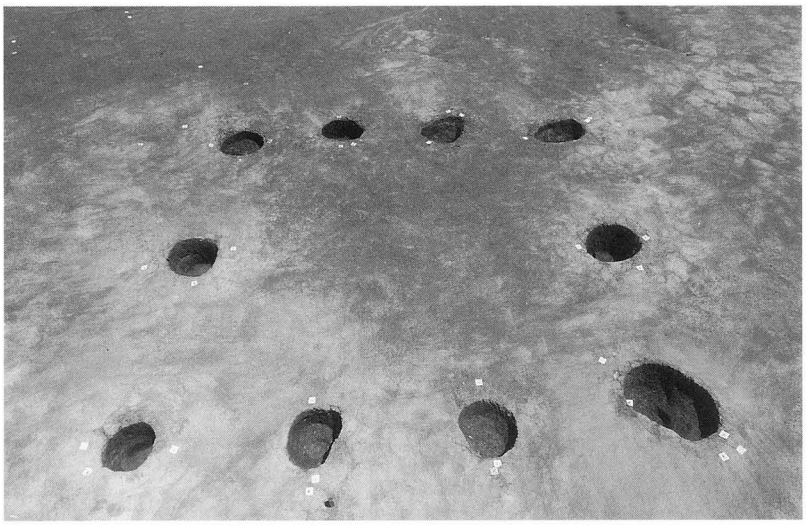
第23号掘立柱建物跡（東から）



第24号掘立柱建物跡（南東から）



第25号掘立柱建物跡（南から）



第26号掘立柱建物跡（南から）

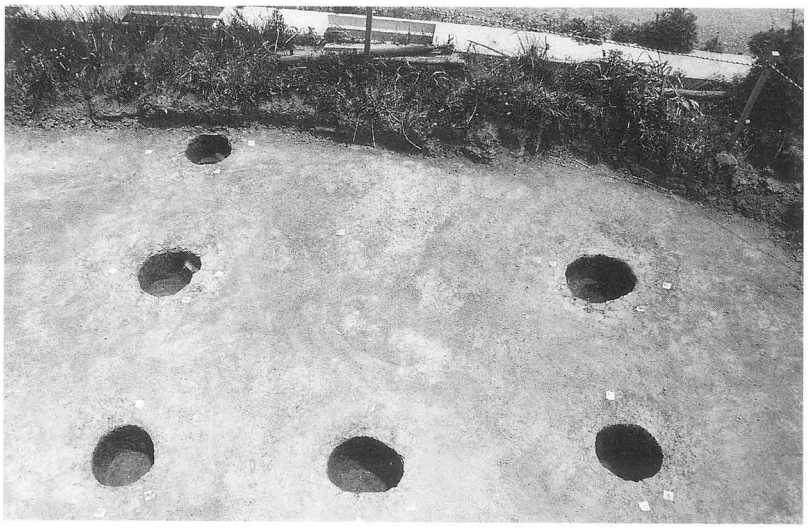
第27号掘立柱建物跡（北東から）

第28号掘立柱建物跡（南から）

第29号掘立柱建物跡（南から）

第30号掘立柱建物跡（東から）

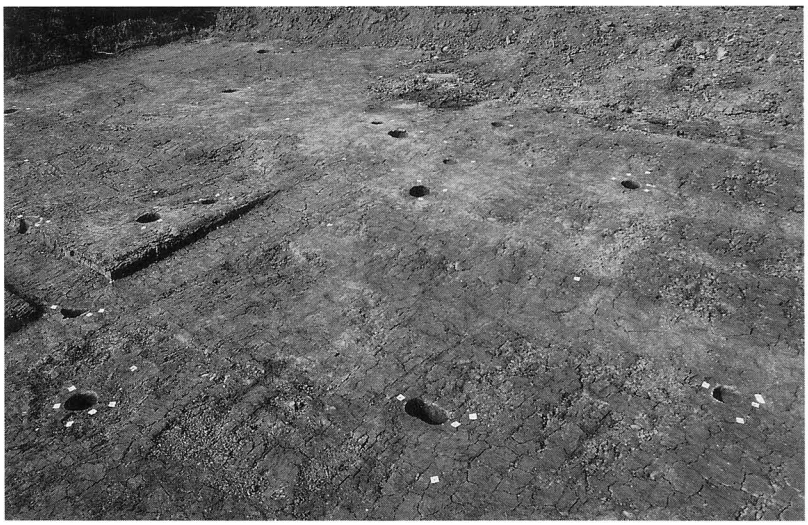
第31号掘立柱建物跡（南東から）



第32号掘立柱建物跡（西から）

第33号掘立柱建物跡（北東から）

第34号掘立柱建物跡（南東から）



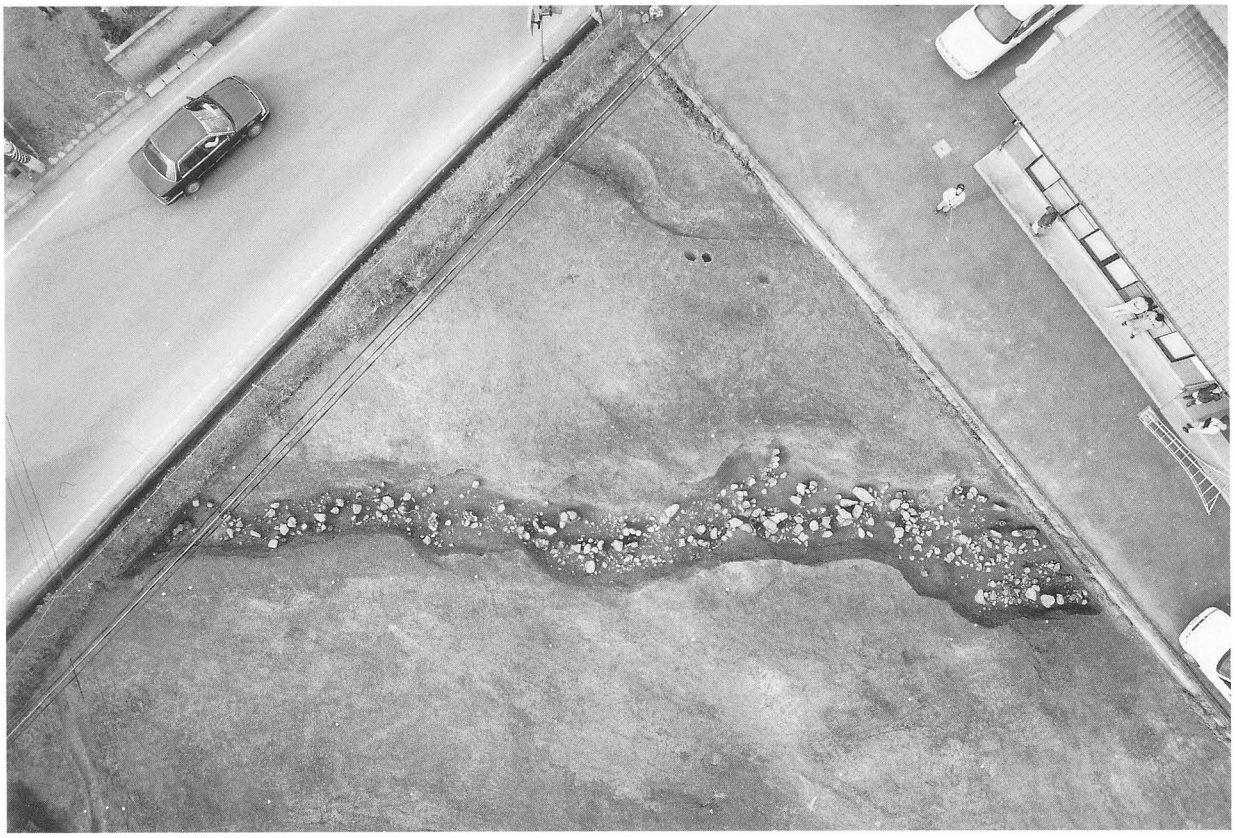
第35号掘立柱建物跡（南東から）

第36号掘立柱建物跡（北東から）

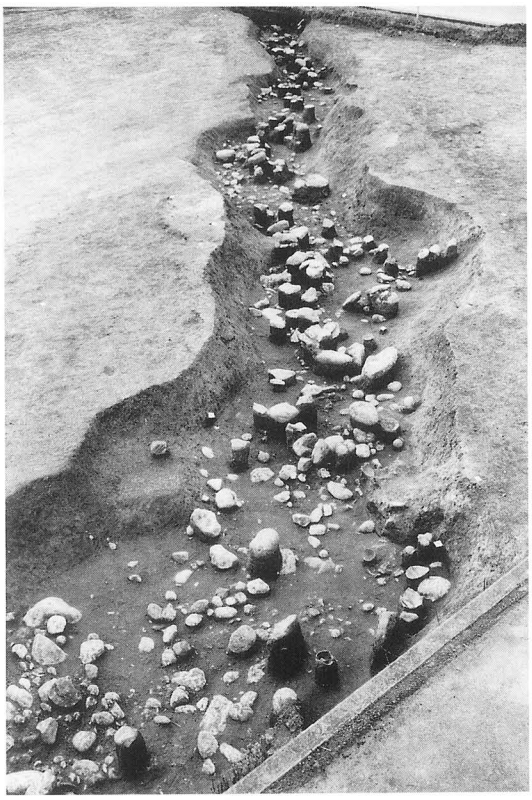
第１号竪穴住居跡(北から)

第２号竪穴状遺構(南から)

第１号溝跡(東から)

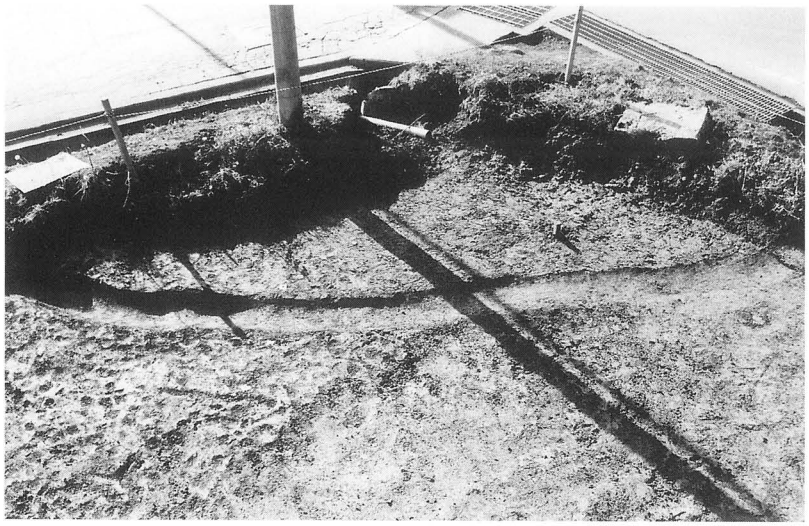


第２号溝跡（上空から）

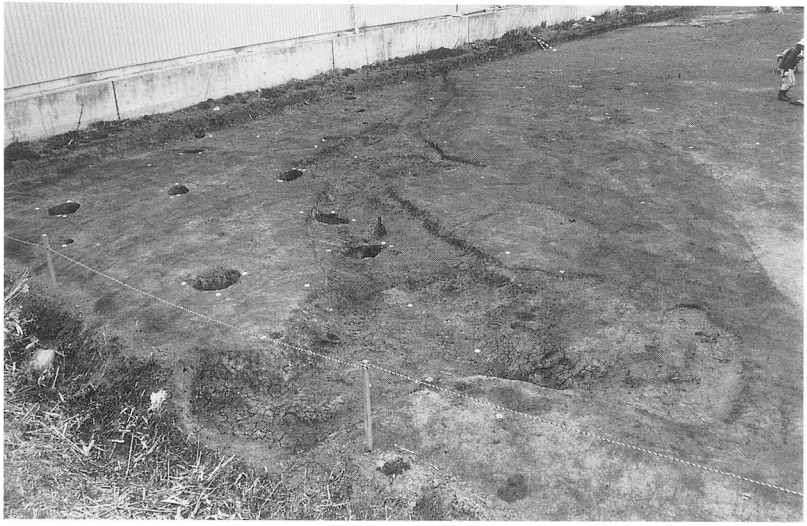


第２号溝跡土器出土状況（北から）

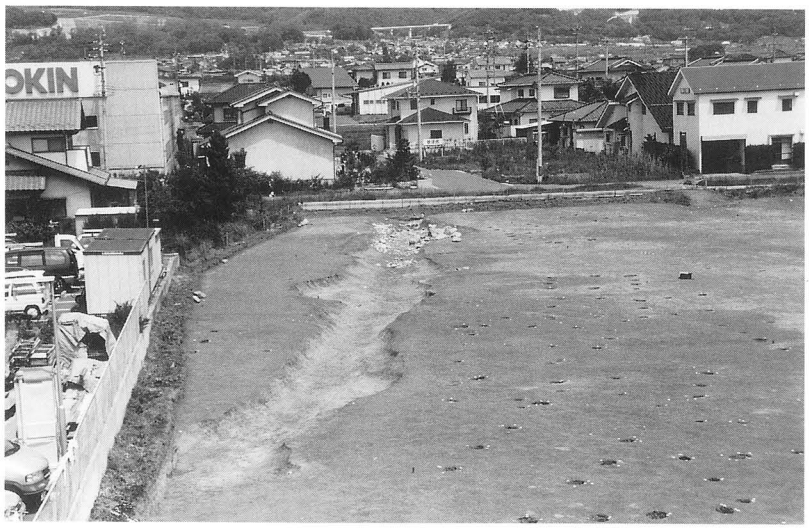
第２号溝跡完掘状況（北から）



第３号溝跡（北から）



第４号溝跡（南西から）



第５号溝跡（西から）